



本書はやさしく取扱ってください。

無理に広げたり引っ張ったりするとページが
バラバラになってしまう場合があります。
やさしい取扱いをお願いします。

- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL:0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
＜携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用＞
TEL:048-662-6636
- 電話受付時間 9:30～17:30(土日、祝日、弊社休業日を除く)
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX:048-662-6676
- ナビゲーションをお買い上げのお客様には、ユーザー登録をして頂くと、アルパインホームページ上からE-mailでのお問い合わせができます。どうぞご利用ください。
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

アルパイン株式会社
Designed by ALPINE Japan
Printed in Japan(Y-675)
68-06194Z47-A

ALPINE®

VIE-X07B/VIE-X07S



ALPINE®



mobilemediastation X07

取扱説明書

VIE-X07B/VIE-X07S



安全のためにかならずお守りください

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 禁止	分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。	
	電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。 飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。	
 禁止	 強制	ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守ってください。事故・火災の原因になります。
 禁止	 強制	音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。
 禁止	運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。	

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	ナビゲーションによるルート案内は、参考情報です。実際の交通規則を守って運転してください。
 禁止	車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。
 禁止	車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障または聴力障害の原因になります。
 禁止	ディスク挿入口、モニター開閉時のすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。
 禁止	新旧の電池を混ぜる、指定外の電池を使用する、極性を間違えるなど、しないでください。電池の破裂・液漏れや火災・ケガの原因になります。



取り扱い上のご注意(共通)

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

- 本機側の雑音や誤動作の原因になったり、電話や無線機の正常な送受信ができなくなる場合があります。

電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

また、リモコンスターター、カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。

測位状態が安定してから走行する

- GPSを測位してから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自車位置がずれる場合があります。

無理な力を加えない

- 製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

- 本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

- お手入れは乾いた布か堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

- 車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときは、常温になってからお使いください。

可動部分の動作中は操作をしない

- ディスプレイ開閉、角度調整など、動作中に操作をしないでください。ケガや故障の原因になることがあります。

温度上昇について

- 可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。

可動ディスプレイは必ず閉じる

- 可動ディスプレイが開ききった状態では、走行しないでください。無理な力が加わり故障の原因になります。

本機で再生できるディスクについて

再生できるディスク

- 本機では次のディスクが再生できます。

	マーク(ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
DVD* オーディオ		音声 + 映像 (動画)	12cm
			8cm
DVD ビデオ		音声 + 映像 (動画)	12cm
			8cm
ビデオ CD		音声 + 映像 (動画)	12cm
			8cm
音楽** CD		音声	12cm
			8cm (CDシングル)

* 48kHz以上の周波数で録音されているDVDオーディオは、48kHzに変換して再生されます。

** ディスクレーベル面に上記マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。

再生できないディスク

- DVD-ROM、DVD-RAM、CD-ROM(MP3/WMA/AACファイルを除く)、フォトCD、DTS-CDなど。

DVDリージョン番号(再生可能な地域番号)について

- このDVDヘッドユニットのリージョン番号は2です。DVDビデオディスクに表示されている地域番号が下記のようなリージョン番号を含んでいないまたは、が表示されていないディスクは再生できません。なお、リージョン番号の設定を変更することはできません。



ビデオCDについて

- 本機は、プレイバックコントロール(PBC)付き対応ビデオCD(バージョン2.0)に対応しています。PBCとはディスクに記録されているメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を対話形式で楽しむことができることを言います。



コンパクトディスク(CD/CD-R/CD-RW)のご使用について

- CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質の保証は致しかねます。
また、本機は音楽専用機器で録音した音楽専用のCD-R(CD-Recordable)/CD-RW(CD-ReWritable)、MP3/WMA/AACファイル形式のCD-R/CD-RWの再生が可能です。

次のようなディスクは、再生できないことがあります。

指紋やキズが付いている/車内や製品内に長時間放置した/データ書き込み状態が不安定/データ書き込みに失敗し再録音した場合など。

MP3/WMA/AACファイルは本機対応のフォーマットで記憶したディスクを使用してください。詳しくは222ページを参照してください。

コンパクトディスク(CD/CD-R/CD-RW)の取り扱い

- 故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。
盤面にさわらない/直射日光下に置かない/ラベルを貼らない/ホコリやごみが付いたら拭きとる/バリが無いことを確認する/市販のアクセサリーを使わない。

特にCD-R/CD-RWは以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱い、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

CD-R/CD-RWをご使用のお客様へ

- CD-R/CD-RWが再生できない場合は、クローズセッション(ファイナライズ処理)を行っているかどうか、確認してください。
- 行われていない場合は、クローズセッション(ファイナライズ処理)を行い、再度お試しください。
- 同じディスクに音楽データ(CD-DA)とMP3/WMAデータが混在する場合は、音楽データ(CD-DA)のファーストセッションのみが再生されます。
- マルチセッションには対応しておりません。"Track at once"で書き込んだ場合、クローズセッションや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクのご使用について

- 本機は、DVD-Videoモード、DVD-VRモードで記録されたディスクに対応しております。
- ファイナライズ処理(再生専用DVDプレーヤーで再生可能にするための処理)がされていないディスクは再生できませんのでご注意ください。
- ディスクの書き込みに使用した機器の仕様によっては再生できない場合があります。
- 本機には違法コピー検出機能を有しております。違法コピーを検出した際は再生を行いません。正しい方式で記録されないPCソフトで記録した場合、本機では違法コピーと検出する場合があります。
- 録画に使用したDVDレコーダやDVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクの特性、傷、汚れ、またはDVDプレーヤーのピックアップレンズの汚れ、結露などにより再生できない場合があります。
- DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクの取り扱いにあたっては、ディスクの使用上の注意を必ずお守りください。
- DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクのレーベル面や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクは通常のDVDに比べ高温多湿環境や直射日光に弱く、一部のディスクや長時間車室内に放置したディスクは再生できない場合があります。
- ディスク本体の再生可能な温度範囲は、次の通りです。
DVD-R/DVD-RW : -25～+70℃
DVD+R/DVD+RW : +5～+55℃

ディスクに関する用語について

- タイトル
DVDビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。
- チャプター
タイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

取り扱い上のご注意(ディスク)

- 特殊な形状のディスクは使わない
必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。
- ディスクのお手入れ
柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。
- 新品のバリに注意
ディスクの側面やセンターホール面にバリ(突起)があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

レンズクリーナーについて

- レンズクリーナーは必ずアルパイン専用の「KAE-125C」(別売)を使用してください。「KAE-125C」以外のレンズクリーナーを使用すると、レンズの破損や故障の原因となります。
- DVDメカニズムのピックアップレンズは長期間のご使用の間に汚れが付着し、読み取り精度が劣化する場合があります。レンズクリーナーによる定期的なクリーニングをお勧めします。



取り扱い上のご注意(SDメモリーカード)

SDメモリーカードの取り扱い

- 故障や動作不良をおこさないために次の点を守ってお使いください。また、SDメモリーカードの取扱説明書もよくお読みください。

端子部には手や金属で触れない/強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしない/分解したり、改造したりしない/水にぬらさない

- また、以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。

- ・高温になった車内や炎天下など気温の高い場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

特に以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱い
ため、SDメモリーカードが劣化し再生不能となる場合があります。

誤消去防止スイッチについて

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。

結露にご注意

- 寒い車内を急に暖めると、本体内部に露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどSDメモリーカードを取り出しておくで正常に動作します。

取り扱い上のご注意(ハードディスク)

磁力を持つ製品を近づけない

- ハードディスク(HDD)は強磁界に弱いため、ナビゲーションにスピーカーやGPSアンテナなどの磁力を持つ製品を近づけないでください。HDD内のデータが消去される場合があります。

ハードディスクを取り外さない

- 本機を分解してハードディスク(HDD)を取り外さないでください。お客様ご自身がハードディスクを外して故障した場合は、一切保障いたしかねます。

お読みください

- この取扱説明書に記載されているソフトウェアは、ライセンスの所有者にのみ供給され、同ライセンスの許可する条件のもとでのみ使用することが許されます。
- 当該ライセンスが許可している場合を除き、本出版物のいかなる部分もアルパイン株式会社の書面による事前の許可無しには、いかなる条件下でも、また電子的、機械的、録音、その他のいかなる手段によっても、コピー、検索システムの記憶、または転送を行うことはできません。
- この取扱説明書に記載された内容は、情報の提供のみを目的にしており、予告無しに変更されることがあります。
- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は日本国内専用です。

モニターのお手入れ

- モニターが汚れたら柔らかい布(シリコンクロスなど)でふいてください。
- 汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、よくしぼってからふきとってください。
- 「水」や「水で薄めた中性洗剤」は直接モニターにかけないでください。
液体が内部に入り「シミ」や「故障」の原因になります。
- モニターは傷つきやすいため、硬いものでふいたり、こすったり、物をぶつけたり、強い力で押したりしないでください。
- ベンジン、アルコール、シンナーは使用しないでください。変色、変質の原因になります。

注意

- 本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。



ご使用前にお読みください

- ・ 本機には、交通規制データが収録されておりますが、運転に際しては、必ず現場の交通規制標識・掲示板等を確認し、もしデータと違うときには、現場の標識、掲示板等に従って下さい。
- ・ 運転中の操作は大変危険です。必ず停車中に操作してください。
- ・ 情報の最終更新年月が地域によって格差がある為、ある特定地域での道路の整備状況によって、未収録や更新されていない場合があります。
天変地異による規制には対応しておりません。該当する周辺を走行する際には、警察・交通情報センター等へご確認ください。
- ・ 本機を使用したことにより発生したお客様本人及び第三者のいかなる損害についても、弊社はその責任を一切負いかねます。
- ・ 本機収録の内容に誤字・脱字・位置ずれ等の表記または内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
- ・ 本機収録の内容は予告なく変更されることがあります。
- ・ 本機に含まれる機能がお客様の特定目的に適合する事を、弊社は保証するものではありません。

本書の見かた

1. 操作タイトル

操作目的ごとにタイトルがつけられています。

2. 操作手順

操作の手順を示しています。

3. 補足

手順や結果に対する補足説明をしています。

4. 操作画面

操作を行う前の画面を示しています。

5. アドバイス

知っておくと便利な情報や、関連する参照先などを示しています。

注意

制限事項や注意事項など重要な説明をしています。必ずお読みください。

● 地点を登録する

十字カーソル位置の地点情報を地図に登録します。住所や電話番号などの情報も登録され、地図上には登録したマークが表示されます。また、登録した地点を簡単に呼び出すことができます。登録できる地点には登録地点、特別地点(自宅、よく行く地点)、迂回地点があります。

● 1 「登録」にタッチします。

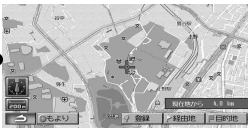


- **「地点を登録」**以降の操作は、「地点を登録する」(94ページ)の手順3へ進んでください。
- **「特別地点」**以降の操作は、「特別地点(自宅/よく行く地点)」を登録する(92ページ)の手順3へ進んでください。
- **「迂回する地点」**以降の操作は、「迂回地点を登録する」(101ページ)の手順3へ進んでください。
- **「現在地」**以降の操作は、「自車位置を修正する」(136ページ)の手順5へ進んでください。

● 目的地や経由地として設定する

十字カーソル位置の地点を目的地や経由地に設定します。経由地は、すでに目的地がセットされている場合のみ設定できます。

● 1 「目的地」または「経由地」にタッチします。



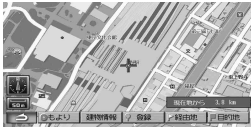
- 以降の操作は、目的地をセットした場合は「ルートの探索結果画面」(74ページ)、経由地をセットした場合は「経由地を設定する」(76ページ)の手順3へ進んでください。

● 建物情報を見る

市街地図を表示しているときは、建物のフロア案内などを見ることができます。市街地図については、「市街地図について」(46ページ)を参照してください。

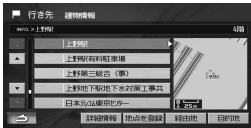
● 1 市街地図画面で情報を見たい建物にタッチします。

● 2 「建物情報」にタッチします。



建物のフロア案内が表示されます。

● 3 フロアの施設名称にタッチし、「詳細情報」にタッチします。



詳細情報が表示されます。



● 4 「POS.」スイッチを押して現在地画面に戻します。

● アドバイス

- 建物によってはフロア案内が表示されない場合があります。その場合は、建物(施設)名称のみが表示されます。

■ 本書でのスイッチ表記について

- 本体スイッチは、**○○○**でスイッチ名称(**MENU/PWR**)を表示しています。
- 画面のタッチスイッチは、**○○○**でスイッチ名称(**設定を変える**)を表示しています。

案内音量を調整する ●

ナビゲーション案内音声の音量を調整します。音声をOFFにすることもできます。

- 1 (MENU/PWR)スイッチを押した後、**音量調整**にタッチします。



音量調整画面が表示されます。●

- 2 「ガイド音声」の または にタッチして音量レベルを設定します。



- にタッチするたびに音量レベルが1つ下がり、 にタッチするたびに音量レベルが1つ上がります。
- 8段階で設定できます。
- 一番下のレベルに設定すると音声はOFFにできます。
- ガイド音声を調整すると「この音声で案内します。」と出力され、設定した音量を音声で確認することができます。

- 3 (POS.)スイッチを押して現在地画面に戻します。

アドバイス

- 案内音量をOFFにすると、目的地案内画面に表示される (KID) スイッチは色がトーンダウンし操作できません。



基本操作

6.項目タイトル

項目ごとにタイトルがつけられています。

7.セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

8.結果文

操作を行ったあとの状態を示しています。

はじめに

■ 本書の操作方法説明について

本書は本体スイッチとタッチスイッチを使って操作方法を説明しています。

リモコンを使用しての操作方法については、「リモコン操作」(345ページ)を参照してください。

目 次

はじめに

本書の見かた

目 次

特 長

準 備

各部の名称と操作 19

電源のON/OFF 21

ディスプレイの角度を調整する 22

DVD、CD、SDメモリーカードの

出し入れ 22

ナビゲーション画面を表示する 24

サウンド・映像モードに切りかえる 24

画面を消す 25

マルチゲート画面、マルチインフォメーション画面について

マルチゲート画面 26

マルチインフォメーション画面 29

メニュー画面、リスト画面について

メニュー画面を切りかえる 31

リスト画面を切りかえる 32

文字・数字の入力方法

文字を入力する 33

文節区切りを変更する 34

数字を入力する 34

ディスプレイ設定

ディスプレイ設定操作 35

ディスプレイ表示設定 35

ディスプレイ照明設定 37

画質の調整 38

画面モードを切りかえる 40

ナビゲーション編

基本操作

画面の見かた 42

地図を表示する 45

地図表示のしかたをかえる 46

スクロールや検索して表示させた

地図の操作 53

案内音量を調整する 55

ナビゲーション案内

目的地設定・ルート探索について 58

行き先を探す 59

目的地を設定してルートを探索する 72

目的地案内を開始する 77

案内中のルートを確認する 79

案内中のルートを変更する 82

目的地案内表示 86

地点の登録

特別地点(自宅/よく行く地点)を

登録する 92

地点を登録する 94

特別地点/登録地点情報を確認・変更する 95

迂回地点を登録する 101

迂回地点情報を確認・変更する 102

ドライブインフォメーション

ドライブインフォメーション画面を

表示する 106

ドライブインフォメーション画面の

見かた 107

ドライブインフォメーション設定 110



VICS情報を見る

VICSってこんなこと	112
利用できる情報	114
VICS情報画面の呼び出しかた	118
VICS情報画面の操作	119
FM多重放送を見る	120
VICS情報を見る	121
割込み情報を見る	122
駐車場情報を見る	123
VICS設定	125
VICSに関する補足事項	128

設定

地図表示設定	132
案内誘導設定	137
経路設定	140
ルート学習設定	142
ナビ情報設定	144
情報消去	146

ハンズフリー電話を使う

ハンズフリー電話について	148
携帯電話を接続する	149
電話を受ける	151
電話を切る	156
電話をかける	157
電話帳を編集する	161
発信履歴機能を利用する	164
着信履歴機能を利用する	166
通話音量を調整する	168
電話・通信設定	169

オプション機能

ETCについて	176
リアカメラの操作	178
リアモニターについて	183

各種データ一覧

地図マーカー一覧	186
市街地図収録都市リスト	187
VICS道路交通情報マーカー一覧	193

サウンド・映像編

基本操作

サウンド・映像モードのON/OFF	198
モードを切りかえる	199
各モードの操作画面	200
音量の調整	202

ラジオ操作

画面の見かた	204
ラジオを聴く	205
聴きたい放送局を選ぶ	206
放送局を記憶する	207
放送局にタイトルをつける	208
交通情報を受信する	209

CD/MP3/WMA/AAC操作

画面の見かた	212
CD/MP3/WMA/AACを聴く	215
聴きたい曲(ファイル)を選ぶ	216
早送り・早戻しする	218
曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)	219
曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス) ...	220
繰り返し聴く REPEAT(リピート)	221
MP3/WMA/AACについて	222

HDD AUDIO操作

HDDをご使用になる前に	226
HDDへ録音する	229
画面の見かた	230
HDDの曲を聴く	232
聴きたい曲を選ぶ	233
早送り・早戻しする	234
聴きたい曲を探す	235
曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)	241
曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス) ..	242
繰り返し聴く REPEAT(リピート)	243
プレイリストの編集	244
HDDの編集	249
タイトル情報を取得する	254
設定	255

TV操作

画面の見かた	258
テレビを見る	260
放送局を選ぶ	261
放送局を記憶する	262
音声多重機能を使う(二重音声放送)	264
放送局にタイトルをつける	265

SDメモリーカード操作

SDメモリーカードモードにする	268
音楽データを再生する	269
登録地点をコピーする	270
SDメモリーカードの画像を HDDに追加する	272

DVD/ビデオCD操作

DVDをご使用になる前に	274
画面の見かた	276
DVD/ビデオCDを再生する	283

メニューを表示する	284
再生中止(PRE STOP)する	286
再生停止する	287
早送り・早戻しする	288
静止(一時停止)する	289
コマ送り再生する	290
スローモーション再生する	291
見たい映像を探す	292
繰り返し見る REPEAT(リピート)	295
DVDビデオ機能の切りかえ	296
DVD初期設定	298
視聴制限したDVDを再生する	304

iPod操作

画面の見かた	306
iPod®の曲を聴く	308
聴きたい曲を選ぶ	309
早送り・早戻しする	310
一時停止する	311
聴きたい曲を探す	312
曲順を変えて聴く シャッフル (M.I.X. ミックス)	315
繰り返し聴く REPEAT(リピート)	316

AUX操作(オプション)

AUX操作	318
AUX設定	319

地上デジタルテレビ操作(オプション)

画面の見かた	322
地上デジタルテレビを見る	325
放送局を選ぶ	326
受信情報を表示する	327
番組情報を見る(EPG)	328
TUE-T1の操作	329



設定

サウンド調整画面の操作	332
サウンド調整	333
オーディオ設定	340
画像設定	342

その他

リモコン操作

リモコンを使いこなす	346
リモコン操作	348

その他

言語コード一覧	366
最寄り施設ジャンル一覧	368
施設ジャンル一覧	371
用語説明	379
Q&A	380
故障かな?と思ったら	389
保証について/規格	395
VICS情報有料放送サービス契約約款 ...	398
地図データについて	400
マイクロソフトからの使用許諾契約書 ...	401
お問い合わせ窓口	402
MENU項目一覧	403
設定項目一覧	404
目的別索引	407
索引(ナビゲーション編)	413
索引(サウンド・映像編)	418
電波に関する注意事項	422
アナログテレビ放送からデジタル テレビ放送への移行について	423

はじめに

ナビゲーション編

基本操作

ナビゲーション案内

地点の登録

ドライブインフォメーション

VICS情報を見る

設定

ハンズフリー電話を使う

オプション機能

各種データ一覧

サウンド・映像編

基本操作

ラジオ操作

CD/MP3/WMA/AAC操作

HDD AUDIO操作

TV操作

SDメモリーカード操作

DVD/ビデオCD操作

iPod操作

AUX操作

地上デジタルテレビ操作

設定

その他

リモコン操作

その他

大型ディスプレイで画面表示

7型バルスタッチディスプレイを搭載しています。マルチゲート画面やマルチインフォメーション画面、ドライブインフォメーション画面など、様々な画面を表示させることができます。しかも、画面に触れるだけの簡単操作です。

ドライブインフォメーション

ドライブインフォメーション画面では、車速・横方向の加速度やエコ走行ガイドなど、ドライブに役立つ様々な情報を表示します。



マルチゲート画面

ナビ、サウンド・映像、ドライブインフォメーション、ハンズフリー電話の状態を同時に表示することができます。更に、それぞれのソースに簡単に切りかえることができます。



マルチインフォメーション画面

例えば、ナビの現在地画面を表示しながら、サウンド・映像ソースの操作を行うことができます。また、ルート情報やドライブインフォメーションを表示します。



住所エリアや道路をカラフルな色彩で色分けした見やすい地図表示

全国の道幅データにより、細街路、1車線、2車線、3車線以上の道路を高速道路、国道、主要道、県道、その他の道路で色分け表示し、実際の道路状況をナビゲーション画面にリアルに再現しています。また市街地図では、都道府県や市区町村などの境ごとで塗り分けして地図を見やすく表示します。



走行する道路に応じた地図自動切り替え(ワンルック・マップ)

一般道と高速道路、走行中と停止中で表示情報量が見やすく切りかわります。

今いる場所を明確に把握できる名称表示

道路名、現在地名をわかりやすくインジケーターバーで表示します。



アクティブルートサーチ(77ページ)

目的地までのルートを走行中に、常に最適ルートを自動サーチし、最適ルートを発見したら、ただちに表示します。さらにVICS光ビーコンの渋滞情報をキャッチし、区間通過時間を短縮できると判断すると、「時短・最適ルート」を表示します。

安全性を考慮したリアルな交差点案内(86ページ)

ルート走行時に交差点に近づくとき交差点拡大図が現れ、「交差点名」「距離」「曲がる方向」「レーン案内」などを表示します。3Dイラスト情報のある交差点では、立体的な案内画面が表示されます。また高速道路のジャンクションでは、高速分岐拡大図を表示しますので安心です。



好きな地点を登録(91ページ)

よく利用する地点を登録して地図上に表示させたり、迂回したい地点などを登録してルート探索に反映させることができます。登録した情報は必要ときに登録地点リストから探し出すこともできます。

主要な施設の3Dアイコン表示(134ページ)

ランドマークになるような著名な施設やビルを3Dアイコンで地図に表示することができます。



渋滞などの情報を表示するVICS機能(111ページ)

VICSセンターから提供される交通情報を受信し、その情報を文字(レベル1)・簡易図形(レベル2)・地図(レベル3)で表示します。また、ビーコンユニット(別売)を接続すると、光・電波ビーコンを受信し、渋滞情報を考慮したルート探索やリアルタイムな割り込み情報を表示できます。



便利なハンズフリー電話(147ページ)

専用ケーブルまたはBluetoothを使用して携帯電話を接続すると、ハンズフリー電話として利用することができます。携帯電話のメモリーを取り込んだり、便利なワンタッチダイヤルへの登録もできます。

圧縮した音楽ディスクを再生するMP3/WMA/AACプレーヤー(211ページ)

MP3/WMA/AAC形式で編集されたCD-R/CD-RWディスクを再生します。(MP3/WMA/AACは一枚のCD-R/CD-RWに音楽アルバム数枚分の曲を収録することができる形式です。)

音楽を再生、また登録地点データのコピーができるSDメモリーカード(267ページ)

SDメモリーカードに記録された音楽データを本機で再生することができます。また、SDメモリーカードの画像データを本機HDDにコピーして表示したり、本機ナビの登録地点データをSDメモリーカードに記録することが可能です。

音楽をハードディスクに録音できるHDD AUDIO(ハードディスク オーディオ)(225ページ)

大容量のハードディスクに、CDなど各種オーディオの音楽や音声を好きなときに録音できます。録音したデータはジャンル別や好みの分類に編集することができます、あなただけのアルバムを作成することができます。

鮮明な映像が楽しめるDVDプレーヤー(273ページ)

高画質・高音質で記録されたDVDビデオ/DVDオーディオを再生することができます。また、DVD-VRモードで記録されたディスクに対応しています。

理想の音響空間を創り出す様々な音質調整機能(333ページ)

車を持つ様々な音響特性や、お使いになるメディアの特性に合った音質を創り出すことができます。

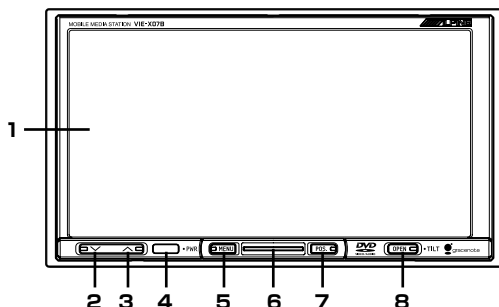
iPod® Direct接続(305ページ)

iPodを付属のケーブルを使用して接続し、本機で再生することができます。

各部の名称と操作

本機は本体スイッチを押したり、画面に表示されるスイッチ(タッチスイッチ)に直接タッチして操作します。リモコン操作については、「リモコン操作編」を参照してください。

本体スイッチ



1.画面

地図やメニューなどが表示されます。

2. スイッチ

オーディオ・テレビの音量を小さくするときに押します。

3. スイッチ

オーディオ・テレビの音量を大きくするときに押します。

4.リモコンセンサー/調光センサー

専用リモコンで操作するときは、リモコンセンサーに向けて2m以内で使用します。また、周囲の明るさを探知します。

5. スイッチ

トップメニュー画面を表示します。また、長く押すと、本機の電源をON/OFFすることができます。

6.アクションインジケータ

下記の場合以外は常時点灯しています。

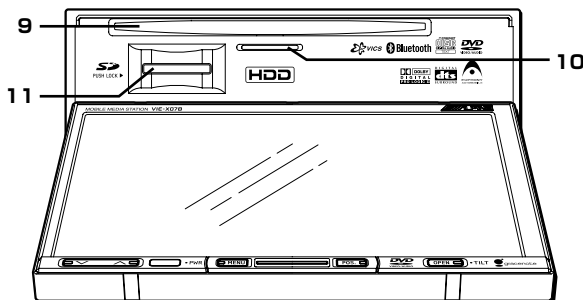
- ディスプレイ開閉時に点滅します。
- デイマー(ディスプレイの明るさ)設定ON時は消灯し、オート時は車内の明るさに連動して減光します。
- ディスプレイが開いている時は消灯します。

7. スイッチ

ナビゲーションの現在地画面を表示します。

8. スイッチ

ディスプレイを開閉するとき、またはディスプレイの角度を調整するときに押します。



9.DVD/CD挿入口

CDやDVDを挿入します。

11.SDメモリーカード挿入口

SDメモリーカードを挿入します。

10.照光部

ディスプレイオープン時に点灯します。

アドバイス

- マルチゲート画面の背景を変更すると、アクションインジケータの色も連動して変化します(「スキンを変更する」28ページ参照)。

タッチスイッチ

タッチスイッチとは、画面に表示されているスイッチのことで、直接タッチして操作します。



タッチスイッチ

■ タッチスイッチの操作について

- タッチスイッチは操作音が鳴るまでタッチしてください。
- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウンします。また、スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチが橙色になるものもあります。
- 「地図にタッチ」は、直接地図(タッチスイッチ以外の場所)をタッチすることを示しています。
- 操作音の音量を設定することができます(「操作音の設定」336ページ参照)。

■ PULSE TOUCH™について

本機はPULSE TOUCH™機能を備えております。

- PULSE TOUCH™機能とは…？
本機のディスプレイパネルをタッチすると、ディスプレイパネル表面が振動し指先に伝わります。ディスプレイパネルをタッチしたときのクリック感やキーエリア認識をより高めた機能です。

🔊 注意

- 画面のよごれは、柔らかい布(シリコンクロスなど)で軽く拭き取ってください。手で強く押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してありますので、ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

🔊 アドバイス

- 1つ前の画面に戻すときは、にタッチします。ただし、機能によってはタッチした画面で行った操作がキャンセルされる場合があります。



電源のON/OFF

1 イグニッションキーをACCまたはONにします。

本機の電源が自動的に入ります。電源が入るとオーブニング画面に続いてモード画面(地図画面やCD画面など)が表示されます。

表示されるモード画面はイグニッションキーをOFFにする前のモード画面を表示します。例えば、TVモードでイグニッションキーをOFFからONにすると、TVモードで立ち上がります。



2 電源を切るには (MENU/PWR) スイッチを押し続けます。

本機の電源がOFFになります。

電源を入れるには、再度 (MENU/PWR) を押します。

注意

- 動きのない画面を長時間表示させないでください。同じ画像を長時間表示しているとその画像が画面に残ってしまことがあります。

アドバイス

- 電源を入れた直後は、画面が暗く見にくいときがありますが、数分たちますと正常表示になります。また画面(液晶パネル)は、全有効画素中に微少の画素欠や常時点灯画素がありますが故障ではありません。

サウンド・映像モードのON/OFFについて

初期設定では、サウンド・映像モードはONになっています。OFFにして音声/映像の出力を行わないようにするには以下の操作を行います。

1 (MENU/PWR) スイッチを押した後、AV OFF にタッチします。



AV OFF スイッチがオレンジ色になり、サウンド・映像モードの音声/映像共に出力されなくなります。

2 サウンド・映像モードをONにするには、再度 AV OFF にタッチします。

ディスプレイの角度を調整する

ディスプレイの角度を3段階で調整できます。画面が最も見やすい角度に調整してください。

- 1 **OPEN/TILT** スイッチを押します。
Open/Eject・Tilt画面が表示されます。



- 2 「Tilt調整」のお好みの角度(, , ) にタッチします。
ディスプレイの角度がスライドします。

アドバイス

- 角度をつけたままでも **OPEN/TILT** スイッチを押して **Monitor Open/Close** にタッチするとディスプレイは開きます。ディスプレイを閉じると調整した角度に戻ります。
- ディスプレイを開いている場合は、角度を調整できません。
- Open/Eject・Tilt 画面表示時に **OPEN/TILT** スイッチを押すと、元の画面に戻ります。

DVD、CD、SDメモリーカードの出し入れ

各メディアの取り扱いについては、3～8ページ「取り扱い上のご注意」を参照してください。

注意

- ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。

アドバイス

- ディスプレイの角度をつけているときは、ディスプレイを閉じると調整した角度に戻ります。
- **SD Card Eject** にタッチすると再生は停止されます。次にDVD/CDなどを挿入した場合は、挿入したメディアが再生されます。
- DVD/CD/SDメモリーカードの場合、メディアのチェックやファイル形式を読み込むまで、再生に時間がかかる場合があります。

DVD/CDを入れる

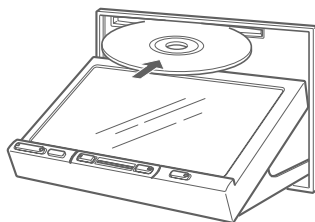
注意

- ディスクを挿入する前に必ずディスクが入っていないことを確認してください。ディスクが入っているときは、挿入口下の青いランプが点灯しています。

- 1 **OPEN/TILT** スイッチを押します。
Open/Eject・Tilt画面が表示されます。

- 2 **Monitor Open/Close** にタッチします。
ディスプレイが開きます。

- 3 レーベル面を上にしてDVD/CD挿入口にディスクを挿入します。



途中で挿入すると、ディスクが自動的に引き込まれます。

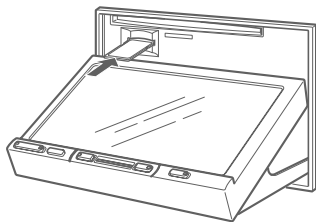
ディスクが挿入されると、ディスプレイが自動的に閉まり再生が始まります。

DVD/CDを取り出す

- 1 **OPEN/TILT** スイッチを押します。
Open/Eject・Tilt画面が表示されます。
- 2 **DVD/CD Eject** にタッチします。
ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。
 - ディスクが排出されるまで少し時間がかかります。
- 3 ディスクを取り出します。
ディスクは必ず取り出してください。
- 4 **Monitor Open/Close** にタッチします。
ディスプレイが閉じます。

SDメモリーカードを入れる

- 1 **OPEN/TILT** スイッチを押します。
Open/Eject・Tilt画面が表示されます。
- 2 **Monitor Open/Close** にタッチします。
ディスプレイが開きます。
- 3 レーベル面を上にしてSDメモリーカード挿入口にSDメモリーカードを挿入します。

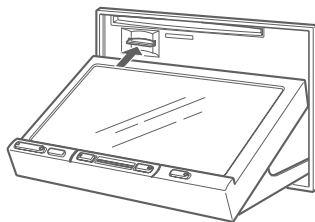


- “カチッ”と音がするまで差し込んでください。

- 4 **Monitor Open/Close** にタッチします。
ディスプレイが閉じます。

SDメモリーカードを取り出す

- 1 **OPEN/TILT** スイッチを押します。
Open/Eject・Tilt画面が表示されます。
- 2 **SD Card Eject** にタッチします。
SDメモリーカードの再生を行っていた場合は停止されます。
- 3 挿入されているSDメモリーカードを押します。
SDメモリーカードが押し出されます。



- 4 SDメモリーカードを取り出します。
SDメモリーカードは必ず取り出してください。
- 5 **Monitor Open/Close** にタッチします。
ディスプレイが閉じます。

ナビゲーション画面を表示する

ナビゲーション画面を表示するには、本機の電源がONのときに、下記のいずれかの操作を行います。

現在地画面を表示する

- 1 **POS.** スイッチを押します。
現在地画面が表示されます。

マルチゲート画面から現在地を表示する

- 1 マルチゲート画面で、自車位置表示にタッチします。
マルチゲート画面については「マルチゲート画面」(26ページ)を参照してください。



現在地画面に切りかわります。

ナビメニュー画面を表示する

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。



- 2 ナビゲーションメニュー画面が表示され、地点の検索や設定の変更などを行うことができます。



サウンド・映像モードに切りかえる

サウンド・映像モードに切りかえるには、本機の電源がONのときに、下記のいずれかの操作を行います。

メニューからサウンド・映像の各ソースに切りかえる

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。



- 2 ソースを選び、タッチします。



選んだソースのメイン画面に切りかわります。

ダイレクトにサウンド・映像の各ソースに切りかえる

- 1 DVD、CDを本機に挿入します。
挿入したメディアの再生が始まります。
挿入の方法については「DVD、CD、SDメモリーカードの出し入れ」(22ページ)を参照してください。



画面を消す

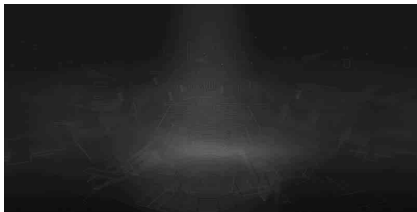
画面表示をOFFにし、好きな画像(壁紙)を表示させることができます。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押したあと、**画面 OFF** にタッチします。



画面が消えます。

- 2 画面にタッチすると壁紙が表示されます。



- 画面表示を通常に戻すには **MENU/PWR** スイッチまたは **(POS.)** スイッチを押します。
- 壁紙を変更することができます(「画面OFF時の壁紙を設定する」343ページ参照)。
- 壁紙表示をOFFにすることができます(「壁紙をOFFにする」25ページ参照)。

🔊 アドバイス

- 画面表示をOFFにしても、GPSによる現在地測位は継続されています。
- 画面表示がOFFのときに電話の着信があった場合は、通話終了後、画面表示OFFに戻ります。

壁紙に時計を表示させる

- 1 壁紙表示中に画面にタッチします。
- 2 **時計1** **時計2** のいずれかにタッチします。



- 時計表示をさせないときは、**しない** にタッチします(初期設定は「しない」)。時計が表示されます。



例)時計1

壁紙をOFFにする

- 1 壁紙表示中に画面にタッチします。
- 2 **画面OFF** にタッチします。



壁紙表示がOFFになります。

🔊 アドバイス

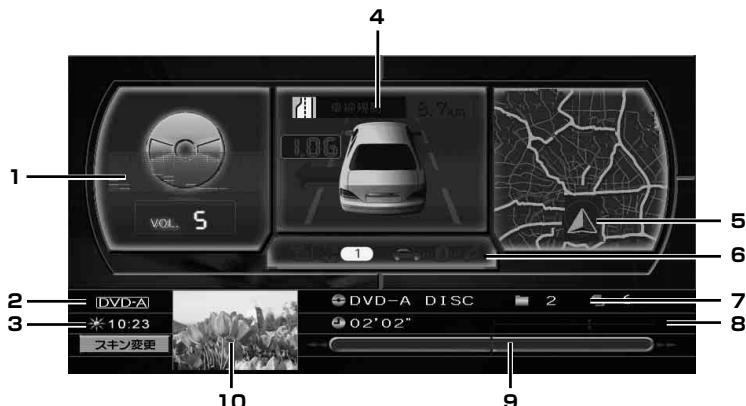
- 壁紙表示OFFを解除するには、壁紙表示OFFの画面をタッチします。

マルチゲート画面、マルチインフォメーション画面について

マルチゲート画面

マルチゲート画面を使用すると、同時に複数のソースの状態を表示することができ、更にそれぞれのソースへの切りかえを簡単に行うことができます。各ソースからも簡単にマルチゲート画面に切りかえることができます。また、画面の背景や色をお好みに合わせてカスタマイズすることが可能です。

画面の見かた



1 スペアナ・音量表示

現在のサウンド・映像ソースのスペアナ、音量、イメージ画像を表示します。

2 サウンド・映像ソース名称表示

3 時刻表示

4 ドライブインフォメーション

5 現在地画面表示

6 通信状態表示

<表示例>

• 通常表示



• 通話中表示



• 電話非接続時表示



7 サウンド・映像ソース情報表示

「インジケータ表示について」(28ページ)を参照してください。

8 再生時間表示バー

9 スライダーバー

10 サウンド・映像ソース画面

再生中の映像、またはイメージ画像が表示されます。HDD AUDIO再生時には、あらかじめ登録してあるお好みの画像を表示することができます。

マルチゲート画面を表示する

1 にタッチします。

＜画面表示例＞



タッチ
する



タッチ
する

マルチゲート画面に切りかわります。

ソースを切りかえる

1 画面にタッチします。



タッチしたソースの全画面またはマルチインフォメーション画面に切りかわります。

- 1 現在のサウンド・映像ソースに切りかわります。
- 2 ドライブインフォメーション画面に切りかわります。
ドライブインフォメーション画面については「ドライブインフォメーション」(105ページ)を参照してください。
- 3 ナビゲーション画面に切りかわります。
- 4 COMMUNICATION画面に切りかわります。
COMMUNICATION画面については「COMMUNICATION画面から電話をかける」(160ページ)を参照してください。

アドバイス

- 最後に表示していた画面表示方法(全画面またはマルチインフォメーション画面)で表示されます。

スライダバー操作

スライダバーにタッチして、チャンネルUP/DOWN、トラックUP/DOWNなどの操作を行うことができます。



スライダバー

1 スライダバーにタッチします。



ラジオ/TVモード:

タッチすると周波数がUPします。右側に向かってなぞると、プリセットNo.が3つ進みます。

DVD/ビデオCD/CD/HDD AUDIO/SDメモリーカード/iPodモード:

タッチすると次の曲(チャプター/トラック)に進みます。タッチし続けると早送りを行います。右側に向かってなぞると、3曲分進みます。

EXT.DVDモード:

タッチすると次のチャプターに進みます。

DTVモード:

タッチするとチャンネルまたはプリセット番号がUPします。



ラジオ/TVモード:

タッチすると周波数がDOWNします。左側に向かってなぞると、プリセットNo.が3つ戻ります。

DVD/ビデオCD/CD/HDD AUDIO/SDメモリーカード/iPodモード:

タッチすると現在の曲(チャプター/トラック)の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲(チャプター/トラック)の頭出しをします。タッチし続けると早戻しを行います。左側に向かってなぞると、3曲分戻ります。

EXT.DVDモード:

タッチすると現在のチャプターの頭に戻ります。続けてタッチすると前のチャプターの頭出しをします。

DTVモード:

タッチするとチャンネルまたはプリセット番号がDOWNします。

アドバイス

- 現在のチャプター/トラックがディスクやフォルダの頭や終わりから3曲以内にある場合には、スライダバーをなぞっても3曲UP/DOWNを行いません。

サウンド・映像ソース情報表示

サウンド・映像ソースの様々な情報が表示されます。



サウンド・映像ソース情報表示

■ インジケーター表示について

ディスク名や曲名などの表示中は、下記インジケーターが点灯します。

ラジオ/ TVモード		放送局名/交通情報
		プリセットNo.
		周波数/チャンネルNo.
DVD/ビデオ CD/CD/HDD AUDIO/ SDメモリー カード/iPod モード		ディスク名/アルバム名
		曲名/タイトル名
		アーティスト名
		フォルダNo./グループNo.
		ファイルNo./トラックNo.
		プログラム名/プレイリスト名/プログラムNo./プレイリストNo.
		レコーディング情報
		タイトルNo.
		チャプターNo.
		再生経過時間
		録音中に表示

スキンを変更する

背景画面を変更することができます。

1 スキン変更 にタッチします。



画面下にスキントップタイプ選択画面が表示されます。

2 お好みのスキントップタイプにタッチします。



選択したスキントップタイプに画面が変更されます。

3 TYPE/COLOR にタッチします。

カラータイプ選択画面に切りかわります。

4 お好みのカラータイプにタッチします。



選択したカラータイプに画面が変更されます。

5 マルチゲート画面に戻るには、 にタッチします。

● アドバイス

- **TYPE/COLOR** にタッチするごとに、スキントップタイプ選択/カラータイプ選択が切りかわります。
- 選択したカラータイプに連動して、アクションインジケーターの色が変化します。



マルチインフォメーション画面

マルチインフォメーション画面は、ナビの現在地画面やサウンド・映像ソースを表示しながらL字部分に本機のような情報を表示し、また、サウンド・映像モードの簡易操作スイッチを表示します。情報表示部分は、状況に応じてドライブインフォメーション表示や、ルート表示に切りかわります。

- 映像ソース(DVD、TVなど)では、走行中は安全のため映像は表示されません。

画面の見かた

<ルートを設定してある場合>



1 ルート情報表示

ルート情報について詳しくは、「ルート情報(案内道路情報)を表示する」(81ページ)を参照してください。

- マルチインフォメーション画面でタッチして操作を行うことはできません。

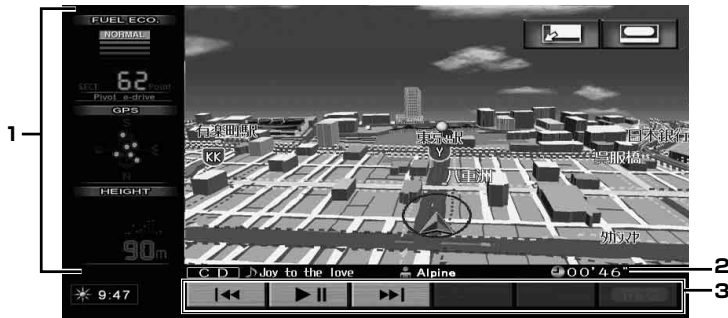
2 サウンド・映像ソース情報表示

「インジケーター表示について」(28ページ)を参照してください。

3 サウンド・映像ソース操作スイッチ

操作について詳しくは、それぞれのソースの操作ページを参照してください。

<ルートを設定していない場合>



1 ドライブインフォメーション表示

ドライブインフォメーションについて詳しくは、「ドライブインフォメーション」(105ページ)を参照してください。

2 サウンド・映像ソース情報表示

「インジケーター表示について」(28ページ)を参照してください。

3 サウンド・映像ソース操作スイッチ

操作について詳しくは、それぞれのソースの操作ページを参照してください。

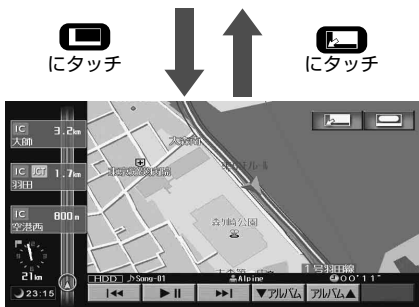
画面を切りかえる

- 1  にタッチします。
マルチインフォメーション画面に切りかわります。
- 2 全画面に切りかえるには  にタッチします。
 -  にタッチすると、マルチゲート画面に切りかわります。

<全画面表示例>



<マルチゲート画面表示例>



画面にタッチすると表示されているソースの全画面またはマルチインフォメーション画面に切りかわります。

<マルチインフォメーション画面表示例>

🔊 アドバイス

- 交差点案内、高速分岐案内を「する」に設定している場合は、拡大案内図表示中はマルチインフォメーション画面は解除されます。

メニュー画面、リスト画面について

行き先を探したり、登録されている内容を確認するとき
は、メニューやリストを使って操作します。

メニュー画面を切りかえる

メニュー画面では、いずれかのタッチスイッチにタッチす
ると設定画面や下の階層のメニュー画面が表示されます。
(AV OFFを除く)

メニュー画面を表示する

1 **MENU/PWR** スイッチを押します。
トップメニュー画面が表示されます。

2 いずれかのメニューにタッチします。



各メニュー画面が表示されます。

3 利用したい項目にタッチし、画面に従って操
作します。

アドバイス

- TOP MENU画面を閉じるには、**MENU/PWR** ス
イッチを押します。
-  にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。
- トーンダウンしているメニューは操作できません。



タブによる切りかえ

上部にタブが表示されているメニュー画面では、タブに
タッチするとメニューが切りかわります。



番号で探す にタッチ

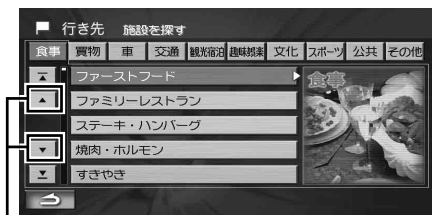


リスト画面を切りかえる

項目のスクロール

▲または▼にタッチするたびに、1項目ずつ上下にスクロールします。

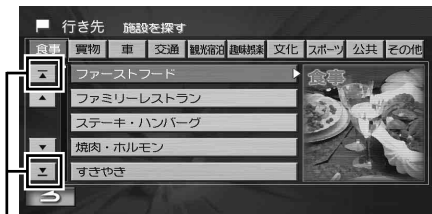
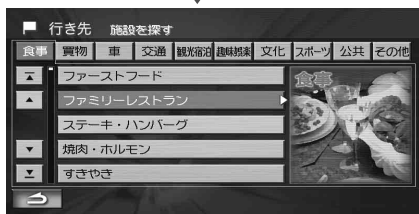
▲または▼にタッチするたびに、5項目ずつ上下にスクロールします。住所リストや施設リストなどの場合は50音でスキップします。



1項目スクロール



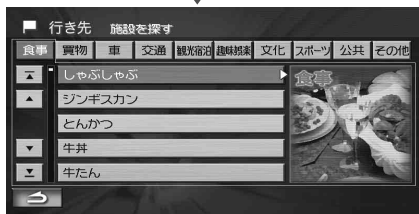
▼にタッチ



1頁スクロール

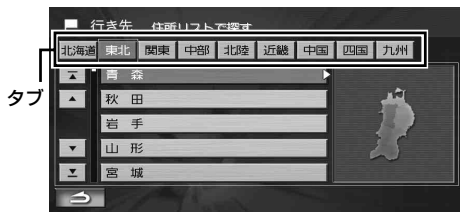


▼にタッチ



タブによる切りかえ

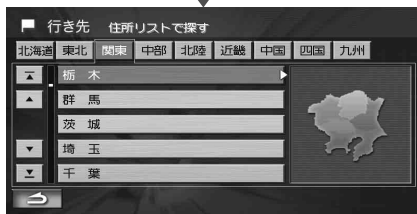
上部にタブが表示されているリスト画面では、タブにタッチするとリストが切りかわります。リストが存在しないタブのタッチスイッチは色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。



タブ



関東にタッチ



タブには、以下のような項目が表示されます。

- 50音の場合

あ か さ た な は ま や ら
わ

- 地方名の場合

北海道 東北 関東 中部 北陸 近畿
中国 四国 九州

- ジャンル名の場合

食事 買物 車 交通 観光宿泊 ...など

はじめに

はじめに

33

4 **確定** にタッチします。

漢字が確定されます。

- 確定したあとで修正する場合は、**削除** にタッチして文字を削除の後、入力し直します。

削除 にタッチするたびに、カーソルの左側から1文字ずつ文字が削除されます。

削除 にタッチし続けると、入力したすべての文字が削除されます。

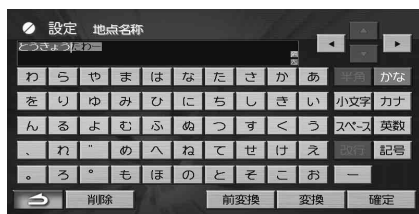
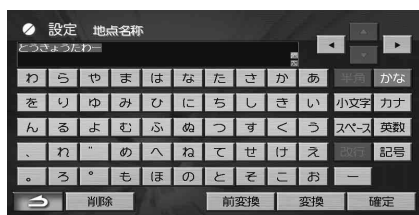
5 **完了** にタッチします。

文字入力を終了し、元の画面に戻ります。

文節区切りを変更する

変換後(確定前)に **◀ ▶** にタッチすると、変換対象とする文節の区切りを変更できます。

1 **◀ ▶** にタッチして区切り位置を変更します。



- ◀ ▶** にタッチするたびに、文節の長さが1文字ずつ増減します。
- 以降の操作は、33ページ「文字を入力する」の手順3に戻ります。

数字を入力する

ここでは、電話番号を入力する操作を説明します。

1 入力したい数字にタッチします。



カーソル

- 間違えて入力した場合は、**削除** にタッチして入力し直します。

削除 にタッチするたびに、カーソルの左側から1文字ずつ数字が削除されます。

削除 にタッチし続けると、入力したすべての数字が削除されます。

- 無効な数字や入力可能文字数以上を入力しようとすると、エラーメッセージが表示されます。

2 **完了** にタッチします。

数字入力を終了します。

ディスプレイ設定



ディスプレイ設定操作

ディスプレイに関する設定を行います。

次の手順1～5は、ディスプレイ設定の共通操作になります。各項目の詳しい操作方法については、該当ページを参照してください。

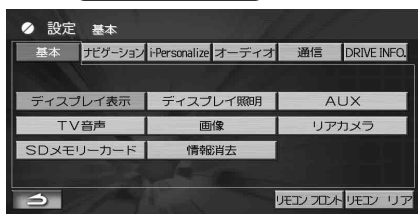
- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **基本** タブにタッチし、**ディスプレイ表示** または **ディスプレイ照明** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。

- 5 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。
 - **←** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

ディスプレイ表示設定

タイトルスクロールの設定

スクロールとは、文字を次々と表示させることを言います。本機では表示エリアに表示されないテキスト情報がある場合、曲が変わったときなどに一度だけスクロールを行うモードと、ずっとスクロールを繰り返す自動スクロールモードがあります。CDテキスト、フォルダ名、ファイル名、タグ情報があれば、スクロール表示することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：自動タイトルスクロール

設定値：する/しない

する：繰り返しスクロール表示を続けます

しない：一度だけスクロールを行います

リアモニター映像出力の設定

リアモニターに映し出す映像を設定することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：リアモニター映像出力

設定値：する/しない

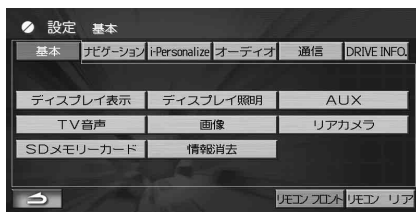
しない：リアモニターを接続しない場合に設定する

する：リアモニターに映像を出力する

リモコン受光部を切りかえる

リモコンから操作をするときに、拡張ユニット(外部モニターなど)のリモコン受光部をお好みで切りかえることができます。

- 1 「設定」画面で **基本** タブにタッチし、**リモコンフロント**、**リモコンリア** のいずれかにタッチする。



リモコン操作を優先するモニターが切りかわります。
リモコンフロント：

本機のリモコン受光部を優先させます。

リモコンリア：

本機ビデオ出力端子に接続した外部モニターのリモコン受光部が有効となります。

- **リモコンフロント**、**リモコンリア** は、「リアモニター映像出力の設定」を「する」に設定した場合のみ表示されます。

時計表示の設定

時計の表示を12時間表示、または24時間表示に設定します(初期設定値は「24H」)。

設定項目：時計表示

設定値：12H/24H

12H：12時間表示します

24H：24時間表示します

自動で壁紙を変更する

イグニッションキー(エンジンキー)のON/OFFごとに、サウンド・映像画面やマルチゲート画面などの背景画面色が自動的に切りかわります(初期設定値は「しない」)。

設定項目：自動壁紙変更

設定値：する/しない

する：イグニッションキーをON/OFFするごとに、壁紙の色が下記のように切りかわります
ブルー→グリーン→レッド→アンバー→ブルー

しない：壁紙の色は変化しません

④ アドバイス

- メニュー画面の背景色は変化しません。

タッチパネル操作振動のON/OFF

タッチパネル操作時の振動のON/OFFが設定できます(初期設定値は「する」)。

設定項目：パルスタッチ

設定値：する/しない

する：操作入力時に振動させます

しない：操作入力時に振動させません

タッチパネルの調整

LCD上の表示位置と、タッチパネル上の位置が一致しなくなった場合に調整してください。

設定項目：タッチパネル補正

設定値：調整

1 「タッチパネル補正」の **調整** にタッチします。

2 調整画面で、1→2の順に、**+** の中心に正確にタッチします。



3 **完了** にタッチします。
調整を終了して、設定画面に戻ります。

モニターを自動で閉じる

モニターが開いている、または角度がついている場合に、イグニッションキー(エンジンキー)をOFFにすると自動でモニターが閉じるように設定することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：モニター自動CLOSE

設定値：する/しない

する：イグニッションキーをOFFにすると、自動でモニターが閉じます

しない：モニターを閉じるにはCLOSE操作を行います

スペアナ表示を設定する

「する」に設定すると、オーディオ操作画面で音の表現を多彩なデジタル表示で楽しむことができるスペアナ(スペクトラムアナライザー)画面を表示させることができます(初期設定値は「する」)。

＜オーディオ操作画面表示例＞



スペアナ表示

＜マルチゲート画面表示例＞



スペアナ表示

設定項目：スペアナ表示

設定値：する/しない

する：スペアナを表示します

しない：スペアナを表示しません

- マルチゲート画面では、本設定に関わらずスペアナ表示を行います。

ディスプレイ照明設定

ディスプレイの明るさを設定する

車内の明るさに連動してディスプレイと照光スイッチの明るさを切り替え、画面を見やすくすることができます(初期設定値は「オート」)。

設定項目：ディマー設定

設定値：OFF/ON/オート

OFF：ディスプレイと照光スイッチを明るいまま固定します

ON：ディスプレイと照光スイッチを暗いまま固定します

オート：車内の明るさに連動して、ディスプレイと照光スイッチの明るさを自動で調光します

夜間のディスプレイ明るさを設定する

「ディスプレイの明るさを設定する」(37ページ参照)でオートまたはONにした場合の、夜間のディスプレイの明るさを設定します(初期設定値は「0」)。

設定項目：夜用明るさ調整

設定値：-15～+15

- ◀または▶にタッチして明るさを調整します。

夜間の照光スイッチ明るさを設定する

「ディスプレイの明るさを設定する」(37ページ参照)でオートまたはONにした場合の、夜間の照光スイッチの明るさを設定します(初期設定値は「0」)。

設定項目：夜用LED明るさ調整

設定値：-2～+2

- ◀または▶にタッチして明るさを調整します。

画質の調整

画面のコントラストや明るさなど、お好みに合わせて調整することができます。

画質調整操作

次の手順1～4は画質調整の共通操作になります。設定項目の詳細は、それぞれの項目を参照してください。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**画質調整** にタッチします。



- 2 画質調整画面で設定する項目の **設定** にタッチします。



- 3 ◀ または ▶ にタッチして、画質を調整します。



- ◀ にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

- 4 さらに別の項目を調整するには、手順2～3を繰り返します。

■ モードによって、設定できる項目が異なります。

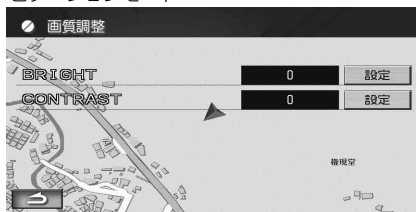
- TV/AUX/GAME/EXT.DVDモード



- DVD/VCD/DTVモード



- ナビゲーションモード



- オーディオモード/ドライブインフォメーションモード/コミュニケーションモード/マルチゲート画面モード



VISUAL EQモードを選ぶ(メーカー設定)

色々な映像に応じて、モードを選ぶことができます。

設定項目 : VISUAL EQ

設定値 : FLAT(OFF)/NIGHT M./SOFT/SHARP/Hi-CONT.

FLAT(OFF) : 工場出荷時設定

NIGHT M. : 暗いシーンが中心の映画に最適

SOFT : CG、アニメーションの映画に最適

SHARP : 映像がくっきりしていない古い映画に最適

Hi-CONT. : 最新の映画に最適

🔊 アドバイス

- お好みで映像の明るさや色の濃さを調整した場合、CUSTOMと表示されます。

映像の明るさを調整する

設定項目 : BRIGHT

設定値 : -15~+15

-15~+15の間で明るさを調整します。最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示します。

🔊 アドバイス

- NIGHT M.~Hi-CONT.のいずれかを選択している場合、「ディスプレイの明るさを設定する」(37ページ)でオートに設定していれば、車内の明るさに連動して映像の明るさが自動的に調整されます。

映像の色の濃さを調整する

設定項目 : COLOR

設定値 : -15~+15

-15~+15の間で色の濃さを調整します。最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示します。

🔊 アドバイス

- 色の濃さの調整は、TV/AUX/DVD/ビデオCD/DTVモード時のみ可能です。

映像の色あいを調整する

設定項目 : TINT

設定値 : G15~R15

G15~R15の間で色合いを調整します。最大値時は「G MAX」、R MAX」とそれぞれ表示します。

🔊 アドバイス

- 色あいの調整は、TV/AUXモード時のみ可能です。

映像コントラストを調整する

設定項目 : CONTRAST

設定値 : -15~+15

-15~+15の間でコントラストの調整をします。最大値時は「HIGH」、最小値時は「LOW」と表示します。

🔊 アドバイス

- 「ディスプレイの明るさを設定する」(37ページ)でオートに設定していれば、車内の明るさに連動して映像のコントラストが自動的に調整されます。

映像画質を調整する

設定項目 : SHARPNESS

設定値 : -5~+5

-5~+5の間で画質の調整をします。最大値時は「HARD」、最小値時は「SOFT」と表示します。

🔊 アドバイス

- 映像画質の調整は、TV/AUX/DVD/ビデオCD/DTVモード時のみ可能です。

画質調整値の記憶/呼び出し

お好みで調整した「映像の明るさ/色あい/濃さ/画質/コントラスト」を記憶することができます。また、記憶した調整値を呼び出します。

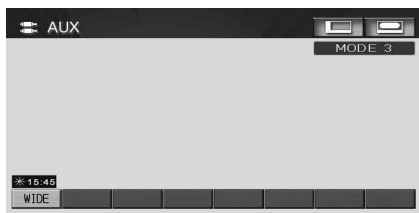
- 1 「映像の明るさ/色あい/濃さ/画質/コントラストを調整する」(39ページ)を調整後、**User設定1** または **User設定2** にタッチし続けます。
調整した設定値が記憶されます。

- 2 設定値を呼び出すには、**User設定1** または **User設定2** にタッチします。

画面モードを切りかえる

映像モードの画面の表示を切りかえることができます。

- 1 映像モードの操作画面で、**WIDE** にタッチします。



タッチすることにより画面モードが切りかわります。

MODE1→MODE2→MODE3→MODE1

MODE1

標準映像を水平方向に均等に広げ、画面いっぱいに表示します。

MODE2

標準映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。画面の上下が少しカットされます。

MODE3

通常のテレビ放送の比率(4:3)で表示します。映像は中央に映ります。

- 初期設定値は、「MODE1」に設定されています。

基本操作

ナビゲーション編

画面の見かた	42
現在地画面	42
スクロール後の画面	43
ルート案内画面	44
地図を表示する	45
地図をスクロールする	45
施設名や住所を指定して地図を表示する	45
現在地を表示する	45
地図表示のしかたをかえる	46
縮尺を切りかえる	46
方位を切りかえる	47
地図表示を切りかえる	48
インジケーターバーを表示する	51
地図表示を設定する	51
スクロールや検索して表示させた地図の操作	53
ランドマーク情報を見る	53
周辺施設を検索する	53
地点を登録する	54
目的地や経由地として設定する	54
建物情報を見る	54
案内音量を調整する	55

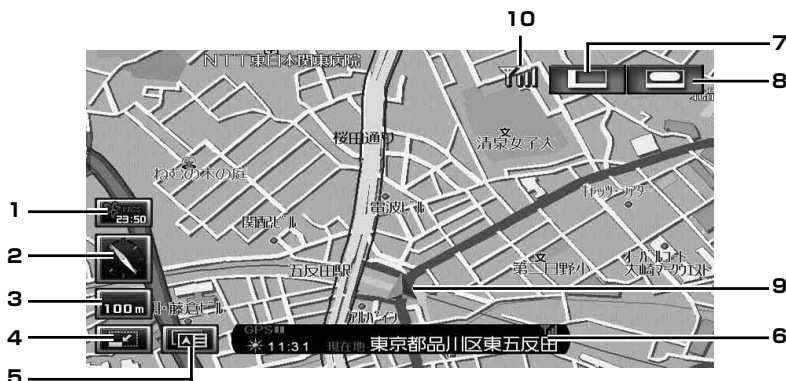


画面の見かた

ナビゲーションの地図表示には現在地を表示した画面と、検索やスクロールによって表示させた画面があります。

現在地画面

現在地画面は、自転車位置とその周辺を示した地図です。地図上に表示される情報は、ルート案内中かどうかによって異なります。



1. VICSタイムスタンプ

VICS情報が発信されている地域で、VICS情報が提供された時刻が表示されます。

VICS情報については、「VICS情報を見る」(111ページ)を参照してください。

2. 方位マーク

地図の方角が表示されます(ノースアップのときは、ヘディングアップのときは、3Dのときは)。タッチするたびに地図の方向が切りかわります。地図方向の切りかえについては、「方位を切りかえる」(47ページ)を参照してください。

3. スケール表示

表示している地図の縮尺が表示され、の長さがこの場合は100mを示しています。

縮尺の切りかえについては、「縮尺を切りかえる」(46ページ)を参照してください。

4. インジケータバー表示ON/OFFスイッチ

インジケータバー表示のON/OFFを切りかえます。

5. 画面表示切りかえスイッチ

詳しくは、「地図表示を切りかえる」(48ページ)を参照してください。

6. インジケータバー

詳しくは、「インジケータバーを表示する」(51ページ)を参照してください。

7. マルチインフォメーション画面への切りかえスイッチ

詳しくは、「マルチインフォメーション画面」(29ページ)を参照してください。

8. マルチゲート画面への切りかえスイッチ

詳しくは、「マルチゲート画面」(26ページ)を参照してください。

9. 自転車位置マーク

現在地と車が向いている方角が表示されます。

10.

携帯電話接続時に電波レベルを表示します。通話中はタッチスイッチになり、タッチすると通話画面を表示します。

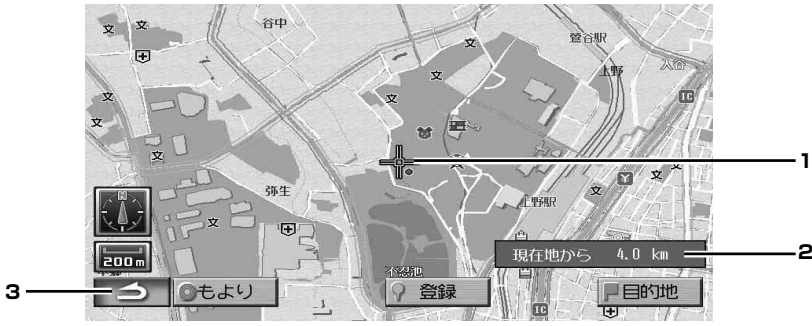
📢 アドバイス

- ナビゲーションシステムが作動してからしばらくの間は、電波を受信しやすい場所においても測位ができません。また、ナビゲーションシステムが作動したあとすぐに走行すると、GPSが測位するまでの時間が長くなります。方位マークが青色になってから走行することをおすすめします。
- バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなどは、GPSが測位するまでの時間が長くなる場合があります。



スクロール後の画面

地図の検索やスクロールをしたあとの画面には、カーソルや以下の情報が表示されます。地図の検索については「行き先を探す」(59ページ)、スクロールについては「地図をスクロールする」(45ページ)を参照してください。



1. カーソルマーク

十字カーソルマークが表示されます。カーソル地点の詳細情報を見たり、その地点を目的地や経由地に登録することができます。
建物情報やランドマーク情報など情報がある地点に合わせて、**情報**スイッチが表示されます(「ランドマーク情報を見る」53ページ参照)。

2. 現在地からの距離

現在地からカーソル位置(十字の中央)までの距離が表示されます。

3. 戻るスイッチ

1つ前の画面に戻ります。

🔊 アドバイス

- 現在地画面に戻すには、**(POS.)**スイッチを押します(「現在地を表示する」45ページ参照)。

ルート案内画面



1. 到着情報表示

目的地案内中に、通過点(目的地、経由地など)までの残距離や到着予想時刻などが表示されます。
詳しくは、「到着情報の表示」(88ページ)を参照してください。

2. ルート表示

目的地案内中に、目的地までのルートが青色で表示されます。

案内が行われるのは、青色のライン上に自車位置マークがあるときのみです。**ルート** にタッチすると、ルートに関する情報の確認や変更ができます(「案内中のルートを確認する」79ページ参照)。

3. レーン(車線)表示

レーン情報のある交差点の手前では、走行する交差点までの距離とレーン図が表示されます。

詳しくは、「レーン(車線)ガイド表示」(87ページ)を参照してください。

4. 警告アイコン

踏切、合流地点、事故多発地点ではアイコンが表示されます。

詳しくは、「目的地案内中の音声案内の例」(89ページ)を参照してください。

5. 案内ポイント

目的地案内中に、交差点案内(レーン(車線)情報表示・交差点案内画面など)が表示される交差点に表示されます。レーン情報がある直進の交差点では「●」が、右左折の交差点では「◎」が表示されます。

交差点案内については、「交差点・高速分岐案内」(86ページ)を参照してください。

6. 直線誘導線

目的地案内中に、現在地から見た目的地の方向を直線で示します。

直線誘導線表示については、「誘導方向を表示する」(134ページ)を参照してください。

7. **[D]**

タッチすると、音声案内を行います。

8. **ルート**

ルート画面を表示します。

地図を表示する

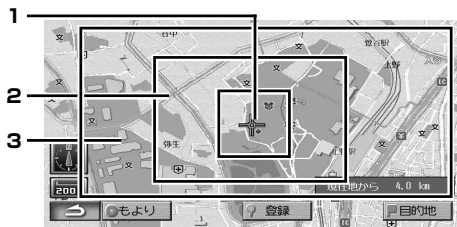
見たい地域の地図を表示するには、地図を上下左右に動かす(スクロールする)方法と、施設や住所からその場所を探し出して表示する方法があります。

地図をスクロールする

地図のタッチスイッチ以外の位置にタッチすると、タッチした位置を中心として地図がスクロールされます(ワンタッチスクロール)。

スクロールしたあとは、地図画面に十字カーソルと現在地からの距離が表示されます。

また、画面にタッチし続けると、その方向に一気にスクロールされます。手を離すとスクロールが止まります。タッチし続けるエリアによってスクロールする速さがかわります。



1. エリア1: ゆっくりスクロールします。
2. エリア2: 3段階でスクロールが速くなります。
3. エリア3: 速くスクロールします。

アドバイス

- 走行中は安全のため、連続スクロールはできません。
- 現在地の地図に戻すには (POS.) スイッチを押します。
- 3Dマップをスクロールすると、自動的に平面地図に切りかわってスクロールされます。

施設名や住所を指定して地図を表示する

表示させたい場所の施設名、電話番号、住所、緯度経度などがわかっている場合は、メニュー画面から条件を指定して、地図を表示させることができます。詳しい操作方法は、「行き先を探す」(59ページ)を参照してください。

現在地を表示する

地図をスクロールしたときや、検索などで他の地図を表示したり、メニュー画面を表示したときには、現在地周辺の地図に戻すことができます。

1 (POS.) スイッチを押します。



現在地画面が表示されます。



アドバイス

- 表示された自車位置がズレている場合、しばらく走行しているとGPS機能によって自動的に修正されます(場合によっては数分かかることがあります)。それでも正しい位置に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地を指定してください(「自車位置を修正する」136ページ参照)。
- リアカメラ画面、VICS緊急・注意警戒画面表示中は現在地画面に戻りません。

地図表示のしかたをかえる

縮尺を切りかえる

地図を拡大したり、縮小することができます。広範囲の地図を見たいときは縮小し、詳しく見たいときは拡大します。縮尺は1/2560万～1/1000の範囲で設定でき、画面にはスケールが表示されます(初期設定値は「100m」)。たとえば、500mスケール図では、スケールバーの長さが実際には500mであることを示しています。

縮尺によって、地図に示される情報の種類が異なります。たとえば、ランドマークは地図のスケールが200m以下の詳細な地図で表示されます。

縮尺	スケール表示	スイッチ
1/2560万	300km	▲ ↑
1/640万	50km	
1/160万	20km	
1/80万	10km	
1/40万	5km	
1/20万	2km	
1/10万	1km	
1/5万	500m	
1/2万	200m	
1/1万	100m	
1/5千	50m 市街地図	
1/2千5百	25m 市街地図	
1/千	10m 市街地図	▼

1 にタッチします。



スケールバーが表示され、現在設定されている縮尺が表示されます。

2 ▲ または ▼ にタッチして縮尺を指定します。



- ▲ にタッチするたびに地図が縮小され、▼ にタッチするたびに地図が拡大されます。
- ▲ または ▼ にタッチし続けると無段階に縮尺を指定できます。

地図表示が指定した縮尺で表示されます。

市街地図について

市街地図が収録されている都市では、「50m」「25m」「10m」スケール図にすると市街地図を表示し、さらに詳細な道路、建物形状、一方通行、建物名称などが表示されます。都市部の住宅密集地域などでも迷うことなく目的地まで正確に案内できます。



📢 アドバイス

- 市街地図データが収録されている都市については、「市街地図収録都市リスト」(187ページ)を参照してください。
- 市街地図を表示しているときに時速60Km以上で走行すると、100mスケールの地図に切りかわります。そのまま縮尺を切りかえないで時速40Km以下の走行になると、再び市街地図表示に戻ります。



方位を切りかえる

方角と進行方向のどちらを固定するかによって、地図の向きを変更できます。常に北方向を上にして表示する地図（ノースアップ）と、進む方向を上にした地図（ヘディングアップ）があります。また、立体的な地図（3Dマップ）に切りかえることもできます。

1    にタッチします。



- タッチするたびに、ヘディングアップ→3Dマップ→ノースアップの順に方位が切りかわります。

■ ノースアップ

北方向が画面の上になるよう固定します。自車マークの方向は進行方向によってかわります。



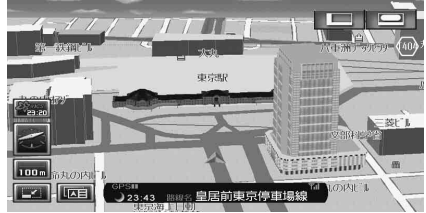
■ ヘディングアップ

常に進行方向が画面の上になるよう、自車方向を固定します。方位マークの方向は進行方向によってかわります。



■ 3Dマップ表示

ヘディングアップの状態です立体的な地図（3Dマップ）を表示します。角度をかえることもできます（「3Dの角度を変更する」50ページ参照）。



地図表示を切りかえる

地図の表示のしかたを、1画面、2画面、行程ガイドから選択できます。

1 現在地画面で **[A]** にタッチします。



- **[A]** が表示されていない時は **[B]** にタッチしてください。

2 **1画面** **2画面** **行程ガイド** のいずれかにタッチします。



タッチした画面表示に切りかわります。

■ 1画面表示



■ 2画面表示

画面を左右に分割します。

左右の画面に別々の縮尺や方位を指定できます。



🔊 アドバイス

- 縮尺を変更して詳細スケールと広域スケールの2画面を表示させたり、3D市街地図とノースアップ地図とを組み合わせることなどができます。
- 2画面表示のときに左右の自転車位置が若干ずれることがあります。これは左右別々に描画しているためで故障ではありません。
- 一般道路モード地図、高速/有料道路モード地図は左画面にのみ表示されます(「一般道路モード地図設定」135ページ、「高速/有料道路モード地図設定」135ページ参照)。

🔊 アドバイス

- リアルドライブビューでは、角度をかえたり地図スケールをかえることはできません。
- リアルドライブビューでは、VICS情報は表示されません。

■ 行程ガイド表示

目的地案内中に、走行中のルートが簡易な行程図で示したものです。行程ガイド画面では、交差点や高速道路のインターチェンジ、SA/PAなどが現在地に近いほうから表示されます(「行程ガイド画面について」49ページ参照)。



行程ガイド画面について



1. VICS情報

VICS規制マークを表示します。また、渋滞・混雑情報を色別表示します(「渋滞・混雑/空き道表示」116ページ、「規制マーク表示」117ページ参照)。

2. 現在地

3. マーク

交差点やインターチェンジ、SA/PAなどを識別するためのマークが表示されます。

地点	マーク
現在地	▲
目的地	📍
経由地	📍 ~ 📍
高速道路入り口	IN
高速道路降り口	OUT
料金所	¥
インターチェンジ(IC)	IC
サービスエリア(SA)	SA
パーキングエリア(PA)	PA
ジャンクション(JCT)	JCT
案内交差点	📍
フェリー乗り場	🚢

4. 地点名称

5. 所要予測時間と距離

6. スクロールスイッチ(📶 📶)

行程ガイドをスクロールするときにタッチします。

📶 にタッチすると先の行程を表示し、📶 にタッチすると手前の行程を表示することができます。タッチし続けると連続で行程ガイドをスクロールします。行程ガイドを現在の位置に戻すには、📶 現在地へ にタッチするか、(POS.)スイッチを押します。

📶 アドバイス

- 交差点に表示されるマークは、曲がる方向によってかわります。
- 高速道路を走行するとSA/PA情報が表示されます。SA/PAでは、SA/PA内の施設がマークで表示されます。📶 にタッチすると詳細情報が表示されます。



- 詳細情報を表示するには📶 にタッチしてください。SA/PA/IC名称部分はタッチスイッチではないので、タッチしても反応しません。
- 📶 にタッチすると詳細情報を終了します。
- 料金所では、料金も表示されます。
- 目的地へ到着すると行程ガイド表示を終了し、2画面表示に切りかわります。ただし、地図切替モードは行程ガイドのままです。
- 行程ガイド表示中に案内ルートを外れると、一時的に2画面表示に切りかわります。再び案内ルート上を走行すると行程ガイド表示に戻ります。
- 目的地を設定していない場合は、行程ガイドは表示できません。
- 走行中は安全のため、連続で行程ガイドをスクロールできません。

●施設マーク一覧

マーク	内容
	ガソリンスタンド
	レストラン
	コーヒー/軽食
	インフォメーション/ハイウェイ情報ターミナル
	キャッシュコーナー
	宝くじ
	ドラッグ
	お風呂
	コイン洗車
	コインランドリー
	コインシャワー
	休憩所
	ベビーベッド
	ベッド
	ポスト
	FAX
	名産(ショッピングセンター)
	自動販売機
	身障者施設
	公衆電話
	トイレ

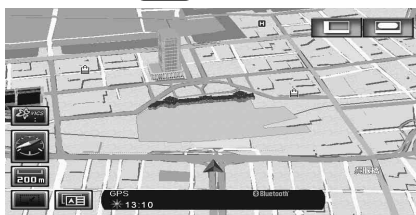
- ガソリンスタンドはブランド別のアイコンになります。

3Dの角度を変更する

立体的な地図(3Dマップ)を表示しているときの視点の角度をかえることができます。



1 現在地画面で「**3D**」にタッチします。

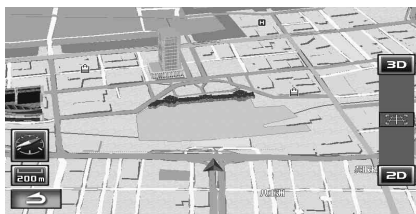


- 「**3D**」が表示されていない時は「**2D**」にタッチしてください。

2 「**3D角度調整**」タッチします。



3 「**3D**」または「**2D**」にタッチして表示角度を調整します。



- 「**3D**」にタッチするたびに立体的になり、
- 「**2D**」にタッチするたびに平面に近づきます。
- 13段階で調整できます。

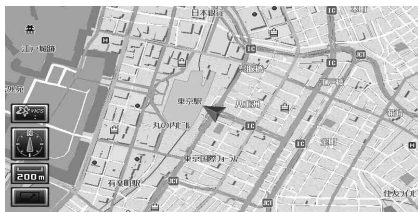
4 「**POS.**」スイッチを押して現在地画面に戻します。



インジケーターバーを表示する

画面下のインジケーターバーには、現在時刻、GPS受信感度など様々な情報が表示されます。

1 現在地画面で にタッチします。



インジケーターバーが表示されます。



GPS  :GPSの測位状態を表示します。

- GPS**  三次元測位
- GPS**  二次元測位
- GPS**  非測位

ETC :ETCユニット接続時に表示されます。

- ETCカード未挿入時はトーンダウンします。

REC :HDDにリッピング中、表示されます。

Bluetooth  :Bluetooth接続中、表示されます。

電界強度  :携帯電話電界強度が表示されます。電界強度はレベル0→3の順に強くなります。

- 圏外**  圏外
-  電界強度レベル0
-  電界強度レベル1
-  電界強度レベル2
-  電界強度レベル3
- 圏内**  圏内でレベル不明時

時刻  :GPSで受信した現在の時刻が表示されます。時刻によってアイコンが変わります。

-  18:00~5:59 (PM6:00~AM5:59)
-  6:00~17:59 (AM6:00~PM5:59)
- 「時計表示の設定」(36ページ)で設定された表示方法(12時間/24時間表示)になります。また、表示を「しない」に設定してある場合は時刻は表示されません。

現在地/走行中 :現在地または走行中の路線名称が表示されます。

2 インジケーターバーを消すには、 にタッチします。

地図表示を設定する

ここでは、ランドマーク表示と軌跡表示に関する設定を行います。1/左画面と右画面、それぞれで設定を行うことができます。

アドバイス

- VICSに関する設定項目については、「VICS地図表示を設定する」(126ページ)を参照してください。

設定操作

1画面/左画面、または右画面の地図表示に関する設定を行います。

次の手順1~4は、設定の共通操作になります。各項目の詳しい操作方法については、該当ページを参照してください。

1 現在地画面で にタッチします。



地図切換画面が表示されます。

-  が表示されていない時は  にタッチしてください。

2 1/左画面表示設定 または 右画面表示設定 にタッチします。



左画面(1画面)設定画面、または右画面設定画面が表示されます。

3 各項目にタッチし、設定を行います。

4 (POS.) スイッチを押して現在地画面に戻します。

-  にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

ランドマーク表示を設定する

コンビニ・ガソリンスタンド・・・お好みの施設のランドマークを地図上に表示します(初期設定値は「する」)。

設定項目：ランドマーク表示

設定値：する/しない

する：地図上にランドマークを表示します。

しない：地図上にランドマーク表示を行いません。

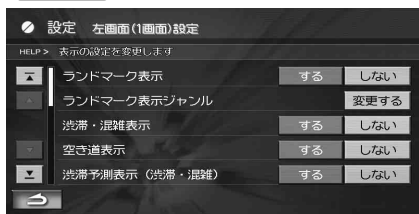
① アドバイス

- ランドマークは200mスケール図よりも詳細な地図で表示させることができます。

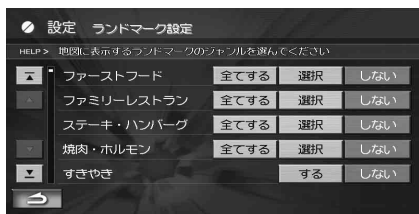
ランドマーク表示ジャンルを設定する

「ランドマーク表示」を「する」設定時に、ランドマークごとに表示するブランド名を選択できます。

1 設定画面で「ランドマーク表示ジャンル」の 変更する にタッチします。



2 各ランドマークの「選択」にタッチします。



ブランド選択画面が表示されます。

- すべてのブランドを表示するには「全てする」にタッチします。

3 各ブランド名の「する」または「しない」に タッチします。



🔊 アドバイス

- 1つのランドマークに設定できるブランド名は最大5つです。6つ以上設定するときには、「全てする」に設定してください。

軌跡表示を設定する

走行した道に沿って「点(黒色)」を残し、どのような道を走行したか知ることができます。表示可能な距離(50km)を超えると古い点から消えていきます(初期設定値は「しない」)。

設定項目：軌跡表示

設定値：する/しない

する：地図上に軌跡を表示します。

しない：地図上に軌跡表示を行いません。

軌跡を消去する

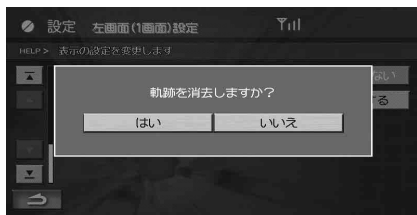
地図上の軌跡を消去することができます。

1 設定画面で「軌跡情報を消去」の「する」に タッチします。



2 メッセージが現れたら、「はい」にタッチします。

軌跡情報が消去されます。



🔊 アドバイス

- 軌跡の消去は、左画面(1画面)設定画面でのみ行うことができます。

スクロールや検索して表示させた地図の操作

スクロールした地図や地点を検索して表示した地図では、目的地に設定したり、周辺施設を検索することができます。

ランドマーク情報を見る

地図上のランドマークやVICSマークにタッチすると、施設の名称などの情報が表示されます。

たとえば、ここでは最寄りのコンビニエンスストアの内容を表示させる手順を説明します。

1 地図上のランドマークにタッチします。



施設の名称が表示されます。

2 さらに詳しく知りたい場合は「情報」にタッチします。



詳細情報が表示されます。



- ランドマークが隣接している場合は、「次へ」にタッチしてランドマークを切りかえます。

3 「閉じる」にタッチします。

詳細情報が閉じます。

4 (POS.) スイッチを押して現在地画面に戻します。

アドバイス

- ランドマークによっては、詳細情報がない場合があります。
- ランドマークを表示するには、「ランドマーク表示を設定する」(52ページ)を参照してください。

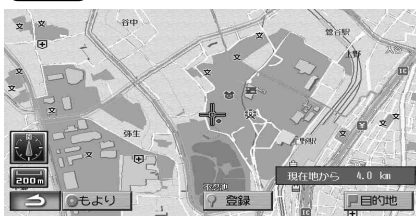
周辺施設を検索する

表示した地図の十字カーソルの周辺施設を検索することができます。

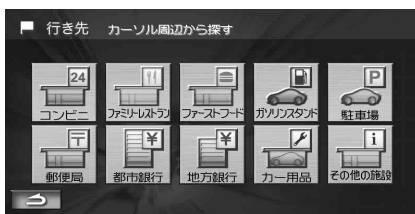
アドバイス

- 検索結果は十字カーソルから近い順に表示されます。

1 「もより」にタッチします。



施設のジャンル名が表示されます。



- 以降の操作は、「現在地周辺/目的地周辺から探す」(69ページ)の手順4へ進んでください。

アドバイス

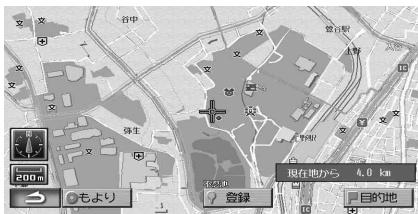
- 選択できるジャンルについては「最寄り施設ジャンル一覧」(368ページ)を参照してください。

地点を登録する

十字カーソル位置の地点情報を地図上に登録します。住所や電話番号などの情報も登録され、地図上には登録したマークが表示されます。また、登録した地点を簡単に呼び出すことができます。

登録できる地点には登録地点、特別地点(自宅、よく行く地点)、迂回地点があります。

1 「登録」にタッチします。

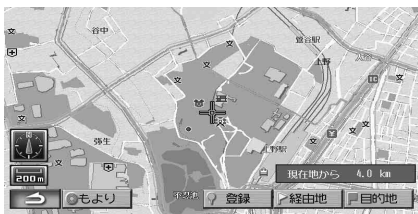


- **地点を登録** :以降の操作は、「地点を登録する」(94ページ)の手順3へ進んでください。
- **特別地点** :以降の操作は、「特別地点(自宅/よく行く地点)を登録する」(92ページ)の手順3へ進んでください。
- **迂回する地点** :以降の操作は、「迂回地点を登録する」(101ページ)の手順3へ進んでください。
- **現在地** :以降の操作は、「自転車位置を修正する」(136ページ)の手順5へ進んでください。

目的地や経由地として設定する

十字カーソル位置の地点を目的地や経由地に設定します。経由地は、すでに目的地がセットされている場合のみ設定できます。

1 「目的地」または「経由地」にタッチします。



- 以降の操作は、目的地をセットした場合は「ルートの探索結果画面」(74ページ)、経由地をセットした場合は「経由地を設定する」(76ページ)の手順3へ進んでください。

建物情報を見る

市街地図を表示しているときは、建物のフロア案内などを見ることができます。市街地図については、「市街地図について」(46ページ)を参照してください。

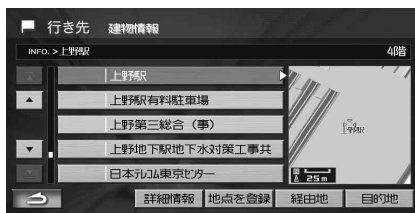
1 市街地図画面で情報を見たい建物にタッチします。

2 「建物情報」にタッチします。



建物のフロア案内が表示されます。

3 フロアの施設名称にタッチし、「詳細情報」にタッチします。



詳細情報が表示されます。



4 (POS.) スイッチを押して現在地画面に戻します。

アドバイス

- 建物によってはフロア案内が表示されない場合があります。その場合は、建物(施設)名称のみが表示されます。

案内音量を調整する

ナビゲーション案内音声の音量を調整します。音声をOFFにすることもできます。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**音量調整** にタッチします。



音量調整画面が表示されます。

- 2 「ガイド音声」の ◀ または ▶ にタッチして音量レベルを設定します。



- ◀ にタッチするたびに音量レベルが1つ下がり、▶ にタッチするたびに音量レベルが1つ上がります。
- 8段階で設定できます。
- 一番下のレベルに設定すると音声をOFFにできます。
- ガイド音声を調整すると「この音声で案内します。」と出力され、設定した音量を音声で確認することができます。

- 3 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。

アドバイス

- 案内音量をOFFにすると、目的地案内画面に表示される **◀▶** スイッチは色がトーンダウンし操作できません。



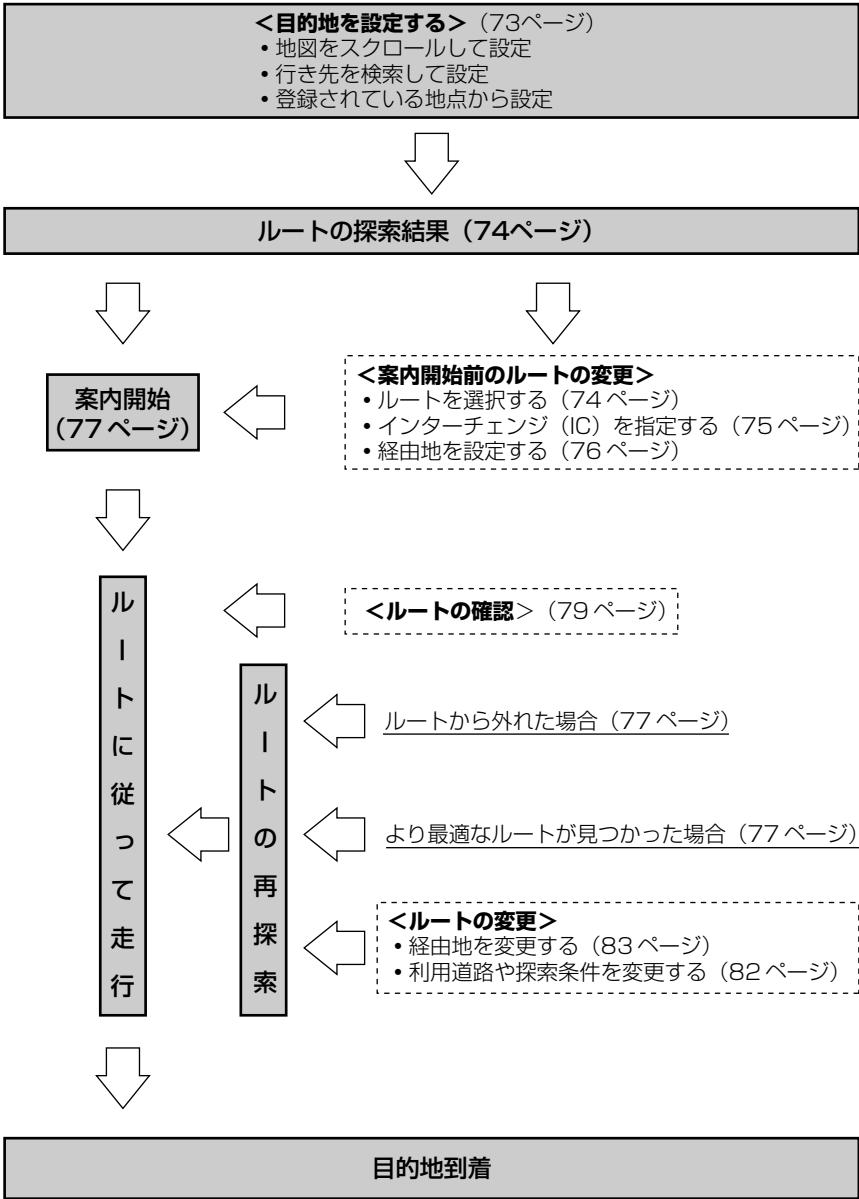
ナビゲーション案内

ナビゲーション編

目的地設定・ルート探索について	58
行き先を探す	59
選んで探す	60
名称で探す	64
番号で探す	66
近くで探す	69
目的地を設定してルートを探索する	72
目的地を設定する	73
ルートの探索結果画面	74
インターチェンジ(IC)を指定する	75
経由地を設定する	76
目的地案内を開始する	77
より最適なルートが見つかった場合 (アクティブルートサーチ)	77
抜け道ルートが見つかった場合	78
案内中のルートを確認する	79
ルートをスクロールする	79
全ルートを表示する	80
ルート情報(案内道路情報)を表示する	81
探索したルートを確認する(デモ走行)	81
案内中のルートを変更する	82
別のルートを選択する	82
利用道路を変更する(条件変更)	82
経由地を変更する	83
迂回する	84
ルートを消去する	85
目的地案内表示	86
交差点・高速分岐案内	86
フェリー航路の案内	88
到着情報の表示	88
料金案内	88
音声案内	88

目的地設定・ルート探索について

目的地や経由地の追加、ルート探索の条件を設定して目的地へ案内するまでの流れを説明します。



行き先を探す

ナビゲーション案内を行うときは、まず行き先を探す必要があります。施設や住所など、さまざまな条件で行き先を検索して、目的地に設定することができます。

検索方法は以下のとおりです。

■ 選んで探す



■ 名称で探す



■ 番号で探す



■ 近くで探す



タブ	機能	説明	参照先
選んで探す	住所	都道府県から順に住所を絞り込みます。	60ページ
	施設	ジャンルを指定して施設を絞り込みます。	61ページ
	路線別	高速道路の出入口または鉄道の駅を路線別に絞り込みます。	62ページ
	登録地点	登録されている地点をリストから選択します。	63ページ
	目的地履歴	過去に目的地として設定した地点をリストから選択します。	64ページ
名称で探す	施設50音	施設の名称を50音で入力して検索します。	64ページ
	住所50音	住所を50音で入力して検索します。	65ページ
番号で探す	電話番号	電話番号を入力して検索します。	66ページ
	郵便番号	郵便番号を入力して検索します。	67ページ
	マップコード	マップコードを入力して検索します。	68ページ
	緯度経度	緯度と経度を指定します。	68ページ
近くで探す	現在地周辺	周辺にある施設を検索し、リストから選択します。	69ページ
	ルート周辺	ルート周辺にある施設を検索し、リストから選択します。	69ページ
	目的地周辺	目的地周辺にある施設を検索し、リストから選択します。	69ページ
	周辺の建物	現在地周辺にある建物(ビルなど)を検索し、リストから選択します。	70ページ

🔊 アドバイス

- 走行中は安全のため、行き先を探すメニューは操作できません。

選んで探す

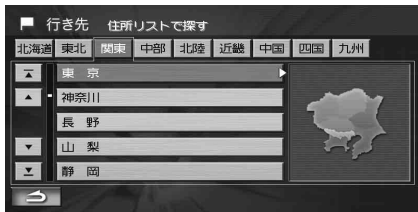
住所リストから探す

住所がわかっている場合は、都道府県名から順に住所を絞り込んでいくことができます。

アドバイス

- 住所の絞り込みは、都道府県名→市区町村名→大字→丁目・字→番地→戸番の順に行われます。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニュー画面が表示されます。
- 3 **選んで探す** タブにタッチし、**住所** にタッチします。
- 4 地方名タブにタッチし、都道府県名にタッチします。

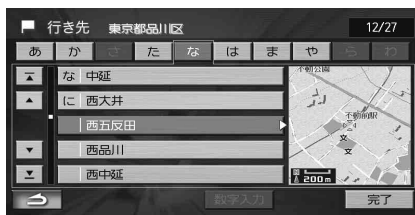


- 5 50音タブにタッチし、市区町村名にタッチします。



さらに詳しい住所が表示されます。

- 6 町名、丁目、番地などを順に指定します。



検索した住所周辺の地図が画面右側に表示されます。

- **数字入力** にタッチすると、番地を直接入力することができます(「数字で番地を入力する」60ページ参照)。
- **完了** にタッチすると、該当する住所周辺の地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」53ページ参照)。

数字で番地を入力する

- 1 番地を入力します。



- 丁目、番地、戸番の間には「-」(ハイフン)を入力します。
- **リスト** にタッチすると、入力した番地のリスト画面に戻ります。
- **完了** にタッチすると、該当する住所周辺の地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」53ページ参照)。

アドバイス

- 住所の整備状況により検索できない場合があります。その際はエラーメッセージが表示されます。**戻る** にタッチしたあと、**完了** にタッチして周辺地図を表示させ、位置を指定してください。

施設を探す

ジャンルと都道府県名を指定して、施設を探し出すことができます。

選択できるジャンル一覧については、「施設ジャンル一覧」(371ページ)を参照してください。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニュー画面が表示されます。
- 3 **選んで探す** タブにタッチし、**施設** にタッチします。
- 4 ジャンルタブにタッチします。



ジャンル一覧が表示されます。

- 5 施設のジャンルにタッチします。

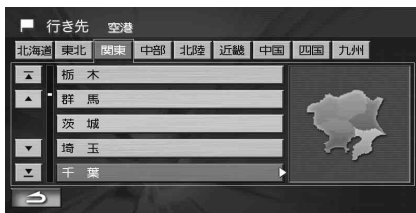


都道府県名リストが表示されます。

- ジャンルによっては、ブランド名を指定することができます。ブランド名にタッチして選びます。
全てのブランド にタッチすると全てのブランド名を対象にします。



- 6 地方名タブにタッチし、都道府県名にタッチします。



- 7 50音タブにタッチし、施設名称にタッチします。



- **完了** にタッチすると、施設周辺の地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」53ページ参照)。
- 「観光宿泊」の「祭事」を選んだ場合、**50音順** と **月順** にタッチして並べかえを行うことができます。



アドバイス

- 全国の駅など、使用頻度の高い場所のスポットをジャンル別に収録。豊富なデータで、素早く、簡単に検索できます。
- 収録されている施設ジャンルはNTTタウンページ登録時のジャンルとなるため、実際と異なる場合があります。
- 「道の駅」とは
一般道路にある施設で自由に立ち寄り、利用できる快適な休憩のための空間。
施設内容
 - 休憩目的の利用者が無料で利用できる十分な容量の駐車場
 - 清潔なトイレ
 - 道路や地域の情報を提供する施設
 - さまざまなサービス施設

次ページに続く→

- **詳細情報** にタッチすると、施設の詳細情報が表示されます。



詳細情報を表示すると以下の操作ができます。

- 1) **発信**
携帯電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。
- 2) **提携駐車場**
施設と提携している駐車場を指定することができます。
- 3) **画像**
施設に画像情報がある場合は、画像を表示することができます。
- 4) **QRコード**
QRコードを携帯電話で読み取ると、地図情報などをインターネットに接続して取得することができます。



🔊 アドバイス

- 本サービスは、株式会社ゼンリンデータコムが提供する携帯電話向け地図情報サービスを利用しております。
- QRコードをご利用いただくには、QRコード読み取り機能を搭載した、インターネット接続可能な携帯電話が必要です。
- 携帯電話をWEB接続する際の通信費及び拡張機能の利用費は、お客様負担になります。
- 本サービスの利用により、トラブル・損害が生じましても弊社は一切の責任を負いかねますので、ご承知ください。

路線別で探す

高速道路、有料道路などのインターチェンジ(IC)または鉄道の駅を、地域と路線を指定して探し出すことができます。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニューが表示されます。
- 3 **選んで探す** タブにタッチし、**路線別** にタッチします。
- 4 「道路」の **高速** または「鉄道」の **全線** **JR** **私鉄** **地下鉄** のいずれかにタッチします。



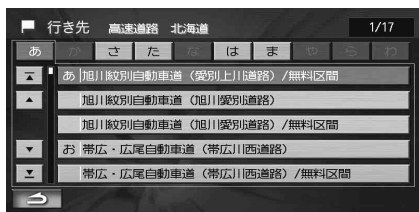
地域メニューが表示されます。

- 5 地域にタッチします。



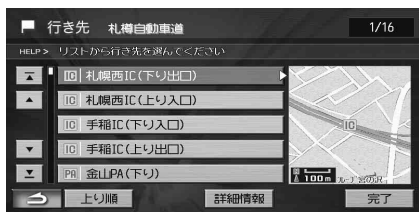
高速道路/有料道路路線リストまたは鉄道路線リストが表示されます。

6 50音タブにタッチし、路線名にタッチします。



インターチェンジリストまたは駅名リストが表示されます。

7 インターチェンジ名または駅名にタッチします。



- **完了** にタッチすると、インターチェンジまたは駅周辺の地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」J53ページ参照)。
- **上り順**、**下り順** にタッチして並び替えることもできます。
- **詳細情報** にタッチすると、インターチェンジまたは駅の詳細情報が表示されます。詳細情報を表示すると以下の操作ができます。
 - 1) **発信**
携帯電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。

登録地点から探す

登録されている地点のリストから目的地を探し出すことができます。

アドバイス

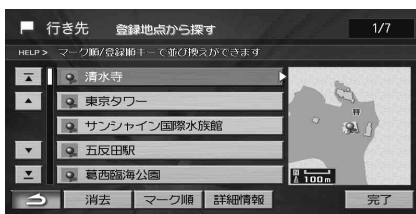
- あらかじめ地点を登録しておく必要があります(「地点を登録する」J94ページ参照)。

1 MENU/PWR スイッチを押したあと、ナビメニュー にタッチします。

2 行き先を決める にタッチします。 行き先メニュー画面が表示されます。

3 選んで探す タブにタッチし、登録地点 にタッチします。 登録地点リストが表示されます。

4 登録地点にタッチします。



- **マーク順** ↔ **登録順** にタッチするたびに登録地点リストを並べかえられます。
登録順 : 新しく登録した順。
マーク順 : マークの種類ごと。
- **完了** にタッチすると、登録地点周辺の地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」J53ページ参照)。
- **詳細情報** にタッチすると、登録地点の詳細情報が表示されます。登録地点情報画面については、「地点情報を確認する」(J96ページ)を参照してください。

アドバイス

- 選択した登録地点を消去するには **消去** にタッチします。すべての登録地点を消去するには **消去** にタッチし続けます。詳しくは、「特別地点/登録地点を消去する」(J100ページ)を参照してください。

目的地履歴から探す

以前目的地に設定した地点(200件まで)をリストから選択することができます。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニュー画面が表示されます。
- 3 **選んで探す** タブにタッチし、**目的地履歴** にタッチします。
目的地履歴が新しいものから順にリスト表示されます。
- 4 **目的地履歴** にタッチします。



- **完了** にタッチすると、目的地履歴の周辺地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」53ページ参照)。

⑩ アドバイス

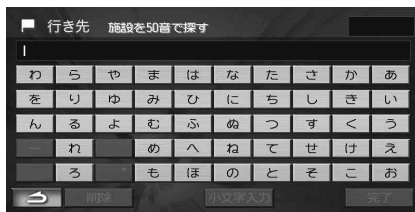
- 200件を超えた場合は、古いものから順に削除されます。
- 目的地履歴の地点を目的地に設定した場合は、古い履歴を消去して新しいものだけを記憶します。
- 履歴には、目的地に設定したときの日付が表示されます。
- 選択した目的地履歴を消去するには **消去** にタッチします。すべての目的地履歴を消去するには **消去** にタッチし続けます。メッセージが表示されたら **はい** にタッチします。

名称で探す

施設を50音で探す

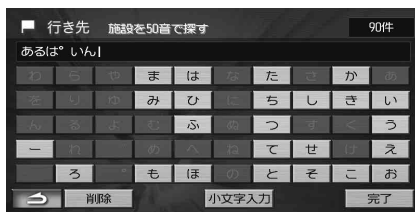
施設の名称を50音入力し、ジャンル・地域や市区町村名などで候補を絞り込んで施設を探し出すことができます。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニュー画面が表示されます。
- 3 **名称で探す** タブにタッチし、**施設50音** にタッチします。
- 4 **施設の名称の読み**を入力します。



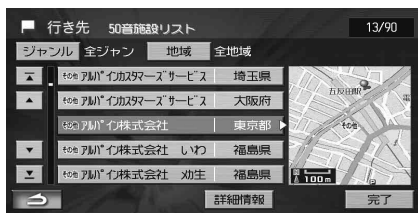
- 施設名の頭文字や最初の数文字だけを入力して検索することもできます。
- 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは色がトーンダウンし、タッチしても入力できません。
- 1文字タッチするたびに、該当する施設名称の件数が表示されます。
- 数字や英字も読みで入力します(例:「1」→「いち」、「Z」→「ぜっと」)。
- 濁点、半濁点、長音を省略しても、小文字を大文字で入力しても検索ができます。

- 5 **完了** にタッチします。



検索された施設リストが表示されます。

6 施設名称にタッチします。



- **ジャンル** にタッチすると、ジャンルを絞り込んで再検索できます(「ジャンルを絞り込む」65ページ参照)。
- **地域** にタッチすると、地域を絞り込んで再検索できます(「地域を絞り込む」65ページ参照)。
- **完了** にタッチすると、施設周辺の地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」53ページ参照)。
- **詳細情報** にタッチすると、施設の詳細情報が表示されます。詳細情報を表示すると以下の操作ができます。
 - 1) **発信**
携帯電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。
 - 2) **提携駐車場**
施設と提携している駐車場を指定することができます。

■ ジャンルを絞り込む

1 **ジャンル** にタッチします。

2 ジャンルタブにタッチし、施設のジャンルにタッチします。



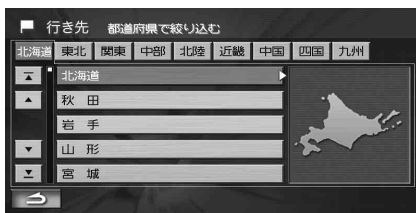
該当する施設が表示されます。

- **地域** にタッチすると、さらに地域で絞り込むことができます。

■ 地域を絞り込む

1 **地域** にタッチします。

2 地方名タブにタッチし、都道府県にタッチします。



該当する施設が表示されます。

- **ジャンル** にタッチすると、さらにジャンルで絞り込むことができます。

🔊 アドバイス

- 入力中に検索先の候補が絞り込まれたときは、自動的に検索された施設名称のリスト画面が表示される場合があります。

住所を50音で探す

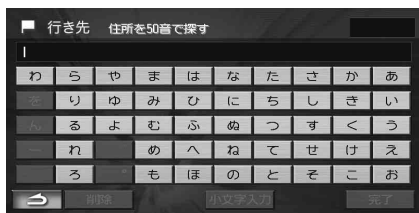
地名を50音入力して探し出すことができます。

1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

2 **行き先を決める** にタッチします。 行き先メニュー画面が表示されます。

3 **名称で探す** タブにタッチし、**住所50音** にタッチします。

4 地名の読みを入力します。



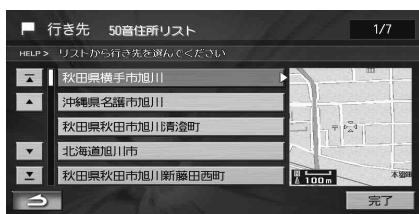
- 住所の頭文字や最初の数文字だけを入力して検索することもできます。
- 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは色がトーンダウンし、タッチしても入力できません。
- 1文字タッチするたびに、該当する住所の件数が表示されます。
- 数字や英字も読みで入力します(例:「1」→「いち」、「Z」→「ぜっと」)。
- 濁点、半濁点、長音を省略しても、小文字を大文字で入力しても検索ができます。

5 完了 にタッチします。



検索された住所がリスト表示されます。

6 住所にタッチします。



- 完了** にタッチすると、住所周辺の地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」53ページ参照)。

番号で探す

電話番号から探す

電話番号がわかっているれば、目的地をすばやく探し出すことができます。また、地点登録されている地点に電話番号が設定してある場合(「特別地点/登録地点情報を確認・変更する」95ページ参照)は、登録されている地点が呼び出されます。

アドバイス

- 市外局番から入力してください。
- 局番が変更になった場合は検索できません。また、一部地域では検索できない場合があります。検索できない場合は、他の方法で探してください。

1 MENU/PWR スイッチを押した後、ナビメニュー にタッチします。

2 行き先を決める にタッチします。 行き先メニュー画面が表示されます。

3 番号で探す タブにタッチし、電話番号 にタッチします。

4 電話番号を入力し、完了 にタッチします。



- 「市外局番」と「市内局番」は必ず入力してください。
 - 市内局番までで検索する場合は、6桁入力します。5桁の場合は検索できません。
- 入力した電話番号が検索されます。

■「施設」の電話番号を入力した場合

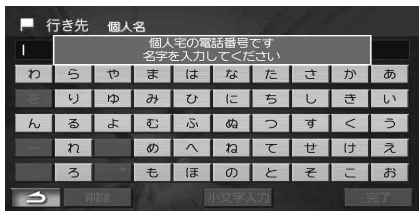
- 検索の結果が1件の場合は、地点の名称と周辺地図が表示されます。



- 検索の結果が複数力所の場合は、候補地がリスト表示されます。リストから希望の施設名称にタッチすると、検索された地図が表示されます。

■個人の電話番号を入力した場合

- 検索の結果が個人宅の場合は、名前入力画面が表示されます。「名字」を入力後、「完了」にタッチしてください。



- 該当箇所が見つからなかった場合は、加入者番号の近い番号を検索して地図を表示しますので、電話番号の付近にならない場合があります。



郵便番号から探す

郵便番号がわかっている場合は、郵便番号から目的地を探し出すことができます。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

- 2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニューが表示されます。

- 3 **番号で探す** タブにタッチし、**郵便番号** にタッチします。

- 4 郵便番号を入力し、**完了** にタッチします。



- 郵便番号の7桁をすべて入力してください。
- 先頭の3桁まで入力すると、自動的に「-」が表示されます。

入力した郵便番号で検索されます。

- 検索の結果が1件の場合は、代表地点の名称と周辺地図が表示されます。



- 検索の結果が複数力所の場合は、候補地がリスト表示されます。リストから地点名称にタッチしてください。
- 該当箇所が見つからなかった場合は、メッセージが表示されます。もう一度、正しい郵便番号を入力してください。
- 住所検索** にタッチすると、続けて住所で検索することができます。「住所で検索する」68ページ参照。

指定した場所の周辺地図が表示されます。

- 「スクロールや検索して表示させた地図の操作」(53ページ)を参照してください。

🔊 アドバイス

- 企業など専用の郵便番号は検索できない場合があります。

■ 住所で検索する

- 1 **住所検索** にタッチします。
郵便番号から該当する住所を検索し、リスト表示します。
- 2 リストから住所を選び、タッチします。
 - **数字入力** にタッチすると、数字で番地を入力できます。「数字で番地を入力する」(60ページ)を参照してください。
 - 「スクロールや検索して表示させた地図の操作」(53ページ)を参照してください。

マップコードから探す

マップコードから目的地を探し出すことができます。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニュー画面が表示されます。
- 3 **番号で探す** タブにタッチし、**マップコード** にタッチします。
- 4 マップコードを入力し、**完了** にタッチします。



- 10桁までの標準マップコードに加え、「*」のあとに2桁まで追加することで高度な検索ができます。

指定した場所の周辺地図が表示されます。

- 「スクロールや検索して表示させた地図の操作」(53ページ)を参照してください。

🔊 アドバイス

- マップコードとは、日本全国のあらゆる位置を数字としてコード化し、6～10桁の番号(標準マップコードの場合)でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところ(川や渓谷などの景勝地、友人との待ち合わせ場所など)もマップコードで位置を特定することができるようになります。
- マップコードについては、インターネットでもご覧いただけます。(http://guide2.e-mapcode.com)
- マップコードは、登録地点の位置情報に登録されています。詳しくは、「地点情報を確認する」(96ページ)を参照してください。
- 10桁までの標準マップコードに加え、「*」を使用したマップコードHR(高分解能)に対応しています。
- マップコードについては、株式会社 昭文社から出版されている「スキーマップル」「どこでもアウトドア」「家族でお出かけ」シリーズなどを参照してください。

緯度経度から探す

地点の「緯度(北緯)、経度(東経)」がわかっている場合、その数値を入力して探し出します。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニュー画面が表示されます。
- 3 **番号で探す** タブにタッチし、**緯度経度** にタッチします。
- 4 北緯と東経を入力し、**完了** にタッチします。



- 1桁の数字を入力するときは頭に「0」を付けてください。

指定した位置の周辺地図が表示されます。

- 「スクロールや検索して表示させた地図の操作」(53ページ)を参照してください。



近くで探す

現在地周辺/目的地周辺から探す

現在地または目的地の周辺にある施設を検索して、ジャンルで絞り込むことができます。

アドバイス

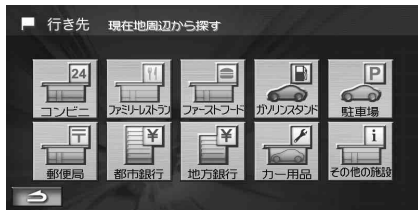
- 検索結果は最大で50件まで表示され、現在地または目的地から近い順に表示されます。

1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、
ナビメニュー にタッチします。

2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニュー画面が表示されます。

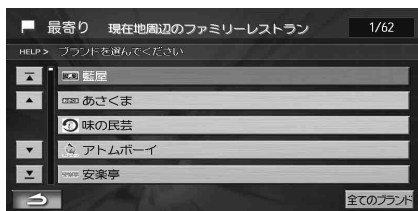
3 **近くで探す** タブにタッチし、
現在地周辺 または **目的地周辺** にタッチ
します。

4 ジャンルにタッチします。



- **その他施設** にタッチすると、施設一覧から選択できます。

5 ブランド名称にタッチします。



- ジャンルによってはブランド名を指定できない場合があります。
- **全てのブランド** にタッチすると全てのブランド名を対象にします。

6 施設名称にタッチします。



- **完了** にタッチすると、施設周辺の地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」J53ページ参照)。
- **詳細情報** にタッチすると、施設の詳細情報が表示されます。詳細情報を表示すると以下の操作ができます。
 - 1) **発信**
携帯電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。
 - 2) **提携駐車場**
施設と提携している駐車場を指定することができます。
 - 3) **画像**
施設に画像情報がある場合は、画像を表示することができます。

ルート周辺から探す

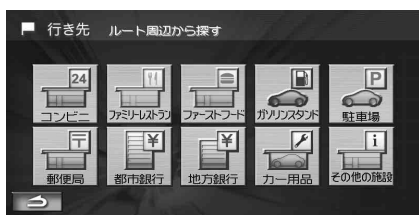
目的地が設定されている場合は、ルートの周辺にある施設を検索して、ジャンルで絞り込むことができます。

1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、
ナビメニュー にタッチします。

2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニュー画面が表示されます。

3 **近くで探す** タブにタッチし、
ルート周辺 にタッチします。

4 ジャンルにタッチします。



- **【その他施設】** にタッチすると、施設一覧から選択できます。

5 ブランド名称にタッチします。



- ジャンルによってはブランド名を指定できない場合があります。
- **【全てのブランド】** にタッチすると全てのブランド名を対象にします。

6 施設名称にタッチします。



ルートの進行方向に向かって位置(左右)と距離が表示されます。

- **【完了】** にタッチすると、施設周辺の地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」53ページ参照)。
- **【詳細情報】** にタッチすると、施設の詳細情報が表示されます。詳細情報を表示すると以下の操作ができます。
 - 1) **【発信】**
携帯電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。
 - 2) **【提携駐車場】**
施設と提携している駐車場を指定することができます。

3) 画像

施設に画像情報がある場合は、画像を表示することができます。

アドバイス

- ルートが設定されていない状態では使用できません。
- 検索結果は最大で50件表示され、自転車位置に近いものから順に表示されます。

周辺の建物から探す

現在地の周辺にある建物を検索できます。また、建物内の施設を検索することもできます。

アドバイス

- 検索結果は最大で40件表示され、現在地から近い順に表示されます。
- 現在地周辺に登録されている建物がない場合は、メッセージが表示され検索することができません。

1 MENU/PWR スイッチを押した後、ナビメニューにタッチします。

2 行き先を決める にタッチします。

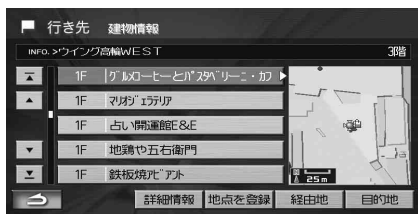
行き先メニューが表示されます。

3 近くで探す タブにタッチし、周辺の建物 にタッチします。

4 建物名称にタッチします。



- **完了** にタッチすると、建物周辺の地図が表示されます（「スクロールや検索して表示させた地図の操作」53ページ参照）。
- **建物情報** にタッチすると、建物のフロア案内が表示されます。



さらに、詳細情報を見たい場合は、施設名称にタッチし、**詳細情報** をタッチします。



詳細情報を表示すると以下の操作ができます。

- 1) **発信**
電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。
- 2) **提携駐車場**
施設と提携している駐車場を指定することができます。

目的地を設定してルートを探索する

目的地案内(ルート案内)を行うには、目的地を設定することから始めます。
目的地を設定するには以下の方法があります。

項目	設定方法
地図から設定	地図をスクロールして 目的地 にタッチして設定します(「地図から設定する」73ページ参照)。
登録地点から設定	自宅を目的地に設定します(「自宅へ帰る」73ページ参照)。
	よく行く地点を目的地に設定します(「よく行く地点を設定する」73ページ参照)。
	登録されている地点の中から目的地を選択して設定します(「登録地点を設定する」74ページ参照)。
行き先を検索して設定	メインメニューの 行き先を探す を利用して、さまざまな方法で目的地を検索して設定します(「行き先を検索して設定する」74ページ参照)。

目的地を設定すると、自動的にルートの探索が始まります。探索された推奨ルート以外のルートを選択したり、経由地やインターチェンジなどを指定して再探索することもできます。

アドバイス

- 目的地を設定した地点は、自動的に記憶(最大200カ所まで)され、目的地の設定のときなどに、履歴から呼び出すことができます。200カ所を超えたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は消去することもできます(「目的地履歴から探す」64ページ参照)。
- 経由地の設定は目的地と同じ手順で行えます。



目的地を設定する

地図から設定する

地図をスクロールして目的地にしたい地点を表示し、目的地に設定することができます。

1 目的地にしたい地点に十字カーソルを合わせます。

- 地図のスクロールについては、「地図をスクロールする」(45ページ)を参照してください。

2 目的地にタッチします。



目的地が設定され、現在地から目的地までのルートが探索されます(「ルートの探索結果画面」74ページ参照)。

- 目的地は1つしか設定できません。すでに目的地が設定されているときは、確認のメッセージが表示されます。**はい** にタッチします。
- イグニッションキーをOFFにしても目的地(ルート)は消去されません。

自宅へ帰る

自宅が登録されていれば、簡単な操作で自宅を目的地に設定することができます。

1 アドバイス

- あらかじめ自宅が登録されていることが必要です。自宅を登録する方法については、「特別地点(自宅/よく行く地点)を登録する」(92ページ)を参照してください。

1 MENU/PWR スイッチを押した後、ナビメニューにタッチします。

2 自宅にタッチします。



目的地が設定され、現在地から自宅までのルートが探索されます(「ルートの探索結果画面」74ページ参照)。

1 アドバイス

- 自宅が登録されていない場合は、自宅を登録することができます。自宅の位置に十字カーソルを合わせ**登録** にタッチします。

よく行く地点を設定する

よく行く地点が登録されていれば、簡単な操作でよく行く地点を目的地に設定することができます。

1 アドバイス

- あらかじめよく行く地点が登録されていることが必要です。よく行く地点を登録する方法については、「特別地点(自宅/よく行く地点)を登録する」(92ページ)を参照してください。

1 MENU/PWR スイッチを押した後、ナビメニューにタッチします。

2 地点1 地点2 地点3 のいずれかにタッチします。



目的地が設定され、現在地から目的地までのルートが探索されます(「ルートの探索結果画面」74ページ参照)。

1 アドバイス

- 選択した地点番号に地点が登録されていない場合は、地点を登録することができます。登録したい地点に十字カーソルを合わせ、**登録** にタッチします。

登録地点を設定する

登録されている地点を目的地に設定します。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
- 3 **選んで探す** タブにタッチし、**登録地点** にタッチします。
登録地点リストが表示されます。
- 4 登録地点にタッチして選び、**完了** にタッチします。
- 5 **目的地** にタッチします。
目的地が設定され、現在地から目的地までのルートが探索されます(「ルートの探索結果画面」74ページ参照)。

行き先を検索して設定する

施設や住所などから行き先を探し出して目的地に設定します。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
- 3 行き先を検索します。



- 検索方法については、「行き先を探す」(59ページ)を参照してください。

- 4 **目的地** にタッチします。
目的地が設定され、現在地から目的地までのルートが探索されます(「ルートの探索結果画面」74ページ参照)。

ルートの探索結果画面

目的地を設定すると自動でルートの探索が始まり、現在地から目的地までの全ルートが地図に表示されます。

探索結果画面には、以下の5つのルートが表示され、それぞれの目的地までの時間と料金が表示されます。



5ルート

- 1) **推奨**
VICS情報、VICS統計情報(渋滞予測)、ルート学習情報、渋滞学習情報を利用して、目的地まで最短の時間で行ける代表的なルート
- 2) **一般**
一般道路を通る代表的なルート
- 3) **距離**
最短の距離を通る代表的なルート
- 4) **道幅**
道幅の広い道路を通る代表的なルート
- 5) **別ルート**
上記4つのルートを通らないルート

- 推奨以外のルートを選択するには、そのルートにタッチします。
- **案内開始**
現在地画面に戻り、選択されたルートで目的地案内を開始します(「目的地案内を開始する」77ページ参照)。
- **IC変更**
利用するインターチェンジ(IC)を指定することができます(「インターチェンジ(IC)を指定する」75ページ参照)。

アドバイス

- 5ルートの中には同じルートが検索される場合があります。
- 本機に収録されたVICS統計情報を使用するため、ビーコン情報を受信しなくても時間帯によって異なる渋滞回避ルート探索を行うことができます。
- 「距離」…条件によって最短ルートを表示しない場合があります。
- 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なる場合があります(「車種設定」110ページ参照)。



- 所要時間は設定した平均車速(「平均車速を設定する」138ページ参照)やVICS旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ルート探索中に、ほかの画面に切りかえると、選択中のルートで案内を開始します。
- **案内開始** にタッチせずしばらく経つと、選択中のルートで案内を開始します。
- 高速道路や有料道路のインターチェンジ(IC)・サービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索(「ルートから外れた場合」77ページ参照)を行ってください。
- 登録した迂回地点(「迂回地点を登録する」101ページ参照)が目的地または現在地から離れている場合、迂回エリアを通るルートを探してしまうことがあります。その時はメッセージが表示されます。「回避エリア考慮」を「しない」に設定しているときは、メッセージは表示されません。(「迂回地点を回避する」141ページ参照)

冬期閉鎖区間を回避する

探索されたルート上に冬期に通行できなくなる区間が含まれる場合は、探索画面にメッセージが表示されます。冬期閉鎖区間を自動回避しない設定になっているとき(「冬期閉鎖区間を考慮する」141ページ参照)は、以下のよう

- 1 メッセージが表示されたあと、回避する場合は、**規制考慮** にタッチします。



冬期閉鎖区間を通らないルートが再探索されます。

- 規制区間を回避しない場合は、**案内開始** にタッチします。

目的地案内が開始され、案内が開始されます。

④ アドバイス

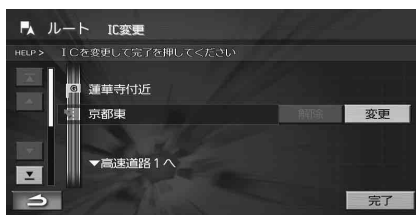
- **規制考慮** にタッチして冬期閉鎖区間を回避すると、「冬期閉鎖区間を考慮する」(141ページ)設定が自動的に「する」に変更されます。

インターチェンジ(IC)を指定する

利用するインターチェンジ(IC)を指定します。

- 1 ルート探索結果画面で **IC変更** にタッチします。
利用予定のインターチェンジが表示されます。

- 2 変更したいインターチェンジの **変更** にタッチします。



選択されているインターチェンジの前後のインターチェンジが表示されます。

- 3 **▲ ▼ ◀ ▶** にタッチして利用したいインターチェンジを表示させます。



- ジャンクションでは、分岐先のインターチェンジも表示されます。

- 4 **登録** または利用したいインターチェンジ名称にタッチします。

- **≡** にタッチすると、指定したインターチェンジを解除し元のインターチェンジに戻ります。

- 5 **完了** にタッチします。

ルートが再探索され、案内が開始されます。

経由地を設定する

目的地に向かう途中で経由したい地点を設定します。経由地は最大で5カ所設定できます。

設定した経由地の変更や順番を入れかえたり、削除することもできます(「経由地を変更する」83ページ参照)。

🔊 アドバイス

- 目的地の設定と同様にさまざまな条件を指定して経由地を検索することができます(「行き先を探す」59ページ参照)。その場合は、検索した場所の地図を表示させ、**経由地** にタッチします。

1 経由地にしたい地点に十字カーソルを合わせます。

- 「行き先を探す」メニューで経由地を検索した場合は、**完了** にタッチして周辺地図を表示します。

2 **経由地** にタッチします。



経由地リストが表示されます。

3 **未登録** にタッチするか、経由地を追加したい区間の **追加** にタッチします。



- 経由地が何も設定されていない場合、または5カ所すべて設定されている場合は、**追加** はトーンダウンされ操作することができません。
- すでにセットされている経由地にタッチすると、新たに指定した経由地が上書きされます。ルートが再探索され、案内が開始されます。

目的地案内を開始する

探索されたルートにしたがって案内走行を開始します。

1 ルート探索結果画面で「案内開始」にタッチします。



ナビゲーション案内が開始されます。



2 アドバイス

- **[D]** にタッチすると、直近の案内を任意で聞くことができます。
- 目的地案内画面を2画面にして左右別々の縮尺や方向を表示させたり、ルートの行程ガイドを表示させることができます(「地図表示を切りかえる」48ページ参照)。
- ルート走行中の案内については、「目的地案内表示」(86ページ)を参照してください。

ルートから外れた場合

目的地案内中にルートから外れると、その位置から目的地までのルートが自動的に再探索されます。自動で再探索されないときは、**[ルート]** にタッチしたあと、**[リルート]** にタッチしてください。

ルートを変更する場合

目的地案内中に利用する道路を変更したり、経由地を追加したい場合などは、ルートを変更することができます。詳しくは、「案内中のルートを変更する」(82ページ)を参照してください。

より最適なルートが見つかった場合(アクティブルートサーチ)

本機には、目的地までのルートを走行中に最新情報に基づいて最適なルートを探し出す機能「アクティブルートサーチ」があります。

最適ルートが見つかった場合は、音声案内とメッセージを表示してお知らせします。現在のルートが新ルートを選択することができます。

アクティブルートサーチは、以下の情報を基に行われます。

- VICS規制情報(通行止め、インターチェンジの閉鎖など)
- 時間曜日規制情報
- 迂回地点
- VICSビーコンユニット(別売)による時間短縮ルートの発見
- 渋滞学習情報
- 抜け道情報
- より短距離ルートの発見

■ 最適ルートが見つかったと

アクティブルート画面が表示され、音声で案内されます。



1. ルート

[新ルート] にタッチしたときは、新ルートが青色のラインで表示されます。

[旧ルート] にタッチしたときは、現在のルートが紫色のラインで表示されます。

- 新ルートと旧ルートは地図上に同時に表示されません。

2. 合流交差点名

3. 新ルート情報

道路名、短縮(増加)距離と短縮時間表示。

4. 現在のルート情報

道路名、現ルート迂回原因事象表示。

5. 分岐交差点名

6. 距離増減アイコン

- ➕ : 現ルートに対し、距離が増加する
- ➖ : 現ルートに対し、距離が減少する
- ≡ : 現ルートと同じ位の距離

7. 現ルート迂回原因事象アイコン

- 🚧 : オンランプ規制
- 🚧 : オフランプ規制
- 🚫 : 通行止め

- 1 **新ルート** または **旧ルート** にタッチし、
決定 にタッチします。



ルートが変更または継続され、案内を開始します。

- **決定** にタッチしないまま約10秒間経過すると、選択しているルートに自動的に変更されます。
- アクティブルートサーチウィンドウを閉じるには **[X]** にタッチします。

🔊 アドバイス

- 新ルートは現ルートに比べて距離が増加する場合があります。
- アクティブルート画面は、ノースアップ画面で表示されます。
- アクティブルートをキャンセルしたい場合は、**[X]** にタッチするか、**旧ルート** を選択して **決定** にタッチしてください。
- アクティブルート画面表示中に、新ルートを走行した場合は、自動的に新ルートへルートを変更します。また、新ルートまたは現ルート以外のルートを走行した場合は、アクティブルート画面を終了し、ルートを変更します。
- 現在地から次の分岐交差点までの距離が50kmを超える場合は、アクティブルート画面は表示されません。
- アクティブルートサーチ機能を有効にするかどうか、また、到着時刻が何分以上縮まる場合にルート変更するか(5分~30分)などを設定できます(「アクティブルートサーチを設定する」140ページ参照)。
- 表示される区間通過の短縮時間はあくまで目安であり、走行速度、交通状況により短縮時間は異なる場合があります。
- 「アクティブルートサーチ」での「交通状況の考慮」および「回避ルート探索(渋滞考慮案内)」は通行止め等の交通規則が発生した場合等、距離、時間ともに増加するルートを表示する場合があります。また、常に渋滞からの回避が行えるわけではありません。
- VICS情報を利用した渋滞回避を行うには、別売のVICS光・電波ビーコンが必要となります。

🔍 抜け道ルートが見つかった場合

本機には、抜け道ルート探索機能があります。「抜け道探索」を「する」に設定している場合、自動的に抜け道ルートを探します。

■ 抜け道ルートが見つかったと

抜け道ルートが画面が表示され、音声で案内されます。



1. ルート

抜け道 にタッチしたときは、抜け道ルートが青色のラインで表示されます。**現ルート** にタッチしたときは、現在のルートが紫色のラインで表示されます。

2. 合流交差点名

3. 抜け道情報

道路名表示。

4. 現在のルート情報

道路名表示。

5. 分岐交差点名

- 1 **抜け道** または **現ルート** にタッチし、
決定 にタッチします。



ルートが変更または継続され、案内を開始します。

- 決定にタッチしないまま約10秒間経過すると、選択しているルートに自動的に変更されます。
- 抜け道ウィンドウを閉じるには **[X]** にタッチします。

🔊 アドバイス

- 抜け道探索機能を有効にするかどうかを設定することができます(「抜け道を探索する」140ページ参照)。
- 抜け道ルートの場合、細街路を通るルートを探することがあります。その場合は音声案内は行われません。

案内中のルートを確認する

ルート案内中に、ルート全体や各区間について確認することができます。

🔊 アドバイス

- 走行中は安全のため、「ルート情報」表示、「ルートブラウザ」表示、「デモ走行」はできません。安全な場所に停車してから操作してください。

ルートをスクロールする

ルートブラウザ画面を操作して、探索したルートに沿って地図を目的地までスクロールして確認します。

ルート画面からルートブラウザを表示する

- 1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

- 2 **ルートブラウザ** にタッチします。



ルートブラウザ画面が表示されます。

- 操作については、「ルートブラウザ画面を操作する」(79ページ)を参照してください。

- 3 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。

地図画面からルートブラウザを表示する

- 1 ルート案内中の地図画面で、到着情報表示にタッチします。



到着情報表示

ルートブラウザ画面が表示されます。

- 操作については「ルートブラウザ画面を操作する」を参照してください。

- 2 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。

ルートブラウザ画面を操作する

- 1 スライダーバーの任意の箇所にタッチし、右方向へスライドします。または **◀ ▶** にタッチします。



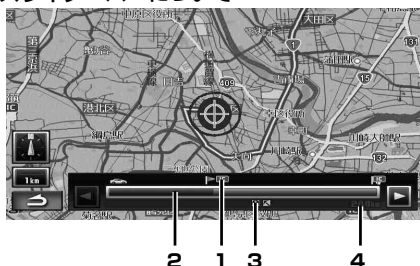
スライダーバー

現在地から目的地に向けて、自動的にスクロールが開始されます。

■ スライダーバー操作

- ・スライダーバーを右方向にスライドすること、または▶にタッチすること、スクロール速度が速くなります。(3段階)
- ・スライダーバーを左方向にスライドすること、または◀にタッチすること、スクロール速度が遅くなります。(3段階)
- ・スライダーバーの半分以上を右方向にスライドするとスクロール速度が速くなります。左方向にスライドすると、スクロール速度が遅くなります。
- ・スライダーバーの任意の箇所にタッチすると、スクロールが停止します。

■ スライダーバーについて



1 ルート行程表示

出発地、経由地、目的地、フェリー、インターチェンジ(IC)をマークで表示します。

2 ルート情報表示

ルート行程を高速/有料道路は緑色、一般道路は青色で区別して表示します。

3 VICS規制情報表示

VICS規制情報を、現在地から近い順に3つマークで表示します。

4 目的地までの距離表示

🔊 アドバイス

- 3Dマップへの切りかえはできません。
- 方位や縮尺を変更することもできます(「方位を切りかえる」47ページ、「縮尺を切りかえる」46ページ参照)。

全ルートを表示する

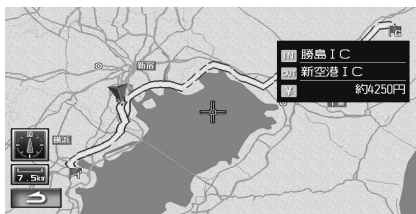
画面にルート全体(全ルート)を表示させます。

1 ルート案内中の地図画面で「ルート」にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

2 「全ルート表示」にタッチします。

現在地から目的地までのルートが表示され、乗り降りするインターチェンジと料金が表示されます。



- ・全ルート表示では、スクロール、方位変更、縮尺変更が行えます。

3 「POS.」スイッチを押して現在地画面に戻します。

🔊 アドバイス

- 3Dマップへの切りかえはできません。
- ルートの一部が画面に表示されない場合があります。



ルート情報(案内道路情報)を表示する

目的地までの全ルートを高速道路のインターチェンジや経由地などで分割し、区間の距離、高速道路などの料金またはインターチェンジの通過予想時刻を一覧で表示することができます。

ルート情報で確認できる情報は以下のとおりです。

地点	マーク
目的地	
経由地	
フェリー乗り場	
料金所	
JCT	
高速道路入口	
高速道路出口	
現在地	

アドバイス

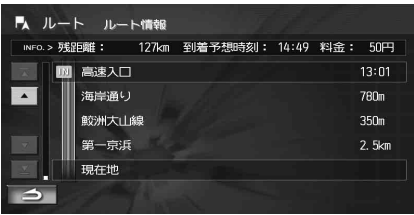
- 料金は、道路によって表示されない場合があります。
- 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 到着予想時刻は設定した平均車速(「平均車速を設定する」138ページ参照)やVICS旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより、誤差が生じることがあります。

1 ルート案内中の地図画面で「ルート」にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

2 「ルート情報」にタッチします。

区間ごとのルート情報が表示されます。



3 ▲▼ にタッチしてルート情報をスクロールします。

- ▲▼ にタッチし続けると連続でスクロールします。

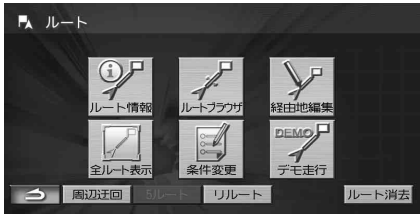
4 (POS.) スイッチを押して現在地画面に戻します。

探索したルートを確認する(デモ走行)

ルート探索後、目的地案内が開始される前に目的地案内のデモを見ることができます。また音声案内の内容を確認することができます。

1 ルート案内中の地図画面で「ルート」にタッチします。

2 「デモ走行」にタッチします。



デモ走行を開始します。

- 方位や縮尺、地図表示方法を変更することができます。

3 (MENU/PWR) または (POS.) スイッチを押すと、デモ走行を終了します。

アドバイス

- 走行中は安全のためデモ走行を行うことはできません。

案内中のルートを変更する

目的地案内中に別のルートに変更したい場合は、以下のよう
に操作してルートを再探索することができます。

別のルートを選択する

5つのルート候補をもう一度探索し、他のルートに切りか
えます。

1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッ
チします。

2 **5ルート** にタッチします。
5つのルートが表示されます。各ルートについては、
「ルートの探索結果画面」(74ページ)を参照してくだ
さい。



3 お好みのルートにタッチします。



4 **案内開始** にタッチします。

目的地案内が再開されます。

アドバイス

- 経由地がセットされている場合は、5ルートの再探索
はできません。
- 走行中は安全のため **5ルート** にタッチすることは
できません。
- 5ルートについては「ルートの探索結果画面」(74
ページ)を参照してください。

利用道路を変更する(条件変更)

利用する道路を指定してルートを変更できます。経由地を
設定した場合は、経由地までの区間ごとに探索条件を変更
することができます。

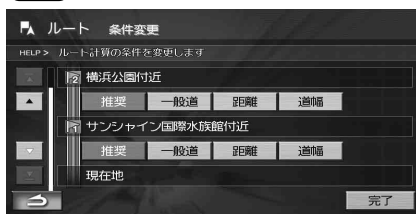
1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッチ
します。

ルートメニューが表示されます。

2 **条件変更** にタッチします。

区間ごとに使用する道路が表示されます。

3 変更したい区間の **推奨** **一般道** **距離**
道幅 のいずれかにタッチします。



- すでに通過した区間は表示されません。

4 **完了** にタッチします。

ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

アドバイス

- 走行中は安全のため、条件変更画面をスクロールでき
ません。



経路地を変更する

経路地を追加・変更・消去または順番を入れかえることができます。

経路地を追加する

経路地は最大5カ所まで設定できます。5カ所未満の場合は、経路地を追加することができます。

1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッチします。

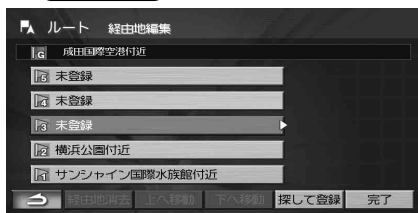
ルートメニューが表示されます。

2 **経路地編集** にタッチします。



経路地編集画面が表示されます。

3 追加したい経路地番号の **未登録** にタッチし、**探して登録** にタッチします。



4 経路地を検索します。

- 検索方法については、「行き先を探す」(59ページ)を参照してください。

5 **登録** にタッチします。



経路地が設定されます。

- 続けて経路地を追加する場合は、手順3～5を繰り返します。

6 **完了** にタッチします。



ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

● **アドバイス**

- 走行中は安全のため、経路地を追加することはできません。

経路地の順番を入れかえる

1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

2 **経路地編集** にタッチします。

3 入れかえる経路地にタッチします。



- 通過済みの経路地には、「通過」と表示されます。

4 **上へ移動** または **下へ移動** にタッチします。

タッチするたびに経路地の順番が入れかわります。

- 続けて経路地の順番を入れかえるには、手順3～4を繰り返します。

5 **完了** にタッチします。

ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

● **アドバイス**

- 走行中に経路地の順番を入れかえると、自動的にルートの再探索が行われます。

経由地を自動で並べかえる

経由地の順序を、現在地から近い順に自動で並べ替えることができます。

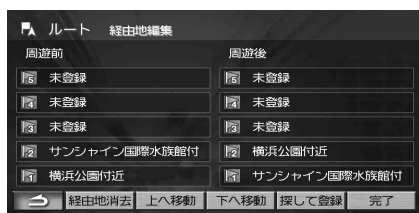
- 1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

- 2 **経由地編集** にタッチします。

- 3 **周遊** にタッチします。

周遊前と周遊後の経由地順序が表示されます。



- 4 **完了** にタッチします。

ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

経由地を消去する

- 1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

- 2 **経由地編集** にタッチします。

- 3 消去したい経由地にタッチし、**経由地消去** にタッチします。



経由地が消去されます。

- 続けて経由地を消去するには、手順3を繰り返します。

- 4 **完了** にタッチします。

ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

アドバイス

- 走行中に経由地を消去すると、自動的にルートの再探索が行われます。

迂回する

自転車位置から一定の距離を迂回するルートを探します。前方の道路が工事などで通行できないときなどに利用します。

アドバイス

- 迂回地点をあらかじめ登録しておくこともできます（「迂回地点を登録する」101ページ参照）。
- 迂回する距離を設定できます（「迂回距離の設定」141ページ参照）。
- 案内中のルートから外れている場合は、迂回ルートは探索できません。
- 周辺の道路によっては、迂回できない場合があります。

- 1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

- 2 **周辺迂回** にタッチします。



ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。



ルートを消去する

現在のルート、目的地、経由地を消去します。

- 1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

- 2 **ルート消去** にタッチします。



ルートの消去を確認するメッセージが表示されます。

- 3 **はい** にタッチします。

ルート、目的地、経由地が消去され現在地画面に戻ります。

🔊 アドバイス

- 目的地に近づくと「到着した」と判断して、ルート案内を終了します。
近づき加減が不足しているときなどは「到着した」と判断できず、いつまでも目的地への案内を繰り返します。そのようなときは、ルートを消去してください。

目的地案内表示

目的地までのルート走行中に、さまざまな表示や音声によって案内をします。

交差点・高速分岐案内

目的地案内中に案内ポイントが表示されている交差点が近づく、と、交差点案内が行われます。



1. 距離メーター

交差点までの距離が表示されます。

2. レーン(車線)表示

通過・分岐する交差点の車線が表示されます。

3. 交差点名称表示

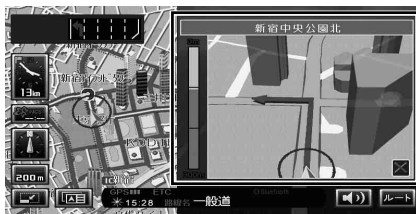
通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

アドバイス

- 交差点・高速分岐案内を行うかどうかを設定できます(「詳細案内図表示を設定する」139ページ参照)。以下の項目が設定できます。
 - ・ 3Dイラスト拡大図
 - ・ 3Dリアル交差点拡大図
 - ・ 高速入口案内図
 - ・ 高速分岐案内
 - ・ 高速IC拡大図
- 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示はされません。
- 交差点名称表示・車線表示が実際の交差点と異なることがあります。
- 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われないことがあります。
- 交差点案内は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大案内画面が表示されます。
- 交差点拡大図案内画面が表示されているとき、交差点名称表示・車線表示は分岐する交差点のものが表示されます。
- 交差点拡大図画面を解除するには、**[X]**にタッチします。解除した交差点拡大図画面を表示するには**[D]**にタッチします。

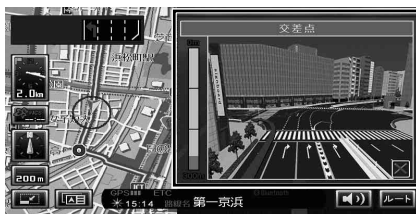
3Dイラスト拡大図(詳細案内図)

3Dイラスト情報のある交差点が近づく、と、デフォルメしたイラストで拡大図が表示されます。



3Dリアル交差点拡大図(詳細案内図)

3Dリアル交差点情報のある交差点が近づく、と、動画と静止画でよりリアルな拡大図を表示します。



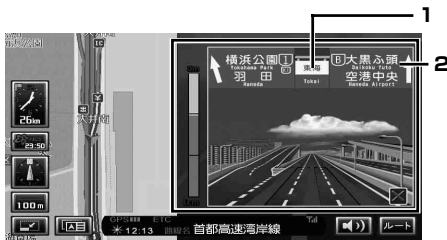
高速入口案内図(詳細案内図)

情報のある都市高速のインターチェンジ(IC)入口が近づく、と、入口の案内図が表示されます。



高速分岐案内(詳細案内図)

有料道路や高速道路を走行しているとき、情報がある分岐点(JCT)が近づく(約1000m以内)と、高速分岐案内画面が表示されます。



1. 分岐点名称

ジャンクション(JCT)の名称が表示されます。

2. 方面名称

レーンごとの方面名称が表示されます。

ETCレーン表示

ETCレーン情報のある料金所が近づくと、ETCレーン案内図が表示されます。



アドバイス

- ETC車載器(別売)を装着してありETCカードが挿入されている場合は、ETCレーンに矢印が表示されます。
- ETCレーンは、実際のレーンと異なる場合があります。
- ETCレーン案内をするかどうかを設定できます(ETC案内を設定する)138ページ参照。

レーン(車線)ガイド表示

レーン情報のある分岐交差点の手前(約10km以内)では、走行する交差点までの距離、およびレーン図が表示されます。



1. 1つめ(手前)のレーン情報

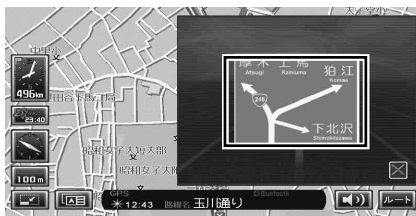
直進の交差点では「●」が、右左折する交差点では「○」が表示されます。

アドバイス

- レーン情報のない交差点では、交差点での進行方向(直進を除く)が矢印で表示されます。
- レーンガイドを表示するかどうかを設定できます(レーンガイドを表示する)139ページ参照。

方面看板の表示

方面看板情報のある交差点の手前(約500m手前)では、方面看板が表示されます。



アドバイス

- 方面看板を表示するかどうかを設定できます(「方面看板を表示する」133ページ参照)。

高速ガイド表示

高速道路走行中、「行程ガイド」に切りかえると高速ガイド表示を行います。



アドバイス

- 高速ガイドを表示するかどうかを設定できます(「高速ガイド表示の設定」135ページ参照)。

リアルジャンクションガイド表示

動画データのある交差点が近づくと、よりリアルな拡大図が表示されます。



アドバイス

- リアルジャンクションガイドを表示するかどうかを設定できます(「リアルジャンクションガイドを設定する」138ページ参照)。

フェリー航路の案内

フェリーの航路は――（破線）で表示され、フェリーターミナルまで音声案内が行われます。フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。



アドバイス

- ルート探索でフェリーを使用するかどうかを設定できます（「フェリー航路を含むルートを探る」141ページ参照）。

到着情報の表示

目的地案内中は通過点（目的地、経由地、フェリー乗り場）の到着予想時刻と残距離が表示されます。

■ 全画面



1. 案内地点マーク
 2. 到着予想時刻表示
 3. 残距離
- 到着情報

・ 到着情報にタッチすると、ルートブラウザ画面に切りかわります（「地図画面からルートブラウザを表示」79ページ参照）。

アドバイス

- 到着予想時刻は設定した平均車速（「平均車速を設定する」138ページ参照）やVICS旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ルートから外れると、全画面では到着情報が消えます。
- 到着予想時刻を音声で案内することができます（「到着予想時刻を音声案内する」138ページ参照）。
- 目的地までの到着情報を表示するか、経由地までの到着情報を表示するか設定することができます（「ルート行程情報表示の設定」137ページ参照）。

料金案内

目的地案内中は、有料道路や高速道路の料金所の手前で、地図右上に料金が表示され、音声で案内されます。



アドバイス

- 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります（「車両情報を設定する」138ページ参照）。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは料金案内は行いません。
- 地図データに情報のない料金所では、料金案内は表示されません。
- 料金が前納の出口料金所またはETC車載器（別売）を装着している場合、料金案内は表示されません。
- ETC車載器を接続している場合の料金案内表示については、「ETCの料金表示について」（176ページ）を参照してください。

音声案内

目的地案内中は、交差点、分岐点、通過点、インターチェンジ(IC)の入口/出口、ジャンクション、到着案内などが自動的に音声案内されます。音声案内はPCM音声（肉声）で案内します。

アドバイス

- 「音声案内例」は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が行われることがあります。音声案内はあくまでも参考としてください。
- 案内音声の音量を調整することができます（「案内音量を調整する」55ページ参照）。
- 自車位置と案内地点までの距離が近いときは、音声案内が行われなかったり、遅れたり、誤った音声案内が行われることがあります。

音声案内の確認

音声案内を聞きのがしてしまったときなどに、任意のタイミングで直近の情報を音声で確認することができます。

1 にタッチします。



アドバイス

- 案内音量をOFFにしているときは、 はトーンダウンされ操作することができません。
- たとえば「およそ700m先左方向です。」の音声案内のあと、しばらく走行してから  にタッチすると、「およそ600m先左方向です。」というように案内内容が状況に合わせて変化します。

目的地案内中の音声案内の例

■ 一般道音声機能

交差点などで交差点名や残りの距離、方向を案内します。また、登録地点が近づいたことも音声案内します。

【音声案内例】

- およそ500m先、〇〇を右折です。
- まもなく、〇〇です。
- まもなく、右折です。

アドバイス

- 登録地点に接近音を設定する方法については、「接近音を変更する」(98ページ)を参照してください。

■ 踏み切り、合流の音声案内

ルート案内中、踏み切り地点を事前に音声とアイコンで案内します。

また、高速道路をルート走行中に合流点がある場合、音声とアイコンにて合流を知らせます。

【音声案内例】

- この先、踏み切りです。
- この先、右からの合流があります。

【アイコン例】

形状	警告マーク
踏切	
合流道路	

アドバイス

- それぞれの地点で案内するかどうかを設定できます（「踏み切り案内を設定する」137ページ、「合流案内を設定する」137ページ参照）。

■ 事故多発地点音声案内

一般道または高速道路をルート走行中、事故多発地点を事前に音声とアイコンで案内します。

【音声案内例】

- この先、事故多発交差点です。ご注意ください。（一般道）
- この先、事故多発地点です。ご注意ください。（高速道路）
- この先、事故多発区間です。ご注意ください。（一般道、高速道路）

【アイコン例】

	警告マーク
事故多発地点	

アドバイス

- 事故多発地点案内をするかどうかを設定できます（「交通事故多発区間警告」138ページ参照）。
- 「事故多発地点」と「踏み切り、合流地点」が同じ場合は、踏み切り、合流地点音声案内が優先されます。

■ 高速分岐音声案内

高速道路をルート走行中は、分岐点で拡大表示を行い、音声で進行方向を案内します。

[音声案内例]

- およそ〇〇km先、〇〇方向、〇〇方面です。

■ 高速料金音声案内

ルート走行中に高速道路料金所手前で高速道路の料金を案内します。

[音声案内例]

- この先料金所です。料金は〇〇です。

目的地、経由地、フェリー乗り場に到着したときの音声案内の例

[音声案内例]

- 目的地周辺です。
- 経由地周辺です。
- フェリー乗り場周辺です。

地点の登録

ナビゲーション編

特別地点(自宅/よく行く地点)を登録する	92
地点を登録する	94
特別地点/登録地点情報を確認・変更する	95
特別地点リスト画面を表示する	95
登録地点リスト画面を表示する	95
地点情報を確認する	96
地点情報を変更する	97
特別地点/登録地点の位置を変更する	99
特別地点/登録地点を消去する	100
迂回地点を登録する	101
迂回地点情報を確認・変更する	102
地点リスト画面を表示する	102
地点情報を確認する	102
地点情報を変更する	102
地点の位置を変更する	103
地点を消去する	103



特別地点(自宅/よく行く地点)を登録する

自宅を1カ所、よく行く地点を3カ所まで特別地点に登録することができます。

自宅またはよく行く地点を登録しておく、目的地設定時に1回の操作でルート探索を開始させることができます(「自宅へ帰る」73ページ、「よく行く地点を設定する」73ページ参照)。

地図画面から自宅/よく行く地点を登録する

1 登録したい地点に十字カーソルを合わせます。

- 地図のスクロールについては、「地図をスクロールする」45ページを参照してください。
- 住所や電話番号などから地図を検索する方法については、「行き先を探す」59ページを参照してください。

2 登録にタッチします。



3 特別地点にタッチします。

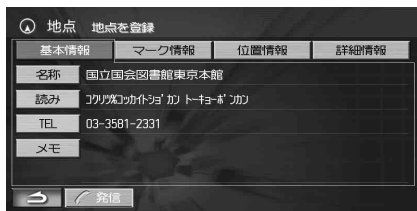


4 自宅 地点1 地点2 地点3 のいずれかにタッチします。



- 自宅を登録するときは **自宅** にタッチします。
 - よく行く地点を登録するときは **地点1** **地点2** **地点3** のいずれかにタッチします。
- 地点情報画面が表示されます。
- 登録した地点の情報が自動的に表示されます。

5 表示された情報を確認し、必要に応じて変更します。



- 地点情報を変更する場合は、「地点情報を変更する」(97ページ)を参照してください。

6 (POS.) スイッチを押して現在地画面に戻します。

登録したマークが地図に表示されます。

アドバイス

- すでに自宅または地点1～3に登録されている場合、同じタッチスイッチに登録しようとする、上書きを確認する画面が表示されます。
- 自宅を登録する場合は、車を自宅または自宅周辺の安全な場所に停車させ、現在地画面で自転車位置マーク周辺にタッチすると、簡単に自宅地点に十字カーソルを合わせることができます。
- 自宅または地点1～3に同じ地点を登録すると、それぞれに登録します。

メニューから自宅/よく行く地点を登録する

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押したあと、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **自宅** **地点1** **地点2** **地点3** のいずれかにタッチします。
- 3 地図画面が表示されたら、登録したい地点に十字カーソルを合わせます。
 - 地図のスクロールについては、「地図をスクロールする」(45ページ)を参照してください。
- 4 **登録** にタッチします。



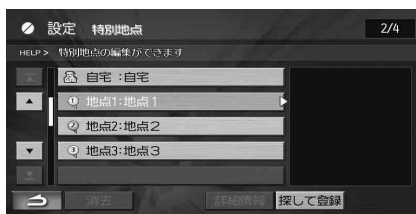
十字カーソルの位置に地点が登録されます。

検索して自宅/よく行く地点を登録する

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押したあと、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **設定を変える** にタッチします。
- 3 **地点編集** にタッチします。
- 4 **特別地点** にタッチします。



- 5 **自宅** **地点1** **地点2** **地点3** のいずれかにタッチして選択し、**探して登録** にタッチします。



- 6 登録する地点を検索します。



- 検索する方法については、「行き先を探す」(59ページ)を参照してください。

- 7 **登録** にタッチします。



選んだ地点が登録されます。

- 続けて地点を追加する場合には、手順5～7を繰り返します。

- 8 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。
登録したマークが地図に表示されます。

アドバイス

- すでに自宅または地点1～3に登録されている場合、同じタッチスイッチに登録しようとすると、上書きを確認する画面が表示されます。

地点を登録する

よく利用する地点などを最大で700カ所登録することができます。

地点を登録しておく、以下の利点があります。

- 地図にマークが表示されます。
- 近づいたときに音声案内を流すことができます。
- 目的地や経由地を設定するときに、登録されている地点のリストから探し出すことができます(「登録地点から探す」(63ページ)参照)。

🔊 アドバイス

- 700カ所を超えて登録するときは、先に不要な地点を消去してください。
- 地点を登録すると、地点の名称のほか、地図にデータが存在する場合は電話番号や住所も自動的に登録されます。
- 「読み」に記号が混在して表示される場合がありますが、これはマーク読み出し時にアクセントをつけるための記号です。
- 同じ地点を登録すると、上書きされずに新しく登録されます。

1 登録したい地点に十字カーソルを合わせます。

- 地図のスクロールについては、「地図をスクロールする」(45ページ)を参照してください。
- 施設や住所などから地図を検索する方法については、「行き先を探す」(59ページ)を参照してください。

2 登録 にタッチします。



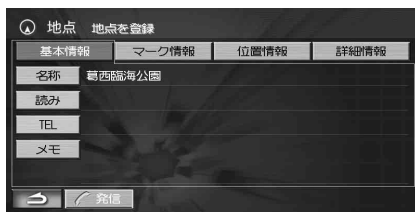
3 地点を登録 にタッチします。



地点情報画面が表示されます。

- 登録した地点の情報が自動的に表示されます。

4 表示された情報を確認し、必要に応じて変更します。



- 地点情報を変更する場合は、「地点情報を変更する」(97ページ)を参照してください。

5 (POS.) スイッチを押して現在地画面に戻します。

登録したマークが地図に表示されます。

特別地点/登録地点情報を確認・変更する

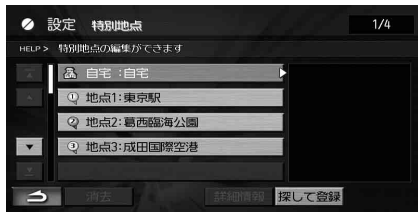
特別地点(自宅、よく行く地点)や登録地点の情報を確認したり、変更・消去することができます。

特別地点リスト画面を表示する

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押したあと、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **設定を変える** にタッチします。
- 3 **地点編集** にタッチします。
- 4 **特別地点** にタッチします。



特別地点リスト画面が表示されます。



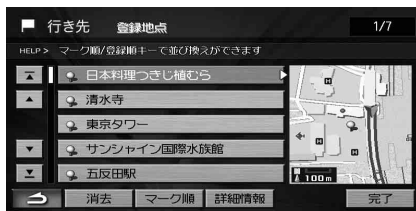
- リスト画面から、特別地点の登録(92ページ)、地点情報の確認(96ページ)、特別地点の消去(100ページ)の操作が行えます。

登録地点リスト画面を表示する

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押したあと、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **設定を変える** にタッチします。
- 3 **地点編集** にタッチします。
- 4 **登録地点** にタッチします。



登録地点リスト画面が表示されます。



- **マーク順** / **登録順** にタッチすると登録地点リストを並べかえられます。現在マーク順を選択していると **登録順** が、登録順を選択していると **マーク順** が表示されます。
登録順 : 新しく登録した順。
マーク順 : マークの種類ごと。
- いずれかの地点にタッチすると画面右側に地図が表示されます。さらに、**完了** にタッチすると、周辺地図画面が表示されます。
- リスト画面から、地点情報の確認(96ページ)、登録地点の消去(100ページ参照)の操作が行えます。

アドバイス

- 登録地点が設定されていない場合は、リストを表示することができません。

地点情報を確認する

名称や電話番号など、地点に関する詳しい情報を表示します。

- 1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で詳細を確認したい地点にタッチし、

詳細情報 にタッチします。

- 「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、
「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。

2 基本情報 マーク情報 位置情報

詳細情報 のいずれかにタッチします。

登録内容が表示されます。

各地点情報画面に登録される内容は以下のとおりです。

■ 基本情報

設定 登録地点情報	
基本情報	マーク情報
名称	東京タワー
読み	トウキョウタワー
TEL	03-3433-5111
メモ	

- **名称**
名称が表示されます。
- **読み**
読み情報がある場合は、名称の読みが表示されます。
- **TEL**
電話番号情報がある場合は、電話番号が表示されます。
- **メモ**
メモが登録されている場合は、コメントなどが表示されます。

■ マーク情報

設定 登録地点情報	
基本情報	マーク情報
マーク	★
接近音	マーク周辺です
接近距離設定	100m 300m 500m
接近方向設定	全方向ON 全方向OFF 方向設定

- **マーク**
地図に表示させるマークが表示されます。

- **接近音**
接近したときに鳴らす音が表示されます。
- **接近距離設定**
接近音を鳴らすときの接近距離を設定できます。
- **接近方向設定**
接近音を鳴らすときの接近する方向を設定できます。

■ 位置情報

設定 登録地点情報	
基本情報	位置情報
位置	東京都港区芝公園
緯度経度	北緯: 35 ° 39 ' 19 " 東経: 139 ° 44 ' 55 "
マップコード	554595*53

- **位置**
住所情報がある場合は、地点の住所が表示されます。
- 緯度経度
緯度と経度が表示されます。
- マップコード
マップコードが表示されます。

■ 詳細情報

設定 登録地点情報	
基本情報	詳細情報
現在地から直線距離で	3.4km
電話番号	03-3433-5111

現在地からの距離や画像、URLなどが登録されている場合は、その情報が表示されます。**画像** にタッチすると画像が表示されます。

🔊 アドバイス

- 携帯電話を接続している場合は、**発信** にタッチすると、登録されている電話番号に電話をかけることができます。



地点情報を変更する

登録されている地点情報を変更します。
「詳細情報」を変更することはできません。

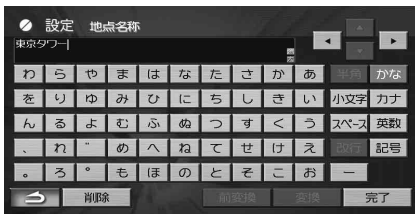
地点名称を変更する

画面に表示される地点の名称を変更します。

- 1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。
地点情報画面が表示されます。
 - 「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、
「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。

- 2 **基本情報** タブにタッチし、**名称** にタッチします。

- 3 名称を入力します。



- 入力できる名称は、最大で全角35文字、半角70文字です。

- 4 **完了** にタッチします。

地点の読みを変更する

名称の読みを変更します。

- 1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。
地点情報画面が表示されます。
 - 「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、
「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。

- 2 **基本情報** タブにタッチし、**読み** にタッチします。

- 3 読みを入力します。



- 入力できる読みは、最大で半角カタカナ35文字です。

- 4 **完了** にタッチします。

電話番号を変更する

登録地点に電話番号を入力しておくと、「電話番号」から地点を探し出すことができます。

- 1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。
地点情報画面が表示されます。
 - 「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、
「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。

- 2 **基本情報** タブにタッチし、**TEL** にタッチします。

- 3 電話番号を入力します。



- 市外局番から入力します。
- 携帯電話番号(11桁)にも対応しています。
- 個人宅の電話番号にも対応しています。
- 最大15桁まで入力可能です。

- 4 **完了** にタッチします。

メモを入力する

コメントなどを入力します。

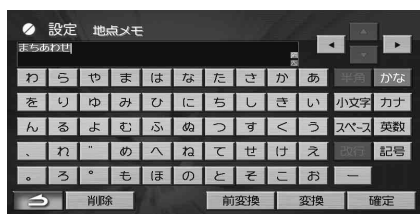
- 1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。

地点情報画面が表示されます。

- 「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、
「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。

- 2 **基本情報** タブにタッチし、**メモ** にタッチします。

- 3 メモの内容を入力します。



- 入力できるメモは、最大で全角/半角52文字です。

- 4 **完了** にタッチします。

マークを変更する

地図に表示させるマークの種類を変更します。あらかじめ用意されているマークの中から好きなマークを選択できます。

- 1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。

地点情報画面が表示されます。

- 「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、
「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。

- 2 **マーク情報** タブにタッチし、**マーク** にタッチします。

- 3 登録したいマークにタッチします。



マークが変更され、地点情報画面に戻ります。

- 4 **アドバイス**

- 自宅、よく行く地点、登録地点では、表示されるマークは異なります。

接近音を変更する

地点が近づいたときに流す音や音声を変更します。あらかじめ用意されているものの中から選択できます。

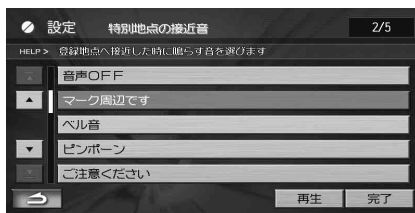
- 1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。

地点情報画面が表示されます。

- 「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、
「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。

- 2 **マーク情報** タブにタッチし、**接近音** にタッチします。

- 3 登録したい音や音声にタッチします。



- タッチすると、音や音声再生されます。
- **再生** にタッチすると選択した音や音声再生されます。

- 4 **完了** にタッチします。

🔊 アドバイス

- 案内音量が最小(OFF)の場合は、接近音が鳴りません。

接近音を鳴らす範囲を設定する

地点に近づいたときに接近音を鳴らす距離と方向を設定できます(初期設定値は「500m」「全方向ON」)。

1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、

詳細情報 にタッチします。

地点情報画面が表示されます。

- 「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。

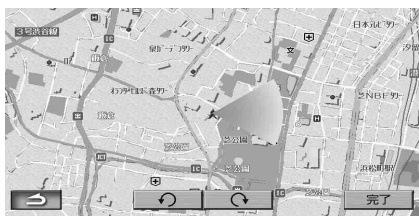
2 **マーク情報** タブにタッチします。

3 「接近距離設定」の **100m** **300m** **500m** のいずれかにタッチします。

4 「接近方向設定」の **全方向ON** **全方向OFF** **方向設定** のいずれかにタッチします。

- **方向設定** にタッチした場合は、ノースアップの地図画面に方向を示す範囲が表示されます。
- **全方向ON** にタッチするとすべての方向に設定され、**全方向OFF** にタッチするとすべての方向で接近音は鳴りません。
- **全方向ON** または **全方向OFF** にタッチした場合は、以降の操作は必要ありません。

5 方向を指定します。

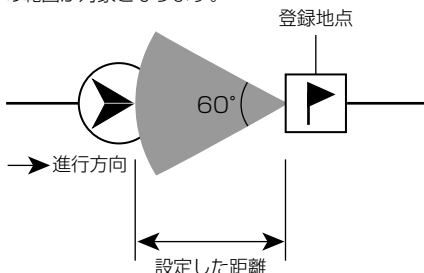


-  にタッチすると5°左に回転し、 にタッチすると5°右に回転します。

6 **完了** にタッチします。

🔊 アドバイス

- 方向を指定したときは、指定した方向に向かって60°の範囲が対象となります。



例えば、指定した方向に60°の範囲から登録地点に接近したときは接近音が鳴りますが、それ以外の方向から接近したときは接近音が鳴りません。

- 接近音が鳴った登録地点から約1km以上離れないと、再度接近しても接近音は鳴りません。

特別地点/登録地点の位置を変更する

登録地点の位置を変更することができます。

1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、

詳細情報 にタッチします。

地点情報画面が表示されます。

- 「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。

2 **位置情報** タブにタッチし、**位置** にタッチします。

登録地点周辺の地図が表示されます。

3 変更したい地点に十字カーソルを合わせます。



次ページに続く→

4 **地点を変更** にタッチします。



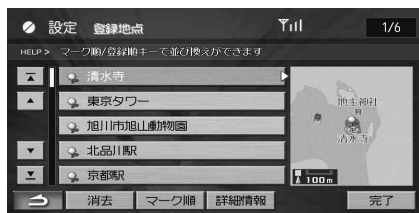
住所などの内容が変更されます。

特別地点/登録地点を消去する

登録地点を1件またはすべて消去します。

1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で消去したい地点にタッチし、**消去** にタッチします。

- 「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、
「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。



- すべての地点を消去するには、**消去** にタッチし続けます。

消去を確認するメッセージが表示されます。

2 **はい** にタッチします。

地点が消去されます。

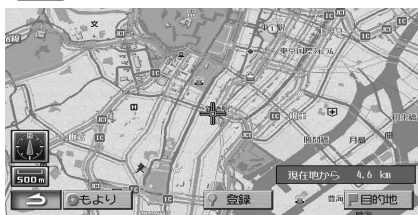
迂回地点を登録する

迂回地点は、地図に最大5カ所まで登録することができます。迂回地点を登録しておくと、ルートを探するとき、登録したエリアを迂回させることができます。工事や事故による通行止め・渋滞地点があらかじめわかっているときなどに便利です。

1 登録したい迂回地点に十字カーソルを合わせます。

- 地図のスクロールについては、「地図をスクロールする」(45ページ)を参照してください。
- 施設や住所などから地図を検索する方法については、「行き先を探す」(59ページ)を参照してください。

2 「登録」にタッチします。



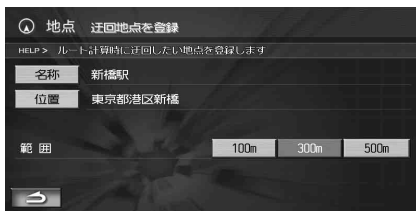
3 「迂回する地点」にタッチします。



迂回地点情報画面が表示されます。

- 登録した迂回地点の情報が自動的に表示されます。

4 表示された情報を確認し、必要に応じて変更します。

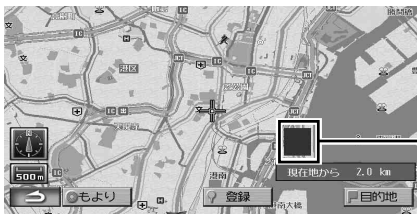


- 迂回地点情報を変更する場合は、「地点情報を変更する」(102ページ)を参照してください。

5 「POS.」スイッチを押して現在地画面に戻します。

アドバイス

- 迂回地点を登録すると、迂回地点を中心とした100m～500m四方のエリアが設定されます。このエリアを迂回することができます。



迂回エリア

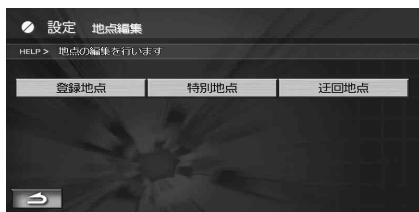
- 5カ所を超えて登録するときは、先に不要な迂回地点を消去してください。
- 登録した迂回地点には、付近の名称や住所などが自動的に登録されます。
- 同じ地点を登録すると、上書きされずに新しく登録されます。
- 目的地などを設定した位置、および現在地の位置などにより迂回しない場合があります。

迂回地点情報を確認・変更する

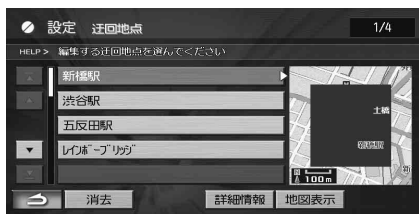
登録されている迂回地点情報を確認したり、変更・消去することができます。

地点リスト画面を表示する

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押したあと、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **設定を変える** にタッチします。
- 3 **ナビゲーション** タブにタッチした後、**地点編集** にタッチします。
- 4 **迂回地点** にタッチします。



地点リスト画面が表示されます。



- いずれかの地点にタッチすると画面右側に地図が表示されます。
- リスト画面から、地点情報の確認(102ページ参照)、地点の消去(103ページ参照)などの操作が行えます。

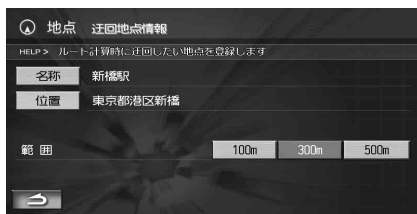
① アドバイス

- 地点が登録されていない場合は、リストを表示することができません。

地点情報を確認する

地点の名称や位置情報を表示します。

- 1 地点リスト画面で詳細を確認したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。地点情報画面が表示されます。
 - 「地点リスト画面を表示する」(102ページ)参照。



- **名称** 名称が表示されます。
- **位置** 住所情報がある場合は、地点の住所が表示されます。
- **範囲** 迂回するエリアの範囲を設定できます。

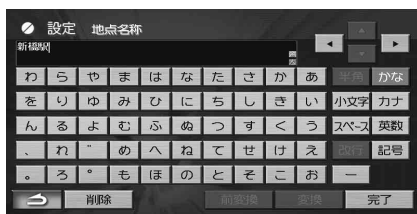
地点情報を変更する

登録されている地点情報を変更します。

地点名称を変更する

画面に表示される地点の名称を変更します。

- 1 地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。地点情報画面が表示されます。
 - 「地点リスト画面を表示する」(102ページ)参照。
- 2 **名称** にタッチします。
- 3 名称を入力します。



- 入力できる名称は、最大で全角35文字、半角70文字です。

4 **完了** にタッチします。

迂回エリアの範囲を設定する

迂回地点を中心として、何m四方のエリアを迂回するのかが設定することができます。(初期設定値は「300m」)

- 1 地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。
地点情報画面が表示されます。
• 「地点リスト画面を表示する」(102ページ) 参照。

- 2 「**範囲**」の **100m**、**300m**、**500m** のいずれかにタッチします。

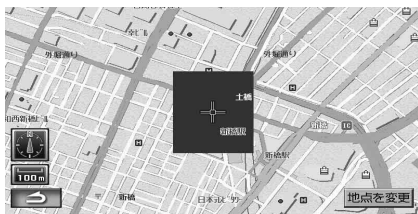
地点の位置を変更する

地点の位置を変更することができます。

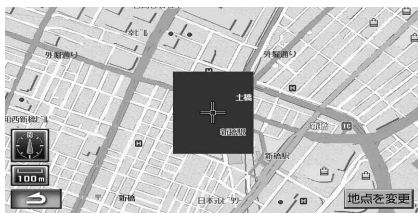
- 1 地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。
地点情報画面が表示されます。
• 「地点リスト画面を表示する」(102ページ) 参照。

- 2 **位置** にタッチします。
地点周辺の地図が表示されます。

- 3 変更したい地点に十字カーソルを合わせます。



- 4 **地点を変更** にタッチします。

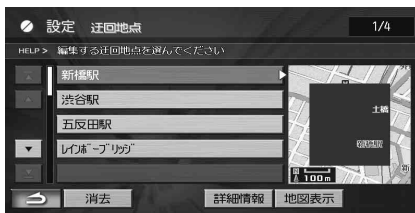


迂回地点情報画面が表示されます。
住所の内容が変更されます。

地点を消去する

地点を1件またはすべて消去します。

- 1 地点リスト画面で消去したい地点にタッチし、**消去** にタッチします。
• 「地点リスト画面を表示する」(102ページ) 参照。



- すべての地点を消去するには、**消去** にタッチし続けます。
消去を確認するメッセージが表示されます。

- 2 **はい** にタッチします。
地点が消去されます。

ドライブインフォメーション

ナビゲーション編

ドライブインフォメーション画面を表示する	106
ドライブインフォメーション画面の見かた	107
VICIS情報を見る	107
リアカメラ映像を見る	107
車速・横加速度を見る	108
ナビ画面を見る	108
エコドライブガイドを見る	108
走行距離を見る	109
GPS表示を見る	109
標高表示を見る	109
ドライブインフォメーション設定	110
設定操作	110
車種設定	110
INFO.表示設定	110



ドライブインフォメーション画面を表示する

ドライブインフォメーションでは、車速やGPS、ジャイロ等の情報を元に、ドライブに役立つ車の様々な情報を表示できます。また、エコガイド機能をご利用頂くことで、より低燃費になる運転の補助も行います。

ドライブインフォメーション画面は、画面全部で表示する全画面表示の他に、マルチゲート画面とマルチインフォメーション画面でも一部の情報が表示されます。マルチゲート画面については「マルチゲート画面」(26ページ)、マルチインフォメーション画面については「マルチインフォメーション画面」(29ページ)を参照してください。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ドライブインフォメーション** にタッチします。

- 2 **DRIVE INFO.表示** にタッチします。
ドライブインフォメーション画面が表示されます。



🔊 アドバイス

エコガイド機能に関して

- 本機能はエコノミー運転を支援する機能です。
- すでにエコノミー運転をされている場合、著しい燃費変化がない場合がございます。
- 本機能による効果は実測による参考値で、車や運転方法などの状況で異なる場合があります、燃費向上を保証するものではありません。
- 運転中、本機能の指示はあくまで参考とし、安全、交通の流れなどを配慮した運転を行ってください。

ドライブインフォメーションに関して

- 本機の数値表示機能はあくまで目安です。実際の速度はお車のスピードメーター等で確認の上、制限速度を守り安全運転に心がけてください。
- 本機の高標高表示機能はGPSデータを元にした目安です。GPS信号の受信状態等により、実際と異なる標高を示す場合があります。

ドライブインフォメーション画面の見かた

ドライブインフォメーション画面では、ドライブに役立つ様々な情報を表示します。

この章では主に、ドライブインフォメーション画面の見方について説明します。

<画面表示例>



<マルチインフォメーション画面時表示例>



ドライブインフォメーション表示

<マルチゲート画面時表示例>



ドライブインフォメーション表示

VICS情報を見る



1. VICSレベル1文字情報表示

情報が複数存在する場合は、10秒ごとに切りかわります。ただし走行中の情報切りかえは、新規情報を受信した時のみになります。

情報が無い場合は、文字情報を表示しません。

2. 渋滞・規制情報表示

ルート設定時に、約10キロ先までの渋滞・規制情報が表示されます。VICS道路交通情報マーク、渋滞・規制の内容、自車位置からの距離を表示します。

リアカメラ映像を見る



1. リアカメラ映像表示

「リアカメラを接続する」(182ページ)が「あり」に設定されている時は、リアカメラの映像を表示します。

車速・横加速度を見る



1. 車速バー表示
2. 瞬間車速表示
3. 横加速度表示

横方向の加速度を表示します(0.1G~1.0G)。加速度の増減に伴い、矢印の色も変化します。

ナビ画面を見る



1. ナビ画面表示

自車位置が地図上に表示されます。

- ヘディングアップ画面で表示されます。
- 地図縮尺は左画面(1画面)と同じスケールで表示されます。

<交差点案内表示例>



2. 交差点名称

3. 進行方向

4. 交差点までの距離



アドバイス

- 交差点案内、高速分岐案内を「する」に設定している場合は、拡大案内図表示中はドライブインフォメーション画面は解除されます。

エコドライブガイドを見る



1. エコガイド点数表示

走行中の加速度から、走行状態を採点します。横加速度が大きいと低く採点されます。

車速が30km/hを超えると1つの区間として採点し、車速が28km/hを下回ると区間終了になります。

- 停車中: 「SECT.」が表示され、区間毎の採点結果を表示します。
- 走行中: 「AVE.」が表示され、平均採点結果を表示します。

2. エコガイドバー表示

- 停車中: 区間採点結果表示

過去6区間の採点結果履歴を表示します。

最新の結果が1番上に表示されます。また、古い履歴は消去され、常に最新の6つの履歴のみが表示されます。

- 0~20点: 赤色バー
- 21~80点: 黄緑色バー
- 81~100点: 青色バー

- 走行中: ECO走行状態表示

加速時または減速時の加速度/減速度表示が大きいほど、点灯するバーが多くなります。

3. エコガイドインジケーター表示

- 停車中: 区間採点結果表示

エコガイド点数表示と連動して表示されます。

- 0~20点: BAD
- 21~80点: NORMAL
- 81~100点: GOOD

- 走行中: 走行状態表示

走行状態を表示します。急加速・急減速時には、点滅表示を行います。

- 加速中 : ACCE
- 一定走行中 : NORMAL
- 減速中 : BRAKE

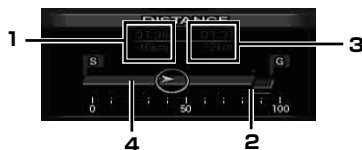
- 急加速時、急減速時には赤色で点滅表示します。

🔊 アドバイス

- 急加速/急減速を行うと、警告音が鳴ります。警告音をOFFにするには「ECOガイドーン出力設定」(110ページ)を「しない」に設定してください。

走行距離を見る

<ルート設定時>



1. 案内開始～現在までの走行時間、走行距離
2. 一般道路と、高速道路/有料道路の乗り降り地点
3. 目的地までの到着所要時間、残距離
4. 走行距離バー表示
青色：一般道
緑色：高速道路、有料道路

<ルートがない場合>



5. 走行中の道路名称または現在地名

GPS表示を見る



1. GPS/方位表示:

- 📶 :GPS受信中
- 📶 :GPSサーチ中

方位表示: 方位表示が回転して、現在の方位が表示される。

標高表示を見る



1. 標高履歴バー表示
2. 現在地の標高表示

ドライブインフォメーション設定

設定操作

ドライブインフォメーションに関する設定を行います。

次の手順1～5は、ドライブインフォメーション設定の共通操作になります。各項目の詳しい操作方法については、該当ページを参照してください。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ドライブインフォメーション** にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **車種設定** または **INFO.表示設定** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。

- 5 **(POS.)** スイッチを押して現在地画面に戻します。

- **(POS.)** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

車種設定

お車の形状を選択します。

設定項目：表示車種設定

設定値：SEDAN/STATION WAGON/RV/
COUPE/KEI CAR/CONVERTIBLE/
HATCHBACK/MINI VAN

INFO.表示設定

ECOガイドトーン出力設定

ECOガイドの警告音を出力するかしないかを設定します。

設定項目：ECOガイドトーン

設定値：する/しない

する：ECOガイドトーンを出力する

しない：ECOガイドトーンを出力しない

ECO情報を初期化する

ECO走行ガイドに表示されるECO情報を初期化します。

設定項目：ECO情報

設定値：初期化

- 1 **初期化** にタッチします。

初期化を確認するメッセージが表示されます。

- 2 **はい** にタッチします。

標高最大値を設定する

「標高表示を見る」(109ページ)で表示される標高の最大値を設定することができます。

設定項目：標高最大値

設定値：300m/500m/1500m/2500m

VICS情報を見る

ナビゲーション編

VICSってこんなこと	112
提供される情報	113
情報を提供する媒体	113
利用できる情報	114
VICS情報の画面	114
FM多重/ビーコン情報について	114
VICS情報画面の呼び出しかた	118
VICS情報画面の操作	119
FM多重放送を見る	120
自動で選局する	120
マニュアルで選局する	120
VICS情報を見る	121
割込み情報を見る	122
割込み情報を呼び出す	122
駐車場情報を見る	123
駐車場リスト画面の表示	123
駐車場の詳しい情報を見る	123
駐車場の地図を見る	124
SA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア) 情報を見る	124
VICS設定	125
VICS設定操作	125
VICS設定	125
VICS地図表示を設定する	126
VICSに関する補足事項	128

VICSってこんなこと

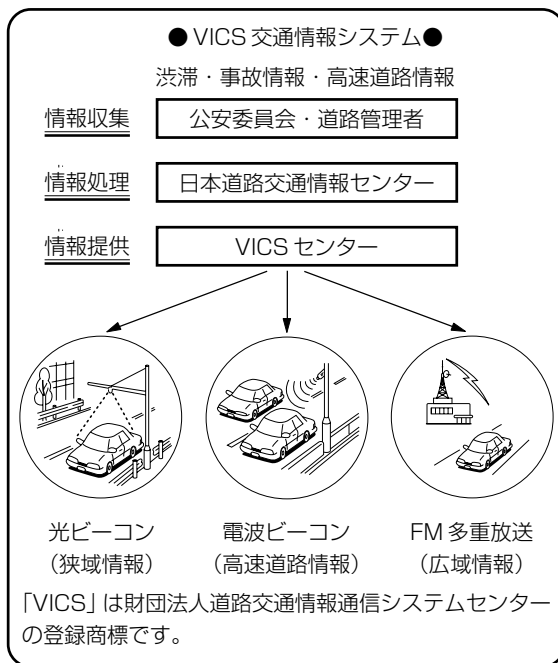
■ 「VICS(ビークル インフォメーション アンド コミュニケーションシステム)」とは

「楽しいドライブなのに突然渋滞。なんでこんなに混んでいるの？ 空から見下ろしてみたい！」

この要求に答えたのが「VICS」です。「VICS」は、渋滞情報や駐車場の空き情報などのさまざまな交通情報をリアルタイムに提供します。

この情報を利用すれば渋滞を減らすことができ、交通の流れが分散されます。

さらにイライラによる精神的なストレス/経済的なロス/排気ガスの削減なども期待できるのです。



- VICSによる渋滞・混雑などの情報を地図上に表示するためあらかじめ「地図」に情報提供用の道路単位(VICSリンク)を設定しています。道路形状や交通情報収集施設の変化にともない、より正確な情報提供表示を行うために毎年情報提供単位が追加・変更されます。

このためにVICSによる地図情報表示は「本製品」発売後概ね3年程度で一部のエリアでVICSの地図情報が表示されなくなる場合があります。より正確な情報を表示するためには最新の「地図」をご使用ください。(本製品の道路単位は2005年11月版です)

- VICSに関する最新情報はインターネット(<http://www.vics.or.jp>)でも確認できます。

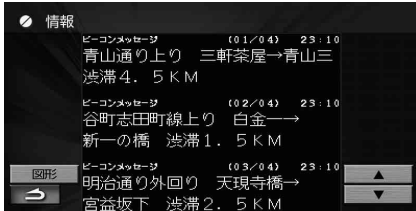


提供される情報

レベル1～レベル3の3段階が用意されています。

■ レベル1(文字表示型)FM文字多重放送

モニターに3ページ分の文字を表示
走行中は1ページ(2行30文字程度)の文字を表示します。



■ レベル2(簡易図形表示型)VICS図形情報

モニターに簡単な道路図形を表示



■ レベル3(地図表示型)

モニター上の地図画面に交通情報を重ね書き表示
レベル3(地図表示型)は、常に最新の情報を地図上に表示します。最新の情報を受信すると、渋滞情報などの表示が更新されます。



情報を提供する媒体

次の3種類があります。

■ FM多重放送(広域ゾーン型)

見えるラジオのようにFM波のすき間にVICS情報を盛り込みます。FM局を受信していれば利用できるので広い範囲の情報をリアルタイムに提供します。

■ ビーコン(間欠極小ゾーン型)

ビーコンには、主に次の2種類があります。ともにビーコンが設置された周辺の情報を提供します。

- ・電波ビーコン
高速道路に設置されています。
- ・光ビーコン
一般道路に設置されています。

🔊 アドバイス

- 本機には、レベル1～レベル3のVICS情報が利用できるプログラムが入っています。
- ビーコン情報を見るには、別売のビーコンユニットが必要です。
- VICSリンクデータの著作権は(財)デジタル道路地図協会、(財)日本交通管理技術協会にあります。

 VICS[®]マークはVICSの登録商標です。

利用できる情報

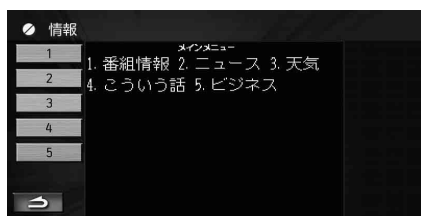
VICS情報の画面

■ 現在地画面表示例

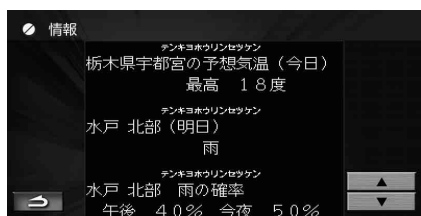


1. VICSタイムスタンプ

■ 目次画面表示例



■ 情報画面表示例



🔊 アドバイス

- タイムスタンプは、VICS情報が提供された時刻であり、現在時刻やVICSが受信された時刻ではありません。
- タイムスタンプの時刻は、VICS情報が継続して受信されないと、約30分または約60分後に自動的に消去されます（「情報保持時間を設定する」125ページ参照）。

FM多重/ビーコン情報について

- VICS情報を見るためには、交通情報を放送しているFM多重放送局を受信する必要があります。
- 番組のメニュー数や内容は放送局により異なります。
- データのダウンロード中は、情報を表示することができません。また、正確に情報を表示しない場合があります。

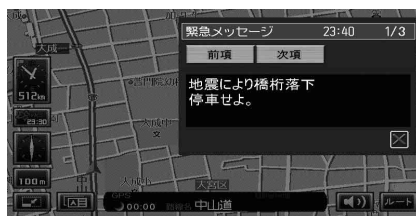
■ 規制情報受信時の案内

推奨ルート上に何らかの規制や渋滞が発生すると、画面上の表示でこれを知らせます。運転に集中しながら、新しい情報をより確実にキャッチできます。

■ 緊急・注意警戒表示

FM多重放送/ビーコンに関わらず地震や災害時の停車、避難の場所など、行動指示の情報を強制的に表示します。

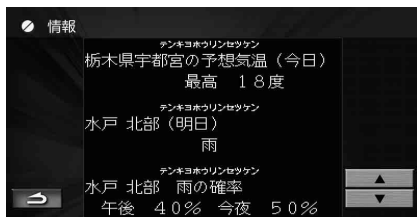
(レベル1)





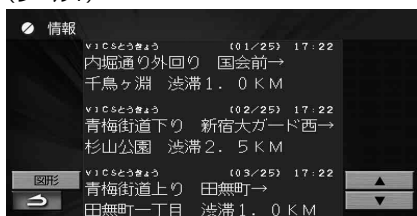
■ FM文字多重放送(120ページ参照)

FM放送局の文字放送(見えるラジオ)の番組を選んで、交通情報や気象情報などを見ることができます。(レベル1)



■ VICS情報(121ページ参照)

VICSから受信した交通に関する簡易図形情報などを表示します。(レベル1)



(レベル2)



■ ビーコン図形/文字情報(122ページ参照)

走行予定交差点の混雑状況などを簡易図形として表示します。ビーコン情報は、割込み表示が「する」に設定されている場合は、ビーコン受信時に自動的に表示されます。

(レベル2)



(レベル1)



- ビーコン図形文字情報を割り込み表示するかどうかを設定できます(「割り込み情報表示を設定する」125ページ参照)。
[BEACON]ビーコンユニットが必要です。

■ 渋滞・混雑/空き道表示

渋滞地点や渋滞区間などを地図上に表示します。混雑具合や混雑方向は以下のように表示されます。

渋滞情報渋滞度	表示	内容
渋滞	赤色	交通の流れが非常に悪い状態
混雑	橙色	交通の流れがやや悪い状態
空き道	水色	交通の流れが良い状態

(レベル3)



- ・渋滞・混雑/空き道表示は、地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。
- ・渋滞・混雑/空き道表示をするかどうかを設定できます(「渋滞・混雑表示を設定する」126ページ、「空き道表示を設定する」126ページ参照)。

■ 駐車場情報の表示

VICSに提供された駐車場等のマークを地図上に表示します。さらにマークにタッチすると詳しい情報が表示されます。また、見たいときに周辺のVICS提携駐車場を探すこともできます(「駐車場リスト画面の表示」123ページ、「駐車場の地図を見る」124ページ参照)。

駐車場情報例

状況	表示(マーク)	内容
空車	(青)P	利用が可能な状態
満車	(赤)P	ほぼ満車の状態
混雑	(橙)P	利用率が高い状態
不明	(黒)P	駐車場情報がない状態

(レベル3)



- ・駐車場マークは、地図スケールが1km以下の詳細な地図で觸示されます。
- ・駐車場マークを表示するかどうかを設定できます(「駐車場マークを表示する」127ページ参照)。



■ 規制マーク表示

速度、車線、チェーンなど、さまざまな規制情報を規制マークとして進行方向の左側に表示します。対象区間は黒色で地図上(道路上)に表示します。さらにマークにタッチすると詳しい情報が表示されます。

マーク	表示(マーク)
	進入禁止
	入口閉鎖
	事故
	工事

(レベル3)



- 規制マークを表示するかどうかを設定できます(「規制マークを表示する」127ページ参照)。

🔊 アドバイス

- 規制マークにタッチすると、詳しい情報が表示されます。**情報**にタッチすると、駐車場の詳細情報が表示され**次へ**にタッチすると、近くの駐車場を選択します。



🔊 注意

- VICS、FM多重放送の受信について
FM多重放送で提供される一般文字情報およびVICS情報の受信はラジオアンテナおよびTVアンテナを利用しております。したがって受信するときは、ポール式のラジオアンテナの場合、必ずアンテナを伸ばした状態にし、TVアンテナは確実に接続してください。

🔊 アドバイス

- VICS対象道路は将来の計画も含めた情報提供の可能性のある道路です。したがって、現時点では情報提供されていない道路もあります。
- 行程ガイドを表示しているときは、行程ガイドにもVICS情報が表示されます。行程ガイドについては、「行程ガイド画面について」(49ページ)を参照してください。
- 左記以外のVICS情報マークについては、「VICS道路交通情報マーク一覧」(193ページ)を参照してください。

VICS情報画面の呼び出し方

VICS機能を使用するときは、以下のように操作します。

1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

2 **情報を見る** にタッチします。



情報メニュー画面が表示されます。



3 見たい項目にタッチします。

以降の操作は、各ページを参照してください。

- **FM多重**
FM多重放送を見る(120ページ参照)
- **VICS情報**
VICS情報を見る(121ページ参照)
- **VICS割込み情報**
割込み情報を見る(122ページ参照)
- **VICS駐車場情報**
駐車場情報を見る(123ページ参照)

🔊 アドバイス

- データを受信していない、またはビーコンユニット(別売)を接続していない場合、タッチスイッチはグレーになり、タッチすることができません。

VICS情報画面の操作

FM多重放送やVICS情報を受信すると、情報番組の目次が表示され、番組を選ぶと情報画面が表示されます。
FM多重放送やVICS情報には、文字情報と図形情報があり、停車中と走行中では表示される情報番組が以下のように異なります。

- 停車中は、文字情報と図形情報のうち先に受信したほうが表示されます。
- 停車中は、目次の1画面に3ページ分表示され、走行中は1ページずつ表示されます。

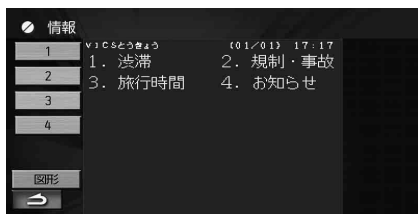
🔊 アドバイス

- 走行中に表示が許可されている番組は以下のとおりです。
総目次/最初の画面、緊急情報、交通情報、番組番号1、気象情報

ここでは、VICS情報を例にして説明します。

1 見たい番組の番号にタッチします。

■ 交通FM文字情報

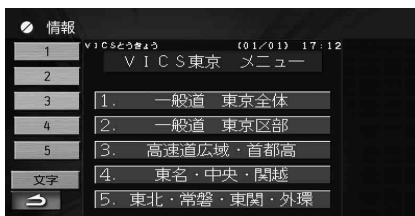


↓ ① にタッチ



- 複数ページある場合は、▲▼にタッチすると前後のページが表示されます。
- 図形にタッチすると、図形情報に切りかわります。

■ 交通FM図形情報



↓ ③ にタッチ



- 複数ページある場合は、▲▼にタッチすると前後のページが表示されます。
- 文字にタッチすると、文字情報に切りかわります。

2 番組を終了するには、⏮にタッチします。

FM多重放送を見る FM多重

FM放送局の文字放送(見えるラジオなど)を見ることが出来ます。選択できる番組は受信する放送局によって異なります。現在地で受信可能な放送局を自動で検索したり、周波数を指定して選択することができます。また、ラジオのFM放送に周波数を合わせたり、放送局の地域を指定して受信することもできます。

自動で選局する

現在地の都道府県にある放送局が受信されます。

1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

2 **情報を見る** にタッチします。

3 **FM多重** にタッチします。
受信可能な放送局が表示されます。

アドバイス

- 受信可能な放送局が表示されていない場合は、**再サーチ** にタッチして放送局をサーチします。

4 受信したい放送局にタッチします。



受信が開始され、情報画面が表示されます。

- 情報画面については、「VICS情報画面の操作」(119ページ)を参照してください。

マニュアルで選局する

選んだ周波数の放送局が受信されます。

1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

2 **情報を見る** にタッチします。

3 **FM多重** にタッチします。
受信可能な放送局が表示されます。

4 **◀◀** または **▶▶** にタッチします。



◀◀ **▶▶** にタッチするたびに、画面左上の周波数が0.1MHzずつ増減します。

5 合わせたい周波数が表示されたら、**受信開始** にタッチします。

受信が開始され、情報画面が表示されます。

- 情報画面については、「VICS情報画面の操作」(119ページ)を参照してください。

アドバイス

- **再サーチ** にタッチすると、放送局をサーチします。

VICS情報を見る FM多重

VICS情報は、地域の道路状況などが文字または簡易図形として表示されるので、地域道路の混雑状況を一目で確認できます。

1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

2 **情報を見る** にタッチします。



3 **VICS情報** にタッチします。



受信が開始され、受信中の情報画面が表示されます。

- VICS情報を受信していないときは、**VICS情報** はトーンダウンされ操作することはできません。
- 情報画面については、「VICS情報画面の操作」(119ページ)を参照してください。

割り込み情報を見る ビーコン

割り込み情報とは、ビーコンユニット(別売)によって受信した直後に、他の画面に割り込んで提供される情報のことです。

ビーコンから受信できる情報には、以下のような種類があります。

● 緊急情報

地震や災害時の停車、避難の場所など、行動指示の情報を表示します。

● 注意警戒情報

通行止めや規制などの注意情報を表示します。

● ビーコン図形情報

走行予定交差点の道路状況などを簡易図形として表示するので、次の交差点の混雑状況が一目で確認できます。

● ビーコン文字情報

ビーコン通過時に受信したさまざまな文字情報を画面に表示します。

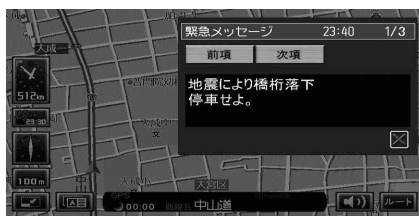
● ことわり情報

VICS情報センターからのメッセージなどを表示します。

アドバイス

- 割り込み情報を自動で表示するかどうかを設定できます(「割り込み情報表示を設定する」125ページ参照)。
- 緊急情報および注意警戒情報は、「割り込み情報表示を設定する」(125ページ)の設定に関係なく割り込み表示されます。
- ビーコン図形/文字情報、ことわり情報は、「割り込み情報の表示時間を設定する」(125ページ)で設定した時間を経過するか  または  にタッチすると表示を終了します。緊急情報、注意警戒情報は  にタッチするまで終了しません。

■ 緊急情報/注意警戒情報表示画面の操作

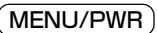
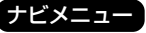
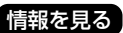


-  にタッチすると、表示が消えます。
-  前頁  次頁 にタッチすると、前後のページに切りかわります。

割り込み情報を呼び出す

「割り込み情報表示を設定する」を「しない」(125ページ)に設定しているときに、受信された割り込み情報を表示させることができます。また、一度表示された割り込み情報を再度表示させることができます。

メニューから呼び出す

- 1  スイッチを押した後、 にタッチします。
- 2  にタッチします。
- 3  にタッチします。



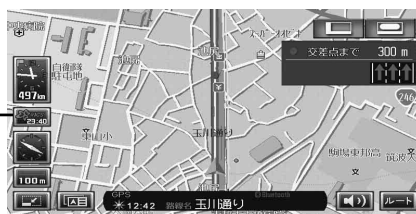
- 割り込み情報を受信していないときは、 スイッチはトーンダウンされ操作することはできません。ビーコンから受信した図形/文字情報が表示されます。



- 情報画面については、「VICS情報画面の操作」(119ページ)を参照してください。

VICSタイムスタンプから呼び出す

- 1 VICSタイムスタンプにタッチします。



VICSタイムスタンプ

ビーコンから受信した図形・文字情報が表示されます。

駐車場情報を見る

VICSと提携している駐車場をリスト表示し、現在の混み具合のほか、地図や詳細情報を確認することができます。

駐車場リスト画面の表示

駐車場の情報を確認することができます。

🔊 アドバイス

- 走行中は安全のため、駐車場リスト画面は表示されません。

1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

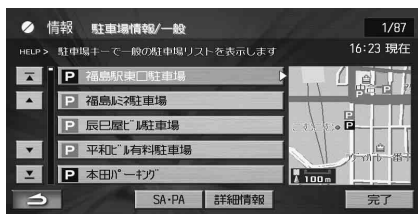
2 **情報を見る** にタッチします。

3 **VICS駐車場情報** にタッチします。

- 駐車場情報を受信していないときは、**VICS駐車場情報** スイッチはトーンダウンされ操作することはできません。

駐車場リスト画面に、付近の駐車場名と混み具合が表示されます。

4 いずれかの駐車場にタッチし、必要に応じて以下の操作を行います。



- **詳細情報**
駐車場の詳しい情報を見る(123ページ参照)
- **完了**
駐車場の地図を見る(124ページ参照)
- **SA・PA**
SA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア)情報を見る(124ページ参照)

■ 駐車場アイコン表示

状況	警告マーク	警告マーク
空車	 (青)	利用が可能な状態
満車	 (赤)	ほぼ満車の状態
混雑	 (橙)	利用率が高い状態
不明	 (黒)	駐車場情報がない状態

🔊 アドバイス

- 走行中は安全のため、リストはトーンダウンして操作できません。

■ 駐車場の詳しい情報を見る

🔊 アドバイス

- 走行中は安全のため、詳細情報は表示されません。

1 駐車場リスト画面で **詳細情報** にタッチします。

駐車場の詳細情報が表示されます。

- 「駐車場リスト画面の表示」(123ページ)参照。

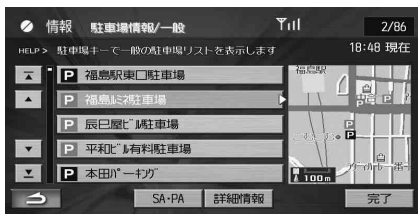


- **完了** にタッチすると、駐車場周辺の地図が表示されます。

駐車場の地図を見る

1 駐車場リスト画面または詳細情報画面で

完了 にタッチします。



駐車場の地図が表示されます。

- 「駐車場リスト画面の表示」(123ページ)、「駐車場の詳しい情報を見る」(123ページ)参照。
- 地図の操作については、「スクロールや検索して表示させた地図の操作」(53ページ)を参照してください。

アドバイス

- 地図上の駐車場マークにタッチして情報を表示させることもできます。



- 情報** にタッチすると、駐車場の詳細情報が表示されます。
- 次へ** にタッチすると、近くの駐車場を選択します。



SA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア)情報を見る

アドバイス

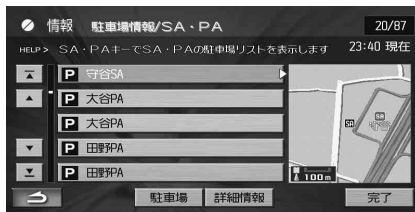
- 走行中は安全のため、リストはトーンダウンして操作できません。

1 駐車場リスト画面で **SA・PA** にタッチします。

サービスエリア(SA)とパーキングエリア(PA)のリストが表示されます。

- 「駐車場リスト画面の表示」(123ページ)参照。

2 いずれかのSA・PAにタッチし、必要に応じて以下の操作を行います。



- 詳細情報**
SA・PAの詳細情報を見る(「駐車場の詳しい情報を見る」(123ページ)参照)
- 完了**
SA・PAの地図を見る(「駐車場の地図を見る」(124ページ)参照)
- SA・PAリスト画面で **駐車場** にタッチすると、駐車場リスト画面が表示されます。

アドバイス

- SA・PA情報は1kmスケール図よりも詳細な地図で表示させることができます。



VICS設定操作

VICSに関する設定を行います。

次の手順1～5は、VICS設定の共通操作になります。
各項目については、該当ページを参照してください。

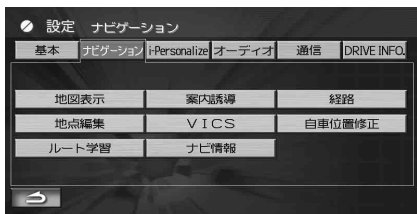
- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、
ナビメニュー にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **VICS** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。

- 5 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。
• **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

VICS設定

情報保持時間を設定する

受信したVICS情報の保存時間を設定できます(初期設定値は「60分」)。ここで設定した時間が経過すると、情報が自動的に消去されます。

設定項目：情報保持時間

設定値：30分/60分

30分：受信した情報を30分間保存する。

60分：受信した情報を60分間保存する。

割り込み情報表示を設定する

ビーコンによる図形・文字情報を、他の画面に割り込ませて表示するかどうか設定できます(初期設定値は「する」)。

設定項目：情報割り込み

設定値：する/しない

割り込み情報の表示時間を設定する

割り込み画面の表示時間を設定することができます。(初期設定値は「10秒」)。

- 1 **戻る** または **進む** にタッチして、表示時間を指定します。

設定項目：割り込み時間

設定値：10～20秒



VICS地図表示を設定する

VICSの地図表示に関する設定を行います。1画面/左画面と右画面、それぞれで設定を行うことができます。

設定操作

1画面/左画面、または右画面のVICS地図表示に関する設定を行います。

次の手順1～4は、設定の共通操作になります。各項目については、該当ページを参照してください。

1 現在地画面で にタッチします。



地図切替画面が表示されます。

2 **1/左画面表示設定** または **右画面表示設定** にタッチします。



左画面(1画面)設定画面、または右画面設定画面が表示されます。

3 各項目にタッチし、設定を行います。

4 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。

-  にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

渋滞・混雑表示を設定する

渋滞している箇所がわかるように、渋滞線を表示することができます(渋滞:赤実線矢印、混雑:橙実線矢印)(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 渋滞・混雑表示

設定値 : する/しない

する : 地図上に渋滞線を表示します。

しない : 渋滞線表示を行いません。



空き道表示を設定する

「する」に設定すると、渋滞が発生していない道路に青実線矢印を表示します(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 空き道表示

設定値 : する/しない

する : 地図上に空き道の表示を行います。

しない : 空き道表示を行いません。



渋滞予測表示(渋滞・混雑)

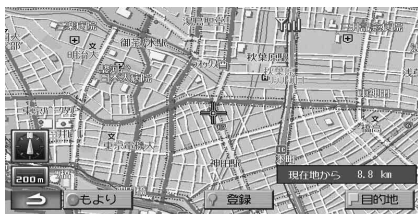
渋滞が予想される箇所を、地図に破線で表示することができます(渋滞:赤破線矢印、混雑:橙破線矢印)(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 渋滞予測表示(渋滞・混雑)

設定値 : する/しない

する : 地図上に破線(渋滞・混雑)を表示します。

しない : 渋滞予測表示を行いません。



🔊 アドバイス

- 実線矢印で表示されるVICS情報と破線表示の渋滞予測が両方ある場合は、VICS情報が優先して表示されます。

渋滞予測機能について

- 本機能はJARTIC/VICSセンターから提供された、現状情報を元に、NTTデータが独自に作成した渋滞予測データを利用しています。
- 渋滞予測は現況の渋滞情報を考慮したものではありません。

渋滞予測表示(空き道)

渋滞が発生しないと予想される箇所を、青破線矢印で表示することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：渋滞予測表示(空き道)

設定値：する/しない

する：地図上に破線(空き道)を表示します。

しない：渋滞予測表示を行いません。



🔊 アドバイス

- 実線矢印で表示されるVICS情報と破線表示の渋滞予測が両方ある場合は、VICS情報が優先して表示されます。

駐車場マークを表示する

VICS提携駐車場のマークを案内画面に表示することができます(初期設定値は「しない」)。

設定項目：VICS駐車場マーク表示

設定値：する/しない

する：地図上にVICS提携駐車場マークを表示します。

しない：駐車場マークの表示を行いません。



🔊 アドバイス

- 駐車場マークは1kmスケール図よりも詳細な地図で表示させることができます。

規制マークを表示する

規制区間のマークを案内画面に表示することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：規制マーク表示

設定値：する/しない

する：地図上にVICS規制マークを表示します。

しない：規制マークの表示を行いません。



🔊 アドバイス

- 規制マークは1kmスケール図よりも詳細な地図で表示させることができます。

VICS情報提供道路の設定

VICS情報を提供する道路を全道路、高速道、一般道から選択することができます(初期設定値は「全道路」)。

設定項目：VICS提供道路

設定値：全道路/高速/一般

全道路：高速・有料道路、一般道路どちらにもVICS道路
交通情報マークや渋滞線などを表示します。

高速：高速・有料道路のみVICS情報が表示されます。

一般：一般道路のみ、VICS情報が表示されます。

路上駐車場マークを表示する

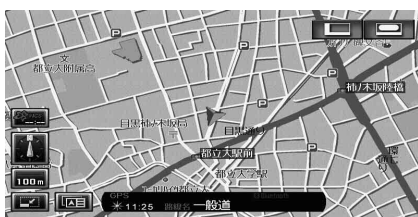
路上駐車場のマーク(角丸の四角形)を案内画面に表示することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：路上駐車場マーク表示

設定値：する/しない

する：地図上に路上駐車場マークを表示します。

しない：路上駐車場マークの表示を行いません。



🔊 アドバイス

- 駐車場マークは1kmスケール図よりも詳細な地図で表示させることができます。
- VICS提携駐車場同様、混雑の程度を色別表示します。色の意味については「駐車場情報の表示」(116ページ)を参照してください。

VICSに関する補足事項

■ VICS情報が受信できる代表的な周波数

VICS代表局一覧		
サービスエリア	局名	周波数
北海道(旭川地区)	VICS旭川	85.8MHz
北海道(札幌地区)	VICS札幌	85.2MHz
北海道(函館地区)	VICS函館	87.0MHz
北海道(釧路地区)	VICS釧路	88.5MHz
北海道(北見地区)	VICS北見	86.0MHz
青森県	VICS青森	86.0MHz
宮城県	VICS宮城	82.5MHz
岩手県	VICS岩手	83.1MHz
秋田県	VICS秋田	86.7MHz
山形県	VICS山形	82.1MHz
福島県	VICS福島	85.3MHz
茨城県	VICS茨城	83.2MHz
栃木県	VICS栃木	80.3MHz
群馬県	VICS群馬	81.6MHz
埼玉県	VICS埼玉	85.1MHz
千葉県	VICS千葉	80.7MHz
東京都	VICS東京	82.5MHz
神奈川県	VICS神奈川	81.9MHz
新潟県	VICS新潟	82.3MHz
富山県	VICS富山	81.5MHz
石川県	VICS石川	82.2MHz
福井県	VICS福井	83.4MHz
山梨県	VICS山梨	85.6MHz
長野県	VICS長野	84.0MHz
岐阜県	VICS岐阜	83.6MHz
静岡県	VICS静岡	88.8MHz
愛知県	VICS愛知	82.5MHz
三重県	VICS三重	81.8MHz
滋賀県	VICS滋賀	84.0MHz
京都府	VICS京都	82.8MHz
大阪府	VICS大阪	88.1MHz
兵庫県	VICS兵庫	86.5MHz
奈良県	VICS奈良	87.4MHz
和歌山県	VICS和歌山	84.7MHz
鳥取県	VICS鳥取	85.8MHz
島根県	VICS島根	84.5MHz
岡山県	VICS岡山	88.7MHz
広島県	VICS広島	88.3MHz
山口県	VICS山口	85.3MHz
徳島県	VICS徳島	83.4MHz
香川県	VICS香川	86.0MHz
愛媛県	VICS愛媛	87.7MHz
高知県	VICS高知	87.5MHz
福岡県	VICS福岡	84.8MHz
佐賀県	VICS佐賀	81.6MHz
長崎県	VICS長崎	84.5MHz
熊本県	VICS熊本	85.4MHz
大分県	VICS大分	88.9MHz
宮崎県	VICS宮崎	86.2MHz
鹿児島県	VICS鹿児島	85.6MHz
沖縄県	VICS沖縄	88.1MHz

■ ビーコン送受信機をご利用のお客様へ

ビーコンからの情報はFM多重情報と違い、ビーコン近傍の限られた場所でのしか受信できません。そのため次のような動作をする場合がありますので、ご注意ください。

1) 他のVICS情報を受信してしまう

- 近くにビーコンのある道路を走行していませんか。
- 対向車線にビーコンはありませんか。

2) 受信しないときがある

- ビーコンが大型車両の陰になっていませんか。
- VICS運用が休止していませんか。
- 道幅の広い道路ではありませんか。
- ビーコンアンテナの前に電波や光をさえぎるものはありませんか。
- トンネルの中ではありませんか。
- ビーコンが設置されていても受信できない場合があります
- ビーコンアンテナの前面が汚れていませんか。
(前面のフィルタを傷つけないよう、柔らかい布で拭き取ってください)
- フロントガラスがひどく汚れていませんか。

■ VICSの運用時間

- FM多重
24時間(第1、第3月曜AM1:00~AM5:00は休止する場合があります)
- ビーコン
24時間

■ VICSに関するお問い合わせ

- VICSの概念・計画、表示された情報内容
表示内容(レベル1) 表示内容(レベル2)
(財) VICSセンター(東京センター)

TEL (0570)00-8831

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ PHSからはご利用できません。

PHS専用(03)3592-2033(東京)

PHS専用(06)6209-2033(大阪)

電話受付時間 9:30~17:45

(土日、祝祭日は除く)

FAX (03)3592-5494(24時間受付)

- 情報提供地域の違いによって情報内容が異なります。
VICSのホームページをご覧ください。



● 地図表示型(レベル3)

サービスエリア 受信可否 車載機の調子、機能、
使い方

アルパイン インフォメーションセンター

<一般回線ご利用のお客様用>

TEL: 0570-006636

※ 全国どこからでも市内通話
料金でご利用頂けます。



<携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用>

TEL: 048-662-6636

電話受付時間 9:30~17:30

(土日、祝日、弊社休業日を除く)

FAX: 048-662-6676 (24時間受付)

FAXは24時間受け付けています。

● アルパイン ホームページ

<http://www.alpine.co.jp>

設定

ナビゲーション編

地図表示設定	132
地図表示設定操作	132
地図表示設定	132
自転車位置を修正する	136
案内誘導設定	137
案内誘導設定操作	137
案内誘導設定	137
経路設定	140
経路設定操作	140
経路設定	140
ルート学習設定	142
ルート学習設定操作	142
ルート学習設定	142
ナビ情報設定	144
ナビ情報設定操作	144
ナビ情報	144
情報消去	146
情報を消去する	146

地図表示設定

地図表示設定操作

地図表示に関する設定を行います。

次の手順1～5は、地図表示設定の共通操作になります。
各項目については、該当ページを参照してください。

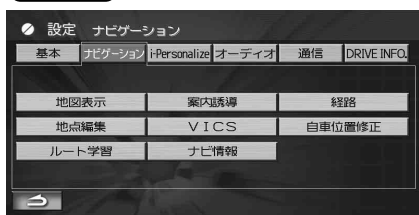
- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、
ナビメニュー にタッチします。



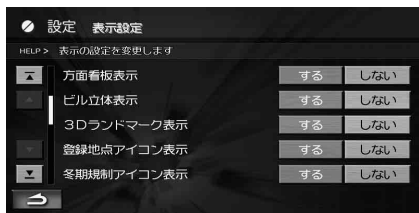
- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **地図表示** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。



- 5 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。

- **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

地図表示設定

地図色を切りかえる

本機は画面を見やすくするため、昼画面と夜画面を切りかえることができます。昼、夜それぞれの地図表示色を4種類から選択することができます(初期設定値は、昼「クリア」、夜「ミスト」)。

設定項目：地図色切替

設定値：昼/夜→シック/モダン/ファイン/クルーズ

- 1 「地図色切替」の「昼」または「夜」にタッチします。

- 2 **昼** にタッチすると昼色設定画面が表示され、**夜** にタッチすると夜色設定画面が表示されます。

- 3 **シック**、**モダン**、**ファイン**、**クルーズ** いずれかの色にタッチします。



昼画面/夜画面の設定

本機は、昼画面/夜画面の切りかえを何に連動させるのかを選ぶことができます(初期設定値は「イルミ連動」)。

設定項目：地図色昼/夜切替

設定値：イルミ連動/ディマー連動/しない

イルミ連動：スモールランプの点灯・消灯により昼画面と夜画面が切りかわります。

ディマー連動：車内の明るさに連動して、昼画面と夜画面が切りかわります。

しない：昼画面のまま固定され、夜画面に切りかえません。

行政区色分け表示の設定

市街地図で行政区の色を分けて表示するかどうか設定することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：行政区色分け

設定値：する/しない

する：市街地図で行政区(大字)で色分け表示をします。

しない：行政区での色分け表示を行いません。

地図の文字サイズを設定する

地図上に表示される文字サイズを、お好みに合わせて設定することができます。

設定項目：施設文字

設定値：標準/拡大

拡大：地図上の文字サイズが大きくなります。

標準：標準の文字サイズで表示します。

地図表示言語を英語にする

地図上の表示言語を英語に設定することができます(初期設定値は「日本語」)。

設定項目：地図表示言語設定

設定値：日本語/英語

日本語：地図上の表示言語を日本語に設定します。

英語：地図上の表示言語を英語に設定します。



冬期規制アイコンを表示する

冬に通行止めとなる箇所アイコン表示をするかどうかを設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目：冬期規制アイコン表示

設定値：する/しない

する：地図上に冬期規制箇所をアイコン表示します。

しない：冬期規制箇所のアイコン表示を行いません。



冬期規制アイコン

アドバイス

- 冬期規制アイコンは1kmスケール以下の地図で表示されます。
- 「する」に設定すると、冬期(11月～3月)の間、冬期規制アイコンが表示されます。道路によっては、4月～10月の期間内でも冬期閉鎖になっている場合があります。

登録地点アイコンを表示する

「地点の登録」(91ページ)で登録した地点にアイコンを表示するかどうかを設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目：登録地点アイコン表示

設定値：する/しない

する：登録地点にアイコンを表示します。

しない：登録地点にアイコンを表示しません。

方面看板を表示する

交差点の手前で方面看板を表示するかどうかを設定することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：方面看板表示

設定値：する/しない

する：方面看板表示を行います。

しない：方面看板表示を行いません。



方面看板

現在地情報表示の設定

インジケーターバーに表示される現在地の表示を、地名で表示するか路線名で表示するか選ぶことができます(初期設定値は「路線別名」)。

設定項目：現在地情報表示

設定値：地名/路線名

地名：現在地の地名を表示します。

路線名：走行中の路線名を表示します。



ビルを立体的に表示する

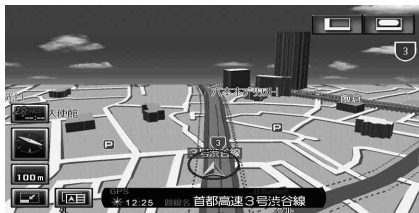
3Dマップで、ビルを立体的に表示するかどうかを設定することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目 : ビル立体表示

設定値 : する/しない

する : ビルを立体的に表示します。

しない : ビルの立体表示を行いません。



🔊 アドバイス

- ビルの立体表示は1km以下のスケールの地図で表示されます。

走行中の地図表示を切りかえる

走行中、市街地図表示を簡略化し、見やすくすることができます(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 走行連動地図切換

設定値 : する/しない

する : 走行中の地図表示を簡略化します。

しない : 走行連動地図切換を行いません。

3Dランドマークを表示する

主要施設のリアルな立体的アイコンを地図上に表示させることができます(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 3Dランドマーク表示

設定値 : する/しない

する : 施設の立体的なアイコンを表示します。

しない : 施設アイコンの立体表示を行いません。



🔊 アドバイス

- 3Dランドマーク表示は200m以下のスケールの地図で表示されます。

誘導方向を表示する

ルート案内中、目的地の方向を直線の誘導線に表示することができます(初期設定値は「しない」)。

設定項目 : 誘導方向表示

設定値 : する/しない

する : 目的地方向への誘導線を表示します。

しない : 誘導線の表示を行いません。



誘導線

高速ガイド表示の設定

ルート案内中、高速道路を走行し行程ガイド表示を行うと、右画面に高速ガイドを表示します(初期設定値は「する」)。

設定項目：高速ガイド表示

設定値：する/しない

する：高速ガイドを表示します。

しない：IN/OUT/JCT/料金所の表示は行いますが、IC/PA/SAの表示は行われなくなります。



細街路オートスケールの設定

細街路を走行すると、自動的に2画面表示に切りかわります。右画面には25mスケール市街地図が表示され、細街路の案内を行います(初期設定値は「する」)。

設定項目：細街路オートスケール

設定値：する/しない

する：細街路走行時、自動的に2画面に切りかえて右画面で25m市街地図を表示します。

しない：細街路オートスケールを行いません。

アドバイス

- 市街地図が収録されていない地域では、50mスケール地図が表示されます。
- 音声案内は行われません。

一般道路モード地図設定

一般道路を走行中は、一般道路を見やすく強調した地図表示を行います(初期設定値は「する」)。

設定項目：一般道路モード地図

設定値：する/しない

する：一般道路を見やすく表示します。

しない：通常地図を表示します。

高速/有料道路モード地図設定

高速/有料道路走行中は、高速/有料道路を見やすく強調した地図表示を行います(初期設定値は「する」)。

設定項目：高速・有料モード地図

設定値：する/しない

する：高速/有料道路を見やすく表示します。

しない：通常地図を表示します。

自転車マーク表示を設定する

自転車マークの表示をお好みに合わせて変更することができます。

設定項目：自転車マーク

設定値：設定する→自転車マーク1/自転車マーク2/自転車マーク3

自転車位置を修正する

GPS受信状況の変化により実際の車の向きと画面上の自転車マークの位置・方位が異なったときに修正することができます。ただし、修正しなくても走行を続ければ、情報が補正され正しい位置・方位になります。

1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

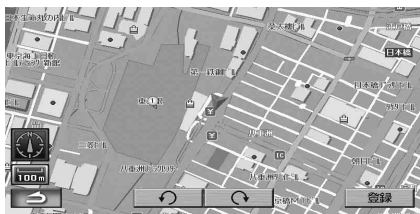
2 **設定を変える** にタッチします。

3 **自転車位置修正** にタッチします。
地図に現在の自転車位置が表示されます。

4 地図をスクロールして自転車位置を修正します。

- スクロールの方法については、「地図をスクロールする」(45ページ)を参照してください。

5   にタッチして自転車マークの向きを修正します。



-  にタッチすると左回りに、 にタッチすると右回りに自転車マークが回転します。

アドバイス

- 自転車位置修正画面では、自動的にノースアップ/100mスケール表示に切りかえられます。

6 **登録** にタッチします。
自転車位置がセットされます。

案内誘導設定



案内誘導設定操作

案内誘導に関する設定を行います。

次の手順1～5は、案内誘導設定の共通操作になります。
各項目については、該当ページを参照してください。

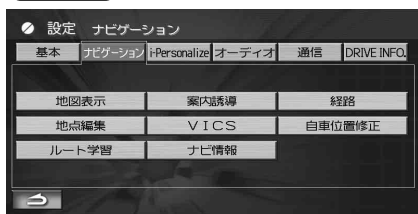
- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、
ナビメニュー にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **案内誘導** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。



- 5 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。

• **POS.** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

案内誘導設定

ルート行程情報表示の設定

経由地が設定してある場合、案内地点マークを経由地まで表示するか、目的地まで表示するかを設定することができます(初期設定値は「目的地まで」)。

設定項目 : ルート行程情報表示

設定値 : 目的地まで/経由地まで

目的地まで : 目的地までのルート行程情報を表示します。

経由地まで : 次の経由地までのルート行程情報を表示します。



案内地点マーク

県境案内を設定する

都道府県境を越えたとき、音声とメッセージで案内します(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 県境案内

設定値 : する/しない

する : 県境案内を音声とメッセージで行います。

しない : 県境案内を行いません。

合流案内を設定する

一般道路、高速道路のインターチェンジ(IC)・ジャンクション(JCT)・SA/PA出口など、合流が近づいた時に警告するかどうかを設定することができます(初期設定値は全て「する」)。

設定項目 : 一般道合流案内/SA・PA合流案内/IC合流案内/JCT合流案内

設定値 : する/しない

する : 合流案内を音声とアイコン表示で行います。

しない : 合流案内を行いません。

踏み切り案内を設定する

踏み切りが近づいたときに警告するかどうかを設定することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 踏み切り案内

設定値 : する/しない

する : 踏み切り案内を音声とアイコン表示で行います。

しない : 踏み切り案内を行いません。

設定

交通事故多発区間警告

交通事故が多発している区間に近づいたときに、警告するかどうかを設定することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：事故多発警告

設定値：する/しない

する：事故多発区間警告を音声とアイコン表示で行います。

しない：事故多発区間警告を行いません。

サウンド・映像画面に割り込み表示する

サウンド・映像モードにナビの音声案内と案内映像を割り込み表示させるかどうか、設定することができます。(初期設定値は「する」)。

設定項目：ナビ案内画面割込み

設定値：する/しない

する：サウンド・映像画面にナビ案内が割り込み表示します。

しない：サウンド・映像画面にナビ案内は割り込みません。

車両情報を設定する

車両情報を設定し、検索および料金を計算する基準とすることができます。車両種別(初期設定値は「普通」)と、車両寸法(初期設定値は「長さ・450cm」「幅・160cm」「高さ・150cm」)を設定します。

設定項目：車両種別

設定値：軽/普通/中型/大型/特大

設定項目：長さ/幅/高さ

設定値：(数字)cm

1 「車両種別」の **軽** **普通** **中型** **大型** **特大** のいずれかにタッチします。

2 「駐車場条件」の「長さ」「幅」「高さ」の **◀** または **▶** にタッチして車両寸法を設定します。



🔊 アドバイス

- 車両寸法については、車検証を参照してください。
- 提携駐車場は車両種別、車両寸法から検索しています。
- 料金案内・表示は車両種別から計算しています。

平均車速を設定する

目的地到着時間予想のための条件(速度)を設定します(初期設定値は「一般道・30km」「有料道路・60km」「高速道・80km」)。

設定項目：一般道車速設定/有料道車速設定/高速道車速設定

設定値：(数字)km/h

1 「一般道車速設定」「有料道車速設定」「高速道車速設定」の **◀** または **▶** にタッチして平均車速を設定します。



到着予想時刻を音声案内する

到着予想時刻を音声案内するかどうか、設定することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：到着予想時刻音声案内

設定値：する/しない

する：到着予想時刻を音声案内します。

しない：到着予想時刻の音声案内は行いません。

ETC案内を設定する

入口や出口のインターチェンジにて、ETCの情報を表示や音声で知ることができます(初期設定値は「しない」)。

設定項目：ETC案内

設定値：する/しない

する：ETC情報や料金を案内します。

しない：ETCの案内を行いません。

リアルジャンクションガイドを設定する

動画データのある交差点の拡大表示を設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目：リアルジャンクションガイド

設定値：する/しない

する：動画データのある交差点を拡大表示して案内します。

しない：リアルジャンクションガイドを行いません。



詳細案内図表示を設定する

詳細案内図表示を設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 詳細案内図表示

設定値 : する/しない

する : 詳細図を表示して案内します。

しない : 詳細案内図表示を行いません。



アドバイス

- 詳細案内図の種類については、「交差点・高速分岐案内」(86ページ)を参照してください。

レーンガイドを表示する

ルート走行中、右左折専用などのレーン情報を表示することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目 : レーンガイド表示

設定値 : する/しない

する : 交差点手前でレーン情報を表示します。

しない : レーンガイドの表示を行いません。

経路設定

経路設定操作

経路に関する設定を行います。

次の手順1~5は、経路設定の共通操作になります。各項目については、該当ページを参照してください。

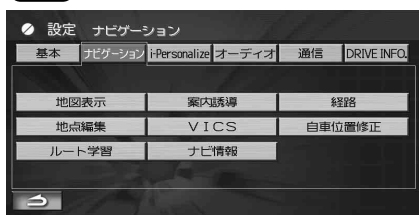
- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。



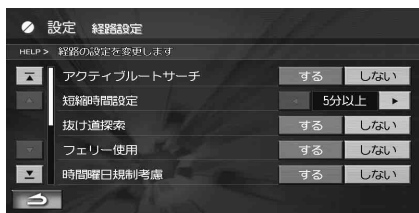
- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **経路** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。



- 5 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。

• **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

経路設定

アクティブルートサーチを設定する

ルートを走行中に、距離や時間、VICs電波・光ビーコンの渋滞情報などあらゆる道路情報を常時演算し最短時間で行ける区間をルートを発見した場合、リアルタイムに表示します。

ここではアクティブルートサーチ機能を利用するかどうか設定できます(初期設定値は「する」)。また、到着予想時刻が何分以上短縮された場合に変更するのかを設定できます(初期設定値は「5分以上」)。

設定項目 : アクティブルートサーチ

設定値 : する/しない

する : アクティブルートサーチを利用します。

しない : アクティブルートサーチ機能を利用しません。

設定項目 : 短縮時間

設定値 : 5分以上~30分以上

- 1 「アクティブルートサーチ」の **する** または **しない** にタッチします。

- 2 するにタッチした場合は、「短縮時間」の **戻る** または **進む** にタッチして時間を設定します。

設定した時間よりも到着予想時刻が短縮できる場合のみ、アクティブルートサーチ案内が行われます。



アドバイス

- 「する」に設定していても最適なルートが見つからない場合は、アクティブルートサーチ機能が働かません。

抜け道を探る

本機は、抜け道道路データを使用することにより、渋滞地点を回避するルートを探ることができます(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 抜け道探索

設定値 : する/しない

する : 抜け道探索機能を使用します。

しない : 抜け道探索機能を使用しません。

フェリー航路を含むルートを探索する

フェリー航路を利用したルートを探索するかどうかを設定することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：フェリー使用

設定値：する/しない

する：フェリー航路を利用したルートを探索します。

しない：出来るだけフェリーを使用しないルートを探索します。

時間曜日規制を考慮する

時間や曜日によって規制される区間を避けて、ルートを探索することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：時間曜日規制考慮

設定値：する/しない

する：時間曜日規制を考慮してルートを探索します。

しない：ルート探索時に時間曜日規制を考慮しません。

迂回地点を回避する

ルート探索時に、登録した迂回地点を回避することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：回避エリア考慮

設定値：する/しない

する：迂回地点を考慮してルートを探索します。

しない：ルート探索時に迂回地点を考慮しません。

冬期閉鎖区間を考慮する

冬に通行止めとなる区間を避けてルートを探索することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：冬期閉鎖区間考慮

設定値：する/しない

する：冬期(11月～3月)は閉鎖区間を考慮したルート探索を行います。

しない：ルート探索時に冬期閉鎖区間を考慮しません。

🔊 アドバイス

- 「する」にした場合は、冬期(11月～3月)の期間に考慮されます。4月～10月は通常ルートとなります。道路によっては4月～10月の期間内でも冬期閉鎖になっている場合があります。
- 「しない」に設定すると、冬期閉鎖区間が発見された時点でメッセージが表示され、避けるかどうかを選択できます(「冬期閉鎖区間を回避する」75ページ参照)。

迂回距離の設定

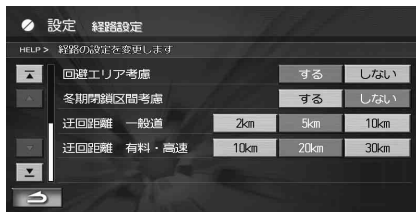
迂回する場合、自転車位置から何km先まで迂回するかを選択します。一般道路と、有料/高速道路とそれぞれで設定することができます(初期設定値は一般道「5km」、有料/高速道路「20km」)。

設定項目：迂回距離 一般道

設定値：2km/5km/10km

設定項目：迂回距離 有料・高速

設定値：10km/20km/30km



ルート学習設定

ルート学習設定操作

ルート学習に関する設定を行います。

次の手順1~5は、ルート学習設定の共通操作になります。各項目については、該当ページを参照してください。

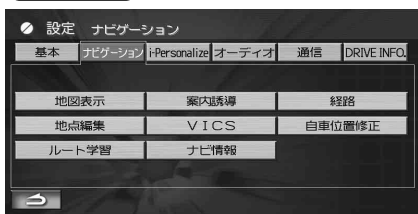
- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **ルート学習** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。



- 5 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。

• **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

ルート学習設定

ルート学習の設定

「ルート学習」を「する」に設定すると、お好みのルートをナビが記憶し、探索結果に反映させることができます。ルート走行中、ルートから外れた(離脱)地点と、ルートに復帰した地点、その間の走行ルートをナビが記憶します。ナビの初期ルートから3回以上同じ地点で離脱・復帰を行い、またその間には同じルートを走行すると、次のルート探索で、そのルートが推奨ルートとして探索されます(初期設定は「する」)。

設定項目：ルート学習

設定値：する/しない

する：ルートをナビが記憶し、探索結果に反映します。

しない：ルートを記憶しません。

アドバイス

- 案内対象外道路は、ルート学習に反映されません。離脱・復帰地点が同じでも、途中のルートが案内対象外道路になると、学習結果は無効になります。
- ルート学習中に目的地や経由地を変更したり、別のルートの選択や周辺迂回を行った場合は、ルート学習は中止されます。
- 最大100ルートまで学習することができます。

ルート学習結果を消去する

ナビに記憶した走行ルートを全て消去します。

設定項目：ルート学習結果を消去

設定値：する

- 1 設定画面で「ルート学習結果を消去」の

する にタッチします。

- 2 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。

渋滞学習の設定

ルート探索対象道路を季節別・曜日別・時間帯別にナビが走行速度を記憶します。渋滞・混雑に関しては、同じ箇所を同じ時間帯に3回以上走行することで学習し、学習後はルート探索に反映するようになります(初期設定値は「する」)。

設定項目：渋滞学習

設定値：する/しない

する：走行速度をナビが記憶し、探索結果に反映します。

しない：走行速度を記憶しません。



渋滞学習結果を消去する

ナビに記憶した走行速度を全て消去します。

設定項目 : 渋滞学習結果を消去

設定値 : する

- 1 設定画面で「渋滞学習結果を消去」の
する にタッチします。
- 2 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。

ナビ情報設定

ナビ情報設定操作

ナビ情報に関する設定を行います。

次の手順1～5は、ディスプレイ設定の共通操作になります。各項目について詳しくは、該当ページを参照してください。

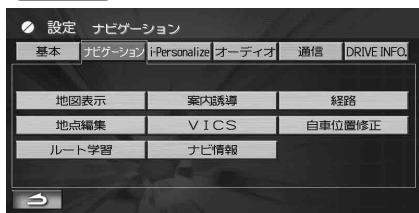
- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **ナビ情報** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。



- 5 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。
 - **POS.** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

ナビ情報

GPS情報を見る

GPS情報画面が表示されます。

設定項目: GPS情報



接続情報を知る

GPSアンテナ、車速、パーキングブレーキや周辺機器の接続状況などの情報を表示することができます。

設定項目: 接続情報



アドバイス

- 接続については、取付説明書も参照してください。
 - ・ PARKING : パーキングブレーキコード
 - ・ ILL : イルミネーションコード
 - ・ VSP : スピードセンサーコード
 - ・ REVERS : リバースコード

バージョン情報を見る

使用中のプログラムのバージョンやデータベースの情報を表示することができます。

設定項目: バージョン情報



デモンストレーション機能

本機には一部の機能をイラストとガイドで説明するデモンストレーション機能が用意されています。手動で開始させる方法と、一定時間後に自動で開始させる方法の、2つの方法があります。

設定項目: 店頭デモ

● デモ自動起動を設定する

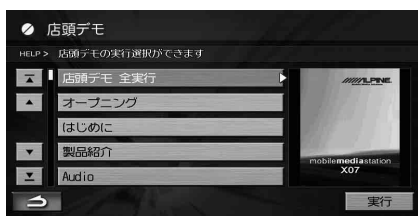
「する」に設定した場合、自車位置画面で停車したまま何も操作しない状態が5分間続くと、自動でデモンストレーション機能が開始されます。通常は「しない」に設定してください。

1 「店頭デモ自動起動」の **する** にタッチします。

● デモンストレーションを開始する

1 「店頭デモ」の **実行する** にタッチします。 デモメニュー画面が表示されます。

2 メニューから見たい項目を選択し、**実行** にタッチします。



- 全てのデモをご覧になるには、「店頭デモ 全実行」を選択してください。

3 デモンストレーションを終了させるには、画面にタッチしてください。

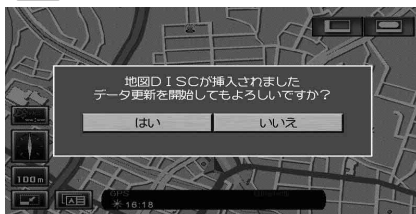
地図データを更新する

本機の地図データを、DVDディスクを使用してバージョンアップすることができます。

設定項目: 地図差分更新

1 地図差分データが記録されたDVDディスクを挿入します。 メッセージが表示されます。

2 **はい** にタッチします。



認証画面が表示されます。

3 認証キーを入力し、**完了** にタッチします。 認証キーはディスク購入時に案内をご覧ください。



データコピーが開始され、コピーが終了すると本機が再起動します。

● アドバイス

- DVDディスク発売時に、アルパインのホームページにて詳しい案内致します。詳しくはアルパインホームページ <http://www.alpine.co.jp> をご覧ください。

情報消去

情報を消去する

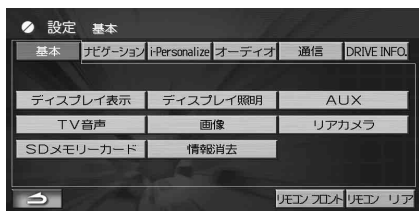
システムの情報を初期化することができます。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **基本** タブにタッチし、**情報消去** にタッチします。



- 4 「全設定項目初期化」または「全情報初期化」の**する** にタッチします。

消去を確認するメッセージが表示されます。



- 「全設定項目初期化」を行うと、全ての設定項目の設定値が初期化されます。
- 「全情報初期化」を行うと、登録地点、HDDに記憶した音楽・画像データ、設定項目の設定値など全ての情報を初期化し、工場出荷時の状態になります。

- 5 **はい** にタッチします。

情報消去後、本機が再起動します。

ハンズフリー電話を使う

ナビゲーション編

ハンズフリー電話について	148
携帯電話を接続する	149
接続ケーブルで接続する	149
Bluetooth接続を設定する	149
電話を受ける	151
通話中の表示	152
電話を切る	156
電話をかける	157
番号を入力して電話をかける	157
直前にかけた電話番号に電話をかける	157
電話帳から電話をかける	158
短縮ダイヤルから電話をかける	159
発信履歴/着信履歴から電話をかける	159
他モード画面から電話をかける	160
電話帳を編集する	161
電話帳を消去する	161
短縮ダイヤルへ登録する	162
画像を登録する	162
発信履歴機能を利用する	164
発信履歴の表示	164
発信履歴を消去する	165
着信履歴機能を利用する	166
着信履歴の表示	166
着信履歴を消去する	167
通話音量を調整する	168
電話・通信設定	169
電話・通信設定操作	169
接続電話設定	169
データ通信設定	170
Bluetooth設定	173
通話画面設定	174
通話音量設定	174

ハンズフリー電話について

本機に携帯電話を別売の専用ケーブルで接続すると、ハンズフリー電話として利用することができ、本機の画面から操作することができます。

また、本機は、世界標準規格のワイヤレス通信テクノロジーである「Bluetooth®」に対応しています。Bluetooth対応の携帯電話でハンズフリー通話ができます。

🔊 注意

- 交通量の多い市街地や狭い道でのご利用は避けてください。
- 携帯電話を直接操作しないでください。事故の原因となります。

🔊 アドバイス

- 本機は下記の方式の携帯電話に対応しています。
 - PDC (NTTドコモ)
 - PDC (ソフトバンク)
 - PDC (Tu-Ka)
 - cdmaOne (au)
 - IMT-2000 (NTTドコモ:FOMA)
 - CDMA 1x
 - CDMA 1x WIN
- Bluetooth対応以外の携帯電話と接続するには、別売の専用ケーブルが必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 通話中は、大きめの声ではっきりとお話ください。
- 通話中は、窓を閉めてお話ください。
- 話し方によっては相手に声が伝わりにくい場合や、相手の声が聞こえにくい場合があります。
- ハンズフリー電話同士の通話、騒音の大きい場所での通話など、使用状況によっては話しにくい場合があります。
- 相手の電話の種類や電話回線の組み合わせにより、不自然な音声になる場合があります。
- 携帯電話の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。また、サービス契約が必要な場合もあります。
- 携帯電話をUSBモードに設定している場合は、使用できない場合があります。設定を通信モードに変更してください。

携帯電話を接続する

本機をハンズフリー電話として利用するには、まず携帯電話を接続する必要があります。

専用の別売ケーブルで接続するか、Bluetooth接続設定を行ってください。

接続ケーブルで接続する

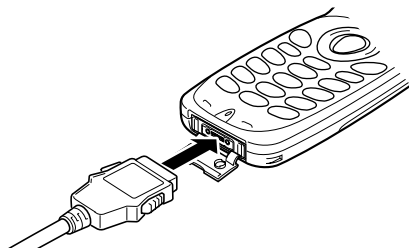
注意

- 携帯電話の接続ケーブルを頻繁に抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 電話を使用しているときは、接続ケーブルを抜き差ししないでください。
- イグニッションキーがACCまたはONのとき、接続ケーブルの抜き差しはしないでください。

アドバイス

- 携帯電話の種類によって、外部端子の向きや端子キャップの形状などが異なります。
- 接続ケーブルから携帯電話に電源を供給することはできません。

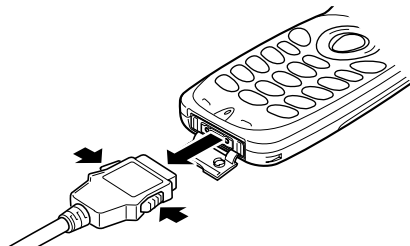
- 1 携帯電話の外部接続端子の端子キャップを開けて、接続ケーブルを差し込みます。



- “カチッ”と音がするまで差し込んでください。

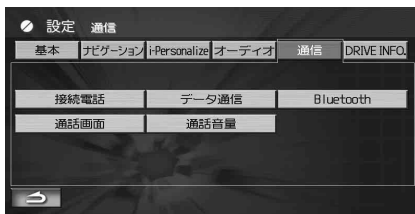
携帯電話を外す

- 1 接続ケーブルの左右のロックボタンを押しながら、接続ケーブルを携帯電話から外します。

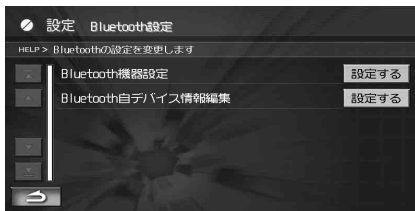


Bluetooth接続を設定する

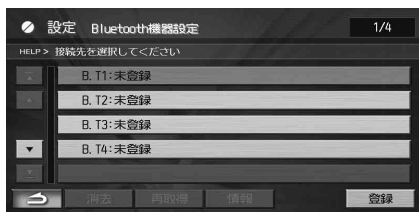
- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。
- 2 **設定を変える** にタッチします。
- 3 **Bluetooth** にタッチします。



- 4 「Bluetooth機器設定」の**設定する**にタッチします。



- 5 未登録の「B.T1」～「B.T2」のいずれかにタッチして選択し、**登録** にタッチします。



- 6 Bluetooth機器設定画面が表示され(デバイス名、アドレス、パスキー表示)、携帯電話からの接続待機状態になります。



- 以降は携帯電話からの操作になります。携帯電話の機器登録の操作方法については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

- 7 携帯電話で本機のデバイス名を検索して認証します。

- 本機のデバイス名は、初期設定は「X07 Bluetooth」になります。デバイス名を変更することもできます(「本機のデバイス名を変更する」173ページ参照)。

- 8 携帯電話にパスキーを入力して、本機を登録します。

本機画面に「登録が完了しました」とメッセージが表示され、Bluetooth接続設定が終了します。

- パスキーは初期設定は「1234」です。パスキーを変更することもできます(「本機のパスキーを変更する」174ページ参照)。

📢 アドバイス

- 携帯電話を置く場所によっては、障害物や電波の状態により音声にノイズがのったり、通信が中断される場合があります。このような場合は、携帯電話を本機の近くや障害物のない場所に置くようにしてください。

電話を受ける

本機をハンズフリー電話として利用することができます。

🔊 アドバイス

- 本機をハンズフリー電話として利用する場合は、必ず携帯電話を接続してください。
- 携帯電話によっては、条件や設定により電話を受けられない場合があります。携帯電話に付属の説明書も必ずご覧ください。

1 電話がかかってくると着信音が鳴り、着信メッセージが表示されます。



- 相手の電話番号が通知されてきたときに、相手の名前と電話番号が電話帳に登録されている場合は、相手の名前と電話番号が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、相手の電話番号が表示されます。

2 **開始** にタッチします。



通話が始まります。

- 「自動着信」設定を「する」に設定していると、**開始** にタッチしなくても着信してから5秒後に通話状態になります（「自動着信を設定する」174ページ参照）。

🔊 アドバイス

- 通話中は、オーディオ・テレビの音が一時的に消えます。
- 通話音量の調整については、「通話音量を設定する」（174ページ）を参照してください。
- 自動着信するかどうかを設定できます。（「自動着信を設定する」174ページ参照）。
- 携帯電話の応答時間を設定している場合は、「自動着信を設定する」（174ページ）を「する」に設定していても、5秒経過前に通話状態になる場合があります。
- リアカメラ接続時、シフトレバーをバックギア(R)に入れてリアカメラ映像を出力している間は、着信画面は表示されません。

通話中の表示

■ 全画面表示



1 状況表示

相手の名前や電話番号、通話時間が表示されます。

2 送話音量/受話音量

送話音量や受話音量を調整するときに使用します(「通話音量を調整する」168ページ参照)。

3

元の画面に戻ります。

4

通話を終了するときに使用します。

5 電波レベル

電波の受信レベルの目安を表示します。携帯電話の電波レベルと異なる場合があります。

- Bluetoothから電界強度情報が得られない場合は「圏内」と表示されます。

6 イメージ表示

着信時や通話中に電話モード画像が表示されます。電話帳に画像を登録すれば、お好みの画像を表示することができます(「画像を登録する」162ページ参照)。

7

トーン発信を行うことができます(「トーン発信機能」154ページ参照)。

■他モード画面表示



8

通話中表示されます。タッチすると通話画面に切りかわります。

映像モード全画面、マルチゲート画面表示時には、画面にタッチするとが表示されます。

- タッチスイッチは通話中のみ表示されます。
非通話中は、電波レベルの表示になります。

すぐに電話に出られないとき

かかってきた電話にすぐに出られないときは、一時的に保留することができます。

1 電話の着信中に「応答保留」にタッチします。



かかってきた電話を保留にします。

2 電話に出られる状態になったら「開始」にタッチします。



保留が解除され、通話が開始されます。

アドバイス

- 応答保留中に「終了」にタッチすると、電話が切れます。
- 応答保留中に相手が電話を切ると、電話が切れます。
- 応答保留中でも、電話をかけてきた相手には通話料金がかかります。

割り込み通話機能

通話中、別の電話の着信を画面に表示して通知します。本機から通話を切りかえることはできません。本機能は、接続する携帯電話が割り込み通話機能サービスに加入している場合のみ、使用することができます。

1 通話中、別の電話がかかってくると着信が表示されます。



アドバイス

- 通話中にかかってくる電話も、着信履歴に記録されます。

トーン発信機能

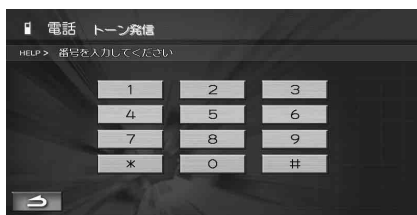
通話中に、トーン発信を行うことができます。

1 通話画面で「トーン」にタッチします。



トーン発信画面が表示されます。

2 番号を入力します。



発話用マイクを切りかえる

通常は車内に取付けたハンズフリー発話用のマイクがお客様の音声を拾います。携帯電話に向かって話したい時には、音声切換を行ってください。Bluetooth接続時のみ有効です。

1 通話画面で **音声切換** にタッチします。



マイクが携帯電話に切りかわります。携帯電話を使用してお話しください。

2 携帯電話からマイクに切りかえるには、再度 **音声切換** にタッチします。

電話を切る

通話中の電話を終了します。

- 1 通話が終わったら、**終了**にタッチします。



- ナビ画面、オーディオ画面などを表示している場合は、にタッチして電話画面に切りかえてから**終了**にタッチします。



メッセージが表示され通話が終了します。

アドバイス

- スイッチは、ほかの画面に重ねて表示されるため、画面の情報やタッチスイッチを隠してしまう場合があります。

電話をかける

① アドバイス

- 携帯電話によっては、条件や設定により電話がかけられない場合があります。携帯電話に付属の説明書も必ずご覧ください。
- 走行中は安全のため、短縮ダイヤル、リダイヤルからのみ電話をかけることができます。

番号を入力して電話をかける

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。



電話・通信画面が表示されます。

- 2 **番号入力** にタッチします。



- 3 相手の市外局番から入力します。



- **削除** にタッチすると、入力した数字が1文字ずつ削除されます。

- 4 **発信** にタッチします。



直前にかけた電話番号に電話をかける

直前にかけた電話番号に電話をかけ直します。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。

- 2 **リダイヤル** にタッチします。



電話番号が発信されます。

- 一度も発信していない場合は、**リダイヤル** にタッチすることはできません。

電話帳から電話をかける

携帯電話の電話帳を利用して、電話をかけます。まず、携帯電話の電話帳を本機に読み込む必要があります。

電話帳を読み込む

■ 接続ケーブルで接続している場合

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。

- 2 **電話帳** にタッチします。

- 3 **電話帳読み込み** にタッチします。



携帯電話の暗証番号を入力する画面が表示されます。

- 4 携帯電話の暗証番号を入力します。

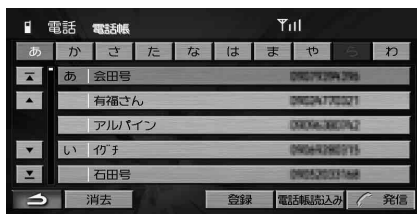
- 携帯電話の暗証番号については、携帯電話に付属の説明書を参照してください。
- 「FOMA」では認証パスワードを入力します。
- 「FOMA」では **説明** にタッチすると、電話帳を読み込む際の説明が表示されます。



- 5 **完了** にタッチします。

- 「FOMA」では携帯電話に暗証番号と認証パスワードを入力するメッセージが表示されます。携帯電話に正しい暗証番号と認証パスワードを入力します。

電話帳の読み込みが開始されます。電話帳の読み込みが終了すると、電話帳の一覧(50音順)が表示されます。



■ Bluetooth接続の場合

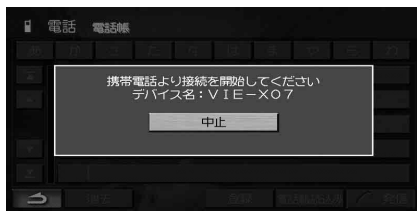
- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。

- 2 **電話帳** にタッチします。

- 3 **電話帳読み込み** にタッチします。



- 4 本機のデバイス名が表示され、携帯電話からの接続待機状態になります。



- 以降は携帯電話からの操作になります。携帯電話の電話帳送信の操作方法については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

- 5 携帯電話から本機に接続し、電話帳を本機に転送する操作を行います。
転送が完了すると、本機にメッセージが表示されます。

④ アドバイス

- 電話帳の読み込み中は、携帯電話を外したり、電源をOFFにしないでください。
- 本機の電話帳に登録できる件数は、最大1000件です。
- 電話帳を書きかえるときは、再度読み込み操作を行ってください。古い電話帳(短縮ダイヤル、画像を含む)が消失され新しい電話帳が書き込まれます。
- 電話帳の読み込み中は、電話を受けたり、かけたりすることができません。
- 携帯電話でシークレット登録した電話番号は、リストには表示されません。表示するには、携帯電話のシークレット登録を解除し、再度電話帳を読み込んでください。
- 携帯電話によっては、同じ名称で数人分の登録をする場合があります。
- 携帯電話が待ち受け画面以外のときは、電話帳の読み込みが開始されない場合があります。

電話帳から電話をかける

1 MENU/PWR スイッチを押した後、

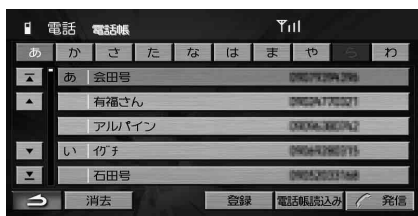
電話・通信 にタッチします。

電話・通信画面が表示されます。

2 電話帳 にタッチします。

電話帳に登録されている電話番号が一覧で表示されます。

3 電話をかけたい相手にタッチします。



4 発信 にタッチします。

短縮ダイヤルから電話をかける

短縮ダイヤルに登録されている電話番号に、スイッチ1つで手早く電話をかけることができます。短縮ダイヤルに登録する方法については、「短縮ダイヤルへ登録する」(162ページ)を参照してください。

1 MENU/PWR スイッチを押した後、

電話・通信 にタッチします。

電話・通信画面が表示されます。

2 短縮1 短縮2 短縮3 のいずれかにタッチします。



登録してある電話番号が発信されます。

発信履歴/着信履歴から電話をかける

以前かけた電話やかかってきた電話は、発信履歴/着信履歴として記憶されます。これらの履歴の一覧から相手を選択して電話をかけます。

1 MENU/PWR スイッチを押した後、

電話・通信 にタッチします。

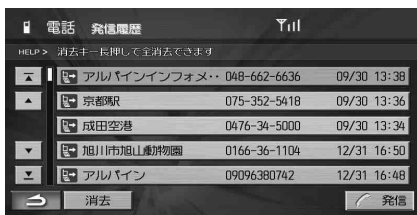
電話・通信画面が表示されます。

2 発信履歴 または 着信履歴 にタッチします。

履歴に記憶されている電話番号が、新しいものから順に一覧で表示されます。

- かけた電話やかかってきた電話が1件もない場合は、**発信履歴** または **着信履歴** にタッチすることはできません。

3 電話をかけたい相手にタッチします。



4 発信 にタッチします。

④ アドバイス

- リストには、最大30件の履歴が表示されます。30件を超えた場合は、古いものから順に削除されます。
- リストを編集するには、「発信履歴機能を利用する」(164ページ)、「着信履歴機能を利用する」(166ページ)を参照してください。

他モード画面から電話をかける

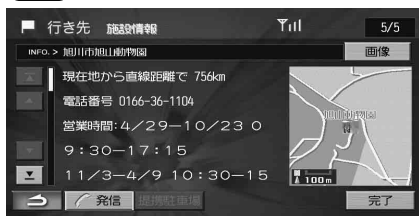
施設情報画面から電話をかける

施設情報に電話番号の情報がある場合は、ナビ画面からその施設に電話をかけることができます。

1 施設情報画面を表示させます。

- 画面の表示方法については、「施設を探す」(61ページ)を参照してください。

2 発信 にタッチします。



アドバイス

- 施設情報画面以外に現在地周辺施設情報画面やルート周辺施設情報画面などで電話番号の情報がある場合は、それぞれの画面からも電話をかけることができます。

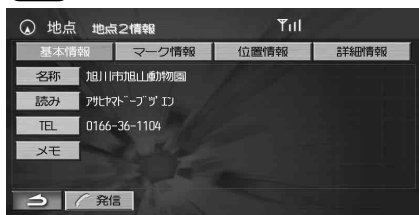
特別地点/登録地点情報画面から電話をかける

登録地点に電話番号を登録してある場合は、ナビ画面からその施設に電話をかけることができます。

1 登録地点情報画面を表示させます。

- 画面の表示方法については、「登録地点から探す」(63ページ)、「地点情報を確認する」(96ページ)を参照してください。

2 発信 にタッチします。



COMMUNICATION画面から電話をかける

マルチゲート画面からCOMMUNICATION画面を表示し、電話をかけることができます。

1 マルチゲート画面の通信状態表示にタッチします。



COMMUNICATION画面が表示されます。

2 発信履歴、着信履歴、短縮番号を利用して電話をかけます。



1 着信履歴

最新の着信履歴を1件表示します。**着信履歴**にタッチすると、着信履歴画面を表示します(「発信履歴/着信履歴から電話をかける」159ページ参照)。

2 発信履歴

最新の発信履歴を1件表示します。**発信履歴**にタッチすると、発信履歴画面を表示します(「発信履歴/着信履歴から電話をかける」159ページ参照)。

3 短縮ダイヤル

短縮1、**短縮2**、**短縮3**のいずれかにタッチすると、登録した番号に発信されます(「短縮ダイヤルから電話をかける」159ページ参照)。

電話帳を編集する

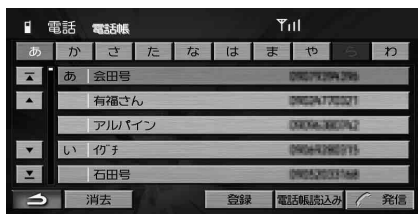
携帯電話の電話帳を本機に読み込み、利用・編集することができます。電話帳を本機に読み込む方法については、「電話帳を読み込む」(158ページ)を参照してください。

電話帳を消去する

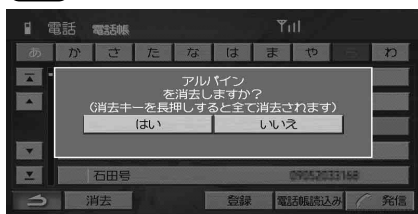
本機の電話帳を1件、または全件消去します。

電話帳を1件消去する

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。
- 2 **電話帳** にタッチします。
- 3 消去したい電話番号にタッチします。



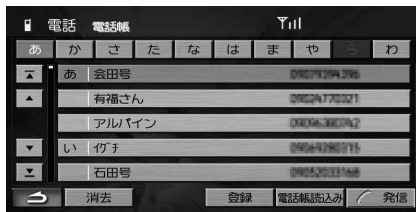
- 4 **消去** にタッチします。
消去を確認するメッセージが表示されます。
- 5 **はい** にタッチします。



選択した電話番号が消去されます。

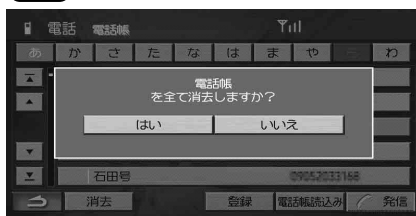
すべての電話帳を消去する

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。
- 2 **電話帳** にタッチします。
- 3 **消去** にタッチし続けます。



消去を確認するメッセージが表示されます。

- 4 **はい** にタッチします。



すべての電話帳が消去されます。

短縮ダイヤルへ登録する

よくかける電話番号を短縮ダイヤルに登録することができます。短縮ダイヤルに登録すると、スイッチ1つで電話をかけることができます。

アドバイス

- 短縮ダイヤルを使って電話をかける方法については、「短縮ダイヤルから電話をかける」(159ページ)を参照してください。
- 短縮ダイヤルに登録した電話番号は、電話帳に  /  と表示されます。

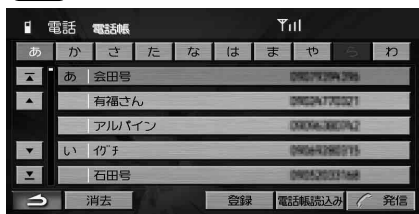
1 MENU/PWR スイッチを押した後、

電話・通信 にタッチします。

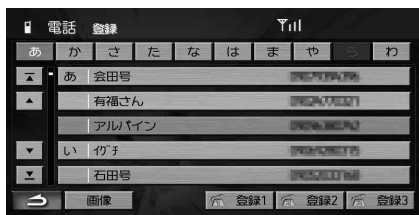
電話・通信画面が表示されます。

2 電話帳 にタッチします。

3 登録 にタッチします。



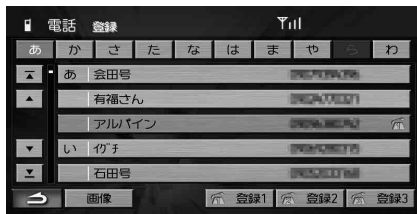
4 短縮ダイヤルに登録したい電話番号にタッチします。



- すでに短縮ダイヤルに登録されている電話番号には、 ~  のアイコンが表示されます。

5 登録1 ~ 登録3 のいずれかにタッチします。

選択した電話番号が、指定した短縮ダイヤルに登録されます。



6 戻る にタッチして電話帳画面に戻します。

アドバイス

- 登録済みの短縮ダイヤルに別の番号を登録すると、元の電話番号は登録が解除されます。例えば、「短縮3」に登録されている電話番号を「短縮1」に変更した場合、「短縮3」は登録が解除され、未登録状態になります。

画像を登録する

着信や通話中などに表示する画像を電話帳に登録します。画像を登録した相手との通話中画面などに画像が表示されます。

アドバイス

- あらかじめ画像データが登録されていることが必要です。画像を登録する方法については、「SDメモリーカードの画像をHDDに追加する」(272ページ)を参照してください。
- 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきた場合は、相手の電話番号が通知されているときにのみ登録した画像を表示することができます。
- 携帯電話に登録されている画像は、電話帳に登録できないため表示できません。

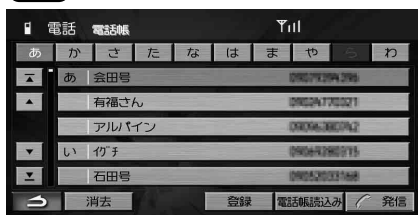
1 MENU/PWR スイッチを押した後、

電話・通信 にタッチします。

電話・通信画面が表示されます。

2 電話帳 にタッチします。

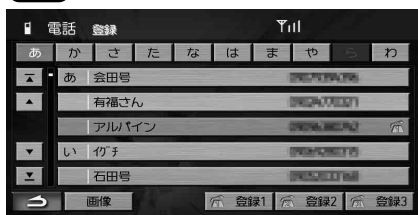
3 **登録**にタッチします。



登録画面が表示されます。

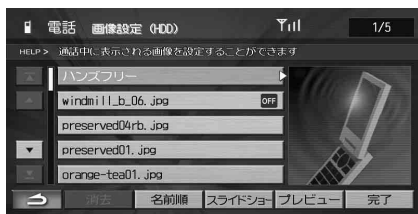
4 画像を登録したい電話番号にタッチします。

5 **画像**にタッチします。



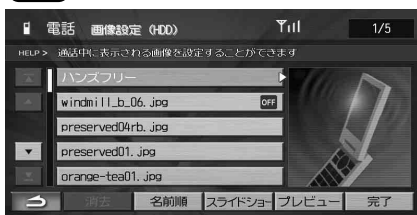
画像のリストが表示されます。

6 登録したい画像にタッチします。



- **プレビュー**にタッチすると、選択している画像を拡大表示できます。
- **スライドショー**にタッチすると、全ての画面を次々と表示します。スライドショーをやめるには **完了**にタッチしてください。

7 **完了**にタッチします。

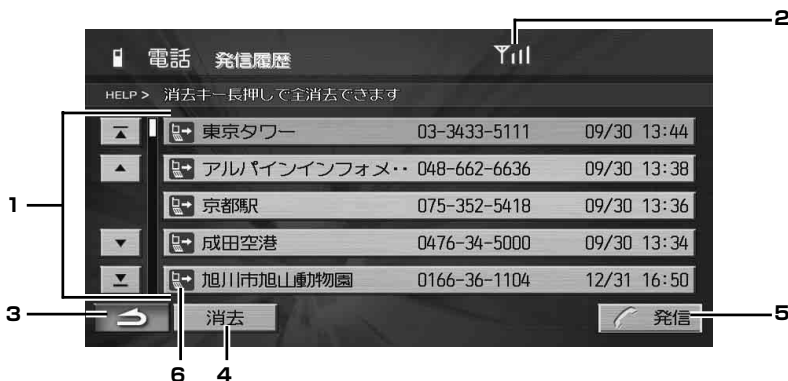


8 **完了**にタッチして電話帳画面に戻します。

発信履歴機能を利用する

発信履歴の表示

以前かけた電話番号は、発信履歴として記憶され、発信時刻の新しいものから順にリスト(最大30件)で表示されます。



1. 名前/電話番号

電話をかけた相手の名前と電話番号が電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。それ以外、電話番号が表示されます。

電話をかけた日付と時刻が表示されます。ただし、GPSから時刻を取得できない状態で発信した場合は、表示されません。

2. 電波レベル

電波の受信レベルの目安を表示します。

3. [Back Arrow]

元の画面に戻ります。

4. 消去

発信履歴を1件または全件消去するときに使用します(「発信履歴を消去する」(165ページ)参照)。

5. 発信

電話をかけるときに使用します(「発信履歴/着信履歴から電話をかける」(159ページ)参照)。

6. 発信アイコン

アドバイス

- 発信履歴に記憶されている相手(電話番号)にかけた場合は、前回の履歴を消去して新しいものだけを記憶します。



発信履歴を消去する

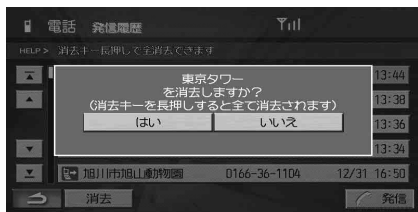
発信履歴を1件、または全件消去します。

発信履歴を1件消去する

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。
- 2 **発信履歴** にタッチします。
- 3 消去したい発信履歴にタッチします。



- 4 **消去** にタッチします。
消去を確認するメッセージが表示されます。
- 5 **はい** にタッチします。



選択した発信履歴が消去されます。

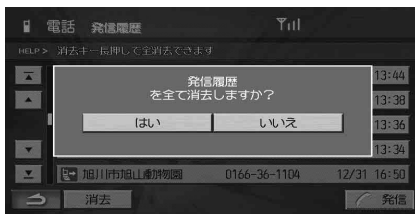
すべての発信履歴を消去する

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。
- 2 **発信履歴** にタッチします。
- 3 **消去** にタッチし続けます。



消去を確認するメッセージが表示されます。

- 4 **はい** にタッチします。

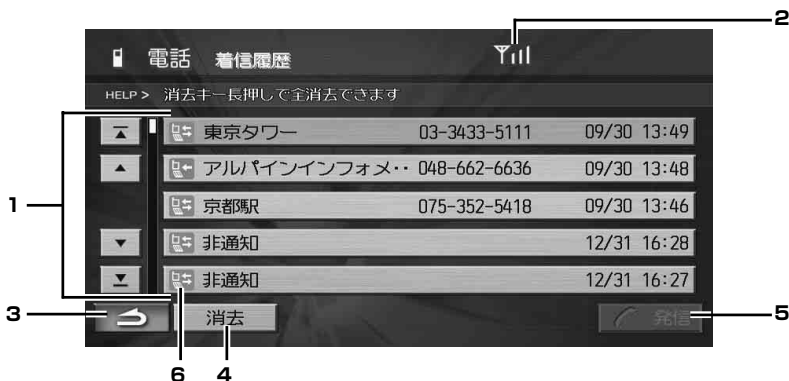


すべての発信履歴が消去されます。

着信履歴機能を利用する

着信履歴の表示

以前かかってきた電話は、着信履歴として記憶され、着信時刻の新しいものから順にリスト(最大30件)で表示されます。



1. 名前/電話番号

電話がかかってきた相手の名前と電話番号が電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。それ以外は、電話番号が表示されます。電話がかかってきた日付と時刻が表示されます。ただし、GPSから時刻を取得できない状態で着信した場合は、表示されません。

2. 電波レベル

電波の受信レベルの目安を表示します。

3. [Back]

設定画面に戻ります。

4. 消去

着信履歴を1件または全件消去するときに使用します(「着信履歴を消去する」(167ページ)参照)。

5. 発信

電話をかけるときに使用します(「発信履歴/着信履歴から電話をかける」(159ページ)参照)。

6. 着信アイコン

[Phone]: 電話を受けた場合

[Phone]: 電話を受けられなかった場合

アドバイス

- 着信履歴に記憶されている相手から着信があった場合は、前回の履歴を消去して新しいものだけを記憶します。

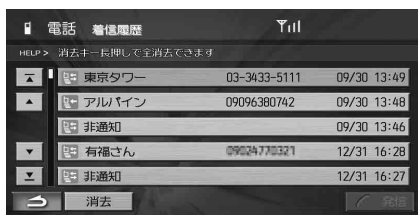


着信履歴を消去する

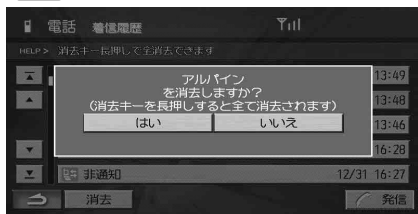
着信履歴を1件、または全件消去します。

着信履歴を1件消去する

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。
- 2 **着信履歴** にタッチします。
- 3 消去したい着信履歴にタッチします。



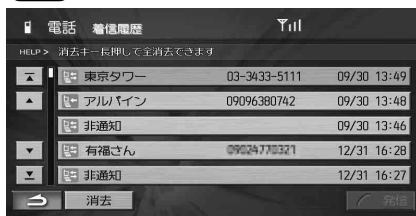
- 4 **消去** にタッチします。
消去を確認するメッセージが表示されます。
- 5 **はい** にタッチします。



選択した着信履歴が消去されます。

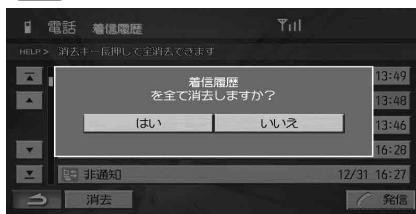
すべての着信履歴を消去する

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。
- 2 **着信履歴** にタッチします。
- 3 **消去** にタッチし続けます。



消去を確認するメッセージが表示されます。

- 4 **はい** にタッチします。



すべての着信履歴が消去されます。

通話音量を調整する

送話音量や受話音量を調整することができます。

- 1 通話中に「送話音量」/「受話音量」の◀または▶にタッチして、音量を調整します。



- 音量は11段階で調整できます。
◀にタッチするたびに、音量が小さくなります。
▶にタッチするたびに、音量が大きくなります。



アドバイス

- 通話音量は電話設定メニューから設定することもできます（「通話音量設定」(174ページ)参照）。



電話・通信設定操作

電話・通信に関する設定を行います。

次の手順1～4は、電話・通信設定の共通操作になります。各項目の詳しい操作方法については、該当ページを参照してください。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。



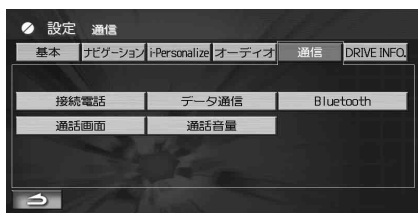
電話・通信画面が表示されます。

- 2 **設定を変える** にタッチします。



通信画面が表示されます。

- 3 各項目にタッチし、設定を行います。



- 4 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。

- **POS.** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

接続電話設定

接続電話の設定

接続する携帯電話を選択します（初期設定値は「自動接続」）。

設定項目：接続電話

設定値：自動接続/ケーブル接続/Bluetooth接続

- 1 通信画面で **接続電話** にタッチします。
- 2 **自動接続**、**ケーブル接続**、**Bluetooth接続** のいずれかにタッチして、接続する携帯電話を選択し、**登録** にタッチします。



- 選択した接続には ☒ マークが表示されます。

自動接続：自動的に接続を検出します。ケーブル接続とBluetooth接続の両方が存在する場合は、ケーブル接続を優先します。

ケーブル接続：専用ケーブルを使用して本機と携帯電話を接続します。

Bluetooth接続：Bluetoothで本機と携帯電話を、無線接続します。

データ通信設定

HDD AUDIOでGracenoteデータベースからデータダウンロードを行う前に、通信設定を行う必要があります。通信設定には、あらかじめ用意されている接続先を選ぶだけで簡単に設定できる「接続先を選んで通信設定をする」と、新たな接続先を追加したり、設定内容が変更できる「接続先を追加/変更する」があります。

- 「Gracenote®音楽認識サービス」を携帯電話を用いて利用する場合、各携帯電話会社のプロバイダーを利用するか、インターネット接続サービスプロバイダーと接続契約を行い、設定する必要があります。この場合、別途インターネット接続サービスの利用料金が発生する場合があります。

接続先を選んで通信設定をする

使用する携帯電話を選択するだけで、接続先の設定などが自動的に行われます。ケーブル接続とBluetooth接続とそれぞれを設定することができます。

設定項目：データ通信

設定値：ケーブル接続/B.T1/B.T2/B.T3/B.T4

→NTT DoCoMo FOMA/「Packet」
au(WIN)/「au.net」
Softbank3G/「アクセスインターネット」
NTT DoCoMo(mova)/「mopera」
au/「au.net」
Softbank/「アクセスインターネット」
データ通信」
NTT DoCoMo FOMA/「64k」
ツーカーセラー東京・東海/「Internet Freeway」
NTT DoCoMo(dopa)/「dopa」

1 通信画面で **データ通信** にタッチします。

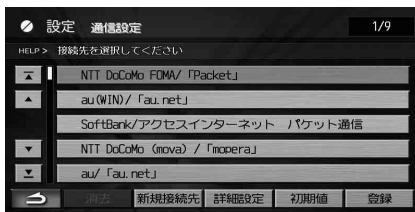
2 **ケーブル接続** または **B.T1** ～ **B.T4** にタッチして設定する接続を選択します。



3 **設定** にタッチします。

- **B.T1** ～ **B.T4** が未登録の場合は、**設定** にタッチすることはできません。

4 リストから携帯電話の種類を選んでタッチします。



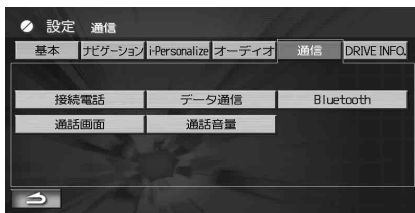
5 **登録** にタッチします。

選択した接続先が登録され、マークが表示されます。

接続先を追加/変更する

あらかじめ登録されている接続先以外の接続先を利用している場合に、新しく設定します。通信設定の内容は最大で5種類保存できます。

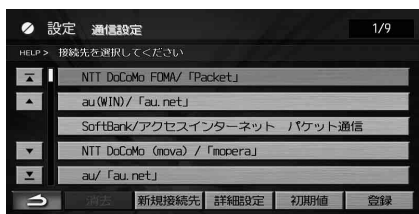
1 通信画面で **データ通信** にタッチします。



2 **ケーブル接続** または **B.T1** ～ **B.T4** にタッチして設定する接続を選択します。

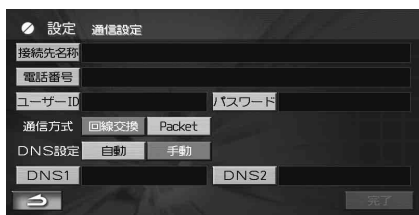
3 **設定** にタッチします。

4 **新規接続先** または **詳細設定** にタッチします。



- 新規に設定する場合は、**新規接続先** にタッチします。通信設定の内容を変更したり、別の通信設定に変更する場合は、接続先を選択した後に **詳細設定** にタッチします。通信設定画面が表示されます。

5 各項目にタッチし、設定を行います。



- **接続先名称**
接続先の名称を入力します(171ページ参照)。
- **電話番号**
電話番号を入力します(171ページ参照)。
- **ユーザーID**
ユーザーIDを入力します(172ページ参照)。
- **パスワード**
パスワードを入力します(172ページ参照)。
- 「通信方式」
通信方式を指定します(172ページ参照)。
- 「DNS設定」
DNSサーバーを指定します(172ページ参照)。

6 **完了** にタッチします。

設定した接続先が自動的に登録されます。

🔊 アドバイス

- 登録した新規接続先を消去するには、「通信設定」画面で消去したい新規接続先を選んで **消去** にタッチします。
- 接続先設定内容を初期設定に戻す場合には、**初期値** にタッチしてメッセージが表示されたら **はい** にタッチします。
- 「接続先名称」、「電話番号」を入力しないと、**完了** にタッチできません。

接続先の名称を入力する

接続先の名称を入力します。ここで設定した名称が、通信設定リストに表示されます。

🔊 アドバイス

- あらかじめ登録されている接続先を選んだあとで、**詳細設定** にタッチした場合は、変更することができません。

1 通信設定画面で **接続先名称** にタッチします。

2 名称を入力します。



- 入力できる名称は、最大で全角/半角32文字です。

3 **完了** にタッチします。

電話番号を入力する

接続先の電話番号を入力します。

1 通信設定画面で **電話番号** にタッチします。

2 電話番号を入力します。



- 入力できる電話番号は最大で15桁です。

3 **完了** にタッチします。

ユーザーIDを入力する

接続先との契約で登録されたユーザーIDを入力します。

- 1 通信設定画面で **ユーザーID** にタッチします。
- 2 ユーザーIDを入力します。



- 入力できるユーザーIDは、最大で半角32文字です。

- 3 **完了** にタッチします。

パスワードを入力する

接続先との契約で登録されたパスワードを入力します。

- 1 通信設定画面で **パスワード** にタッチします。
- 2 パスワードを入力します。



- 入力できるパスワードは、最大で半角32文字です。
- 入力したパスワードは*で表示されます。

- 3 **完了** にタッチします。

通信方式を指定する

通信方式を回線交換またはPacketから選択します。

- 1 通信設定画面で通信方式の **回線交換** または **Packet** にタッチします。

アドバイス

- 「回線交換」に設定しても、パケットのみ対応のエリアにいるときは、回線接続できない場合があります。

DNSサーバーを指定する

DNSサーバーのIPアドレスを自動または手動で設定します。

なお、DNSサーバーについては、利用する接続先にご確認ください。

- 1 通信設定画面で「DNS設定」の **自動** または **手動** にタッチします。

- **自動** にタッチした場合は、以降の操作は必要ありません。

- 2 **DNS1** にタッチします。



- 3 IPアドレスを入力します。



- 0~255の範囲で入力します。

- 4 **完了** にタッチします。

- 5 **DNS2** にタッチし、同様にIPアドレスを入力します。

- 6 **完了** にタッチします。



Bluetooth設定

Bluetoothを接続する方法については、「Bluetooth接続を設定する」(149ページ)を参照してください。ここでは登録済みのBluetooth機器に関する設定を行います。また、本機のデバイス名、パスキーを変更することができます。

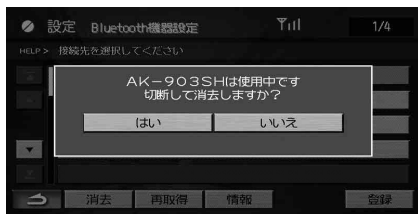
Bluetooth機器を設定する

設定項目: Bluetooth機器設定

- 1 通信画面で **Bluetooth** にタッチします。
- 2 「Bluetooth設定」画面で「Bluetooth機器設定」の **設定する** にタッチします。
- 3 各項目にタッチし、設定を行います。
 - **消去**
Bluetooth機器の登録を消去します(173ページ参照)。
 - **再取得**
登録したBluetooth機器のデバイス名を取得します(173ページ参照)。
 - **情報**
登録したBluetooth機器のデバイス名、アドレスを表示します(173ページ参照)。

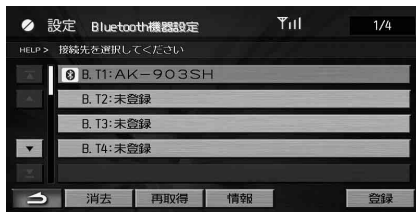
Bluetooth機器登録を消去する

- 1 Bluetooth機器設定画面で消去したい接続先をタッチして選択し、**消去** にタッチします。
- 2 確認のメッセージが表示されたら **はい** にタッチします。



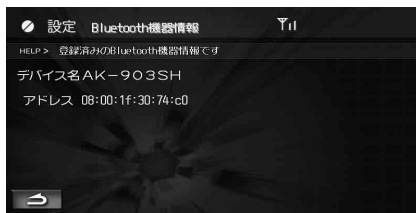
Bluetooth機器名称を取得する

- 1 Bluetooth機器設定画面で接続先をタッチして選択し、**再取得** にタッチします。取得されたデバイス名が表示されます。



Bluetooth機器情報を見る

- 1 Bluetooth機器設定画面で接続先をタッチして選択し、**情報** にタッチします。デバイス名、アドレスが表示されます。



本機のデバイス名を変更する

本機のデバイス名を変更することができます。

- 1 通信画面で **Bluetooth** にタッチします。
- 2 「Bluetooth設定」画面で「Bluetooth自デバイス情報編集」の **設定する** にタッチします。
- 3 **デバイス名** にタッチします。



デバイス名称編集画面が表示されます。

4 名称を入力します。



- 入力できる名称は、最大で全角20文字です。

5 **完了** にタッチします。

本機のパスキーを変更する

本機のパスキーを変更することができます。

1 通信画面で **Bluetooth** にタッチします。

2 「Bluetooth設定」画面で「Bluetooth自デバイス情報編集」の **設定する** にタッチします。

3 **パスキー** にタッチします。



パスキー設定画面が表示されます。

4 パスキーを入力します。



- 入力できるパスキーは、最大で8文字です。

5 **完了** にタッチします。

通話画面設定

着信全画面割込み

電話がかかってきた時に、着信全画面を自動で表示するかどうか設定します(初期設定値は「しない」)。

設定項目 : 着信全画面割込み

設定値 : する/しない

する : 着信全画面を自動で表示します。

しない : 着信メッセージのみを表示します。

着信・通話画面の情報を表示する

着信時または通話時に、画面に情報を表示するかどうか設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 着信・通話画面情報表示

設定値 : する/しない

する : 相手の名前・電話番号を表示します。

しない : 相手の名前・電話番号を表示しません。また、画像の表示も行いません。

通話音量設定

自動着信を設定する

電話がかかってきた時に、自動的に電話を受けるかどうか設定します(初期設定値は「しない」)。

設定項目 : 自動着信

設定値 : する/しない

する : 着信があると5秒後に、自動的に電話を受けます。

しない : 手動で電話を受けます。

着信音量を設定する

着信音量を11段階で設定できます(初期設定値は「5」)。

設定項目 : 着信音量

設定値 : 1～11

-  にタッチすることにより音量レベルが1ずつ下がり、 にタッチすることにより音量レベルが1ずつ上がります。

通話音量を設定する

受話音量/送話音量を11段階で設定できます(初期設定値は「5」)。

設定項目 : 受話音量/送話音量

設定値 : 1～11

-  にタッチすることにより音量レベルが1ずつ下がり、 にタッチすることにより音量レベルが1ずつ上がります。

オプション機能

ナビゲーション編

ETCについて	176
ETCの料金表示について	176
ETC料金履歴を見る	176
ETCユーザー情報を見る	177
リアカメラの操作	178
リアカメラの映像	178
ガイド線を調整する	181
リアカメラ設定	182
リアモニターについて	183

ETCについて

ETC(Electronic Toll Collection System:有料道路自動料金収受システム)とは、自動車に装備した車載器と料金所に設置したアンテナとの間で無線通信により料金支払いに必要な情報がやりとりされ、ノンストップで自動的に通行料金をお支払いいただけるシステムです。

本機では別売のETC車載器を装着することにより、料金所の手前でETC専用レーンの案内を表示するなど、ナビゲーション機能に連動してETC情報を提供します。

また、ETCを利用したインターチェンジと料金の履歴を確認したり(176ページ参照)、ETC契約のユーザー情報を表示させる(177ページ参照)こともできます。

ETCを使用するには、ETC車載器(別売)とETCカードが必要です。

接続しているETC車載器側の取扱説明書も合わせてご覧ください。

ETCの料金表示について

ETC車載器(別売)にETCカードを挿入している場合は、ルート走行中、料金所のETCレーンを通るときに、利用料金が表示されます。

ETCのレーンガイドを行うには、「ETC案内を設定する」(138ページ)を「する」に設定してください。

■ ETCレーン表示

ETCレーンがある料金所に近づくと、ETCレーンに矢印が表示されます。



■ ETC料金表示

料金所のETCアンテナから情報を受信すると、利用料金が表示されます。



🔊 アドバイス

- 料金所のレーン情報がない場合は、案内は行われません。

ETC料金履歴を見る

ETCを利用した日時や料金をリスト表示したり、利用したインターチェンジ(IC)名などの詳細情報を確認することができます。

🔊 アドバイス

- ETCカードを挿入していないときは利用できません。
- ETCカードより取得できる料金履歴は、最大で100件です。それを超えると古い順に消去されます。
- 走行中は安全のため操作できません。安全な場所に停車してから操作してください。

1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

2 **情報を見る** にタッチします。

3 **ETC** にタッチします。



4 **ETC 料金履歴** にタッチします。



ETC料金履歴リストが表示され、新しい順に上から履歴が表示されます。

- 5 詳細を確認したい場合は、料金履歴にタッチし、**詳細情報**にタッチします。



- 6 詳細料金情報を確認します。



- 7 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。

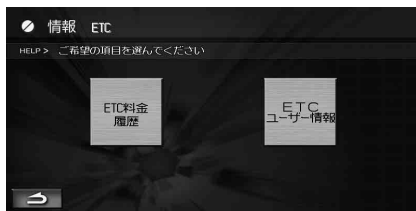
ETCユーザー情報を見る

ETCに登録されているユーザー情報を確認します。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー**にタッチします。
- 2 **情報を見る**にタッチします。
- 3 **ETC**にタッチします。

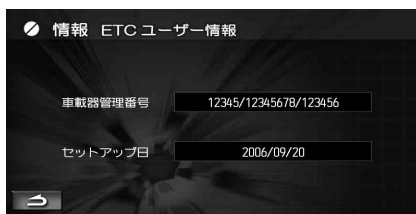


- 4 **ETCユーザー情報**にタッチします。



車載器管理番号などのユーザー登録情報が表示されます。

- 5 ユーザー情報を確認します。



- 6 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。

リアカメラの操作

別売のリアカメラを装着した場合、バックギアにシフトすると、本機の画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド(車両の車幅や距離感覚を補う補助マーク)を映すことができます。

- タイヤおよびサスペンションを交換すると、画面に表示される距離目安マークやガイドの示す位置に誤差が生じることがあります。
- 接続しているリアカメラ側の取扱説明書も合わせてご覧ください。

注 意

- 本機(リアカメラ)は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- リアカメラで映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用しながら目視で確認し、後方および周囲の安全を十分確保してください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 乗車人数・積載量により、車両が傾き画面のガイドの示す位置と実際の路面上の距離・障害物との距離は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
 - ・ 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - ・ バックドアが完全に閉まっていないとき
 - ・ タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
 - ・ 坂道など平坦でない道
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- 寒いときにお湯をかけるなど、カメラに急激な温度変化をあたえると、リアカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてリアカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷付き、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりリアカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。

- バックギアにシフトした瞬間は、一旦白画面になりますが、その後次第に安定します。
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。

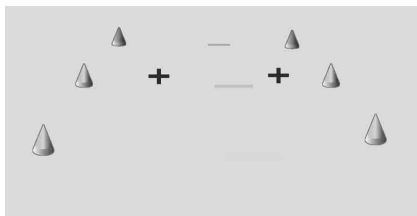
アドバイス

- 湿度の高いとき(雨の日など)は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
- 本機の映像は鏡像となっています。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見ると同じ左右反転させた画像です。これに対し直接目で見るのと同じ画像を正像と呼びます。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- 写真は一例です。モニター画面に映る範囲は車種によって異なります。リアカメラの映像は、車体の一部が映し出されるように調整してください。
- カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。

リアカメラの映像

後方の映像を映す

- 1 シフトレバーをバックギア(R)に入れます。
後方の映像が自動で画面に映し出されます。



- 画面にタッチすると、リアカメラ映像の設定画面が表示されます。詳しくは、「ガイド線を調整する」(181ページ)を参照してください。

- 2 シフトレバーをバックギア(R)以外に入れます。
通常画面に戻ります。

アドバイス

- 「リアカメラを接続する」を「あり」に設定してください(182ページ参照)。
- 電源をONにした直後(オープニング画面表示中)にシフトレバーをバックギア(R)に入れた場合は、リアカメラの映像にガイド線は表示されません。
- 「ガイド線表示」を「しない」に設定していると、ガイドは表示されません。(182ページ参照)

リアカメラの映像を確認する

シフトレバーの位置に関係なく、リアカメラの映像を表示し確認することができます。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

- 2 **カメラ** にタッチします。



リアカメラの映像が表示されます。

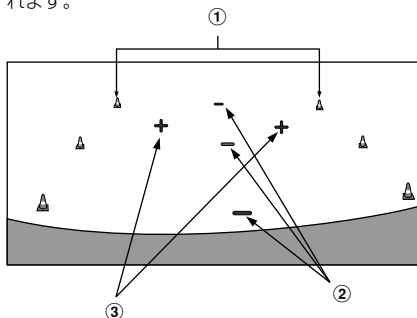
- 3 元の画面に戻すには**戻る**にタッチします。

- **MENU/PWR**、**POS.**、**OPEN/TILT** スイッチを押しても、リアカメラ映像は解除されません。

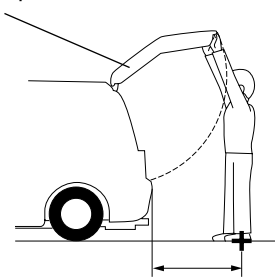
画面の見方について

■ 表示マークの見方

バックギアにシフトすると、モニター画面がリアカメラの映像に切りかわり、車幅や距離感覚を捕うガイドが表示されます。



テールゲート



車両から③までの距離

- ① 車幅延長マーク (手前より赤色、黄色、緑色)
車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。
車の後方 (バンパー・後端から) の距離を示します。
 - ハンドル操作と連動しません。
 - それぞれの中心位置で、約0.5m先 (赤色) ・約1m先 (黄色) ・約2m先 (緑色) を示します。
- ② 距離目安マーク
車の後方 (バンパー・後端から) の距離を示します。
 - ハンドル操作と連動しません。
 - それぞれの中心位置で、約0.5m先 (赤色) ・約1m先 (黄色) ・約2m先 (緑色) を示します。
- ③ テールゲート距離目安マーク
テールゲートなどの開閉に必要な距離を示します。

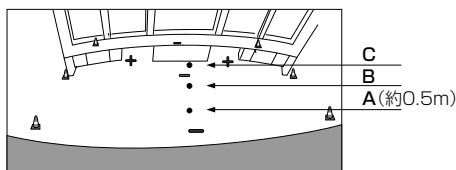
🔊 アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

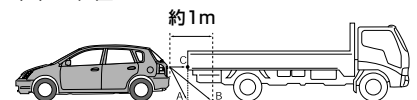
■ 距離目安マーク

距離目安マークは路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

<画面>



<A,B,Cの位置>

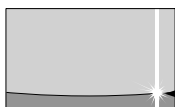


画面では、距離目安マークにより約1m 先(B の位置)にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはA の位置まで後退すると、ぶつかります。画面ではA、B、C の順に近く見えますが、実際の距離はA とCは同じ距離で、B はA、Cより遠い距離にあります。

🔊 アドバイス

- 車幅延長マークは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映りだされた場合は実際の距離感とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
 - ・ 暗いところ。(夜間など)
 - ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。(雨天時など)
 - ・ カメラ付近に異物(泥など)がついたとき。
 - ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
 - ・ CCDカメラ接続時は、高輝度の点(車体に反射した太陽など)がカメラに映ると、CCDカメラ特有のスミヤ現象*が発生することがあります。

<画面の状況>



※ スミヤ現象: 高輝度の点(車体に反射した太陽など)がカメラに映るとその点の上下(縦方向)に尾を引く現象。

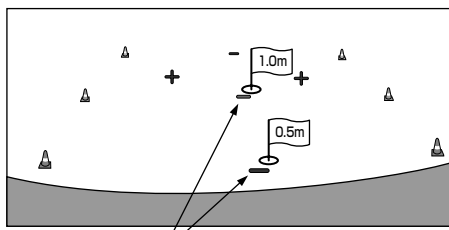
高輝度の点

画面と実際の路面との誤差

以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。(イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します)

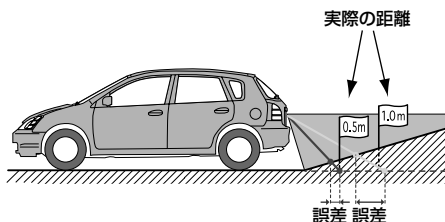
■ 急な上り坂が後方にあるとき(例)

<画面>



距離目安マーク

<車の状況>

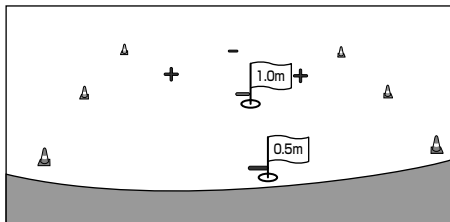


距離目安マークは、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安マークが表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くに見えるように見えます。

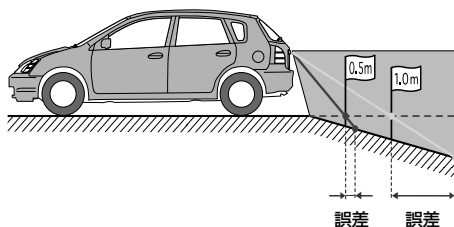
同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■ 急な下り坂が後方にあるとき(例)

<画面>



<車の状況>



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安マークが表示されます。

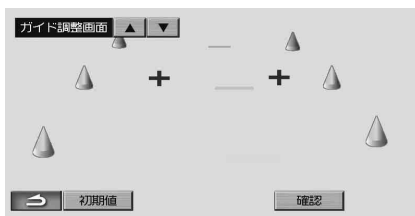
下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。

同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

ガイド線を調整する

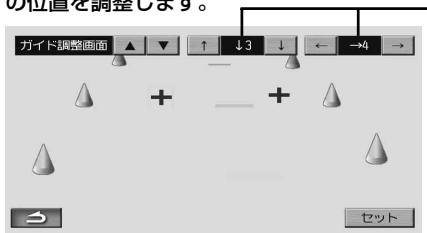
ガイド線の調整を行うことができます。

- 1 リアカメラ画面表示時に、画面の任意の場所にタッチします。
- 2 「ガイド調整画面」の **▲** または **▼** にタッチします。



調整画面が表示されます。

- 3 **▲** にタッチして調整したいガイドを選択し、**↑** **↓** **←** **→** にタッチしてガイドの位置を調整します。



移動した方向(矢印)と、距離(数字)が表示される

- 4 調整が済んだら、**セット** にタッチして調整値を記憶します。

- **初期値** にタッチすると、お買い上げ時の設定に戻ります。確認メッセージが表れたら **はい** にタッチします。

- 5 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。

調整結果の確認

ガイド線の調整後、調整結果を確認し、再調整を行うことができます。

1 リアカメラ画面表示時に、画面の任意の場所にタッチします。

2 **確認** にタッチします。
調整画面が表示されます。

3 **▲** にタッチして調整したいガイドを選択し、**↑** **↓** **←** **→** にタッチしてガイドの位置を調整します。



- 確認画面で調整可能なガイドは上図①～⑤の5つになります。
- ①～⑤のガイドの調整は、他の2色のガイドにも反映されます。

4 調整が済んだら、**セット** にタッチして調整値を記憶します。

5 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。

リアカメラ設定

リアカメラに関する設定を行います。

次の手順1～5は、リアカメラ設定の共通操作になります。各項目の詳しい操作方法についてはそれぞれの項目を参照してください。

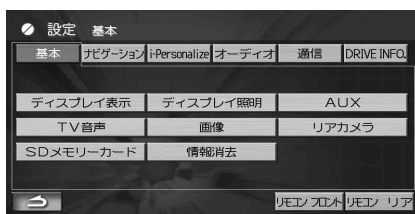
設定操作

1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

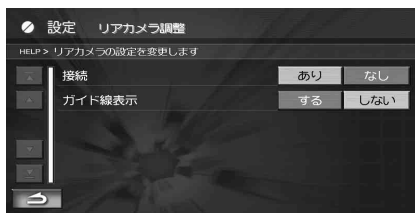


2 **設定を変える** にタッチします。

3 **基本** タブにタッチし、**リアカメラ** にタッチします。



4 各項目にタッチし、設定を行います。



5 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。

- ↶** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

リアカメラを接続する

リアカメラを接続する場合は、「あり」に設定してください。

設定項目 : 接続

設定値 : あり/なし

あり : リアカメラを接続します。

なし : リアカメラの接続をしません。

ガイド線を表示する

ガイド線を表示する場合は、「する」に設定してください。

設定項目 : ガイド線表示

設定値 : する/しない

あり : 調整画面でガイド線を表示します。

なし : ガイド線の表示を行いません。

リアモニターについて



リアモニター(別売)を装着すると、運転席でナビゲーション画面などを表示しながら、同時に後部座席でDVDやTVなどの映像を楽しむことができます。

付属のリモコンでチャンネル切りかえやDVD再生操作なども行えます。



アドバイス

- 本機側で映像ソース(DVD、TVなど)のいずれかがONになっている場合にのみ、リアモニターに映像が映し出されます。
- リアモニターからリモコン操作を行うには、「リモコン受光部を切りかえる」(35ページ)で「リモコンリア」に設定してください。

各種データ一覧

ナビゲーション編

地図マーカー一覧	186
市街地図収録都市リスト	187
VICS道路交通情報マーカー一覧	193

地図マーク一覧

表示	内容	表示	内容	表示	内容
	病院		交差点		公園
	学校		冬期規制区間		動物園
	郵便局		商業施設		植物園
	消防署		ホテル		水族館
	警察署		銀行		遊園地、テーマパーク
	都道府県庁		工場、工場敷地		博物館
	市役所、区役所		教会		図書館
	町村役場		神社		美術館
	官公署(特定記号無)		寺		ガソリンスタンド
	インターチェンジ、ランプ		墓地		カー用品店
	サービスエリア		温泉		国防施設(自衛隊、米軍など)
	パーキングエリア		海水浴場		JRA競馬場、ウインズ
	ジャンクション		スキー場		レジャー一般
	ランプ出口		ゴルフ場		バス停
	料金所		運動施設(スタジアムなど)		事故多发地点記号
	駐車場		城、城跡		路上パーキングメーター
	飛行場		キャンプ場		その他施設
	港、フェリー発着場		山		
	マリナ、ヨットハーバー		史跡、名所		

🔊 アドバイス

● 情報検索精度について

電話番号検索および50音検索などは、電話番号登録時の登録内容によっては、周辺地域による検出になる場合があります。

本機に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があります。使用に際しては、実際の道路状況、および交通規制に従ってください。

本機は、天変地異による規制には対応しておりません。該当する地域周辺を走行される場合は、警察・交通情報センター等にご確認ください。

● 地図データベースについて

地図データベース上、最終更新されたものを使用していますが、地域によっては最終更新日が古い場所も存在し、現在の状況と異なる場合があります。

● 交差点拡大図に表示される地図マークは、形状が異なる場合があります。

市街地図収録都市リスト

都道府県	市区町村名
北海道	札幌市
	函館市
	小樽市
	旭川市
	室蘭市
	釧路市
	帯広市
	北見市
	夕張市
	岩見沢市
	網走市
	留萌市
	苫小牧市
	稚内市
	美瑛市
	虻川市
	江別市
	赤平市
	紋別市
	士別市
	名寄市
	三笠市
	根室市
	千歳市
	滝川市
	砂川市
	歌志内市
	深川市
	富良野市
	登別市
	恵庭市
	伊達市
	北広島市
	石狩市
	当別町
	江差町
	斜里町
	白老町
	音更町
	釧路町
青森県	青森市
	弘前市
	八戸市
	黒石市
	五所川原市
	十和田市
	三沢市
	むつ市
	つがる市
	岩木町
	藤崎町
	大鰐町
	東北町
岩手県	盛岡市
	宮古市
	大船渡市
	水沢市
	花巻市
	北上市

都道府県	市区町村名
岩手県	久慈市
	遠野市
	一関市
	陸前高田市
	釜石市
	江刺市
	二戸市
	八幡平市
	雫石町
	岩手町
	滝沢村
	玉山村
	紫波町
	矢巾町
	大槌町
	山田町
	岩泉町
宮城県	仙台市
	石巻市
	塩竈市
	古川市
	気仙沼市
	白石市
	名取市
	角田市
	多賀城市
	岩沼市
	登米市
	栗原市
	東松島市
	大河原町
	山元町
	松島町
	七ヶ浜町
	利府町
	富谷町
秋田県	色麻町
	加美町
	鳴子町
	小川田町
	南郷町
	秋田市
	能代市
	横手市
	大館市
	男鹿市
	湯沢市
	鹿角市
	由利本荘市
山形県	湯上町
	大仙市
	北秋田市
	にかほ市
	仙北市
	五城目町
山形県	井川町
	山形市
	米沢市
山形県	鶴岡市

都道府県	市区町村名
山形県	酒田市
	新庄市
	寒河江市
	上山市
	村山市
	長井市
	天童市
	東根市
	尾花沢市
	南陽市
福島県	福島市
	会津若松市
	郡山市
	いわき市
	白河市
	原町市
	須賀川市
	喜多方市
	相馬市
	二本松市
茨城県	田村市
	桑折町
	国見町
	梁川町
	保原町
	本宮町
	鏡石町
	西郷村
	矢吹町
	小野町
茨城県	水戸市
	日立市
	土浦市
	古河市
	石岡市
	結城市
	龍ヶ崎市
	下妻市
	水海道市
	常陸太田市
茨城県	高萩市
	北茨城市
	笠間市
	取手市
	牛久市
	つくば市
	ひたちなか市
	鹿嶋市
	潮来市
	守谷市
茨城県	常陸大宮市
	那珂市
	筑西市
	坂東市
	稲敷市
	かすみがうら市
	桜川市
	神栖市
	行方市

都道府県	市区町村名
茨城県	鉾田市
	茨城町
	美野里町
	大洗町
	友部町
	岩間町
	東海村
	阿見町
	伊奈町
	谷和原村
栃木県	石下町
	五霞町
	境町
	利根町
	宇都宮市
	足利市
	栃木市
	佐野市
	鹿沼市
	日光市
群馬県	今市市
	小山市
	真岡市
	大田原市
	矢板市
	那須塩原市
	さくら市
	那須烏山市
	上三川町
	南河内町
群馬県	河内町
	二宮町
	益子町
	市貝町
	芳賀町
	壬生町
	石橋町
	国分寺町
	野木町
	大平町
群馬県	都賀町
	栗山村
	藤原町
	那須町
	前橋市
	高崎市
	桐生市
	伊勢崎市
	太田市
	沼田市
群馬県	館林市
	渋川市
	藤岡市
	富岡市
	安中市
	赤城村
	富士見村
	榛名町
	箕郷町

都道府県	市区町村名
群馬県	群馬町
	子持村
	伊香保町
	榛東村
	吉岡町
	新町
	吉井町
	甘楽町
	松井田町
	中之条町
	吾妻町
	嬬恋村
	草津町
	みなかみ町
	玉村町
	笠懸町
	大間々町
	板倉町
	明和町
	千代田町
	大泉町
	邑楽町
埼玉県	さいたま市
	川越市
	熊谷市
	川口市
	行田市
	秩父市
	所沢市
	飯能市
	加須市
	本庄市
	東松山市
	春日部市
	狭山市
	羽生市
	鴻巣市
	深谷市
	上尾市
	草加市
	越谷市
	蕨市
	戸田市
	入間市
	鳩ヶ谷市
	朝霞市
	志木市
	和光市
	新座市
	桶川市
	久喜市
	北本市
	八潮市
	富士見市
	三郷市
	蓮田市
	坂戸市
	幸手市
	鶴ヶ島市

都道府県	市区町村名
埼玉県	日高市
	吉川市
	ふじみ野市
	伊奈町
	三芳町
	毛呂山町
	越生町
	滑川町
	嵐山町
	小川町
	都幾川村
	玉川村
	川島町
	吉見町
	鳩山町
	横瀬町
	皆野町
	長瀨町
	小鹿野町
	東秩父村
	美里町
	児玉町
	神川町
	神泉村
	上里町
	江南町
	岡部町
	川本町
	花園町
	寄居町
	騎西町
	南河原村
	北川辺町
	大利根町
	宮代町
	白岡町
	菖蒲町
	栗橋町
	鷺宮町
	杉戸町
	松伏町
千葉県	千葉市
	銚子市
	市川市
	船橋市
	館山市
	木更津市
	松戸市
	野田市
	佐原市
	茂原市
	成田市
	佐倉市
	東金市
	八日市場市
	旭市
	習志野市
	柏市
	勝浦市

都道府県	市区町村名
千葉県	市原市
	流山市
	八千代市
	我孫子市
	鴨川市
	鎌ヶ谷市
	君津市
	富津市
	浦安市
	四街道市
	袖ヶ浦市
	八街市
	印西市
	白井市
	富里市
	いすみ市
	酒々井町
	印旛村
	本埜村
	栄町
	下総町
	神崎町
	大栄町
	小見川町
	山田町
	栗源町
	多古町
	東庄町
	光町
	野栄町
	大網白里町
	九十九里町
	成東町
	山武町
	松尾町
	横芝町
	芝山町
	一宮町
	睦沢町
	長生村
	白子町
	長柄町
	長南町
	大多喜町
	御宿町
	富浦町
	富山町
	鋸南町
	三芳村
	白浜町
	千倉町
	丸山町
	和田町
東京都	千代田区
	中央区
	港区
	新宿区
	文京区
	台東区

都道府県	市区町村名
東京都	墨田区
	江東区
	品川区
	目黒区
	大田区
	世田谷区
	渋谷区
	中野区
	杉並区
	豊島区
	北区
	荒川区
	板橋区
	練馬区
	足立区
	葛飾区
	江戸川区
	八王子市
	立川市
	武蔵野市
	三鷹市
	青梅市
	府中市
	昭島市
	調布市
	町田市
	小金井市
	小平市
	日野市
	東村山市
	国分寺市
	国立市
	福生市
	狛江市
	東大和市
	清瀬市
	東久留米市
	武蔵村山市
	多摩市
	稲城市
	羽村市
	あきる野市
	西東京市
	瑞穂町
	日の出町
	檜原村
	奥多摩町
神奈川県	横浜市
	川崎市
	横浜須賀市
	平塚市
	鎌倉市
	藤沢市
	小田原市
	茅ヶ崎市
	逗子市
	相模原市
	三浦市
	秦野市



都道府県	市区町村名
神奈川県	厚木市
	大和市
	伊勢原市
	海老名市
	座間市
	南足柄市
	綾瀬市
	葉山町
	寒川町
	大磯町
	二宮町
	中井町
	大井町
	松田町
	山北町
	開成町
	箱根町
	真鶴町
	湯河原町
	愛川町
	清川村
	城山町
	津久井町
	相模湖町
	藤野町
新潟県	新潟市
	長岡市
	三条市
	柏崎市
	新発田市
	小千谷市
	加茂市
	十日町市
	見附市
	村上市
	燕市
	栃尾市
	糸魚川市
	妙高市
	五泉市
	上越市
	阿賀野市
	佐渡市
	魚沼市
	南魚沼市
	胎内市
	聖籠町
	村松町
	分水町
	吉田町
	田上町
富山県	寺泊町
	湯沢町
	富山市
	高岡市
	魚津市
	氷見市
	滑川市
	黒部市

都道府県	市区町村名
富山県	砺波市
	小矢部市
	南砺市
	射水市
	宇奈月町
石川県	金沢市
	七尾市
	小松市
	輪島市
	珠洲市
	加賀市
	羽咋市
	かほく市
	白山市
	能美市
	野々市町
	津幡町
	内灘町
福井県	志賀町
	福井市
	敦賀市
	小浜市
	大野市
	勝山市
	鯖江市
	あわら市
	越前市
	三国町
山梨県	丸岡町
	春江町
	坂井町
	美浜町
	高浜町
	甲府市
	富士吉田市
	都留市
	山梨市
	大月市
	韮崎市
	南アルプス市
	北杜市
	甲斐市
	笛吹市
	上野原市
	甲州市
	中道町
長野県	聖籠町
	市川三郷町
	増穂町
	玉穂町
	昭和町
	田富町
	小淵沢町
	富士河口湖町
	長野市
	松本市
	上田市
	岡谷市
	飯田市
	諏訪市

都道府県	市区町村名
長野県	須坂市
	小諸市
	伊那市
	駒ヶ根市
	中野市
	大町市
	飯山市
	茅野市
	塩尻市
	佐久市
	千曲市
	東御市
	安曇野市
	軽井沢町
	御代田町
	丸子町
	下諏訪町
	富士見町
	辰野町
	箕輪町
	南箕輪村
	松川町
	高森町
	阿智村
	筑北村
	白馬村
	坂城町
	小布施町
岐阜県	山ノ内町
	岐阜市
	大垣市
	高山市
	多治見市
	関市
	中津川市
	美濃市
	瑞浪市
	羽島市
	恵那市
	美濃加茂市
	土岐市
	各務原市
	可児市
	山県市
	瑞穂市
	飛騨市
	本巣市
	郡上市
	下呂市
岐阜県	海津市
	岐南町
	笠松町
	柳津町
	関ヶ原町
	神戸町
	墨俣町
	北方町
	坂祝町
	富加町

都道府県	市区町村名
岐阜県	笠原町
	静岡市
	浜松市
	沼津市
	熱海市
	三島市
	富士宮市
	伊東市
	島田市
	富士市
	磐田市
	焼津市
	掛川市
	藤枝市
	御殿場市
	袋井市
	下田市
	裾野市
	湖西市
	伊豆市
	御前崎市
	菊川市
	伊豆の国市
	牧之原市
	東伊豆町
	河津町
	松崎町
	西伊豆町
愛知県	函南町
	清水町
	長泉町
	小山村
	芝川町
	富士川町
	蒲原町
	岡部町
	大井川町
	吉田町
	森町
	新居町
	名古屋市
	豊橋市
	岡崎市
	一宮市
	瀬戸市
愛知県	半田市
	春日井市
	豊川市
	津島市
	碧南市
	刈谷市
	豊田市
	安城市
	西尾市
	蒲郡市
愛知県	犬山市
	常滑市
	江南市
	小牧市

都道府県	市区町村名
愛知県	稲沢市
	新城市
	東海市
	大府市
	知多市
	知立市
	尾張旭市
	高浜市
	岩倉市
	豊明市
	日進市
	田原市
	愛西市
	清須市
	東郷町
	長久手町
	豊山町
	師勝町
	西春町
	春日町
	大口町
	扶桑町
	七宝町
	美和町
	甚目寺町
	大治町
	蟹江町
	十四山村
	飛鳥村
	弥富町
	阿久比町
	東浦町
	南知多町
	美浜町
	武豊町
	一色町
	吉良町
	幡豆町
	幸田町
	額田町
	三好町
	音羽町
	一宮町
	小坂井町
	御津町
三重県	津市
	四日市市
	伊勢市
	松阪市
	桑名市
	鈴鹿市
	名張市
	尾鷲市
	亀山市
	鳥羽市
	熊野市
	久居市
	いなべ市
	志摩市

都道府県	市区町村名
三重県	伊賀市
	東員町
	菟野町
	河芸町
	芸濃町
	美里村
	安濃町
	香良洲町
	一志町
	白山町
	美杉村
	玉城町
	度会町
滋賀県	大津市
	彦根市
	長浜市
	近江八幡市
	草津市
	守山市
	栗東市
	甲賀市
	野洲市
	湖南市
	高島市
	東近江市
	米原市
	志賀町
	安土町
京都府	蒲生町
	日野町
	竜王町
	能登川町
	京都市
	福知山市
	舞鶴市
	綾部市
	宇治市
	宮津市
	亀岡市
	城陽市
	向日市
	長岡京市
	八幡市
	京田辺市
	京丹後市
	大山崎町
	久御山町
	井手町
大阪府	宇治田原町
	山城町
	木津町
	加茂町
	笠置町
	和束町
	精華町
	南山城村
	園部町
	八木町
	大阪市

都道府県	市区町村名
大阪府	堺市
	岸和田市
	豊中市
	池田市
	吹田市
	泉大津市
	高槻市
	貝塚市
	守口市
	枚方市
	茨木市
	八尾市
	泉佐野市
	富田林市
	寝屋川市
	河内長野市
	松原市
	大東市
	和泉市
	箕面市
	柏原市
	羽曳野市
	門真市
	摂津市
	高石市
	藤井寺市
	東大阪市
	泉南市
	四條畷市
	交野市
	大阪狭山市
	阪南市
	島本町
	豊能町
	能勢町
	忠岡町
	熊取町
	田尻町
	岬町
	太子町
	河南町
	千早赤阪村
兵庫県	神戸市
	姫路市
	尼崎市
	明石市
	西宮市
	洲本市
	芦屋市
	伊丹市
	相生市
	豊岡市
	加古川市
	赤穂市
	西脇市
	宝塚市
	三木市
	高砂市
	川西市

都道府県	市区町村名
兵庫県	小野市
	三田市
	加西市
	篠山市
	養父市
	丹波市
	南あわじ市
	朝来市
	淡路市
	宍粟市
	たつの市
	猪名川町
	社町
	東条町
	多可町
	稲美町
	播磨町
奈良県	福崎町
	香寺町
	太子町
	上郡町
	香美町
	新温泉町
	奈良市
	大和高田市
	大和郡山市
	天理市
	橿原市
	桜井市
	五條市
	御所市
	生駒市
和歌山県	香芝市
	葛城市
	平群町
	三郷町
	斑鳩町
	安堵町
	川西町
	田原本町
	明日香村
	上牧町
	王寺町
	広陵町
	河合町
	和歌山市
	海南市
	橋本市
	有田市
	御坊市
	田辺市
	新宮市
	紀の川市
	岩出町
	かつらぎ町
	湯浅町
	吉備町
	白浜町
	那智勝浦町



都道府県	市区町村名
鳥取県	鳥取市
	米子市
	倉吉市
	境港市
	岩美町
島根県	三朝町
	松江市
	浜田市
	出雲市
	益田市
岡山県	大田市
	安来市
	江津市
	雲南市
	斐川町
	岡山市
	倉敷市
	津山市
	玉野市
	笠岡市
	井原市
	総社市
	高梁市
	新見市
	備前市
	瀬戸内市
	赤磐市
	真庭市
	美作市
	建部町
	瀬戸町
	佐伯町
	和気町
	早島町
	金光町
	鴨方町
	寄島町
	里庄町
	矢掛町
	鏡野町
	勝央町
	奈義町
	西粟倉村
	久米南町
	美咲町
	吉備中央町
広島県	広島市
	呉市
	竹原市
	三原市
	尾道市
	因島市
	福山市
	府中市
	三次市
	庄原市
	大竹市
	東広島市
	廿日市市

都道府県	市区町村名
広島県	安芸高田市
	江田島市
	府中町
	海田町
	熊野町
山口県	坂町
	神辺町
	下関市
	宇部市
	山口市
徳島県	萩市
	防府市
	下松市
	岩国市
	光市
	長門市
	柳井市
	美祢市
	周南市
	山陽小野田市
香川県	和木町
	平生町
	徳島市
	鳴門市
	小松島市
	阿南市
	吉野川市
	阿波市
	美馬市
	石井町
	松茂町
	北島町
	藍住町
	板野町
	上板町
愛媛県	高松市
	丸亀市
	坂出市
	善通寺市
	観音寺市
	さぬき市
	東かがわ市
	内海町
	土庄町
	牟礼町
	綾南町
	国分寺町
	宇多津町
	滴農町
	琴平町

都道府県	市区町村名
愛媛県	大洲市
	伊予市
	四国中央市
	西予市
	東温市
	久万高原町
	松前町
	砥部町
	伊方町
	高知市
高知県	室戸市
	安芸市
	南国市
	土佐市
	須崎市
	宿毛市
	土佐清水市
	四万十市
	春野町
	佐川町
福岡県	窪川町
	橘原町
	佐賀町
	大方町
	北九州市
	福岡市
	大牟田市
	久留米市
	直方市
	飯塚市
	田川市
	柳川市
	山田市
	甘木市
	八女市
	筑後市
	大川市
	行橋市
	豊前市
	中間市
熊本県	小郡市
	筑紫野市
	春日市
	大野城市
	宗像市
	太宰府市
	前原市
	古賀市
	福津市
	うきは市
	那珂川町
	宇美町
	篠栗町
	志免町
	須恵町
	新宮町
	久山町
	粕屋町
	芦屋町

都道府県	市区町村名
福岡県	水巻町
	岡垣町
	遠賀町
	穂波町
	二丈町
	志摩町
	大刀洗町
	苅田町
	椎田町
	吉甯町
佐賀県	佐賀市
	唐津市
	鳥栖市
	多久市
	伊万里市
	武雄市
	鹿島市
	小城市
	白石町
	嬉野町
長崎県	長崎市
	佐世保市
	島原市
	諫早市
	大村市
	平戸市
	松浦市
	対馬市
	杵岐市
	五島市
熊本県	西海市
	雲仙市
	長与町
	時津町
	琴海町
	波佐見町
	有明町
	熊本市
	八代市
	人吉市
	荒尾市
	水俣市
	玉名市
	本渡市
	山鹿市
	牛深市
	菊池市
	宇土市
	上天草市
	宇城市
	阿蘇市
	植木町
	大津町
	菊陽町
	合志町
	西合志町
	南小国町
	小国町
	高森町

都道府県	市区町村名
熊本県	益城町
	大分県
	大分市
	別府市
	中津市
	日田市
	佐伯市
	臼杵市
	津久見市
	竹田市
	豊後高田市
	杵築市
	宇佐市
	豊後大野市
	由布市
	九重町
	玖珠町
宮崎県	宮崎市
	都城市
	延岡市
	日南市
	小林市
	日向市
	串間市
	西都市
	えびの市
	清武町
	田野町
	佐土原町
鹿児島県	鹿児島市
	鹿屋市
	枕崎市
	阿久根市
	名瀬市
	出水市
	大口市
	指宿市
	西之表市
	垂水市
	薩摩川内市
	日置市
	曾於市
	霧島市
	いちき串木野市
	南さつま市
沖縄県	那覇市
	宜野湾市
	石垣市
	浦添市
	名護市
	糸満市
	沖縄市
	豊見城市
	うるま市
	宮古島市
	本部町
	読谷村
	嘉手納町
	北谷町
	北中城村

都道府県	市区町村名
沖縄県	中城村
	西原町
	東風平町
	玉城村
	知念村
	佐敷町
	与那原町
	大里村
	南風原町



アドバイス

- 家形までリアルに表現できる「市街地図(詳細市街地図)」を1,248エリア収録(2005年12月末までの市区町村合併に対応)。その他のエリアでも道路幅を分かりやすく表現できる「簡易市街地図」を収録し、日本全国でリアルな市街地図が表示できます。
- 一部の都市に関しては、「市街地図(詳細市街地図)」は中心部および一部のエリアのみの収録となります。

VICS道路交通情報マーク一覧



- 地図画面に表示されるVICS交通情報マークの意味を以下に示します。
- 実際の交通規制表示とは異なります。
- 複数の情報を代表して1つのマークのみ表示することがあります。

表示	内容	表示	内容	表示	内容
	事故		入り口閉鎖		駐車場 不明(黒)
	故障車		大型通行止め		駐車場 閉
	路上障害		入口制限		速度規制 10km/h
	工事		オフランプ 規制		速度規制 20km/h
	凍結		片側交互通行		速度規制 30km/h
	作業		チェーン規制		速度規制 40km/h
	通行止め 閉鎖		進入禁止		速度規制 50km/h
	対面通行		駐車場 空(青)		速度規制 60km/h
	車線規制		駐車場 満(赤)		速度規制 70km/h
	徐行		駐車場 混雑(橙)		速度規制 80km/h

[illegible]

[illegible]

基本操作

サウンド・映像編

サウンド・映像モードのON/OFF	198
サウンド・映像モードをONにする	198
サウンド・映像モードをOFFにする	198
モードを切りかえる	199
各モードの操作画面	200
音量の調整	202

サウンド・映像モードのON/OFF

本機は、例えばナビゲーション画面を表示中も、選択したサウンド・映像モードの音声が出力されます。サウンド・映像モードをOFFにして音声を消したり、ONにしてマルチゲート画面でナビ案内画面を見ながらDVDの映像と音声を楽しんだりすることができます。

サウンド・映像モードをONにする

サウンド・映像モードをONにするには、以下のいずれかの操作を行います。

CD/DVDディスクを挿入してONにする

- 1 CD/DVDディスクを挿入します。

メニューからONにする

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。



サウンド・映像画面が表示されます。

- 2 いずれかのモードにタッチします。

<画面例>



- 接続や設定により、表示は異なります。

サウンド・映像モードをOFFにする

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**AV OFF** にタッチします。
AV OFF スイッチがオレンジ色になり、サウンド・映像モードの音声/映像共に出力されなくなります。

モードを切りかえる

「サウンド・映像」画面では、いずれかのモードスイッチにタッチするとCD、ラジオなどのオーディオモードや設定画面に切りかえることができます。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。
サウンド・映像画面が表示されます。

- 2 いずれかのモードスイッチにタッチします。

<画面例>



- 接続や設定により、表示は異なります。

- 3 表示される画面にしたがって操作します。

各モードの操作画面

各モードの操作画面は、次のように表示されます。

■ ラジオ画面



■ SD AUDIO画面



■ HDD AUDIO画面



■ iPod画面



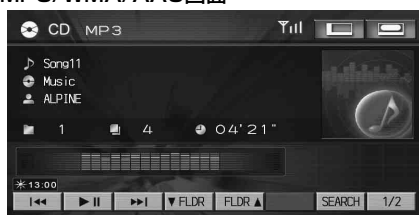
■ CD画面



■ DVD操作画面



■ MP3/WMA/AAC画面



■ ビデオCD操作画面

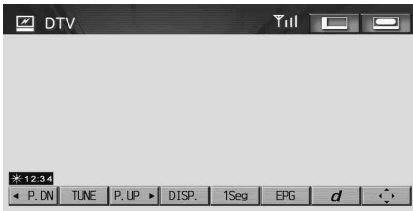




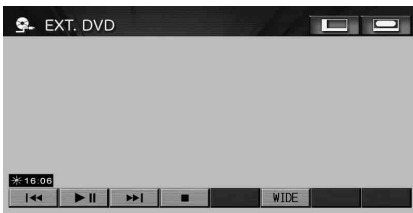
■ TV操作画面



■ DTV操作画面



■ 外部DVDプレイヤー操作画面

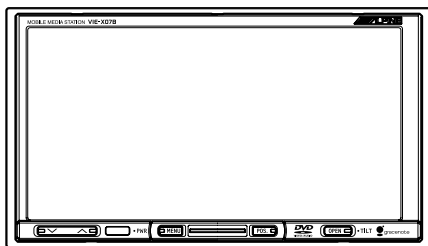


● アドバイス

- 映像ソース(DVD、TVなど)モードでは、走行中は映像は表示されません。

音量の調整

- 1  スイッチまたは 
スイッチを押します。



- 調整レベルは0～35です。



音量が大きくなります。



音量が小さくなります。



音量調整表示

🔊 アドバイス

- ナビゲーションの案内音量はわかりません(「案内音量を調整する」55ページ参照)。
- ナビゲーション音声案内割り込み中に、オーディオ音量を調整すると、その音量が音声案内割り込み時のオーディオ音量として設定されます。
設定しておくと、ナビゲーション音声案内割り込み時に、自動的にその設定したオーディオ音量値と割り込み画面になり、割り込みが解除されると、もとのオーディオ音量と画面に戻るようになります。
但し、設定した値より小さいオーディオ音量で聞いていた時に割り込みが入ると、割り込み時のオーディオ音量は、その小さいオーディオ音量に再設定されます。(ナビゲーション音声案内が割り込まれた場合、割り込む前のオーディオ音量より大きくなる事はありません)

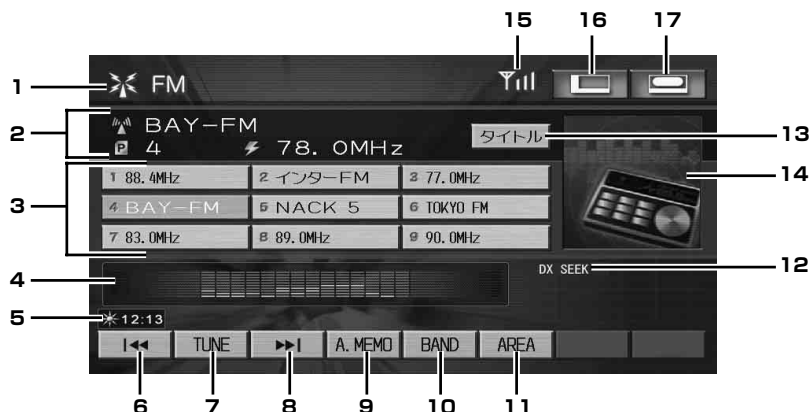
ラジオ操作

サウンド・映像編

画面の見かた	204
ラジオを聴く	205
聴きたい放送局を選ぶ	206
放送局を選ぶ	206
プリセットスイッチから選ぶ	206
放送局を記憶する	207
手動で記憶する	207
自動で記憶する(オートメモリー)	207
エリアで選局して設定する(エリアコール)	207
放送局にタイトルをつける	208
交通情報を受信する	209

画面の見かた

ラジオの受信画面は、以下のように表示されます。



1. BAND表示

受信しているBAND(FMまたはAM)が表示されます。

2. 放送局表示

上段に受信している放送局名が表示されます。下段にプリセットNo.とその周波数が表示されます。放送局名がない場合は、NO TITLEと表示されます。

3. プリセットスイッチ

記憶されている放送局名を表示します。タッチすると放送局を呼び出します。タッチし続けると、受信している放送局をそのスイッチに記憶します。放送局名がない場合は、周波数が表示されます(「プリセットスイッチから選ぶ」206ページ、「手動で記憶する」207ページ参照)。

4. スペアナ表示

音をデジタル表示で表現します。表示をOFFに設定することもできます。(「スペアナ表示を設定する」37ページ参照)。

5. 時計表示

6. 低周波数表示

低い周波数に変更します。(「聴きたい放送局を選ぶ」206ページ参照)。

7. TUNE

チューニングモードを切りかえます(「放送局を選ぶ」206ページ参照)。

8. 高周波数表示

高い周波数に変更します。(「聴きたい放送局を選ぶ」206ページ参照)。

9. A.MEMO

放送局を自動でプリセットスイッチに記憶します(「自動で記憶する(オートメモリー)」207ページ参照)。

10. BAND

ラジオのBAND(FM/AM)を切りかえます。

11. AREA

自車位置のエリアで受信可能な放送局を自動で設定します(「エリアで選局して設定する(エリアコール)」207ページ参照)。

12. 状態表示

A.MEMOのときは「A.MEMO」と表示します。スペアナ表示がOFF設定時は、画面左側に表示されます。

13. タイトル

タイトル編集画面が表示されます(「放送局にタイトルをつける」208ページ参照)。

14. イメージ表示

ラジオモード画像が表示されます。

15. 電波レベル表示

携帯電話接続時に電波レベルを表示します。通話中はタッチスイッチになり、タッチすると通話画面を表示します。

16. マルチインフォメーション画面

マルチインフォメーション画面が表示されます(「マルチインフォメーション画面」29ページ参照)。

17. マルチゲート画面

マルチゲート画面が表示されます(「マルチゲート画面」26ページ参照)。

ラジオを聴く

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

- 2 **FM/AM** にタッチします。



ラジオ画面を表示し、最後に聞いていた放送局を受信します。

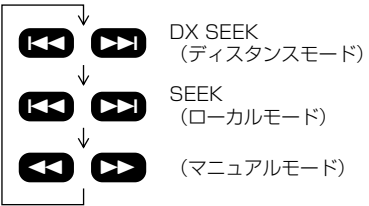
- 3 **BAND** にタッチし、バンドを選びます。



タッチするたびに「FM→AM→FM…」とバンドが切りかわります。

聴きたい放送局を選ぶ

放送局を選ぶ

- 1 ラジオ画面で **TUNE** にタッチしてチューニングモードを選びます。
TUNE をタッチすることにより、**◀◀**、**▶▶** 表示がかわります。

 - DX SEEK (ディスタンスモード)
 - SEEK (ローカルモード)
 - (マニュアルモード)
- 2 **◀◀**、**▶▶** または **◀**、**▶** にタッチして、聴きたい放送局(周波数)をさがします。

🔊 アドバイス

- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。
- 初期設定はディスタンスモードに設定されています。
 - ディスタンスモードのとき
受信可能な放送局を自動的に受信します。(自動選局)
 - ローカルモードのとき
電波の強い放送局だけを自動的に受信します。(自動選局)
 - マニュアルモードのとき
1段階ずつ周波数が変わります。(手動選局)
タッチし続けると、連続で変化します。

プリセットスイッチから選ぶ

あらかじめ記憶(プリセット)されている放送局を受信します。

- 1 ラジオ画面で、記憶されている放送局のプリセットスイッチにタッチします。



- 放送局をプリセットスイッチに記憶させる操作については、「放送局を記憶する」(207ページ)を参照してください。

放送局を記憶する



手動で記憶する

- 1 記憶させたい放送局に周波数を合わせます。
- 2 記憶させたいプリセットスイッチに操作音があるまでタッチし続けます。



タッチしたプリセットスイッチに放送局が記憶されます。

アドバイス

- すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動で記憶する(オートメモリー)

- 1 ラジオ画面で **A.MEMO** にタッチします。



「A.MEMO」が表示され、自動的に選局を始めます。自動選局が終了すると、プリセットスイッチに記憶されます。

- A.MEMOの起動中にもう一度 **A.MEMO** にタッチするとA.MEMOは解除されます。

アドバイス

- 受信電波の弱い地域では、A.MEMOでの自動受信ができないことがあります。受信できなかった場合は、オートメモリー前の状態に戻ります。
- 同じ放送局からの受信でも、手動で記憶した周波数とA.MEMOで記憶した周波数は一致しないことがあります。
- A.MEMOを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信感度のよい放送局を周波数の低い順にAM9局、FM9局まで自動的に記憶されます。

エリアで選局して設定する(エリアコール)

自転車位置のエリアで受信可能な放送局の中から、電界強度が強いと推定される9局を自動で選択して設定することができます。

- 1 ラジオ画面で **AREA** にタッチします。



自転車位置で受信可能な放送局9局が設定されます。

- **AREA** がオレンジ色の選択された状態になります。

- 2 エリアコールを解除するには、再度AREAにタッチします。

アドバイス

- エリアコール中は、手動で放送局を記憶することはありません。

放送局にタイトルをつける

受信中の放送局にお好みのタイトルをつけることができます。

- 1 放送局を受信中、ラジオ画面で **タイトル** にタッチします。



タイトル編集画面が表示されます。

- 2 お好みのタイトルを編集します。



- タイトル入力画面の操作については、「文字・数字の入力方法」(33ページ)を参照してください。



アドバイス

- タイトルは全角12文字まで入力できます。
- 最大50局(FM/AM合わせて)まで、タイトルをメモリーできます。

交通情報を受信する



- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

- 2 **交通情報** にタッチします。



あらかじめセットされているAM 放送の1620kHzの交通情報を受信します。



- 1629kHzで交通情報を行っている地域では、**1629kHz** にタッチして周波数を変更してください。

- 3 解除するには、**戻る** にタッチします。

サウンド・映像画面が表示され、交通情報を受信する前のモードに戻ります。

CD/MP3/WMA/AAC操作

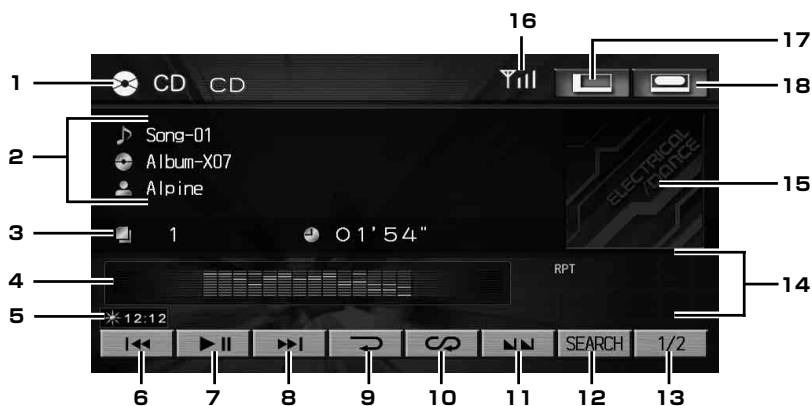
サウンド・映像編

画面の見かた	212
CD/MP3/WMA/AACを聴く	215
聴きたい曲(ファイル)を選ぶ	216
ソングサーチ(CDの場合)	216
フォルダ/ファイルサーチ(MP3/WMA/AAC)	216
フォルダを選ぶ(MP3/WMA/AACの場合)	217
早送り・早戻しする	218
曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)	219
CDの場合	219
MP3/WMA/AACの場合	219
曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)	220
CDの場合	220
MP3/WMA/AACの場合	220
繰り返し聴く REPEAT(リピート)	221
CDの場合	221
MP3/WMA/AACの場合	221
MP3/WMA/AACについて	222

画面の見かた

CD、MP3/WMA/AACの再生画面は、以下のように表示されます。

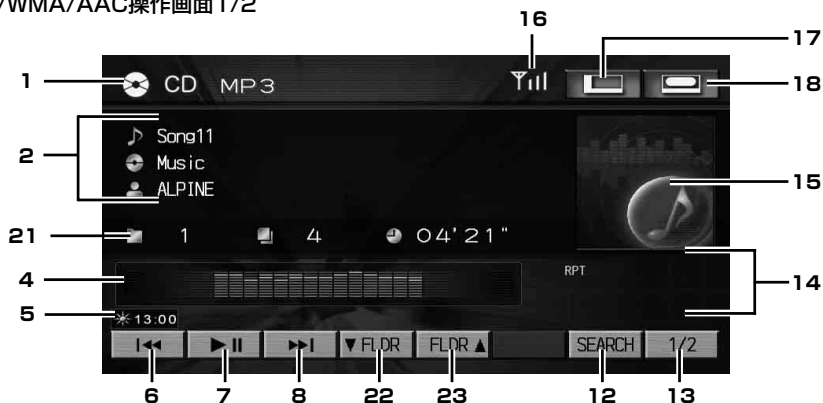
■ CD操作画面1/2



■ CD 操作画面2/2



■ MP3/WMA/AAC操作画面 1/2



■ MP3/WMA/AAC操作画面2/2



1. メディア名表示

2. 曲名/アルバム名/アーティスト名表示

再生している曲名が上段に、アルバム名が中段に、アーティスト名が下段に表示されます。

3. トラックNo./演奏経過時間表示

再生している曲のトラックNo.と演奏経過時間が表示されます。

4. スペアナ表示

音をデジタル表示で表現します。表示をOFFに設定することもできます。(「スペアナ表示を設定する」37ページ参照)。

5. 時計表示

6. ⏮

再生している曲の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします(「聴きたい曲(ファイル)を選ぶ」216ページ参照)。タッチし続けると、再生している曲を早戻しします(「早送り・早戻しする」218ページ参照)。

7. ⏸

再生している曲を一時停止します。再度タッチすると再生を再開します。

8. ⏭

次の曲に進みます(「聴きたい曲(ファイル)を選ぶ」216ページ参照)。タッチし続けると、再生している曲を早送りします(「早送り・早戻しする」218ページ参照)。

9. 🔁

繰り返し(リピート)再生します(「繰り返し聴く REPEAT(リピート)」221ページ参照)。

10. 🔀

M.I.X.(ミックス)再生します(「曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)」220ページ参照)。

11. 🔍

スキャン再生します。曲を10秒間ずつ再生します(「曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)」219ページ参照)。

12. SEARCH

サーチモードになります(「ソングサーチ(CDの場合)」216ページ、「フォルダ/ファイルサーチ(MP3/WMA/AAC)」216ページ参照)。ACC ONまたはディスク挿入後しばらくは、タッチできない場合があります。

13. 1/2

操作画面を切りかえます。

14. 状態表示

再生モード(SCAN(スキャン再生)、M.I.X.(ミックス再生)、RPT(リピート再生))の状態が表示されます。

15. イメージ表示

再生しているCDのジャンルのイメージ画像が表示されます。ジャンル情報がない場合は、各モード画像が表示されます。

16.

携帯電話接続時に電波レベルを表示します。通話中はタッチスイッチになり、タッチすると電話・通信画面を表示します。

17.

マルチインフォメーション画面が表示されます(「マルチインフォメーション画面」29ページ参照)。

18.

マルチゲート画面が表示されます(「マルチゲート画面」26ページ参照)。

19.

再生している曲をHDDに録音します。録音中にタッチすると、録音を停止します(「HDDへ録音する」229ページ参照)。

20.

操作画面を切りかえます。

21. **フォルダNo./ファイルNo./演奏経過時間表示**

再生している曲のフォルダNo./ファイルNo.と演奏経過時間が表示されます。

22.

前のフォルダに戻ります(「フォルダを選ぶ(MP3/WMA/AACの場合)」217ページ参照)。

23.

次のフォルダに進みます(「フォルダを選ぶ(MP3/WMA/AACの場合)」217ページ参照)。

CD/MP3/WMA/AACを聴く

CDやMP3/WMA/AACデータが記録されたディスクを内蔵プレーヤーに挿入して、音楽を聴きます。

1 ディスクを本機に挿入します。

自動的にディスプレイが閉まり、再生が始まります。

- ディスクの出し入れの方法については、「DVD、CD、SDメモリーカードの出し入れ」(22ページ)を参照してください。
- MP3/WMA/AACファイルを再生すると、「MP3」「WMA」「AAC」のいずれかが表示されます。

2 すでにディスクが入っている場合や、CD/MP3/WMA/AAC操作画面を表示する場合は、**(MENU/PWR)**スイッチを押した後、**(サウンド・映像)**にタッチし、**(DVD/CD)**にタッチします。

3 再生を一時停止するには **(▶||)** にタッチします。 再度 **(▶||)** にタッチすると再生を再開します。

注意

- ディスプレイの開閉時や各ディスクを出し入れするときは、変速レバーなどにぶつからないように注意してください。
- ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。
- レーベル面を上にして挿入してください。
- ディスクを挿入するとき、ディスプレイなどに干渉しないように注意してください。

アドバイス

- 内蔵のCDプレーヤーでCDディスクを再生した場合、ハードディスクに収録されているGracenote データベースから検索したアルバム名やアーティスト名、曲名、ジャンル名などのタイトル情報を表示することができます。
- 録音設定の「自動録音」を「する」に設定している場合(初期設定値は「する」)は、CDを挿入すると同時にHDD(ハードディスク)への録音が始まります(録音できないCDもあります。「HDDへ録音する」229ページ参照)。自動録音をしたくない場合は、設定を「しない」に変更してください。
- 音楽データ(CD-DA)とMP3/WMA/AACデータを再生することができます。
- 音楽データ(CD-DA)とMP3/WMA/AACデータが混在するディスクでは、ファーストセッションがCD-DAの場合はCD-DAのみを再生し、ファーストセッションがMP3/WMA/AACの場合はMP3/WMA/AACのみを再生します。
- 本機で再生できるMP3/WMAは、ISO9660 level1またはlevel2 フォーマットで記録されたディスクのみです。詳しくは、「MP3/WMA/AACについて」(222ページ)を参照してください。
- ディスクにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。
- MP3/WMA/AACのディスクは、再生が始まるまで時間がかかる場合があります。
- MP3/WMA/AACデータとフォルダ数を合わせて1,024を超えるディスクの再生には対応していません。
- CD、DVDが取り出せないとき(噛み込みなど)は、イジェクトボタンを10秒以上押してください。ディスクが押し出されます。
- DRM(著作権管理Digital Rights Management)システムのファイルは再生できません。
- シングルCD(8cmCD)はそのまま使用できますので、アダプター無しで挿入してください。

聴きたい曲(ファイル)を選ぶ

聴きたい曲(ファイル)の頭出しをします。

1 CD/MP3/WMA/AACの再生画面で

⏮ または **⏭** にタッチし、聴きたい曲(ファイル)を選びます。



- **⏮** にタッチすると、再生している曲(ファイル)の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲(ファイル)の頭出しをします。
- **⏭** にタッチすると、次の曲(ファイル)に進みます。

ソングサーチ(CDの場合)

曲名のリストを表示させて、曲を選びます。

1 CDの再生画面で **SEARCH** にタッチします。



2 リストの中から聴きたい曲名(ファイル名)にタッチします。



選択した曲が再生されます。

- 曲名(ファイル名)がない場合は、NO TITLEと表示されます。
- CDの場合、ハードディスクに収録されているGracenoteデータベースにタイトル情報が複数あるときは、MULTI HITと表示されます。

アドバイス

- リストに表示されるアイコンは次のとおりです。
 - : 本機HDDに録音されている曲
 - : 本機HDDに録音中の曲
 - : 再生中の曲
 - : 録音に失敗した曲
- ACC ONまたはディスク挿入後しばらくは、**SEARCH** にタッチできない場合があります。

フォルダ/ファイルサーチ(MP3/WMA/AAC)

1 MP3/WMA/AAC操作画面で

SEARCH にタッチします。
フォルダサーチ画面が表示されます。

フォルダサーチ

2 希望のフォルダの **▶** にタッチします。



選択したフォルダの1曲目が再生されます。

ファイルサーチ

2 希望のファイルが収録されているフォルダ名にタッチします。



ファイルサーチ画面が表示されます。

3 希望のファイル名称にタッチします。



選択したファイルが再生されます。

フォルダを選ぶ(MP3/WMA/AACの場合)

MP3/WMA/AACで記録されたディスクは、フォルダ単位で選ぶことができます。フォルダ名がディスクに記録されているときは、フォルダ名も表示されます。

1 MP3/WMA/AACの再生画面で

▼FLDR または **FLDR▲** にタッチし、聴きたいファイルが収録されているフォルダを選びます。



選択したフォルダの1つ目のファイルが再生されます。

- **▼FLDR** にタッチすると、前のフォルダに戻ります。
- **FLDR▲** にタッチすると、次のフォルダに進みます。
- フォルダの設定がされていない1つ以上のファイルは、1つのフォルダとして再生されます。
- ファイル/フォルダの再生順については、「MP3/WMA/AACファイル、フォルダの演奏順について」(222ページ)を参照してください。

🔊 アドバイス

- フォルダを選択した後に **⏮** または **⏭** にタッチすると、同じフォルダ内の次のファイル、または再生しているファイルの頭から再生することができます。

早送り・早戻しする

再生中の曲を早送り、または早戻しすることができます。

- 1** CD/MP3/WMA/AACの再生画面で
◀◀ または **▶▶** にタッチし続けます。



スイッチから指を離すまで早送り(早戻し)します。

- **◀◀** にタッチし続けると、早戻しします。
- **▶▶** にタッチし続けると、早送りします。

アドバイス

- 1曲目の先頭まで早戻しすると、通常再生になります。

曲のイントロだけを聴く

SCAN(スキャン)

再生中のディスクの曲のイントロ部分だけを聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

CDの場合

- 1 CD再生画面で **NN** にタッチします。



全曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。

- 2 聴きたい曲が見つかったら、もう一度

NN にタッチします。
その曲の再生を続けます。

アドバイス

- すべての曲のスキャンが終了してもそのままスキャン再生を続けます。**NN** にタッチして解除してください。
- M.I.X.またはREPEAT演奏中にSCANモードにすると、M.I.X./REPEATモードは解除されます。

MP3/WMA/AACの場合

- 1 MP3/WMA/AACの再生画面で **1/2** にタッチします。

- 2 **NN** にタッチします。



全曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。

- 3 聴きたい曲が見つかったら、もう一度

NN にタッチします。
その曲の再生を続けます。

アドバイス

- すべての曲のスキャンが終了してもそのままスキャン再生を続けます。**NN** にタッチして解除してください。
- M.I.X.またはREPEAT演奏中にSCANモードにすると、M.I.X./REPEATモードは解除されます。

曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)

再生中のディスクの曲を順不同に聴くことができます。

CDの場合

- 1 CD再生画面で  にタッチします。



順不同に曲が再生されます。

- ディスク内のすべての曲の再生が終了しても、ミックス再生が解除されるまでミックス再生を継続します。

- 2 解除するには、もう一度  にタッチします。

アドバイス

- SCANまたはREPEAT演奏中にM.I.X.モードにすると、SCAN/REPEATモードは解除されます。

MP3/WMA/AACの場合

- 1 MP3/WMA/AACの再生画面で **1/2** にタッチします。

- 2  にタッチします。



-  にタッチするたびに、M.I.X.モードがかわります。
M.I.X. FOLDER→M.I.X.→(OFF)→
M.I.X. FOLDER
M.I.X. FOLDER: フォルダ内のみを対象に順不同に演奏します。
M.I.X. : ディスク内の曲を順不同に演奏します。

- 3 解除するには、M.I.X.モードが解除するまで  にタッチします。

アドバイス

- SCANまたはREPEAT演奏中にM.I.X.モードにすると、SCAN/REPEATモードは解除されます。

繰り返し聴く REPEAT(リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し聴くことができます。

CDの場合

- 1 再生中に  にタッチします。



再生中の曲が繰り返し再生されます。

- 2 解除するには、もう一度  にタッチします。

アドバイス

- SCANまたはM.I.X.演奏中にREPEATモードにすると、SCAN/M.I.X.モードは解除されます。

MP3/WMA/AACの場合

- 1 MP3/WMA/AACの再生画面で **1/2** にタッチします。
- 2 再生中に  にタッチします。



-  にタッチするたびに、REPEATモードがかわります。

RPT→RPT FOLDER→(OFF)→RPT

RPT : 1曲のみを繰り返し演奏します。

RPT FOLDER : フォルダ内の曲のみを対象に繰り返し演奏します。

- 3 解除するには、REPEATモードが解除するまで  にタッチします。

アドバイス

- SCANまたはM.I.X.演奏中にREPEATモードにすると、SCAN/M.I.X.モードは解除されます。

MP3/WMA/AACについて

① 注意

- 個人で楽しむ以外は、オーディオデータ(MP3/WMA/AACデータ含む)を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

MP3とは？

正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体のISOとIECの共同活動機関であるMPEGが定めた圧縮規格です。

MP3は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。また、CDクオリティに近い音質を実現しても約1/10の圧縮率を得ることができます。(サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsの場合)

このような高圧縮率を実現しているMP3フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

WMAとは？

正式には「Windows Media™ Audio」と言い、音声データを圧縮する方式です。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約半分)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにCD同等の音質を保ちます。

AACとは？

AACとは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮の基本フォーマットです。本機ではiTunes®AACファイル(著作権保護されていない)のみ対応しています。

※ iPodおよびiTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。

ファイルの規格について

● 対応規格

MP3 :
MPEG-1 Audio Layer III
MPEG-2 Audio Layer III
MPEG-2.5
WMA : Ver7

● 対応サンプリング周波数

MP3 : 8kHz~48kHz
WMA : 8kHz~48kHz
AAC : 8kHz~48kHz

● 対応ビットレート

MP3 : 8kbps~320kbps
WMA : 8kbps~320kbps
AAC : 16kbps~320kbps
※ VBRに対応しています。
※ フリーフォーマットには対応していません。
※ MPEG1、2、2.5でビットレートが異なります。
※ 低ビットレートのMP3/WMA/AACファイル再生時は、十分な音質が得られない場合があります。

ID3タグ/WMAタグについて

ID3タグは、ID3 Tag v1.0、v1.1、v2.2、v2.3、v2.4とRIFF、SIFに対応しています。ただし、v2.xとRIFF、SIFは共存できません。

MP3/WMA/AACファイルにタグ情報が入っていれば、タイトル名(曲名)、アーティスト名、アルバム名のタグ情報を表示できます。

MP3/WMA/AACを作成するには

MP3/WMA/AACファイルを用意し、CD-Rライティングソフトを利用して、CD-R/CD-RWメディアに書き込みます。

- 本機で認識できるフォルダ数の上限
256個
- 本機で認識できるフォルダ階層数の上限
8階層
- 本機で再生可能なファイル数の上限
1024個※

※ ルートフォルダ(379ページ「用語説明」参照)も1個のファイルとして数えます。

② アドバイス

- 収録ファイル数が多いと動作開始まで時間がかかります。そのような場合には、ファイル数を少なくしてディスクを作成してください。

使用できるメディアについて

再生できるメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RWです。なお、CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズをつけたときは、再生できない場合や音飛びする場合があります。

使用できるディスクのフォーマットについて

ISO9660レベル1、レベル2でフォーマットされたディスクに対応しています。

ISO9660規格では、フォルダのディレクトリ階層(最大8階層)やフォルダ/ファイル名の文字数、フォルダ/ファイル名で利用できる文字(A～Z、0～9、_(アンダスコア)、日本語(シフトJIS(ただし、シフトJISには非対応文字も存在します)などの制限があります。

また、JolietなどのISO9660準拠であれば、再生は可能です。ただし、ファイル名/フォルダ名などは正しく表示されない場合があります。

日本語を含むフォルダ名/ファイル名を使用することもできますが、この場合はJoliet形式(Microsoft社が提唱しているCD-Rの論理フォーマット)で書き込まないと認識できない場合があります。

ファイル名について

本機で再生可能なMP3ファイルの拡張子は“mp3”です。WMAファイルの拡張子は“wma”です。(WMAはVer.2,7,8,9に対応)AACファイルの拡張子は“aac”、“m4a”、“mp4”です。

マルチセッションについて

マルチセッションには対応しておりません。

“Track at once”で書き込んだ場合、クローズセッションや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

MP3/WMA/AACの再生について

MP3/WMA/AACファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMA/AACファイルを再生します。ファイルをチェックしている間は、音は出ません。

MP3/WMA/AACの再生時間表示について

MP3/WMA/AACファイルの書き込み状況により、再生時間が一致しないことがあります。

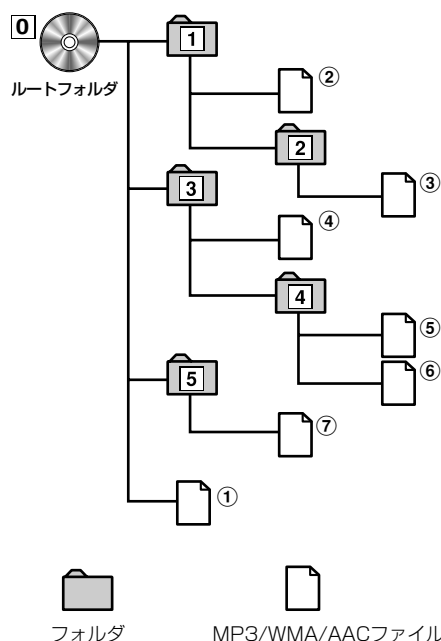
VBRのFAST UP/DOWN動作をすると再生時間が一致しないことがあります。

MP3/WMA/AACファイル、フォルダの演奏順について

演奏される順番

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

下図のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです。(実際に表示される番号ではありません)



HDD AUDIO操作

サウンド・映像編

HDDをご使用になる前に	226
HDDについて	226
データベースについて	226
Gracenote音楽認識サービスのご利用について	226
録音について	228
HDDへ録音する	229
自動で録音する	229
手動で録音する	229
画面の見かた	230
HDDの曲を聴く	232
聴きたい曲を選ぶ	233
早送り・早戻しする	234
聴きたい曲を探す	235
ジャンルで探す	235
アーティストで探す	236
アルバムで探す	237
プレイリストで探す	238
最近再生したアルバムから探す	239
よく聴くアルバムから探す	239
曲を探す	240
ジャンル/アーティスト/アルバムを選ぶ	240
曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)	241
曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)	242
再生中のジャンル/アーティスト/アルバムの曲を ミックスする	242
HDD内全ての曲をミックス再生する	242
繰り返し聴く REPEAT(リピート)	243
プレイリストの編集	244
プレイリストを作成する	244
HDDの曲をプレイリストへ登録する	244
プレイリスト名称を編集する	245
曲を並べかえる	245
プレイリストを移動する	246
消去する	246
HDDの編集	249
アルバム情報を編集する	249
曲を並べかえる	252
消去する	252
タイトル情報を取得する	254
リストを表示して取得する	254
ダウンロードして取得する	254
設定	255
設定操作	255
HDD AUDIO設定	255

HDDをご使用になる前に

HDDについて

CDで再生している音楽の音声を本機のHDD(ハードディスク)へ録音することができます。

※1曲あたり128kbps、4分の曲を録音すると約2,000曲録音できます。

録音時間や録音モードによって、作成できるアルバム数、録音可能な曲数は異なります。

HDDへ録音された音楽は、聴きたい曲やアルバム、アーティストごとに選択して再生したり、お好みの曲を「お気に入り」に登録/編集することができます。

データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをHDDに録音した場合は、ハードディスクに収録されているGracenoteデータベースから、アルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトルを検索し、録音した音楽データに自動で付与します。

本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote 音楽認識サービスのデータベース情報を使用しています。

Gracenote音楽認識サービスについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote® 社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.comをご覧ください。

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote® により提供されます。Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。

詳細については、次のWebサイトをご覧ください：www.gracenote.com

GracenoteからのCDおよび音楽関連データ：Copyright (c) 2000 - 2006 Gracenote.

Gracenote Software: Copyright (c) 2000 - 2006 Gracenote.

この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。

一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe, Inc. から提供されました。

GracenoteおよびCDDbはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenote の商標です。

Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください：www.gracenote.com/corporate



アドバイス

- 「Gracenote®音楽認識サービス」によって提供されたデータについては、内容を100%保証するものではありません。

Gracenote音楽認識サービスのご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市のGracenote("Gracenote")からの技術とデータが含まれています。この製品はGracenoteの技術("Gracenote Embedded Software")により、ディスク識別を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報("Gracenote Data")を得ることも可能です。この技術はGracenote Database("Gracenote Database")に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Dataにアクセスすることに同意すること。



- 第三者に、Gracenote Embedded SoftwareまたはGracenote Dataの譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されたこと以外でのGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたのGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Databaseのすべての使用をやめることに同意すること。
- GracenoteはGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの所有権を含むすべての権利を保有しています。
- Gracenoteはこの同意のもとで、Gracenoteの名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded SoftwareやGracenote Dataの各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。Gracenoteは、すべてのGracenote Dataの正確さに関する、明示あるいは黙示、真実の表明あるいは保証は、一切致しません。GracenoteはGracenoteが明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリを変更したり、データを消去することができます。

Gracenote Embedded Softwareが、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Softwareの機能が断絶しないものであるという保証は致しません。

Gracenoteは新しく拡張されたあるいは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。あるいはまた、将来Gracenoteが提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenoteは、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性および権利侵害の不存在を含むすべての明示または黙示の保証をしません。Gracenoteは、Gracenote ComponentまたはいかなるGracenote Serverの利用により生じた結果について保証しません。

Gracenoteはいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽/音声データについては保証できません。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、音楽/音声データが正しく録音されていることを確認してください。
- ACCの状態で録音しているときにイグニッションキーをONにすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップCD(曲と曲の間に無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- SCMS(シリアルコピーマネジメントシステム)規格のCDは、メッセージが表示され、録音することができません。
- ハードディスクの容量がいっぱいの場合は、メッセージが表示され、録音することができません。
- 録音時間や録音モードによって、録音可能な曲の総数は異なります。
- HDDに録音可能な容量は最大5,000タイトル(アルバム/曲の総数)です。
- 本機は、CD-R等へ書き込まれた、MP3/WMA/AACの圧縮ファイルを録音することはできません。

録音モードの設定について

- 録音されるデータ形式は次の通りです。
録音形式 : WMA サンプルレート: 44.1kHz
ビットレート: 96kbps/128kbps/192kbps
- CDを録音する場合に、CDを再生すると同時に録音を開始するかどうかを設定することができます(初期設定値は「する」)。詳しくは、「自動録音の設定」(255ページ)を参照してください。
- 録音するときの音質を設定することができます(初期設定値は「128k」)。詳しくは、「録音ビットレートの設定」(255ページ)を参照してください。

録音について

- 録音中にCDモードからほかのオーディオモード(HDD AUDIOを除く)に切りかえても録音は継続しています。
- 録音中に以下の操作を行うと録音は停止します。

- にタッチする
- イグニッションキーをOFFにする
- CDを取り出す
- オーディオモードをHDD AUDIOに切りかえる

録音中にイグニッションキーをOFFにしたり、CDを取り出したりすると、録音中の曲は消去されますが、それまで録音した曲は保存されます。録音設定の「自動録音」を「する」に設定している場合は、未録音の曲があるCDを挿入またはイグニッションキーをONにすると、未録音の曲から録音を開始します。ただし、他のオーディオモードでCDを録音中ににタッチして録音を停止させたまま、イグニッションキーをOFF/ONしても録音は開始されません。

- すでに録音されている曲を、再度録音することはできません。
- 録音設定の「自動録音」を「する」に設定しているときにハードディスクの容量が不足している場合は、メッセージが表示され、すべての曲を録音することができません。
- 録音中はサウンド・映像モード操作画面では「REC中」、ナビ現在地画面インジゲーターバーでは「REC」と表示されます。

HDDへ録音する



自動で録音する

CDを本機に挿入すると、再生と同時にCD内の全曲を自動でHDDへ録音します。

アドバイス

- あらかじめ録音設定の「自動録音」を「する」(初期設定値は「する」)に設定してください(「自動録音の設定」255ページ参照)。

1 CDを挿入します。



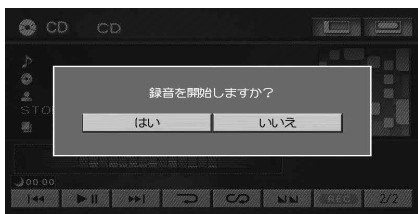
CDが再生され、自動でHDDへの録音が始まります。

- CDを挿入する操作については、「DVD、CD、SDメモリーカードの出し入れ」(22ページ)を参照してください。
- 途中で録音を停止する場合は、CD操作画面で  にタッチして、確認メッセージが現れたら **はい** にタッチします。

手動で録音する

1 CD操作画面で **REC** にタッチします。

2 確認メッセージが現れたら **はい** にタッチします。



HDDへの録音が始まります。

- 途中で録音を停止する場合は、CD操作画面で  にタッチして、確認メッセージが現れたら **はい** にタッチします。

アドバイス

- CD-R、CD-RWなどは、HDDに録音できない場合があります。
- すでに録音されている曲を、再度録音することはできません。
- SCMS(シリアルコピーマネジメントシステム)規格のCDは、メッセージが表示され録音できません。
- 録音するときの音質を設定することができます(初期設定値は「128k」)。詳しくは、「録音ビットレートの設定」(255ページ)を参照してください。
- 録音時間は、再生時間よりも早い速度(約6倍)で録音されます。ただし、ミックス再生や未録音の曲を再生した場合などは、録音速度が若干低下します。また、ルート案内中の録音速度は6倍速に満たない場合があります。
- **SEARCH** にタッチしてリストを表示すると、曲名にアイコンが表示されます。

-  : 録音済みの曲
-  : 録音中の曲
-  : 再生中の曲
-  : 録音に失敗した曲

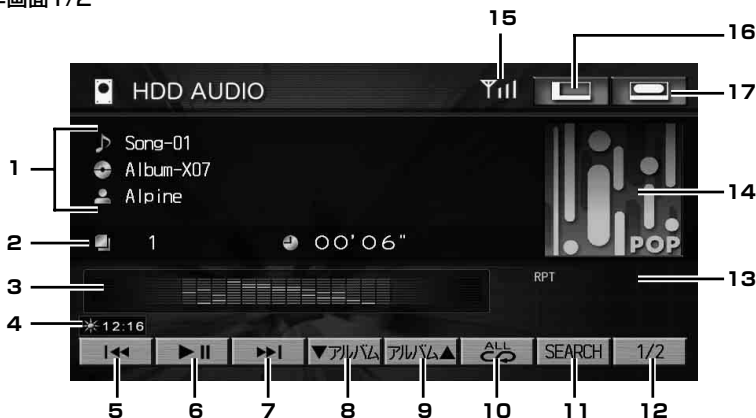


- 録音中にCDのミックス再生や他の曲を選曲しても、CDに収録されている順に録音します。
- 録音中にHDD AUDIOモードに切りかえると、確認メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると録音を終了し、HDD AUDIOモードに切りかえます。
- CDをHDDに録音すると、本機に収録されているGracenoteデータベースから曲情報を検索し、自動で付与します。曲情報がない場合には携帯電話を接続してGracenote音楽認識サービスのサーバーにアクセスし、曲情報を取得することができます(「ダウンロードして取得する」254ページ参照)。

画面の見かた

HDDの再生画面は、以下のように表示されます。

■ HDD操作画面1/2



1. タイトル表示

再生している曲名が上段に、アルバム名が中段に、アーティスト名が下段に表示されます。タイトル情報がない場合は、NO TITLEと表示されます。また、ハードディスクに収録されているGracenoteデータベースにタイトル情報が複数ある場合は、MULTI HITと表示されます。

2. トラックNo./演奏経過時間表示

再生している曲のトラックNo.と演奏経過時間が表示されます。

3. スペアナ表示

音をデジタル表示で表現します。表示をOFFに設定することもできます。(「スペアナ表示を設定する」37ページ参照)。

4. 時計表示

5. ⏮

再生している曲の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします(「聴きたい曲を選ぶ」233ページ参照)。タッチし続けると、再生している曲を早戻しします(「早送り・早戻しする」234ページ参照)。

6. ⏸

再生している曲を一時停止します。再度タッチすると再生を再開します。

7. ⏭

次の曲に進めます(「聴きたい曲を選ぶ」233ページ参照)。タッチし続けると、再生している曲を早送りします(「早送り・早戻しする」234ページ参照)。

8. ▼ジャンル / ▼アーティスト / ▼アルバム

前のジャンル/アーティスト/アルバムに戻ります(「ジャンル/アーティスト/アルバムを選ぶ」240ページ参照)。

9. ジャンル▲ / アーティスト▲ / アルバム▲

次のジャンル/アーティスト/アルバムに進みます(「ジャンル/アーティスト/アルバムを選ぶ」240ページ参照)。

10. ALL

HDD内全ての曲をM.I.X.(ミックス)再生します(「HDD内全ての曲をミックス再生する」242ページ参照)。

11. SEARCH

サーチモードになります(「聴きたい曲を探す」235ページ参照)。ACC ONまたはディスク挿入後しばらくは、タッチできない場合があります。

12. 1/2

操作画面を切りかえます。

13. 状態表示

再生モード(SCAN(スキャン再生)、M.I.X.(ミックス再生)、RPT(リピート再生))の状態が表示されます。

14. イメージ表示

再生している曲のジャンルのイメージ画像が表示されます。アルバムに画像を登録すれば、お好みの画像を表示することができます(「イメージ画像を変更する」251ページ参照)。ジャンル情報がない場合は、HDDモード画像が表示されます。

15.

携帯電話接続時に電波レベルを表示します。通話中はタッチスイッチになり、タッチすると電話・通信画面を表示します。

16.

マルチインフォメーション画面が表示されます（「マルチインフォメーション画面」29ページ参照）。

17.

マルチゲート画面が表示されます（「マルチゲート画面」26ページ参照）。

■ HDD操作画面2/2



18.

繰り返し（リピート）再生します（「繰り返し聴く REPEAT（リピート）」243ページ参照）。

19.

M.I.X.（ミックス）再生します（「曲順を変えて聴く M.I.X.（ミックス）」242ページ参照）。

20.

スキャン再生します。曲を10秒ずつ再生します（「曲のイントロだけを聴く SCAN（スキャン）」241ページ参照）

21. 編集

HDDの編集画面が表示されます。曲やプレイリスト、画像の編集ができます（「HDDの編集」249ページ参照）。

22. 2/2

操作画面を切りかえます。

HDDの曲を聴く

HDDに収録されている音楽を聴きます。

1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

2 **HDD AUDIO** にタッチします。



一番古く録音された曲(アルバムの場合はアルバムの1曲目)の再生が始まります。2回目以降は、最後に聴いた曲が再生されます。



3 再生を一時停止するには **▶||** にタッチします。

再度 **▶||** にタッチすると再生を再開します。

🔊 アドバイス

- タイトル情報が記録されていないときは、タイトル情報を取得して記録することができます。(「タイトル情報を取得する」254ページ参照)。

聴きたい曲を選ぶ

聴きたい曲の頭出しをします。

- 1 HDDの再生画面で **⏮** または **⏭** にタッチし、聴きたい曲を選びます。



- **⏮** にタッチすると、再生している曲の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします。
- **⏭** にタッチすると、次の曲に進みます。

早送り・早戻しする

再生中の曲を早送り、または早戻しすることができます。

- 1 HDDの再生画面で **⏮** または **⏭** にタッチし続けます。



スイッチから指を離すまで早送り(早戻し)します。

- **⏮** にタッチし続けると、早戻しします。
- **⏭** にタッチし続けると、早送りします。

聴きたい曲を探す

アルバムやアーティストごとにリストを表示させて、リストの中から好みのアルバムなどを選んで曲を聴くことができます。

検索には大きく7つのサーチモードがあります。それぞれのサーチモードには下表のように階層があり、より絞り込んだ検索ができます。

第1階層	第2階層	第3階層	第4階層
ジャンル	アーティスト	アルバム	曲
アーティスト	アルバム	曲	—
アルバム	曲	—	—
曲	—	—	—
最近再生したアルバム	曲	—	—
よく聴くアルバム	曲	—	—
プレイリスト	曲	—	—



[名称スイッチ]
タッチすると次の階層に進みます。

選択したジャンル/アーティスト/アルバム/
プレイリストを再生します。

ジャンルで探す

- 1 HDDの再生画面で **SEARCH** にタッチします。



- 2 **ジャンル** にタッチします。



ジャンルリストが表示されます。

ジャンルを選択するには

- 3 リストの中から、聴きたいジャンル名の **▶** にタッチします。



選択したジャンルの曲が全曲再生されます。

選んだジャンルの中のアーティストを探すには

- 3 リストの中から、聴きたい[ジャンル名スイッチ]にタッチします。

選択したジャンルのアーティストリストが表示されます。

- **ジャンルすべて** にタッチすると、全アーティストのリストが表示されます。

- 4 リストの中から聴きたいアーティスト名の **▶** にタッチします。



選択したアーティストの曲が全曲再生されます。

選んだジャンルの中のアルバムを探すには

3 リストの中から、聴きたい[ジャンル名スイッチ]にタッチします。

選択したジャンルのアーティストリストが表示されます。

- **ジャンルすべて** にタッチすると、全アーティストのリストが表示されます。

4 リストの中から、聴きたい[アーティスト名スイッチ]にタッチします。

選択したアーティストのアルバムリストが表示されます。

- **アーティストすべて** にタッチすると、全アルバムのリストが表示されます。

5 リストの中から、聴きたいアルバム名の

▶ にタッチします。



選択したアルバムの曲が全曲再生されます。

選んだジャンルの中の曲を探すには

3 リストの中から、聴きたい[ジャンル名スイッチ]にタッチします。

選択したジャンルのアーティストリストが表示されます。

- **ジャンルすべて** にタッチすると、全アーティストのリストが表示されます。

4 リストの中から、聴きたい[アーティスト名スイッチ]にタッチします。

選択したアーティストのアルバムリストが表示されます。

- **アーティストすべて** にタッチすると、全アルバムのリストが表示されます。

5 リストの中から、聴きたい[アルバム名スイッチ]にタッチします。

選択したアルバムのソングリストが表示されます。

- **アルバムすべて** にタッチすると、全曲リストが表示されます。

6 リストの中から、聴きたい[曲名スイッチ]にタッチします。



選択した曲が再生されます。

アーティストで探す

1 HDDの再生画面で **SEARCH** にタッチします。

2 **アーティスト** にタッチします。



アーティストリストが表示されます。

アーティストを選択するには

3 リストの中から、聴きたいアーティスト名の



選択したアーティストの曲が全曲再生されます。

選んだアーティストの中のアルバムを探すには

- 3 リストの中から、聴きたい[アーティスト名スイッチ]にタッチします。
選択したアーティストのアルバムリストが表示されます。
 - **アーティストすべて** にタッチすると、全アルバムのリストが表示されます。

- 4 リストの中から聴きたいアルバム名の **▶** にタッチします。



選択したアルバムの曲が全曲再生されます。

選んだアーティストの中の曲を探すには

- 3 リストの中から、聴きたい[アーティスト名スイッチ]にタッチします。
選択したアーティストのアルバムリストが表示されます。
 - **アーティストすべて** にタッチすると、全アルバムのリストが表示されます。

- 4 リストの中から、聴きたい[アルバム名スイッチ]にタッチします。
選択したアルバムのソングリストが表示されます。
 - **アルバムすべて** にタッチすると、全曲リストが表示されます。

- 5 リストの中から、聴きたい[曲名スイッチ]にタッチします。



選択した曲が再生されます。

アルバムで探す

- 1 HDDの再生画面で **SEARCH** にタッチします。
- 2 **アルバム** にタッチします。



アルバムリストが表示されます。

アルバムを選択するには

- 3 リストの中から、聴きたいアルバム名の **▶** にタッチします。



選択したアルバムの曲が全曲再生されます。

選んだアルバムの中の曲を探すには

- 3 リストの中から、聴きたい[アルバム名スイッチ]にタッチします。
選択したアルバムのソングリストが表示されます。
 - **アルバムすべて** にタッチすると、全曲リストが表示されます。

- 4 リストの中から、聴きたい[曲名スイッチ]にタッチします。



選択した曲が再生されます。

プレイリストで探す

プレイリストを利用することで、簡単に聴きたい曲を探すことができます。

🔊 アドバイス

- プレイリストに登録するには、「HDDの曲をプレイリストへ登録する」(244ページ)を参照してください。

1 HDDの再生画面で **SEARCH** にタッチします。

2 **プレイリスト** にタッチします。



登録されているプレイリストのリストが表示されます。

プレイリストを選択するには

3 リストの中から、聴きたいプレイリスト名の **▶** にタッチします。



選択したプレイリストの曲が全曲再生されます。

選んだプレイリストの中の曲を探すには

3 リストの中から、聴きたい[プレイリスト名スイッチ]にタッチします。

選択したプレイリストのソングリストが表示されます。

4 リストの中から、聴きたい[曲名スイッチ]にタッチします。



選択した曲が再生されます。



最近再生したアルバムから探す

- 1 HDDの再生画面で **SEARCH** にタッチします。
- 2 **最近10枚** にタッチします。



最近再生されたアルバムの10タイトルがリストで表示されます。

アルバムを選択するには

- 3 リストの中から、聴きたいアルバム名の **▶** にタッチします。



選択したアルバムの曲が全曲再生されます。

選んだアルバムの中の曲を探すには

- 3 リストの中から、聴きたい[アルバム名スイッチ]にタッチします。
選択したアルバムのソングリストが表示されます。
- 4 リストの中から、聴きたい[曲名スイッチ]にタッチします。



選択した曲が再生されます。

よく聴くアルバムから探す

- 1 HDDの再生画面で **SEARCH** にタッチします。
- 2 **よく聴く10枚** にタッチします。



聴く回数の多いアルバムの10タイトルがリストで表示されます。

アルバムを選択するには

- 3 リストの中から、聴きたいアルバム名の **▶** にタッチします。



選択したアルバムの曲が全曲再生されます。

選んだアルバムの中の曲を探すには

- 3 リストの中から、聴きたい[アルバム名スイッチ]にタッチします。
選択したアルバムのソングリストが表示されます。
- 4 リストの中から、聴きたい[曲名スイッチ]にタッチします。



選択した曲が再生されます。

曲を探す

1 HDDの再生画面で **SEARCH** にタッチします。

2 **曲** にタッチします。



曲名リストが表示されます。

3 リストの中から聴きたい[曲名スイッチ]にタッチします。



選択した曲が再生されます。

ジャンル/アーティスト/アルバムを選ぶ

簡単な操作でジャンル/アーティスト/アルバムを切りかえることができます。例えば、任意のアルバムに絞り込んでお聴きの場合は、アルバムを切りかえることができます。

1 HDD再生画面で **▼ジャンル /**
ジャンル▲ または **▼アーティスト /**
アーティスト▲ または **▼アルバム /**
アルバム▲ にタッチし、聴きたいジャンル/アーティスト/アルバムを選びます。



• 最後にサーチで絞り込んだモードで選択します。

アドバイス

- サーチを行っていない、サーチで絞り込んだモードに1つしかアルバムなどがなかった場合は、操作できません。
- アーティストサーチからアルバムを絞り込んだ場合は、アルバムが対象となります。
- M.I.X. ALLを行うと絞り込みが解除されるため、本機能は操作できなくなります。(「HDD内全ての曲をミックス再生する」J242ページ参照)
- 最後に行ったのが曲名サーチの場合は、アルバムを選択することができます。

曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)

曲のイントロ部分だけを聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

1 HDDの再生画面で **1/2** にタッチします。



2 **⏮** にタッチします。



全曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。

3 聴きたい曲が見つかったら、もう一度

⏮ にタッチします。

その曲の再生を続けます。

🔊 アドバイス

- すべての曲のスキャンが終了してもそのままスキャン再生を続けます。**⏮** にタッチして解除してください。
- M.I.X.またはREPEAT演奏中にSCANモードにすると、M.I.X./REPEATモードは解除されます。

曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)

曲を順不同に聴くことができます。

再生中のジャンル/アーティスト/ アルバムの曲をミックスする

1 HDDの再生画面で **1/2** にタッチします。

2  にタッチします。



M.I.X. LISTと表示し、順不同に曲が再生されます。

- 例えばサーチモードでアルバムに絞り込んでお聞きの場合は、選んだアルバムの中の曲をミックス再生します。曲を選んでお聞きの場合は、HDD内全曲をミックス再生します。
- ミックス再生が解除されるまでミックス再生を続けます。

3 解除するには、もう一度  にタッチします。

アドバイス

- SCANまたはREPEAT演奏中にM.I.X.モードにすると、SCAN/REPEATモードは解除されます。

HDD内全ての曲をミックス再生する

1 HDD再生画面で  にタッチします。



順不同に曲が再生されます。

- HDD内すべての曲の再生が終了しても、ミックス再生が解除されるまでミックス再生を続けます。

2 解除するには、もう一度  にタッチします。

アドバイス

- SCANまたはREPEAT演奏中にM.I.X.モードにすると、SCAN/REPEATモードは解除されます。

繰り返し聴く REPEAT(リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し聴くことができます。

1 HDDの再生画面で **1/2** にタッチします。

2 再生中に  にタッチします。



繰り返し曲が再生されます。

3 解除するには、もう一度  にタッチします。

アドバイス

- SCANまたはM.I.X.演奏中にREPEATモードにすると、SCAN/M.I.X.モードは解除されます。
- プレイリストを再生中にREPEATモードにすると、聴いている曲のみをリピート再生します。

プレイリストの編集

④ アドバイス

- プレイリストの曲を再生中は、プレイリストの編集はできません。

プレイリストを作成する

お好みの曲やアルバムをHDDのプレイリストに登録することができます。

1 HDDの再生画面で **1/2** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。



3 **プレイリスト編集** にタッチします。



4 **作成** にタッチします。



文字入力画面が表示されます。

5 プレイリスト名を入力します。



- 入力できる文字数は最大で全角/半角52文字です。

6 **完了** にタッチします。

入力したプレイリスト名がリストに追加されます。

④ アドバイス

- 登録できるプレイリスト数は最大1000件です。

HDDの曲をプレイリストへ登録する

再生中の曲をプレイリストへ登録します。

1 登録したい曲を再生します。

- 「聴きたい曲を探す」(235ページ)を参照してください。

2 **1/2** にタッチし、**編集** にタッチします。



3 **プレイリスト編集** にタッチします。

4 曲を登録したいプレイリスト名にタッチします。



5 曲を追加 にタッチします。

メッセージが表示され、再生中の曲が選択したプレイリストに登録されます。

🔊 アドバイス

- プレイリストに登録できる曲数は最大100件です。
- 同じ曲を違うプレイリストに登録することもできます。

プレイリスト名称を編集する

登録されているプレイリスト名を変更します。

1 プレイリストのリスト画面で名称を変更したいプレイリストにタッチします。



2 名称変更 にタッチします。



文字入力画面が表示されます。

3 プレイリスト名を入力します。



- 入力できる文字数は最大で全角/半角52文字です。

4 完了 にタッチします。

入力したプレイリスト名が表示されます。



曲を並べかえる

プレイリストの中の曲順を変更します。

1 プレイリストのリスト画面で曲順を変更したい曲が保存されているプレイリストにタッチします。



2 編集 にタッチします。

3 曲順を変更したい曲名にタッチします。



- 4 変更したい位置まで **演奏順UP** または **演奏順DN** にタッチします。



1回タッチするたびに、選択した曲が上または下へ移動します。

- **演奏順UP** にタッチすると、曲順を上へ移動します。
- **演奏順DN** にタッチすると、曲順を下へ移動します。

プレイリストを移動する

プレイリストに登録されている曲を移動します。

- 1 プレイリストのリスト画面で移動したい曲が保存されているプレイリストにタッチします。



- 2 **編集** にタッチします。

- 3 プレイリストを変更したい曲名にタッチします。



- 4 **移動** にタッチします。

- 5 移動先のプレイリスト名にタッチします。



メッセージが表示され、選択した曲のプレイリストが移動します。

消去する

プレイリストに登録した曲や、プレイリストを消去します。

曲を消去する

選択した曲を消去します。

- 1 プレイリストのリスト画面で消去したい曲が保存されているプレイリストにタッチします。



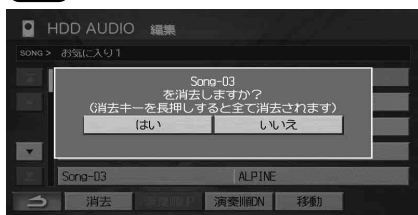
- 2 **編集** にタッチします。

- 3 消去したい曲名にタッチします。



- 4 **消去** にタッチします。
確認のメッセージが表示されます。

5 はい にタッチします。



選択した曲が消去されます。

アドバイス

- プレイリストのリストから1曲消去を行っても、HDDの音楽データは消去されません。

プレイリスト内のすべての曲を消去する

選択したプレイリスト内のすべての曲を消去します。ただし、プレイリストは消去されません。

1 プレイリストのリスト画面で消去したいプレイリストにタッチします。



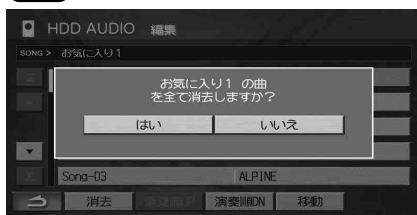
2 編集 にタッチします。

3 消去 にタッチし続けます。



確認のメッセージが表示されます。

4 はい にタッチします。



選択したプレイリスト内のすべての曲が消去されます。

アドバイス

- 選択したプレイリスト内の全曲消去を行っても、HDDの音楽データは消去されません。

プレイリストを消去する

選択したプレイリストを消去します。

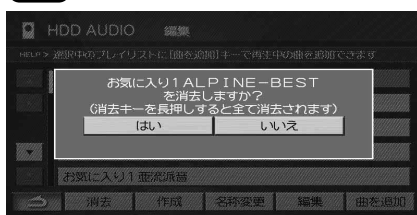
1 プレイリストのリスト画面で消去したいプレイリストにタッチします。



2 消去 にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

3 はい にタッチします。



選択したプレイリストが消去されます。

アドバイス

- プレイリストのリストからプレイリスト消去を行っても、HDDの音楽データは消去されません。

すべてのプレイリストを消去する

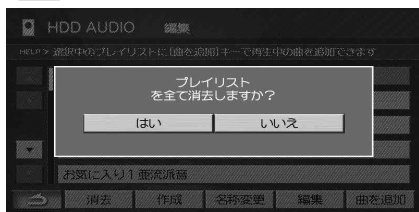
登録されているすべてのプレイリストを消去します。

- 1 プレイリストのリスト画面で **消去** にタッチし続けます。



確認のメッセージが表示されます。

- 2 **はい** にタッチします。



すべてのプレイリストが消去されます。

🔊 アドバイス

- プレイリストの全消去を行っても、HDDの音楽データは消去されません。

HDDの編集



アルバム情報を編集する

HDDに収録されている名称やジャンル・画像を編集します。

アドバイス

- 編集中はHDDの再生を一時停止します。編集終了後に再び再生を開始します。ただし、曲の消去や並べかえを行った場合は、アルバムの先頭の曲が再生されます。アルバム消去を行ったときは、次のアルバムが再生されます。
- 走行中は安全のため、編集を行うことはできません。

曲タイトルを変更する

1 曲名を変更したい曲を再生します。

- 「聴きたい曲を探す」(235ページ)を参照してください。

2 1/2 にタッチします。

3 編集 にタッチします。

4 録音曲編集 にタッチします。



再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。

5 曲名を変更したい曲にタッチします。



6 名称変更 にタッチします。



7 曲名 にタッチします。



文字入力画面が表示されます。

8 曲名を入力します。



- 入力できる文字数は最大で全角/半角52文字です。
- 文字を入力する方法については、「文字・数字の入力方法」(33ページ)を参照してください。

9 完了 にタッチします。

入力した曲名がリストに表示されます。

10 戻る にタッチします。



アーティスト名を変更する

- 1 アーティスト名を変更したい曲が収録されているアルバムを再生します。
 - 「聴きたい曲を探す」(235ページ)を参照してください。
- 2 HDD操作画面で **1/2** にタッチします。
- 3 **編集** にタッチします。
- 4 **録音曲編集** にタッチします。
再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。
- 5 **名称変更** にタッチし、**アーティスト** にタッチします。



HDDに録音されているアーティストリストが表示されます。

- 6 変更したいアーティスト名にタッチします。



- 入力にタッチすると、新しくアーティストを登録することができます。文字を入力する方法については、「文字・数字の入力方法」(33ページ)を参照してください。

- 7 **戻る** にタッチします。

アルバム名を変更する

- 1 アルバム名を変更したいアルバムを再生します。
 - 「聴きたい曲を探す」(235ページ)を参照してください。
- 2 **1/2** にタッチします。
- 3 **編集** にタッチします。
- 4 **録音曲編集** にタッチします。
再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。
- 5 **名称変更** にタッチし、**アルバム** にタッチします。



文字入力画面が表示されます。

- 6 アルバム名を入力します。



- 入力できる文字数は最大で全角/半角52文字です。
- 文字を入力する方法については、「文字・数字の入力方法」(33ページ)を参照してください。

- 7 **完了** にタッチします。
入力したアルバム名が表示されます。



8  にタッチします。

ジャンルを変更する

1 HDDの再生画面でジャンルを変更したいアルバムを再生します。

- 「聴きたい曲を探す」(235ページ)を参照してください。

2  にタッチします。

3  にタッチします。

4  にタッチします。

再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。

5  にタッチし、 にタッチします。



ジャンルリストが表示されます。

6 変更したいジャンルにタッチします。



- ジャンル数は11あります。同時にイメージ表示も切りかわります。
- イメージ画像を設定しているアルバムのジャンルを変更した場合は、イメージ画像を変更するメッセージが表示されます。

7  にタッチします。

イメージ画像を変更する

画面に表示するイメージ画像を、お好みの画像に変更することができます。

 アドバイス

- あらかじめ画像データが登録されている必要があります。画像を登録する方法については、「SDメモリーカードの画像をHDDに追加する」(272ページ)を参照してください。

1 HDDの再生画面でイメージ画像を変更したいアルバムを再生します。

- 「聴きたい曲を探す」(235ページ)を参照してください。

2  にタッチします。

3  にタッチします。

4  にタッチします。

画像のリストが表示されます。

5 設定したい画像にタッチします。



- 変更前の画像は、リストの1番目に表示されます。
-  にタッチすると、選択している画像を拡大表示できます。
- いずれかの画像にタッチすると画面右側に画像が表示されます。画像によって表示するまで時間がかかる場合があります。
-  にタッチすると、全ての画面を次々と表示します。スライドショーをやめるには  にタッチしてください。

6 **完了** にタッチします。



7 **🔄** にタッチします。

選択した画像がイメージ画像に表示されます。

🔊 アドバイス

- 選択した画面が表示されるまで、時間がかかる場合があります。
- イメージ画像はアルバム単位で変更されます。

曲を並べかえる

HDDに収録されているアルバムの中の曲順を変更します。

1 曲順を変更したいアルバムを再生します。

- 「聴きたい曲を探す」(235ページ)を参照してください。

2 **1/2** にタッチします。

3 **編集** にタッチします。

4 **録音曲編集** にタッチします。

再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。

5 曲順を変更したい曲名にタッチします。



6 変更したい位置まで **演奏順UP** または **演奏順DN** にタッチします。



- **演奏順UP** にタッチするたびに、曲順が上へ移動します。
- **演奏順DN** にタッチするたびに、曲順が下へ移動します。

7 **🔄** にタッチします。

消去する

HDDに収録されている曲やアルバムを消去します。

🔊 アドバイス

- プレイリストに登録されているHDDの曲を消去すると、プレイリストのリストからも消去されます。

曲を消去する

選択した曲を消去します。

1 消去したい曲が収録されているアルバムを再生します。

- 「聴きたい曲を探す」(235ページ)を参照してください。

2 **1/2** にタッチします。

3 **編集** にタッチします。

4 **録音曲編集** にタッチします。

再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。

5 消去したい曲名にタッチします。



6 消去 にタッチします。 確認のメッセージが表示されます。

7 はい にタッチします。



選択した曲が消去されます。

8 戻る にタッチします。

アルバムを消去する

選択したアルバムとアルバム内のすべての曲を消去します。

1 消去したいアルバムを再生します。 • 「聴きたい曲を探す」(235ページ)を参照してください。

2 1/2 にタッチします。

3 編集 にタッチします。

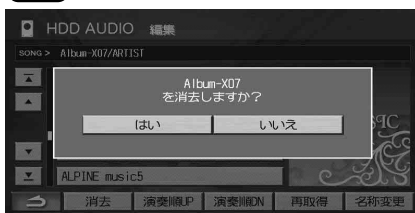
4 録音曲編集 にタッチします。 再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。

5 消去 にタッチし続けます。



確認のメッセージが表示されます。

6 はい にタッチします。



選択したアルバムとアルバム内のすべての曲が消去されます。

7 戻る にタッチします。

タイトル情報を取得する

録音終了時に自動的に付与されなかったアルバムのタイトルデータを手動で取得することができます。

リストを表示して取得する

ハードディスクに収録されているGracenoteデータベースから、タイトル情報を取得します。

1 タイトルデータを取得したいアルバムを再生します。

- 「聴きたい曲を探す」(235ページ)を参照してください。

2 **1/2** にタッチします。

3 **編集** にタッチします。

4 **録音曲編集** にタッチします。

5 **再取得** にタッチします。



アルバム/アーティスト一覧が表示されます。

- 該当するタイトルデータがなかった場合は、メッセージが表示されます。

6 該当するアルバムにタッチします。

HDD編集画面に戻り、アルバム名、アーティスト名、曲名が表示されます。

7 **⏮** にタッチします。

ダウンロードして取得する

インターネットでGracenoteにアクセスして、データベースから該当する音楽情報を検索し、タイトルデータをダウンロードすることができます。

📶 アドバイス

- ダウンロードするには、ハンズフリー電話の接続が必要です。

- ダウンロードするには、あらかじめ通信設定を行ってください(「データ通信設定」(170ページ)参照)。
- 一部の機種ではダウンロードできない場合があります。
- ダウンロードできなかった場合は、以下のメッセージを表示します。

- 「情報がありませんでした」:
Gracenoteデータベースにデータがない場合
- 「情報を取得できませんでした」:
通信エラーなどの場合

- 1アルバムずつ取得されます。

1 タイトルデータを取得したいアルバムを再生します。

- 「聴きたい曲を探す」(235ページ)を参照してください。

2 **1/2** にタッチします。

3 **編集** にタッチします。

4 **録音曲編集** にタッチします。

5 **再取得** にタッチします。



6 **通信** にタッチします。

インターネットに接続され、データを検索したあとダウンロードを開始します。

ダウンロードが終了すると、回線を切断しアルバム/アーティスト一覧が表示されます。

- ダウンロードして取得されたアルバムには、HDDの編集画面の曲名リストに「📶」アイコンが表示されます。

7 該当するアルバムにタッチします。

HDD編集画面に戻り、アルバム名、アーティスト名、曲名が表示されます。

8 **⏮** にタッチします。

HDD AUDIOに関する設定を行います。

設定操作

次の手順1～5は、HDD AUDIO設定の共通操作になります。各項目の詳しい操作方法については、該当ページを参照してください。

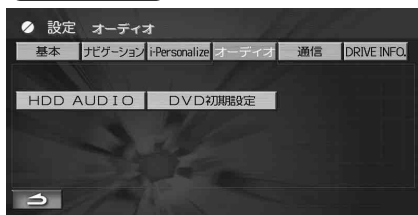
- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **オーディオ** タブにタッチし、**HDD AUDIO** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。



- 5 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。
• **←** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

HDD AUDIO設定

自動録音の設定

CDを挿入した時に、自動で録音するかどうかを設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目：自動録音

設定値：する/しない

する：自動で録音を行います。

しない：録音は手動で行います。自動で録音を開始しません。

録音ビットレートの設定

録音時の音質を設定します(初期設定値は「128k」)。

設定項目：ビットレート

設定値：96k/128k/192k

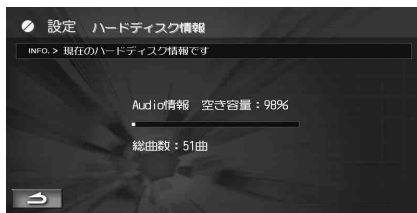
アドバイス

- 録音ビットレートの数字が大きくなるほど音質は良くなりますが、データの容量も大きくなります。
- 多くの曲を録音したい時は「96k」を選択し、音質を重視したい時は「192k」を選択してください。

ハードディスク情報を表示する

表示する にタッチするとHDD(ハードディスク)の総曲数と空き容量を確認できます。

設定項目：ハードディスク情報



TV操作

サウンド・映像編

画面の見かた	258
テレビ操作画面について	258
テレビを見る	260
放送局を選ぶ	261
放送局を選ぶ	261
プリセットスイッチから選ぶ	261
マルチウィンドウから選ぶ	261
放送局を記憶する	262
手動で記憶する	262
自動で記憶する(オートメモリー)	262
エリアで選局して設定する(エリアコール)	263
音声多重機能を使う(二重音声放送)	264
放送局にタイトルをつける	265

画面の見かた

テレビ操作画面について

テレビの受信画面からテレビ操作画面に切りかえると以下の画面が表示されます。

■ テレビ操作画面



1. 放送局表示

受信している放送局の名称とプリセットNo.、チャンネルNo.が表示されます。放送局名がない場合は、NO TITLEと表示されます。

2. プリセットスイッチ

記憶されている放送局名を表示します。タッチすると放送局を呼び出します。タッチし続けると、受信している放送局をそのスイッチに記憶します。放送局名がない場合は、チャンネルNo.が表示されます(「プリセットスイッチから選ぶ」261ページ、「手動で記憶する」262ページ参照)。

3. スペアナ表示

音をデジタル表示で表現します。表示をOFFに設定することもできます。(「スペアナ表示を設定する」37ページ参照)。

4. 時計表示

5. ◀◀ / ◀◀

低い周波数に変更します。(「放送局を選ぶ」261ページ参照)。

6. TUNE

チューニングモードを切りかえます(「放送局を選ぶ」261ページ参照)。

7. ▶▶ / ▶▶

高い周波数に変更します。(「放送局を選ぶ」261ページ参照)。

8. A.MEMO

放送局を自動でプリセットスイッチに記憶します(「自動で記憶する(オートメモリー)」262ページ参照参照)。

9. WIDE

画面モードを切りかえます(「画面モードを切りかえる」40ページ参照)。

10. AREA

自車位置のエリアで受信可能な放送局を自動で設定します(「エリアで選局して設定する(エリアコール)」263ページ参照)。

11. MULTI

プリセットスイッチに記憶している放送局を一覧表示します(「マルチウィンドウから選ぶ」261ページ参照)。

12. 状態表示

A.MEMOのときは「A.MEMO」と表示します。また、ステレオ放送で受信している場合は「STEREO」が表示されます。音声多重機能の設定により「MAIN」「SUB」「MAIN/SUB」が表示されます(「音声多重機能を使う(二重音声放送)」264ページ参照)。

13. イメージ表示

イメージ画像が表示されます。

14. タイトル

タイトル編集画面が表示されます(「放送局にタイトルをつける」265ページ参照)。



15.

携帯電話接続時に表示されます。通話中はタッチスイッチになり、タッチすると電話・通信画面を表示します。

16.

マルチインフォメーション画面が表示されます(「マルチインフォメーション画面」29ページ参照)。

17.

マルチゲート画面が表示されます(「マルチゲート画面」26ページ参照)。

18. **DTVインジケータ**

地上デジタルテレビチューナー接続時、表示されます。

テレビ操作画面への切りかえかた

- 1 テレビ画面で画面にタッチします。
テレビの操作画面が表示されます。



- しばらく(約5秒)操作をしない場合は、元の画面に戻ります。

テレビを見る

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

- 2 **TV** にタッチします。



最後に見ていた放送局のテレビ画面が表示されます。

テレビの受信について

安全上の配慮から、停車しているときにだけテレビをご覧になれます。走行中は、映像は映らずに音声だけが聴こえます。

設定変更操作、タイトル入力操作、マルチウィンドウ操作も受け付けません。

また、テレビの受信は、車の走行にともない受信状態が変化したり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くでは、画像が乱れたり雑音が入ることがあります。
- 建物や山などの障害物があると、受信状態が悪くなります。
- ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ、鉄塔の近くでは、画像が乱れたり雑音が入ることがあります。
- 放送局から遠いところでは電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。

地上アナログテレビ放送から地上デジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログテレビ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

アナログテレビ放送のチャンネル変更について

アナログテレビ放送チャンネルの変更は順次行なわれるため、記憶されたチャンネルが受信できなくなる場合があります。この場合は、もう一度設定を行ってください。放送局名は、本機に収録されている放送局名の情報をもとに表示するため、放送局名が正しく表示されなくなる場合があります。

地上デジタルテレビ放送を受信するには、地上デジタルテレビチューナーが必要です。

放送局を選ぶ



放送局を選ぶ

- 1 テレビの操作画面で **TUNE** にタッチしてチューニングモードを選びます。

TUNE をタッチすることにより、**SEEK**、**MANUAL** 表示がかわります。

SEEK モード



MANUAL モード

- 2 **SEEK**、**MANUAL** または **SEEK**、**MANUAL** にタッチして、放送局(周波数)を探します。

- マニュアルモードでは **SEEK**、**MANUAL** を押すとチャンネルが1つずつ切りかわります。タッチし続けると、連続で変化します。SEEKモードでは受信可能なチャンネルを自動で探し出し受信します。
- SEEKモードを途中で解除したいときは、もう一度 **SEEK** または **MANUAL** にタッチします。

アドバイス

- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。
- 受信状態によっては、映りの悪い放送局を選択する場合があります。

プリセットスイッチから選ぶ

あらかじめ記憶(プリセット)されている放送局を受信します。

- 1 テレビの操作画面で见たい放送局のプリセットスイッチにタッチします。



アドバイス

- 放送局をプリセットスイッチに記憶させる操作については、「放送局を記憶する」(262ページ)を参照してください。

マルチウィンドウから選ぶ

あらかじめ記憶(プリセット)されているすべての放送局(9局)を受信して、9画面を表示します(マルチウィンドウ)。現在放送中の番組を確認してお好みの放送局を受信します。

- 1 テレビの操作画面で **MULTI** にタッチします。

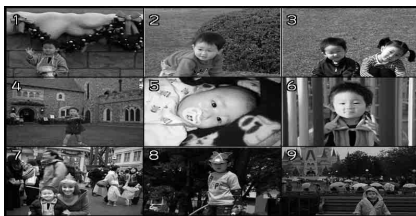


マルチウィンドウが表示されます。



- 放送局を順に受信します。1順目は約0.5秒、2順目以降は約2秒ずつ動画と音声を出力します。残りの放送局は静止画を表示します。

- 2 受信したい放送局の画面をタッチします。



アドバイス

- 放送局をプリセットスイッチに記憶させる操作については、「放送局を記憶する」(262ページ)を参照してください。
- マルチウィンドウ表示中は、リモコンの操作はできません。

放送局を記憶する

放送局をプリセットスイッチに記憶させるには、マニュアル(手動)とA.MEMO(自動)2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

手動で記憶する

- 1 テレビ操作画面で記憶させたい放送局にchを合わせます。
- 2 記憶させたいプリセットスイッチに操作音がるまでタッチし続けます。



放送局がタッチしたプリセットスイッチに記憶されます。

アドバイス

- すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動で記憶する(オートメモリー)

- 1 テレビ操作画面で **A.MEMO** にタッチします。



「A.MEMO」が表示され、自動的に選局を始めます。自動選局が終了すると、プリセットスイッチに記憶されます。

放送局を記憶したあと、最も電界強度の強い放送局を表示します。

- A.MEMOの起動中にもう一度 **A.MEMO** にタッチするとA.MEMOは解除され、プリセットスイッチは元の状態に戻ります。

アドバイス

- 受信電波の弱い地域では、A.MEMOでの自動受信ができないことがあります。受信できなかった場合は、オートメモリー前の状態に戻ります。
- 同じ放送局からの受信でも、手動で記憶したchとA.MEMOで記憶したchは一致しないことがあります。
- A.MEMOを同じ場所で繰り返しかえし操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信感度のよい放送局をch数の小さい順に9局まで自動的に記憶されます。



エリアで選局して設定する(エリアコール)

自車位置のエリアで受信可能な放送局の中から、電界強度が強いと推定される9局を自動で選択して設定することができます。

1 テレビ操作画面で **AREA** にタッチします。



自車位置で受信可能な放送局9局が設定されます。

- **AREA** がオレンジ色の選択された状態になります。

2 エリアコールを解除するには、再度 **AREA** にタッチします。

アドバイス

- エリアコール中は、手動で放送局を記憶することはできません。

音声多重機能を使う(二重音声放送)

ニュースや映画などの2ヶ国語放送や、スポーツの実況中継など、異なった2種類の音声放送(二重音声放送)を楽しむことができます。

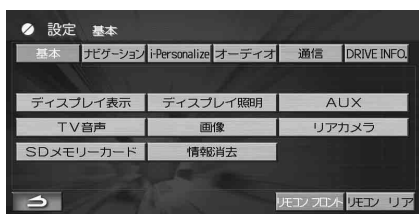
- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。



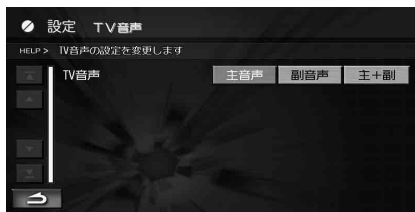
- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **基本** タブにタッチし、**TV音声** にタッチします。



- 4 「TV音声」の**主音声**、**副音声**、**主+副**のいずれかにタッチします(初期設定値は「主音声」)。



主音声：主音声のみ。操作画面に「MAIN」インジケータが表示されます。

副音声：副音声のみ。操作画面に「SUB」インジケータが表示されます。

主+副：左スピーカーからは主音声、右スピーカーからは副音声が聴こえます。操作画面に「MAIN/SUB」インジケータが表示されます。

アドバイス

- 副音声に設定した状態で副音声を放送していない放送局を受信した場合は、主音声を放送します。

放送局にタイトルをつける

受信中の放送局にお好みのタイトルをつけることができます。

1 放送局を受信中、テレビ操作画面で

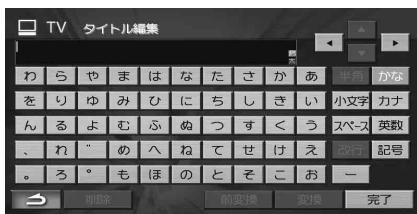
タイトル にタッチします。



タイトル編集画面が表示されます。

2 お好みのタイトルを編集します。

- タイトル入力画面の操作については、「文字・数字の入力方法」(33ページ)を参照してください。



① アドバイス

- タイトルは全角12文字まで入力できます。
- 最大50局(FM/AM合わせて)まで、タイトルをメモリーできます。

SDメモリーカード操作

サウンド・映像編

SDメモリーカードモードにする	268
音楽データを再生する	269
再生モードを設定する	269
音楽データを再生する	269
登録地点をコピーする	270
SDメモリーカードを初期化する	270
SDメモリーカードに登録地点を保存する	270
SDメモリーカードに保存した地点をコピーする	271
SDメモリーカードの画像をHDDに追加する	272

SDメモリーカードモードにする

SDメモリーカードに記録された音楽データ(MP3/WMA/AAC)を本機内蔵プレーヤーで再生することができます。

また、画像ファイルのコピー、ナビの登録地点のコピーもSDメモリーカードを使用して行うことができます。

1 SDメモリーカードを挿入します。

- SDメモリーカード出し入れの方法については、「DVD、CD、SDメモリーカードの出し入れ」(22ページ)を参照してください。

2 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

3 **SD** にタッチします。



SDメモリーカードモードになります。

- 「再生モードを設定する」(269ページ参照)で希望のモードに設定してください。設定によって**SD** スイッチのアイコンが異なります。



写真



音楽

🔊 アドバイス

SDメモリーカードを使用するにあたって

- SDメモリーカードは、SDメモリーカード規格に準拠したカードをご使用ください。
- 大切なデータはパソコン等を用いて、バックアップを取っておくことをお勧めします。
- SDメモリーカードの動作保証はしておりません。ご使用の際には、SDメモリーカードの使用条件内でのご利用をお願いいたします。
- パソコン側でSDメモリーカードの最適化やデータ圧縮をしないでください。
- SDメモリーカードは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- SDメモリーカードで作成した地点登録ファイルは個人として利用するなどのほか、権利者に無断で使用できません。

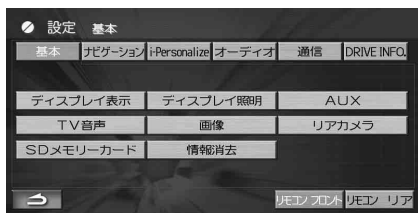
音楽データを再生する



再生モードを設定する

SDメモリーカードの再生モードを設定します(初期設定値は「音楽」)。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。
- 2 **設定を変える** にタッチします。
- 3 **基本** タブにタッチし、**SDメモリーカード** にタッチします。



- 4 「再生モード」の **写真** **音楽** のいずれかにタッチします。

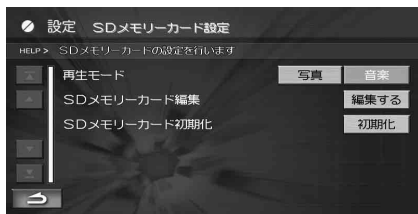


写真: SDメモリーカードの画像データ呼び出しします。

音楽: MP3/WMA/AACの音楽データを再生します。

- 5 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。
 - **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

音楽データを再生する

「再生モードを設定する」(269ページ参照)を「音楽」に設定してください。

- 1 **MENU/PWR** を押した後、**サウンド・映像** にタッチします。
- 2 **SD** にタッチします。



再生が始まります。

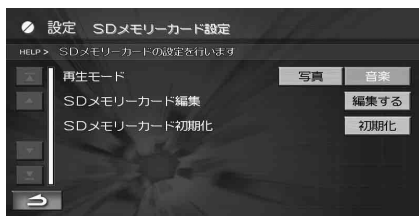
- 操作方法はCDディスクに記録されたMP3/WMA/AACと同様になります。「CD/MP3/WMA/AAC操作」(211～223ページ)を参照してください。

登録地点をコピーする

SDメモリーカードを初期化する

SDメモリーカードに登録地点をコピーするときは、はじめにSDメモリーカードを初期化してください。SDメモリーカードの情報がすべて消去されます。一度消去したものは復活できませんのでご注意ください。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。
- 2 **設定を変える** にタッチします。
- 3 **基本** タブにタッチし、**SDメモリーカード** にタッチします。
- 4 「SDメモリーカードの初期化」の **初期化** にタッチします。



- 5 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。
SDメモリーカードの初期化が行われます。

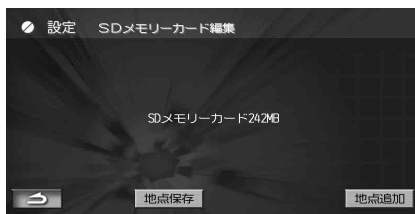
🔊 アドバイス

- 何らかの原因によりSDメモリーカードが正常に動作しなくなった場合には、本機でSDメモリーカードの初期化を行ってください。
- パソコンなどを用いて初期化したSDメモリーカードは、本機での動作を保証しません。

SDメモリーカードに登録地点を保存する

ナビゲーションで設定した登録地点を、SDメモリーカードにコピーして保存することができます。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。
- 2 **設定を変える** にタッチします。
- 3 **基本** タブにタッチし、**SDメモリーカード** にタッチします。
- 4 「SDメモリーカード編集」の **編集する** にタッチします。
- 5 **地点保存** にタッチします。



- 6 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。
SDメモリーカードに登録地点が保存されます。

🔊 アドバイス

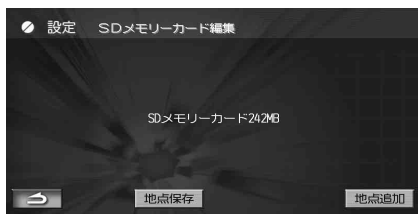
- 登録地点保存用のフォルダがSDメモリーカード内に自動的に作成されます。
フォルダ名: NAVDATDR フォルダ
|
POIX フォルダ
地点ファイル拡張子: .poix
- 作成したファイルの削除とファイル名の変更はパソコンから行うことができます。但し拡張子.poixを変更するとファイルが認識されなくなりますので、拡張子の変更は行わないでください。尚、ファイル名に使用できる文字は半角英数字のみにになります。



SDメモリーカードに保存した地点をコピーする

SDメモリーカードに保存した地点を、本機のHDDにコピーすることができます。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。
- 2 **設定を変える** にタッチします。
- 3 **基本** タブにタッチし、**SDメモリーカード** にタッチします。
- 4 「SDメモリーカード編集」の **編集する** にタッチします。
- 5 **地点追加** にタッチします。



- 6 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。
SDメモリーカードの登録地点が本機の登録地点に追加されます。

🔊 アドバイス

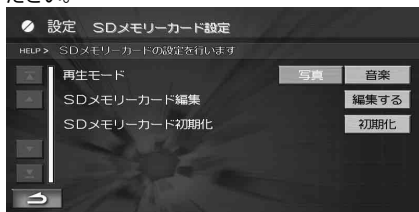
- 本機の登録地点の最大数、700ヶ所を超えた場合は、地点のコピーは行われません。

SDメモリーカードの画像をHDDに追加する

SDメモリーカードに記録した画像データをHDDにコピーして、オーディオ操作画面や壁紙に表示させることができます。画像のコピーは下記の2通りの方法のいずれかで行います。

SD画面から追加する

- 1 SDメモリーカードの再生モードを**写真**に設定します。
「再生モードを設定する」(269ページ)を参照してください。



- 2 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。
- 3 **SD** にタッチします。
- 4 HDDに追加したい画像をタッチして選択します。



- 5 **画像追加** にタッチします。
- 6 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。
HDDに選択した画像が追加されます。

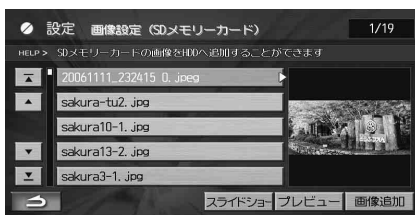
設定画面から追加する

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。
- 2 **設定を変える** にタッチします。
- 3 **基本** タブにタッチし、**画像** にタッチします。
画像設定画面が表示されます。
- 4 **SD画像** にタッチします。



画像設定(SDカード)画面が表示されます。

- 5 HDDに追加したい画像をタッチして選択します。



- 6 **画像追加** にタッチします。
- 7 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。
HDDに選択した画像が追加されます。

アドバイス

- **プレビュー** にタッチすると、選択した画像が全画面表示されます。**◀◀** **▶▶** にタッチすると前後の画像を表示します。プレビューをやめるには **⏮** にタッチしてください。
- **スライドショー** にタッチすると、全ての画面を次々と表示します。スライドショーをやめるには **⏮** にタッチしてください。
- HDDにコピーできる画像の形式は以下の通りです。
 - ・ファイル形式: bmp, jpg, png, gif
 - ・ファイルサイズ: 最大1.5M、1024×768ピクセル
 - ・ファイル名最大文字数: 63文字 (拡張子含む)
- 最大200ファイル(または190MB)までコピーできます。

DVD/ビデオCD操作

サウンド・映像編

DVDをご使用になる前に	274
DVDビデオの機能	274
ディスクについて	275
画面の見かた	276
DVD/ビデオCD操作画面について	276
DVD/ビデオCDを再生する	283
メニューを表示する	284
メニュー画面を操作する	284
メニュー番号で見たい映像を探す	285
再生中止(PRE STOP)する	286
再生停止する	287
早送り・早戻しする	288
静止(一時停止)する	289
コマ送り再生する	290
スローモーション再生する	291
見たい映像を探す	292
チャプター/トラックの頭出しをする	292
チャプター/トラック番号から探す	292
タイトル/グループ/プログラム/ プレイリスト番号から探す	293
プログラム/プレイリストを選ぶ	293
プログラム/プレイリストサーチ	294
ページ送り/戻し	294
繰り返し見る REPEAT(リピート)	295
DVDビデオ機能の切りかえ	296
アングルの切りかえ	296
音声言語の切りかえ	296
サブタイトル(字幕言語)切りかえ	297
DVD初期設定	298
DVD初期設定画面を表示する	298
優先する音声を切りかえる	298
字幕の言語を切りかえる	299
メニューの言語を切りかえる	299
カントリーコード設定を変更する	300
視聴制限を設定する	301
ビデオCD再生モードを設定する	301
ダウンミックスを設定する	302
映像出力を切りかえる	302
DVDオーディオ再生モードを設定する	302
ボーナスグループを再生する	303
初期値に戻す	303
視聴制限したDVDを再生する	304

DVDをご使用になる前に

本機は、DVDビデオの高画質な映像とデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語(音声や字幕など)を切りかえて再生/表示したり、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、お好みのアングルに切りかえて再生することができます。

DVDビデオの機能

マルチ音声機能について

DVDソフトには複数の言語が記録されているものがあり、テレビの音声多重放送のように、再生する音声言語を切りかえることができます。

サブタイトル(字幕)表示機能について

DVDソフトには複数の言語が記録されているものがあり、再生する字幕言語を切りかえたり、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することができます。また、ソフトメニューの言語を切りかえることもできます。

マルチアングル機能について

DVDソフトには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの(マルチアングル)があり、再生するアングルを切りかえることができます。

マルチストーリー機能について

DVDソフトには、メインストーリー以外にサブストーリーやバージョンの違う映像が記録されているもの(マルチストーリー)があり、お好みのストーリーを選択することができます。操作方法はディスクによって異なります。マルチストーリーには、次のようなものがあります。

■ メインストーリー/サブストーリー

ディスクの中には、番外編のストーリーが作成されることがあります。例えば、主人公が友人と別れる場面があった場合に、サブストーリーでは別れた友人のその後のストーリーを紹介するというように、違うストーリーを再生することができます。

■ マルチバージョン

劇場公開版、完全版、ディレクターズカットなど、1つの作品で複数のバージョンを再生することができます。

■ ハイライト・シーン・スキャン

特定の人物やアニメのキャラクターの登場する場面だけを再生したり、音楽の場面だけを再生したりというように、特定の場面を再生することができます。

■ ブランディング・ストーリー

ロール・プレイング・ゲームのように、例えば登場人物の行動をメニューから選択して物語を展開しながら再生することができます。再生中に撮影のメイキングシーンを見ることもできます。

視聴制限について

DVDソフトには、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない映像の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は、以下の8段階のレベルがあり3種類に分類されます。

- **レベル1**
子供向けのDVDソフトのみを再生します(一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します)。
- **レベル2～7**
子供向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します(成人向けのDVDソフトの再生を禁止します)。
- **レベル8**
すべてのDVDソフトを再生します。
- **OFF**
視聴制限しません。すべてのDVDソフトを再生します(初期設定)。

視聴制限は、DVD初期設定の「視聴制限」から設定します(初期設定値は「OFF」)。設定の方法については、「視聴制限を設定する」(301ページ)を参照してください。



ディスクについて

再生できるディスクの種類について

本機はNTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）用のディスクは再生することができません。

🔊 アドバイス

- DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
- DVD-R/RW、DVD+R/RWで記録されたディスクはご使用にならない場合があります。

再生可能なディスクの地域番号 (リージョンコード)について

DVDソフトには<リージョンコード>（地域番号）が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または「ALL」が表示されていないディスクを再生することはできません。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できない場合があります。

ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには以下のようなものがあります。

マーク	意味
②))	再生できる言語の数を表します。
	字幕に表示できる言語の数を表します。
	アングルの数を表します。
	選択可能な画像の縦横の比率を表します。 ● 「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面を表します。
	再生可能な地域番号を表します。 ● 「ALL」は全世界向け、数字は地域番号を表します（「2」は日本向け）。

画面の見かた

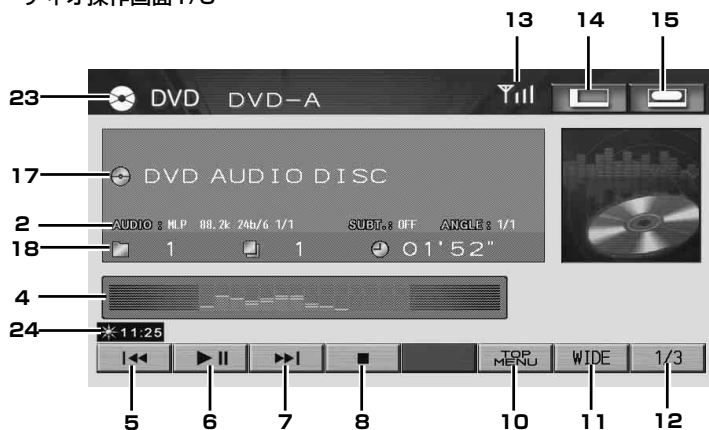
DVD/ビデオCD操作画面について

DVDの再生画面からDVD操作画面に切りかえると以下の画面が表示されます。

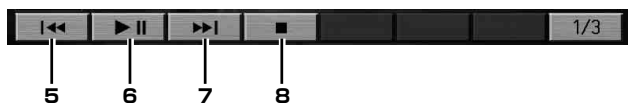
■ DVDビデオ操作画面1/2



■ DVDオーディオ操作画面1/3



<VOFF設定時※>

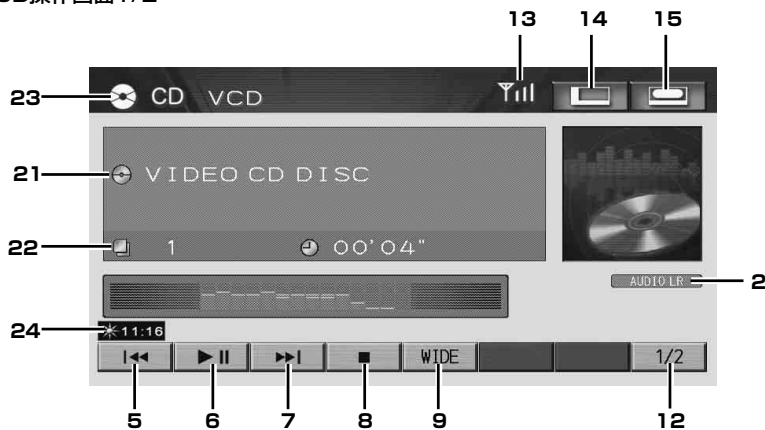


※ VOFFモードはDVDセットアップで設定します。詳しくは、「DVDオーディオ再生モードを設定する」(302ページ)を参照してください。

■ DVD-VR操作画面1/3



■ ビデオCD操作画面1/2



次ページに続く→

1. DVDビデオ情報表示

DVD VIDEO DISCと表示されます。

2. 状態表示

音声出力の種類、字幕言語、アングルなどが表示されます。

3. タイトルNo./チャプターNo./再生経過時間表示

再生しているタイトルNo.、チャプターのNo.と再生経過時間が表示されます。

4. スペアナ表示

音をデジタル表示で表現します。表示をOFFに設定することもできます。(「スペアナ表示を設定する」37ページ参照)。

5. ◀◀

現在のチャプター/トラック/ファイルの先頭に戻ります。続けてタッチすると前のチャプター/トラック/ファイルの頭出しをします。タッチし続けると、再生しているチャプター/トラック/ファイルを早戻しします(「チャプター/トラックの頭出しをする」292ページ、「早送り・早戻しする」288ページ参照)。

6. ⏸

一時停止します。

7. ▶▶

次のチャプター/トラック/ファイルの頭出しをします。タッチし続けると、再生しているチャプター/トラック/ファイルを早送りします(「チャプター/トラックの頭出しをする」292ページ、「早送り・早戻しする」288ページ参照)。

8. ■

再生停止します。(「再生中止(PRE STOP)する」286ページ、「再生停止する」287ページ参照)。

9. MENU

メニュー画面を表示します。

10. TOP MENU

トップメニュー画面を表示します。

11. WIDE

画面モードを切りかえます(「画面モードを切りかえる」40ページ参照)。

12. 1/2 1/3

操作画面を切りかえます。

13. ̳

携帯電話接続時に電波レベルを表示します。通話中はタッチスイッチになり、タッチすると電話・通信画面を表示します。

14. ̳

マルチインフォメーション画面が表示されます(「マルチインフォメーション画面」29ページ参照)。

15. ̳

マルチゲート画面が表示されます(「マルチゲート画面」26ページ参照)。

16. イメージ表示

イメージ画像が表示されます。

17. DVDオーディオ情報表示

DVD AUDIO DISCと表示されます。

18. グループNo./トラックNo./再生経過時間表示

再生しているグループNo.、トラックのNo.と再生経過時間が表示されます。

19. DVD-VR情報表示

プログラム名またはプレイリスト名、レコーディング情報ディスク名が表示されます。

20. プログラムNo.またはプレイリストNo./チャプターNo./再生経過時間表示

再生しているプログラムまたはプレイリストNo.、チャプターNo.と、再生経過時間が表示されます。

21. ビデオCD情報表示

VIDEO CD DISCと表示されます。

22. トラックNo./再生経過時間表示

再生しているトラックNo.と、再生経過時間が表示されます。

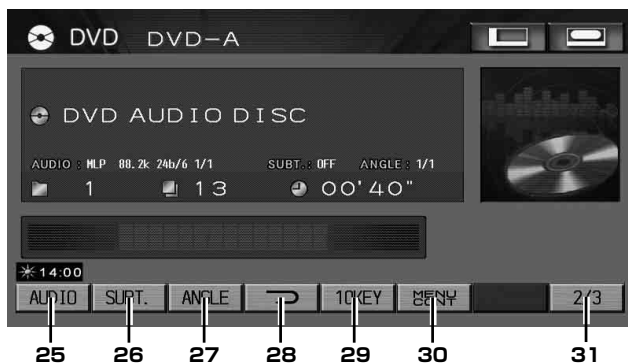
23. メディア名表示

24. 時計表示

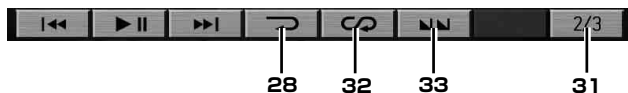
■ DVDビデオ操作画面2/2



■ DVDオーディオ操作画面2/3



<VOFF設定時※>



※ VOFFモードはDVDセットアップで設定します。詳しくは、「DVDオーディオ再生モードを設定する」(302ページ)を参照してください。

次ページに続く→

■ DVD-VR操作画面2/3



■ ビデオCD操作画面2/2



25. AUDIO

音声言語が切りかわります。「音声言語の切りかえ」(296ページ参照)。

26. SUBT.

字幕言語が切りかわります。「サブタイトル(字幕言語)切りかえ」(297ページ参照)。

27. ANGLE

アングルが切りかわります。「アングルの切りかえ」(296ページ参照)。

28. ↺

再生中のグループやトラックを繰り返し再生します。「繰り返し見る REPEAT(リピート)」(295ページ参照)。

29. 10KEY

トラック番号などを直接入力します。

30. MENU CONT

メニュー画面でのカーソル移動や項目選択などを行います。

31. 2/2 2/3

操作画面を切りかえます。

32. ∞

M.I.X.(ミックス)再生します。CD/MP3/WMA/AAC操作「曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)」(220ページ)を参照してください。

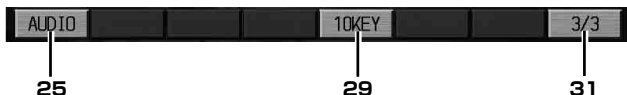
33. NN

スキャン再生します。曲を10秒間ずつ再生します。CD/MP3/WMA/AAC操作「曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)」(219ページ)を参照してください。

■ DVDオーディオ操作画面3/3



<VOFF設定時*>



※ VOFFモードはDVDセットアップで設定します。詳しくは、「DVDオーディオ再生モードを設定する」(302ページ)を参照してください。

■ DVD-VR操作画面3/3



34. ▼PAGE

1つ前の静止画を表示します(「ページ送り/戻し」294ページ参照)。

35. ▲PAGE

次の静止画を表示します(「ページ送り/戻し」294ページ参照)。

36. 3/3

操作画面を切りかえます。

37. ▼プログラム ▼プレイリスト

1つ前のプログラム/プレイリストの頭出しをします(「プログラム/プレイリストを選ぶ」293ページ参照)。

38. プログラム▲ プレイリスト▲

次のプログラム/プレイリストの頭出しをします(「プログラム/プレイリストを選ぶ」293ページ参照)。



アドバイス

- ディスクまたは再生状態によっては、その操作を受け付けない場合があります。画面には⓪マークが表示されます。

DVD/ビデオCD操作画面への切りかえかた

1 DVD再生画面で画面にタッチします。

DVD/ビデオCDの操作画面が表示されます。



- しばらく(約5秒)操作しない場合は、元の画面に戻ります。

■ 本書で使用する、ディスクの種類のマークについて

各項目で利用できるディスクの種類を下記マークで表記します。

- DVD-V** ……市販のDVDビデオディスク、またはビデオモードで記録されたDVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWのディスクが使用できる。
- DVD-A** ……市販のDVDオーディオディスクが使用できる。
- DVD-VR** ……DVD-VRモードで記録されたDVD-R/DVD-RWのディスクが使用できる。
- V-CD** ……ビデオCDディスクが使用できる。

1 ディスクを本機に挿入します。

自動的にディスプレイが閉まり、再生が始まります。

- ディスクの出し入れの方法については、「DVD、CD、SDメモリーカードの出し入れ」(22ページ)を参照してください。

- すでにディスクが入っているときは

(MENU/PWR)スイッチを押した後、

サウンド・映像 にタッチし、サウンド・映像画面で **DVD/CD** にタッチすると再生が始まります。

注意

- 安全上の配慮から、停車しているときにだけDVD/ビデオCDをご覧になれます。走行中は、映像は映らずに音声だけが聴こえます。
- ディスプレイの開閉時やディスクを出し入れするときは、変速レバーなどにぶつからないように注意してください。
- ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。
- レーベル面を上にして挿入してください。
- ディスクを挿入するとき、ディスプレイなどに干渉しないように注意してください。

アドバイス

- 再生中に本機の電源を切る、イグニッションキーをOFFにする、サウンド・映像モードを切りかえるなどの操作をしても、次に電源をONにすると、続きから再生します(プレイポジションメモリ)。ディスクを取り出した場合は、プレイポジションメモリは解除されます。
- DVD/ビデオCDを再生するとメニュー画面が自動的に表示される場合があります。メニュー操作については「メニュー画面を操作する」(284ページ)を参照してください。
- ディスクによって本書で説明している操作とは異なる場合があります。ディスクの説明書もあわせてご覧ください。

メニューを表示する

DVD-V

DVD-A

V-CD

1 DVD操作画面で **MENU** または **TOP MENU** にタッチします。



メニュー、またはトップメニューが表示されます。

 アドバイス

- 表示されるメニューの内容は、ディスクによって異なります。画面の指示にしたがって操作してください。

メニュー画面を操作する

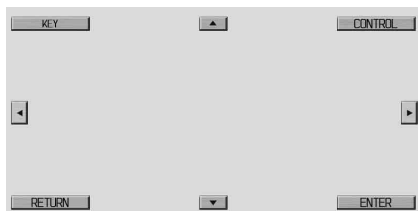
DVDメニュー  

メニュー画面でカーソルを移動して、メニュー項目を選択します。

1 DVD操作画面で **MENU CONT** にタッチします。

2 **KEY** にタッチします。

3 必要に応じて にタッチします。



-   にタッチすると、カーソルを左右に移動します。
-   にタッチすると、カーソルを上下に移動したり、画面をスクロールします。
- **ENTER** にタッチすると、項目を選択します。
- **CONTROL** にタッチすると、DVD操作画面を表示します。

 アドバイス

- 再生停止時、メニュー画面に表示される項目を、直接画面にタッチして選択することもできます。

ビデオCDメニュー (V-CD)

1 **1/2** にタッチします。

2 **10KEY** にタッチします。

メニュー番号の入力画面が表示されます。

3 **数字** にタッチしてメニュー番号を入力します。

- 入力した番号を1つずつ消去する場合は **BS** にタッチします。入力した数字を全て消去する場合は **ALL DEL** にタッチします。

4 **ENTER** にタッチします。

入力したメニュー番号が実行されます。

5 にタッチします。

ビデオCD画面に戻ります。

 アドバイス

- PBCが「しない」に設定されている場合はメニュー画面は表示されません。詳しくは「ビデオCD再生モードを設定する」(301ページ)を参照してください。

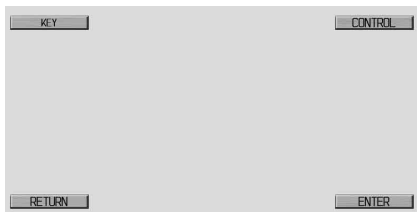


メニュー番号で見たい映像を探す

メニュー画面に表示されるメニュー番号を入力して、見たい映像を探すことができます。

1 DVD操作画面で **MENU CONT** にタッチします。

2 **KEY** に2回タッチします。



メニュー番号の入力画面が表示されます。

3 数字にタッチしてメニュー番号を入力します。



- 入力した数字を1つずつ消去する場合は **BS** にタッチします。入力した数字を全て消去する場合は **ALL DEL** にタッチします。

4 **ENTER** にタッチします。
入力したメニュー番号の映像が再生されます。

5 **←** にタッチします。
DVD画面に戻ります。

🔊 アドバイス

- ディスクによってはメニュー番号が記録されていないものがあります。

再生中止(PRE STOP)する

DVD-V DVD-A DVD-VR V-CD

再生中に停止スイッチをタッチすると再生が停止し、その位置を記憶(プレイポジションメモリ)します。

1 DVD/ビデオCD操作画面で にタッチします。



PRE STOPと表示され、プレイポジションメモリが記録されます。

アドバイス

- PRE STOP中に  にタッチすると、再生中止した位置から再生されます。
- ディスクによってはPRE-STOPしたとき、再生中止位置を正しく記憶できない場合があります。
- VOFF設定時のDVDオーディオは、PRE-STOP機能はありません。(「DVDオーディオ再生モードを設定する」302ページ参照)



- 1 DVD/ビデオCD操作画面で  に2回タッチします。



STOPと表示され、再生が停止します。



アドバイス

- 停止中に  にタッチすると、初めから再生されます。
- 「」を2秒以上タッチしても再生は停止します。
- VOFF設定時のDVDオーディオは、「」を1回タッチすると再生停止(STOP)になります。(「DVDオーディオ再生モードを設定する」302ページ参照)

再生している映像を早送り、または早戻しすることができます。

- 1** DVD/ビデオCD操作画面で **▶▶** または **◀◀** にタッチし続けます。



倍速表示

DVDビデオ/DVDオーディオ(VCAPモード)*/DVD-VR/ビデオCD

再生中に **◀◀** (早戻し) または **▶▶** (早送り) をタッチし続けると、2倍速で早送り/早戻しします。さらにその状態で5秒以上タッチし続けると8倍速で早送り/早戻しができます。10秒以上タッチし続けると、32倍速で早送り/早戻しができる。

DVDオーディオ(VOFFモード)※

再生中に **◀◀** (早戻し) または **▶▶** (早送り) をタッチし続けると、21倍速で早送り/早戻しができます。

※ VCAPモード/VOFFモードはDVDセットアップで設定します。詳しくは「DVDオーディオ再生モードを設定する」(302ページ)を参照してください。

- 2** 解除するには、**▶** にタッチします。

🔊 アドバイス

- 早送り/早戻し中に音声は出力されません。
- PBC(プレイバックコントロール)付きビデオCDでは、再生中のトラックのみ早送り/早戻しができます。
- DVDおよびプレイバックコントロール(PBC)付きビデオCDでは早送り/早戻し中にメニュー画面に戻ることがあります。

静止(一時停止)する

DVD-V

DVD-A

DVD-VR

V-CD

再生中の映像を一時停止します。

- 1 DVD/ビデオCD操作画面で  にタッチします。



- 2 通常再生に戻すには、 にタッチします。



アドバイス

- 一時停止画像の状態から再生を開始すると、画像や音声が一時的に止まる場合がありますが故障ではありません。

- 1** DVD/ビデオCD操作画面で  にタッチし、 または  にタッチします。



- タッチするたびに、1コマずつコマ送り/戻し再生されます。

- 2** 通常再生に戻すには、 にタッチします。



アドバイス

- コマ送り/戻し再生中は、音声は再生されません。
- DVD-VRディスク、ビデオCDではコマ戻し再生はできません。

スローモーション再生する

DVD-V

DVD-VR

V-CD

- 1 DVD/ビデオCD操作画面で **▶▶** にタッチし、**◀◀** または **▶▶** にタッチし続けます。



倍速表示

- 一時停止中に **◀◀** または **▶▶** を押し続けると、1/8倍速でスローモーション再生になります。
さらにその状態で5秒押し続けると1/2倍速にスローモーションの速度が変わります。

- 2 **◀◀** または **▶▶** をはなすと一時停止になります。通常再生に戻すには、**▶▶** にタッチします。

🔊 アドバイス

- スローモーション再生中は、音声は再生されません。
- 1/2倍速、1/8倍速はおおよその速さです。ディスクによっても異なります。
- DVD-VRディスク、ビデオCDではバックスローモーション再生はできません。

見たい映像を探す

再生している映像の前または次のチャプター/トラックの頭出しをしたり、見たい映像をチャプター番号やタイトル番号から探すことができます。

🔊 アドバイス

● 補足説明

チャプターとは、DVDに記憶されている映像や曲の区切りです。トラックとは、ビデオCDやCDに記憶されている映像や曲の区切りです。プレイリストとは、再生する映像の再生順を記録したリストです。グループとは、DVDオーディオに記憶されているトラック(1曲分)がいくつかのグループにまとまっているものです。ディスクによっては、グループ再生の仕方が異なります。

チャプター/トラックの頭出しをする

DVD-V DVD-A DVD-VR V-CD

- 1 DVDの操作画面で **⏮** または **⏭** にタッチし、見たいチャプター/トラックを探します。



タッチするたびに1チャプター/トラックずつ切りかわります。

- **⏭** にタッチすると、次のチャプター/トラックを再生します。
- **⏮** にタッチすると、現在のチャプター/トラックの頭から再生します。続けてタッチすると前のチャプター/トラックを再生します。
- PBC(プレイバックコントロール)付きビデオCDでは、トラックの頭出しができない場合があります。「ビデオCD再生モードを設定する」(301ページ)をしないに設定してください。
- DVDオーディオでは、一時停止中も本操作を行うことができます。

🔊 アドバイス

- ディスクによっては、チャプターが記録されていないものがあります。

チャプター/トラック番号から探す

DVD-V DVD-A DVD-VR V-CD

再生中、PRE-STOP中または一時停止中に操作を行ってください。

- 1 DVD/ビデオCDの操作画面で **1/2** または **1/3** にタッチします。



- 2 **10KEY** にタッチします。



チャプター/トラック番号の入力画面が表示されます。

- 3 数字にタッチしてチャプター/トラック番号を入力します。



- 入力した数字を1つずつ消去する場合は **BS** にタッチします。入力した数字を全て消去する場合は **ALL DEL** にタッチします。

- 4 **ENTER** にタッチします。

入力したチャプター/トラック番号の映像が再生されます。

- 5 **⏮** にタッチします。

DVD/ビデオCD画面に戻ります。

🔊 アドバイス

- ディスクによってはチャプター/トラック番号が記録されていないものがあります。

タイトル/グループ/プログラム/プレイリスト番号から探す

(DVD-V) (DVD-A) (DVD-VR)

🔊 アドバイス

- 再生を停止させてから行ってください。

1 停止中にDVDの操作画面で **1/2** または **1/3** にタッチします。

2 **10KEY** にタッチします。



タイトル番号の入力画面が表示されます。

3 数字にタッチしてタイトル/グループ/プログラム/プレイリスト番号を入力します。



- 入力した数字を1つずつ消去する場合は **BS** にタッチします。入力した数字を全て消去する場合は **ALL DEL** にタッチします。

4 **ENTER** にタッチします。

入力したタイトル/グループ/プログラム/プレイリスト番号の映像が再生されます。

🔊 アドバイス

- ディスクによってはタイトル/グループ/プログラム/プレイリスト番号が記録されていないものがあります。

プログラム/プレイリストを選ぶ

(DVD-VR)

1 DVD操作画面で **1/3** → **2/3** に続けてタッチします。

2 **▼プログラム** / **▼プレイリスト** または **プログラム▲** / **プレイリスト▲** にタッチし、前後のプログラム/プレイリストを選びます。



- **プログラム▲** / **プレイリスト▲** にタッチすると、次のプログラム/プレイリストの最初の曲から再生します。
- **▼プログラム** / **▼プレイリスト** にタッチすると、前のプログラム/プレイリストの最初の曲から再生します。

🔊 アドバイス

- プログラム再生時は **▼プログラム** / **プログラム▲**、プレイリスト再生時は **▼プレイリスト** / **プレイリスト▲** が表示されます。
- プレイリスト選択は、プレイリストが作成されているディスクでのみ操作できます。

プログラム/プレイリストサーチ

(DVD-VR)

- 1 DVD操作画面で **TOP MENU** または **MENU** にタッチします。



- **TOP MENU** にタッチするとプログラムサーチ画面が表示されます。
- **MENU** にタッチするとプレイリストサーチ画面が表示されます。

- 2 希望のプログラムまたはプレイリスト名称にタッチします。



選んだプログラムまたはプレイリストが再生されます。

- プログラムサーチ画面で **プレイリスト** にタッチするとプレイリストサーチ画面が表示されます。
- プレイリストサーチ画面で **プログラム** にタッチするとプログラムサーチ画面が表示されます。

ページ送り/戻し

(DVD-A)

ページとは、DVDオーディオに静止画付きの画像が記憶されているものです。

- 1 再生中にリモコンの **▼PAGE** または **PAGE▲** をタッチして、ページを切りかえます。静止画のHome Pageを表示するには、**▼PAGE** または **PAGE▲** を2秒以上タッチします。

▼PAGE : 1つ前の静止画を表示。

PAGE▲ : 次の静止画を表示。

アドバイス

- DVDオーディオディスクによっては、ページがないものもあります。また、スライドショー形式の映像は、操作できない場合があります。
- VCAPに設定している場合のみ、操作することができます。(「DVDオーディオ再生モードを設定する」302ページ参照)

繰り返し見る REPEAT(リピート)

DVD-V DVD-A DVD-VR
V-CD

気に入った場面を繰り返し再生させることができます。

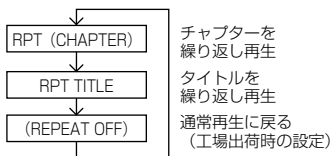
1 DVD/ビデオCDの操作画面で **1/2** または **1/3** にタッチします。

2 再生中に **↺** にタッチします。

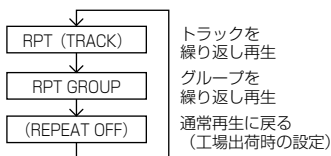


押すごとにリピートの種類がかわります。

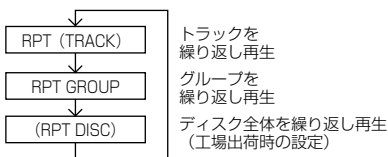
DVDビデオ



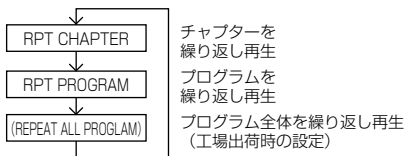
DVDオーディオ(VCAPモード)※



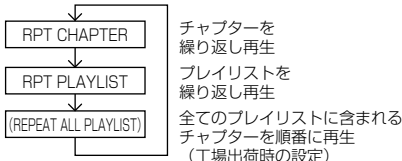
DVDオーディオ(VOFFモード)※



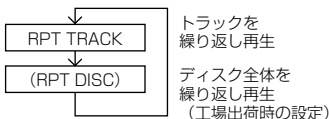
DVD-VR(プログラム再生時)



DVD-VR(プレイリスト再生時)



ビデオCD



※ VCAP/VOFFモードはDVDセットアップで設定します。詳しくは「DVDオーディオ再生モードを設定する」(302ページ)を参照してください。

3 通常再生に戻すには、REPEATモードが解除するまで **↺** にタッチします。

アドバイス

- ブレイバックコントロール(PBC)付きビデオCDではトラックリピート/ディスクリピートは使用できません。「ビデオCD再生モードを設定する」(301ページ)をしないに設定してください。
- ディスクによってはリピートの種類が切りかえられない場合があります。
- DVDオーディオ/ビデオ再生時は、**↺** を2秒以上タッチすると、強制的にREPEAT OFFになります。

DVDビデオ機能の切りかえ

再生する映像の音声言語や字幕言語、表示アングルを切りかえることができます。

アングルの切りかえ

DVD-V DVD-A

ディスクに複数のアングルが記録されている場合は、アングルを切りかえて表示することができます。

1 DVD操作画面で **1/2** または **1/3** にタッチします。

2 **ANGLE** にタッチします。



- タッチすることにより、収録されているアングルが順番に切りかわり、映像のアングルが切りかわります。右上にアングル番号が表示されます。
- しばらく(約5秒)操作しない場合は、DVD画面に戻ります。

アドバイス

- アングル変更までに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによって異なりますがアングル切りかえには2種類あります。
 - シームレス:
 - つぎめなくスムーズにアングルが切りかわる。
 - ノンシームレス:
 - アングル切りかえ時、一瞬静止画となりその後アングルが切りかわる。
- DVDオーディオはVCAPに設定している場合、操作することができます。([DVDオーディオ再生モードを設定する]302ページ参照)

音声言語の切りかえ

DVD-V DVD-A DVD-VR V-CD

ディスクに複数の音声または音声言語が記録されている場合は、再生中に音声言語を一時的に切りかえることができます。

1 DVD/ビデオCD操作画面で **1/2** または **1/3** ※にタッチします。

※ DVDオーディオ(VOFF設定時)の場合には、**1/3** → **2/3** に続けてタッチします。

2 **AUDIO** にタッチします。



- タッチすることにより、収録されている音声言語が順番に切りかわります。右上に音声言語の番号が表示されます。

アドバイス

- DVD初期設定の「音声言語」で、音声言語をあらかじめ設定しておくことができます(初期設定値は「オート」)。設定方法については、「優先する音声を切りかえる」(298ページ)を参照してください。
- ディスクによっては再生中の切りかえができない場合があります。そのときはメインメニューから言語を選択してください。
- 音声変更まで多少時間がかかる場合があります。

多重音声が記録されているビデオCD

■ ビデオCD

- 1 再生中に **AUDIO** にタッチします。
タッチすることによりLチャンネル、Rチャンネル音声の組み合わせが変わります。
LR→LL→RR→LR

サブタイトル(字幕言語)切り換え

DVD-V DVD-A DVD-VR

複数の字幕言語が記録されているDVDでは、再生中に字幕言語を切り換えたり非表示にすることができます。

- 1 DVD操作画面で **1/2** または **1/3** にタッチします。
- 2 **SUBT.** にタッチします。



- タッチすることにより、収録されている字幕言語が順番に切りかわります。右上に字幕言語の番号が表示されます。

DVD-VRディスク再生時は、字幕表示のON/OFFを設定します。

📢 アドバイス

- DVD初期設定の「字幕」で、表示される字幕言語をあらかじめ設定しておくことができます(初期設定値は「オート」)。設定方法については、「字幕の言語を切りかえる」(299ページ)を参照してください。
- 字幕言語変更までに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによっては再生中の切り換えができない場合があります。そのときはディスクメニューから選んでください。
- ディスクによってはOFFに設定しても、サブタイトルが表示される場合があります。
- DVDオーディオはVCAPIに設定している場合、操作することができます(「DVDオーディオ再生モードを設定する」302ページ参照)

DVD初期設定

音声や字幕言語をあらかじめ設定することができます。また、視聴制限なども設定することができます。

🔊 アドバイス

- サウンド・映像ソースがDVDモードの時に設定することができます。
- DVDを再生中にDVD初期設定を行う場合は、DVD初期設定画面で**停止**にタッチして再生を停止させてから設定をしてください。

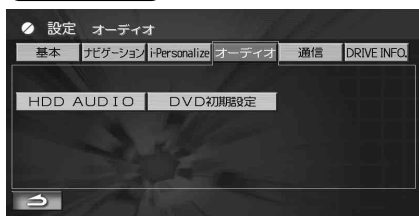
DVD初期設定画面を表示する

1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

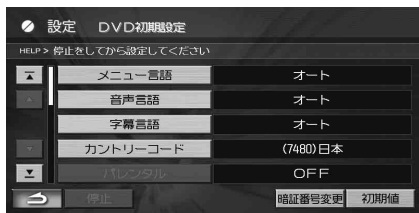
2 **設定を変える** にタッチします。



3 **オーディオ** タブにタッチし、**DVD初期設定** にタッチします。



DVD初期設定画面が表示されます。

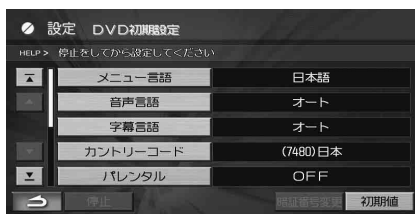


優先する音声を切りかえる

再生する映像の音声言語を設定します(初期設定値は「オート」)。

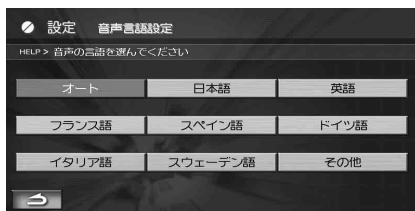
1 DVD初期設定画面で**音声言語**にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(298ページ参照)



音声言語設定画面が表示されます。

2 お好みの言語にタッチします。



- **オート** に設定すると、DVDソフトに記録されている最優先の音声言語で再生されます。
- 選択したい言語が表示されていない場合は、手順3に進みます。言語が表示されている場合は希望の言語にタッチし、操作を終了します。

3 **その他** にタッチします。

4 4桁の言語コードを入力します。



- 言語コードについては366ページ「言語コード一覧」を参照してください。

5 **完了**にタッチします。

入力したコードの言語がDVD初期設定画面に表示されます。

🔊 アドバイス

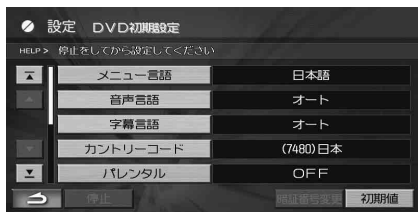
- ディスクによっては、設定した言語よりディスクに記録されている最優先の言語が優先される場合があります。
- 入力したコードが間違っている場合は、「コード番号が正しくありません」と表示した後、コード入力画面に戻ります。
- **削除**にタッチするたびに、入力した数字を1桁ずつ消去できます。

字幕の言語を切りかえる

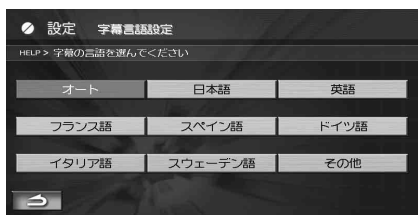
再生する映像の字幕言語を設定します(初期設定値は「オート」)。

1 DVD初期設定画面で**字幕言語**にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(298ページ参照)



2 お好みの言語にタッチします。



- **オート**に設定すると、DVDソフトに記録されている最優先の字幕言語で再生されます。
- 選択したい言語が表示されていない場合は、手順3に進みます。言語が表示されている場合は希望の言語にタッチし、操作を終了します。

3 **その他**にタッチします。

4 4桁の言語コードを入力します。



- 言語コードについては366ページ「言語コード一覧」を参照してください。

5 **完了**にタッチします。

入力したコードの言語がDVD初期設定画面に表示されます。

🔊 アドバイス

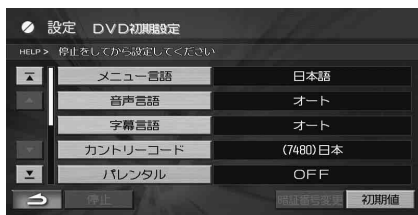
- 入力したコードが間違っている場合は、「コード番号が正しくありません」と表示した後、コード入力画面に戻ります。
- **削除**にタッチするたびに、入力した数字を1桁ずつ消去できます。

メニューの言語を切りかえる

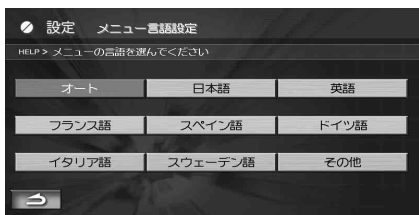
タイトルメニューやメインメニューで表示される言語を設定します(初期設定値は「オート」)。

1 DVD初期設定画面で**メニュー言語**にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(298ページ参照)



2 お好みの言語にタッチします。



- **オート** に設定すると、DVDソフトに記録されている最優先の言語で再生されます。
- 選択したい言語が表示されていない場合は、手順3に進みます。言語が表示されている場合は希望の言語にタッチし、操作を終了します

3 その他 にタッチします。

4 4桁の言語コードを入力します。



- 言語コードについては366ページ「言語コード一覧」を参照してください。

5 完了 にタッチします。

入力したコードの言語がDVD初期設定画面に表示されます。

🔊 アドバイス

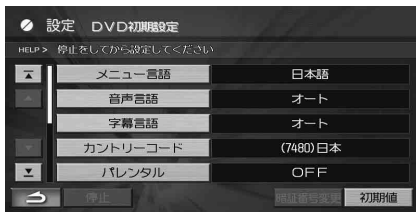
- 入力したコードが間違っている場合は、「コード番号が正しくありません」と表示した後、コード入力画面に戻ります。
- **削除** にタッチするたびに、入力した数字を1桁ずつ消去できます。

カントリーコード設定を変更する

視聴規制(パレンタルロック)を設定する時の、設定したい規制レベルの国番号を設定します。

1 DVD初期設定画面で **カントリーコード** にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(298ページ参照)



カントリーコード入力画面が表示されます。

2 4桁のカントリーコードを入力します。



3 完了 にタッチします。

🔊 アドバイス

- 入力したコードが間違っている場合は、「コード番号が正しくありません」と表示した後、コード入力画面に戻ります。
- **削除** にタッチするたびに、入力した数字を1桁ずつ消去できます。

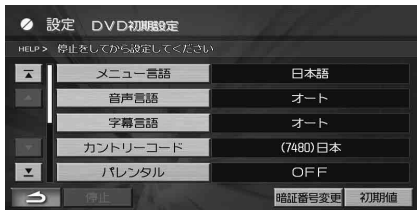


視聴制限を設定する

DVDソフトの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見たくない映像の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は、8段階のレベルから設定します(初期設定値は「OFF」)。

1 DVD初期設定画面で **パレンタル** にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(298ページ参照)



暗証番号設定画面が表示されます。

2 4桁の暗証番号を入力し、**完了** にタッチします。



- 初回は、暗証番号が設定されていません。お好きな4桁の数字を入力してください。2回目以降は同じ暗証番号を入力してください。
- 暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。
- 入力した暗証番号は、* で表示されます。

3 お好みの視聴制限レベル **1** ～ **8** にタッチします。



入力した視聴制限レベルがDVD初期設定画面に表示されます。

アドバイス

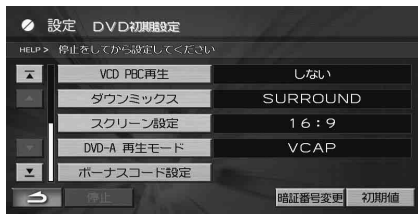
- 視聴制限レベルが記録されていないDVDソフトではレベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 2回目以降、設定を変更するときに、最初に入力した暗証番号が必要になります。暗証番号を忘れないように注意してください。
- 暗証番号を変更することもできます。DVD初期設定画面で **暗証番号変更** にタッチして元の暗証番号を入力後、新しい暗証番号を入力し **完了** にタッチします。
- 視聴制限レベルは、以下の3種類に分類されます。
 - レベル1
子供向けのDVDソフトのみを再生します(一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します)。
 - レベル2～7
子供向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します(成人向けのDVDソフトの再生を禁止します)。
 - レベル8
全てのDVDソフトを再生します。
 - OFF
視聴制限をOFFにします。全てのDVDソフトを再生します(初期設定)。

ビデオCD再生モードを設定する

プレイバックコントロール(PBC)付きのビデオCDを再生する場合に、PBCを「する」にするか「しない」にするかをあらかじめ設定できます(初期設定値は「する」)。

1 DVD初期設定画面で **VCD PBC 再生** にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(298ページ参照)



- タッチするたびに以下のように設定が切りかわります。
 する → しない → する
 する
 ビデオCDに収録されているメニューを表示し、メニューの操作ができる。
 しない
 ビデオCDに収録されているメニューは表示できない。

アドバイス

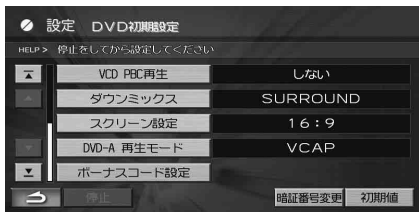
- この設定はディスクを挿入する前に行ってください。既にディスクが挿入されている時は、ディスクを取り出すと設定が反映されます。

ダウンミックスを設定する

本機能は、ドルビーデジタル、DTSストリーム音声に有効です(初期設定値は「SURROUND」)。

1 DVD初期設定画面で **ダウンミックス** にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(298ページ参照)



- タッチするたびに以下のように設定が切りかわります。

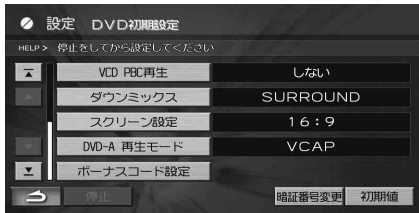
SURROUND → STEREO → SURROUND
SURROUND
サラウンド互換ダウンミックス
STEREO
ステレオダウンミックス

映像出力を切りかえる

画面のサイズを設定します(初期設定値は「16:9」)。

1 DVD初期設定画面で **スクリーン設定** にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(298ページ参照)



- タッチするたびに以下のように画面サイズが切りかわります。

16:9 → 4:3LB → 4:3PS → 16:9...

16:9

通常のワイドサイズで表示されます。

4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。

4:3LB(レターボックス)

上下両端が黒く表示された映像になります。

4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズちょうど(4:3)で表示されます。

4:3PS(パンスカン)

左右両端がカットされた映像になります。

4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズちょうど(4:3)で表示されます。

注意

- お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮/引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

アドバイス

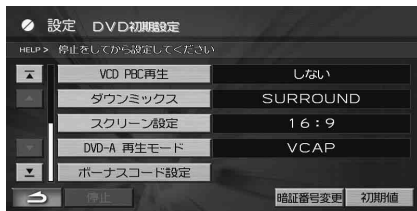
- DVDソフトによっては、画面サイズが変更されない場合があります、通常は16:9(初期設定値)に設定してください。

DVDオーディオ再生モードを設定する

DVDオーディオディスクの再生方法を設定することができます。DVDビデオ/オーディオ混在ディスクの場合、DVDオーディオを再生するにはVCAP(Video Capable Audio Player)またはVOFF(Video OFF)に設定してください(初期設定値は「VCAP」)。

1 DVD初期設定画面で **DVD-A再生モード** にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(298ページ参照)



- タッチするたびに以下のように設定が切りかわります。

VCAP → VOFF → VIDEO → VCAP

VCAP

映像と音声データを再生する。

VOFF

映像を出力せずに音声データのみを再生する。

VIDEO

DVDビデオ/オーディオ混在ディスクの、DVDビデオデータのみ再生する。

🔊 アドバイス

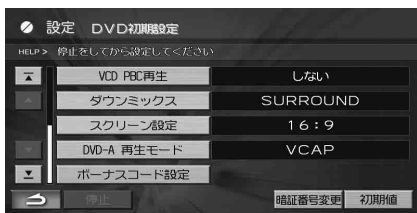
- この設定はディスクを挿入する前に行ってください。既にディスクが挿入されている時は、ディスクを取り出すと設定が反映されます。

ボーナスグループを再生する

DVDオーディオには、通常のグループの他にボーナスグループが収録されているものがあります。ボーナスグループを選んだときは暗証番号入力画面が表示されますが、あらかじめこの4桁の暗証番号を入力しておくことができます。

1 DVD初期設定画面で **ボーナスコード設定** にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(298ページ参照)



暗証番号入力画面が表示されます。

2 暗証番号を入力します。



3 **完了** にタッチします。

🔊 アドバイス

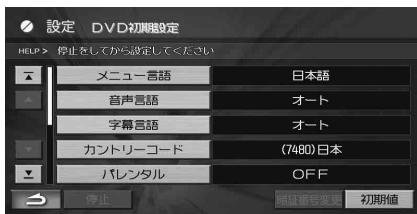
- ボーナスグループの暗証番号が本設定で設定されている暗証番号と異なる場合は、入力画面が自動的に表示されます。
- **削除** にタッチするたびに、入力した数字を1つずつ消去できます。
- この設定はディスクを挿入する前に行ってください。既にディスクが挿入されている時は、ディスクを取り出すと設定が反映されます。

初期値に戻す

DVD初期設定の内容を工場出荷時の状態に戻します。

1 DVD初期設定画面で **初期値** にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(298ページ参照)



2 メッセージが表示されますので、**はい** にタッチします。

設定内容が初期値に戻ります。

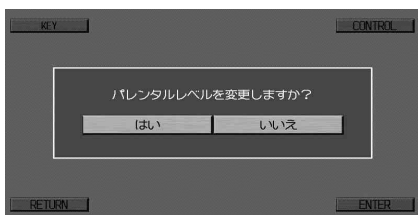
視聴制限したDVDを再生する

ディスクによっては、再生中にDVD初期設定で設定した視聴制限レベル(パレンタルレベル)の変更を要求する場合があります。この場合は正しい暗証番号を入力すると、視聴制限した映像が再生されます。

🔊 アドバイス

- 視聴制限をするためには、あらかじめ設定を行ってください。(「視聴制限を設定する」301ページ参照)。

1 DVD再生中に、パレンタルレベル変更を要求するメッセージが表示された場合は、**はい**にタッチします。



暗証番号入力画面が表示されます。

2 パレンタル設定で入力した4桁の暗証番号を入力し、**ENTER**にタッチします。



暗証番号が正しいと視聴制限した映像が再生されます。

- 入力した数字を1つずつ消去する場合は **BS** にタッチします。入力した数字を全て消去する場合は **ALL DEL** にタッチします。

iPod操作

サウンド・映像編

画面の見かた	306
iPod®曲を聴く	308
iPodを接続する	308
iPodの曲を聴く	308
iPodを外す	308
聴きたい曲を選ぶ	309
早送り・早戻しする	310
一時停止する	311
聴きたい曲を探す	312
プレイリストから探す	312
アーティストから探す	312
アルバムで探す	313
曲で探す	314
ダイレクトサーチ機能	314
プレイリスト/アーティスト/アルバムを選ぶ	314
曲順を変えて聴く シャッフル	
(M.I.X. ミックス)	315
ミックス再生する	315
iPod内全ての曲をミックス再生する	315
繰り返し聴く REPEAT(リピート)	316

画面の見かた

■ iPod操作画面1/2



1. タイトル表示

再生している曲名が上段に、アルバム名が中段に、アーティスト名が下段に表示されます。タイトル情報がない場合は、NO TITLEと表示されます。

2. トラックNo./演奏経過時間表示

再生している曲のトラックNo.と演奏経過時間が表示されます。

3. スペアナ表示

音をデジタル表示で表現します。表示をOFFに設定することもできます。〔「スペアナ表示を設定する」37ページ参照〕。

4. 時計表示

5. ⏮

再生している曲の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします〔「聴きたい曲を選ぶ」309ページ参照〕。タッチし続けると、再生している曲を早戻しします〔「早送り・早戻しする」310ページ参照〕。

6. ⏸

再生している曲を一時停止します。再度タッチすると再生を再開します。

7. ⏭

次の曲に進めます〔「聴きたい曲を選ぶ」309ページ参照〕。タッチし続けると、再生している曲を早送りします〔「早送り・早戻しする」310ページ参照〕。

8. ▼プレイリスト / ▼アーティスト / ▼アルバム

前のプレイリスト/アーティスト/アルバムに戻ります〔「プレイリスト/アーティスト/アルバムを選ぶ」314ページ参照〕。

9. プレイリスト▲ / アーティスト▲ / アルバム▲

次のプレイリスト/アーティスト/アルバムに戻ります〔「プレイリスト/アーティスト/アルバムを選ぶ」314ページ参照〕。

10. ⌚

iPod内全ての曲をM.I.X.(ミックス)再生します〔「iPod内全ての曲をミックス再生する」315ページ参照〕。

11. SEARCH

サーチモードになります〔「聴きたい曲を探す」312ページ参照〕。ACC ONまたはディスク挿入後しばらくは、タッチできない場合があります。

12. 1/2

操作画面を切りかえます。

13. 状態表示

再生モード、M.I.X.(ミックス再生)、RPT(リピート再生))の状態が表示されます。

14. イメージ表示

再生している曲のジャンルのイメージ画像が表示されます。

15. 電波レベル

携帯電話接続時に電波レベルを表示します。通話中はタッチスイッチになり、タッチすると通話・通信画面を表示します。

16. マルチインフォメーション画面

マルチインフォメーション画面が表示されます〔「マルチインフォメーション画面」29ページ参照〕。

17. マルチゲート画面

マルチゲート画面が表示されます〔「マルチゲート画面」26ページ参照〕。

■ iPod操作画面2/2



18.

繰り返し(リピート)再生します(「繰り返し聴く REPEAT(リピート)」316ページ参照)。

19.

M.I.X.(ミックス)再生します(「ミックス再生する」315ページ参照)。

20.

操作画面を切りかえます。

iPod®の曲を聴く

iPodを付属のiPod接続用ケーブルを使用して本機に接続すると、本機から操作することができます。その際、iPodからの操作はできなくなります。

- iPodの機能については、iPodユーザーズガイドを参照してください。

本機対応のiPod®について

- 本機は、第3世代以降のiPod、iPod photo、iPod mini、iPod nanoに対応しております。iPod shuffleには対応していません。
- Dockコネクタに対応していないタッチホイール、スクロールホイールタイプのiPodは、本機に接続することはできません。
- 本機で対応しているiPodのバージョンは次の通りです。これ以前のバージョンの動作保証および性能保証は致しかねます。
第3世代iPod : Ver 2.3
第4世代iPod : Ver 3.1.1
iPod photo : Ver 1.1.2
iPod mini : Ver 1.4.1
iPod nano : Ver 1.2
第5世代iPod : Ver 1.1.2
- 本機はiPod Update 2006.06.28より前のソフトウェア・バージョンには対応していません。「iPod ソフトウェア・アップデート」について詳しくは、iPodユーザーズガイドを参照してください。
- iPodを付属のCableを使用して本機に接続すると、本機から操作することができます。その際、iPodからの操作はできなくなります。
- iPodのバッテリーが空の場合でも、本機に接続するとiPodを認識することができます。同時に充電を行います。
- 第5世代iPod接続時は、動作が不安定になる場合があります。

iPodを接続する

iPod接続用ケーブルにiPodを接続します。



アドバイス

- 運転中はiPodを接続しないでください。事故・ケガの原因になります。
- 運転中はiPodのイヤホンを使用しないでください。事故・ケガの原因になります。

iPodの曲を聴く

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

- 2 **iPod** にタッチします。



再生が始まります。

アドバイス

- 再生中のiPodを本機と接続すると、今まで聞いていた曲の続きから再生を行います。

iPodを外す

iPodを再生中でもiPodを外すことができます。



アドバイス

- 運転中はiPodを外さないでください。事故・ケガの原因になります。

聴きたい曲を選ぶ

聴きたい曲の頭出しをします。

- 1 iPod再生画面で、**⏮** または **⏭** にタッチし、聴きたい曲を選びます。



- **⏮** にタッチすると、再生している曲の頭にに戻ります。続けてタッチすると、前の曲の頭出しをします。
- **⏭** にタッチすると、次の曲に進みます。

早送り・早戻しする

再生中の曲を早送り、または早戻しすることができます。

- 1 iPod再生画面で **⏮** または **⏭** にタッチし続けます。



スイッチから指を離すまで早送り(早戻し)します。

- **⏮** にタッチし続けると、早戻しします。
- **⏭** にタッチし続けると、早送りします。

一時停止する

再生中の曲を一時停止します。

- 1 iPod再生画面で  にタッチします。



- 2 解除するには  にタッチします。

聴きたい曲を探す

アーティストやアルバムなどを、リスト表示から選択することができます。

検索には大きく3つのサーチモードがあります。それぞれのサーチモードには下表のように階層があり、より絞り込んだ検索ができます。

第1階層	第2階層	第3階層	第4階層
プレイリスト	曲	—	—
アーティスト	アルバム	曲	—
アルバム	曲	—	—
曲	—	—	—

アドバイス

- ダイレクトサーチ機能を使用してより効率良く検索することができます。
詳しくは「ダイレクトサーチ機能」(314ページ)を参照してください。
- シャッフル(M.I.X)再生中にサーチ機能を使用することはできません。

プレイリストから探す

- 1 **SEARCH** にタッチします。
- 2 **プレイリスト** にタッチします。



プレイリストサーチ画面が表示されます。

プレイリストを選択するには

- 3 リストの中から、聴きたいプレイリスト名の **▶** にタッチします。



選択したプレイリストの曲が全曲再生されます。

選んだプレイリストの中の曲を探すには

- 3 リストの中から、聴きたい[プレイリスト名スイッチ]にタッチします。
選択したプレイリストのソングリストが表示されます。
- 4 リストの中から、聴きたい[曲名スイッチ]にタッチします。



選択した曲が再生されます。

アーティストから探す

- 1 **SEARCH** にタッチします。
- 2 **アーティスト** にタッチします。



アーティストサーチ画面が表示されます。

アーティストを選択するには

- 3 リストの中から、聴きたいアーティスト名の **▶** にタッチします。



選択したアーティストの曲が全曲再生されます。

選んだアーティストの中のアルバムを探すには

- 3 リストの中から、聴きたい[アーティスト名スイッチ]にタッチします。
選択したアーティストのアルバムリストが表示されます。
 - **アーティストすべて** にタッチすると、全アルバムのリストが表示されます。

- 4 リストの中から聴きたいアルバム名の  にタッチします。



選択したアルバムの曲が全曲再生されます。

選んだアーティストの中の曲を探すには

- 3 リストの中から、聴きたい[アーティスト名スイッチ]にタッチします。
選択したアーティストのアルバムリストが表示されます。
 - **アーティストすべて** にタッチすると、全アルバムのリストが表示されます。

- 4 リストの中から、聴きたい[アルバム名スイッチ]にタッチします。
選択したアルバムのソングリストが表示されます。
 - **アルバムすべて** にタッチすると、全曲リストが表示されます。

- 5 リストの中から、聴きたい[曲名スイッチ]にタッチします。



選択した曲が再生されます。

アルバムで探す

- 1 **SEARCH** にタッチします。
- 2 **アーティスト** にタッチします。



アルバムサーチ画面が表示されます。

アルバムを選択するには

- 3 リストの中から、聴きたいアルバム名の  にタッチします。



選択したアルバムの曲が全曲再生されます。

選んだアルバムの中の曲を探すには

- 3 リストの中から、聴きたい[アルバム名スイッチ]にタッチします。
選択したアルバムのソングリストが表示されます。
 - **アルバムすべて** にタッチすると、全曲リストが表示されます。

- 4 リストの中から、聴きたい[曲名スイッチ]にタッチします。



選択した曲が再生されます。

曲で探す

1 **SEARCH** にタッチします。

2 **曲** にタッチします。



ソングサーチ画面が表示されます。

3 リストの中から、聴きたい[曲名スイッチ]にタッチします。



選択した曲が再生されます。

ダイレクトサーチ機能

本機には、より効率良く検索する為に、ダイレクトサーチ機能が用意されています。

プレイリスト/アーティスト/アルバム/曲の各サーチモード時に利用することで、探したい曲などを素早く探し出すことができます。

1 サーチモード中、スライダバーの任意の場所にタッチします。



指定された場所へ素早くジャンプします。

例)ソングサーチの場合

iPodに100曲入っているとします。この全曲を10分割し、スライダバーに割り当てます。



例1) 探したい曲が50曲目位に入っていると予想した時は、スライダバーの「50%」を押した後、**左**、**右**、**上**、**下**をタッチしてリストをスクロールさせて選択します。

例2) 探したい曲が80曲目位に入っていると予想した時は、スライダバーの「80%」を押した後、**左**、**右**、**上**、**下**をタッチしてリストをスクロールさせて選択します。

プレイリスト/アーティスト/アルバムを選ぶ

簡単な操作でプレイリスト/アーティスト/アルバムを切りかえることができます。例えば、任意のアルバムに絞り込んでお聴きの場合は、アルバムを切りかえることができます。

1 iPod再生画面で **▼プレイリスト /**
プレイリスト▲ または **▼アーティスト**
/ アーティスト▲ または **▼アルバム /**
アルバム▲ にタッチし、聴きたいプレイリスト/アーティスト/アルバムを選びます。



• 最後にサーチで絞り込んだモードで選択します。

アドバイス

- サーチを行っていない、または曲名サーチのみが行っていない場合は、操作できません。
- アーティストサーチからアルバムを絞り込んだ場合は、アルバムが対象となります。

曲順を変えて聴く シャッフル(M.I.X. ミックス)

iPodのシャッフル機能は、ヘッドユニットではM.I.X.と表示されます。

ミックス再生する

シャッフル・アルバム(M.I.X. ALBUM):

iPod内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに演奏する。

あらかじめプレイリスト・アーティストサーチモードで曲が選択されていた場合、そのプレイリスト・アーティスト内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに演奏する。

シャッフル・曲(M.I.X. SONG):

プレイリスト・アーティスト・アルバムサーチモードで曲を選択した場合に、そのプレイリスト・アーティスト・アルバムの曲を全曲、順不同に演奏する。

1 iPod再生画面で **1/2** にタッチします。

2  にタッチします。



-  にタッチするたびに、M.I.X. モードが切りかわります。

M.I.X. SONGS→M.I.X. ALBUMS→(OFF)→
(シャッフル・曲) (シャッフル・アルバム)
M.I.X. SONGS

3 解除するには、M.I.X.モードが解除するまで  にタッチします。

🔊 アドバイス

- サーチモードについて詳しくは「聴きたい曲を探す」(312ページ)を参照してください。
- アルバムサーチモードで曲を選んでいたら、シャッフル・アルバムを選択してもシャッフル(M.I.X.)再生されません。

iPod内全ての曲をミックス再生する

1 iPod再生画面で  にタッチします。



順不同に曲が再生されます。

- iPod内すべての曲の再生が終了しても、ミックス再生が解除されるまでミックス再生を続けます。

2 解除するには、もう一度  にタッチします。

繰り返し聴く REPEAT(リピート)

iPodモードでのリピート機能は1曲リピートのみになります。

1 iPod再生画面で **1/2** にタッチします。

2  にタッチします。



再生中の曲が繰り返し再生されます。

RPT→(OFF)→RPT

3 解除するには、もう一度  にタッチします。

アドバイス

- リピート再生中は 、 を押して他の曲を選ぶことはできません。

AUX操作(オプション)

サウンド・映像編

AUX操作	318
AUX設定	319

AUX操作

AUX(外部入力)モードにする

外部機器(ビデオデッキなど)を接続した場合にご使用ください。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

- 2 **AUX** にタッチします。



- 表示されるソース名は、「外部入力に表示名をつける」(319ページ参照)で設定した名称になります。

外部DVDプレイヤーを操作する

外部DVDプレイヤー(別売)を操作するには、「外部入力に表示名をつける」(319ページ参照)を「EXT.DVD」に設定してください。

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

- 2 **EXT.DVD** にタッチします。



DVD操作画面が表示されます。

- 操作について詳しくは、接続するDVDプレイヤーの取扱説明書を参照してください。



AUX設定

AUX(外部入力)に関する設定を行います。

次の手順1～5は、AUX設定の共通操作になります。各項目の詳しい操作方法についてはそれぞれの項目を参照してください。

設定操作

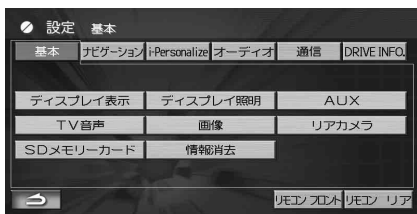
- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **基本** タブにタッチし、**AUX** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。

- 5 **POS.** スイッチを押して現在地画面に戻します。
 - **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

外部機器を接続する

ビデオデッキやゲームなど、外部機器を接続する場合は「あり」に設定してください(初期設定値は「なし」)。

設定項目 : 外部接続

設定値 : あり/なし

あり : 外部機器を接続します。

なし : 外部機器を接続しません。

外部入力に表示名をつける

外部入力製品を接続した場合、表示名をお好みでつけることができます(初期設定値は「AUX」)。

設定項目 : 名称選択

設定値 : AUX/VCR/GAME/EXT.DVD/DTV

アドバイス

- 選んだ表示名がAUXモードのソース名として表示されます。EXT.DVD/DTVをソースとして選択すると、各モードのファンクションキーに切りかわり、本機のタッチスイッチで一部操作を行うことができます。

外部入力音声レベルの調整

外部入力製品の音声レベルを調整します(初期設定値は「HIGH」)。

設定項目 : 音声レベル

設定値 : HIGH/LOW

LOW : 外部入力の音声レベルを小さめに設定します。

HIGH : 外部入力の音声レベルを大きめに設定します。

地上デジタルテレビ操作(オプション)

サウンド・映像編

画面の見かた	322
地上デジタルテレビ操作画面について	322
地上デジタルテレビを見る	325
放送局を選ぶ	326
手動で放送局を選ぶ	326
登録したチャンネルを呼び出す	326
受信情報を表示する	327
番組情報を見る(EPG)	328
TUE-T1の操作	329
地上デジタルテレビモードに切りかえる	329
放送局を記憶する(プリセットスキャン)	329
登録したチャンネルを呼び出す	330
受信情報を見る	330
番組情報を見る	330

画面の見かた

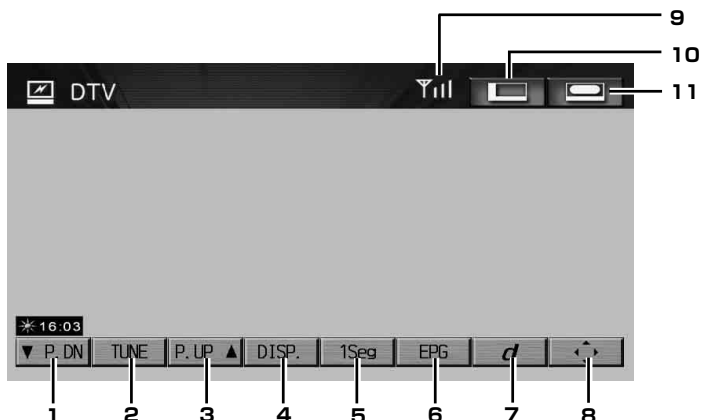
ここでは別売の地上デジタルテレビチューナーTUE-T300接続時の操作を説明しています。TUE-T1接続時の操作説明は329ページをご覧ください。TUE-T300とTUE-T1以外の地上デジタルテレビチューナー接続時の操作については、チューナー側の取扱説明書を参照してください。

- 地上デジタルテレビを操作するには、「外部入力に表示名をつける」(319ページ参照)を「DTV」に設定してください。

地上デジタルテレビ操作画面について

地上デジタルテレビ受信画面から操作画面に切りかえると、以下の画面が表示されます。

■ 地上デジタル操作画面1/2



1 ◀CH.DN

チャンネルが1つずつダウンします。タッチし続けると自動的にチャンネルを探し出し、受信します。

▼P.DN

プリセット番号が1つずつダウンします。

2 TUNE

選局方法(チャンネルまたはプリセット番号)を切りかえます。

3 ▶CH.UP

チャンネルが1つずつアップします。タッチし続けると自動的にチャンネルを探し出し、受信します。

▲P.UP

プリセット番号が1つずつアップします。

4 DISP.

受信状態を表示します。

5 1 SEG

ワンセグ/12セグを切りかえます。TUE-T300接続時は使用しません。

6 EPG

番組情報画面(EPG)を呼び出します。

7 d

データ放送を呼び出します。TUE-T300接続時は使用しません。

8 ◀▶

操作画面を切りかえます。

9 電波レベル

携帯電話接続時に電波レベルを表示します。通話中はタッチスイッチになり、タッチすると電話・通信画面を表示します。

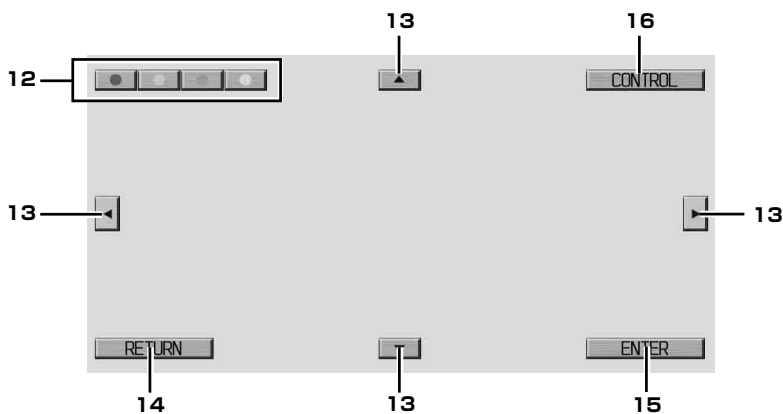
10 マルチインフォメーション画面

マルチインフォメーション画面が表示されます(「マルチインフォメーション画面」29ページ参照)。

11 マルチゲート画面

マルチゲート画面が表示されます(「マルチゲート画面」26ページ参照)。

■ 地上デジタル操作画面2/2



- 12 ● (青) ● (赤) ● (緑)
● (黄)

データ放送受信時に使用します。TUE-T300接続時は使用しません。

- 13 ▲ ▼ ◀ ▶

画面に表示される項目を選択します。

- 14 **RETURN**

1つ前の画面に戻します。

- 15 **ENTER**

選択した項目を決定します。

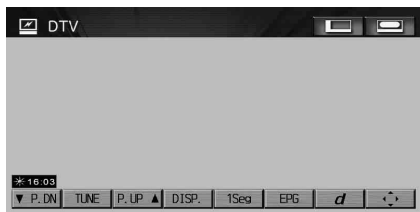
- 16 **CONTROL**

操作画面を切りかえます。

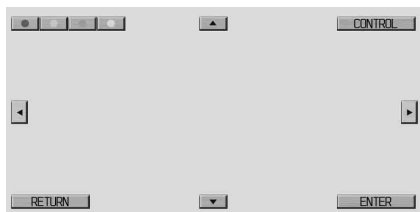
地上デジタルテレビ操作画面への切りかえ方

- 1 地上デジタルテレビ画面で、画面にタッチします。

地上デジタルテレビの操作画面が表示されます。



◀▶ にタッチ ↓ ↑ **CONTROL** にタッチ



- しばらく(約5秒)操作しないと、元の画面に戻ります。

地上デジタルテレビを見る

1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、
サウンド・映像 にタッチします。

2 **DTV** にタッチします。



最後に見ていたチャンネルのテレビ画面が表示されます。

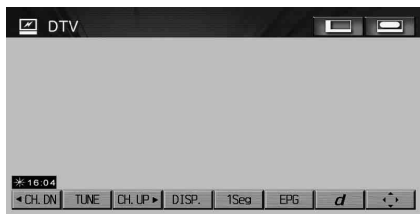
注意

- 安全上の配慮から、停車しているときにだけ地上デジタルテレビをご覧になれます。走行中は、映像は映らずに音声だけが聴こえます。

放送局を選ぶ

手動で放送局を選ぶ

- 1 地上デジタルテレビの操作画面で **TUNE** にタッチして **▼CH.DN**、**CH.UP▲** を表示させます。



チャンネル選択モードに切りかわります。

◀CH.DN、**CH.UP▶** ⇄ **▼P.DN**、**P.UP▲**

- 2 **◀CH.DN** または **CH.UP▶** にタッチして、チャンネルを探します。

◀CH.DN : チャンネルが1つずつダウンします。
タッチし続けると自動的にチャンネルを探し出し、受信します。

CH.UP▶ : チャンネルが1つずつアップします。
タッチし続けると自動的にチャンネルを探し出し、受信します。

登録したチャンネルを呼び出す

あらかじめ記憶(プリセット)されているチャンネルを受信します。

- 1 地上デジタルテレビの操作画面で **TUNE** にタッチして **▼P.DN**、**P.UP▲** を表示させます。



プリセット番号選択モードに切りかわります。

◀CH.DN、**CH.UP▶** ⇄ **▼P.DN**、**P.UP▲**

- 2 **▼P.DN** または **P.UP▲** にタッチして、プリセット番号を探します。

▼P.DN : プリセット番号が1つずつダウンします。

P.UP▲ : プリセット番号が1つずつアップします。

受信情報を表示する

受信中のチャンネルについて、現在時刻、チャンネル情報、受信状態などを表示します。

- 1 地上デジタルテレビの操作画面で **DISP** にタッチします。

画面に受信情報が約5秒間表示されます。



番組情報を見る(EPG)

受信中の番組情報や次番組の情報をすることができます。
さらに詳細な情報を見ることもできます。

- 1 地上デジタルテレビの操作画面で **EPG** にタッチします。



受信中の番組情報と、次番組情報が表示されます。

- 2 EPG画面の操作を行うことができます。

◀、**▶**、**▲**、**▼**、**RETURN**、**ENTER** は **◀▶** にタッチすると表示されます。



- **ENTER** : 選んだ番組を受信します。
- **▲**、**▼** : 番組を選びます。
- **◀**、**▶** : プリセットチャンネルを選局します。
- **RETURN** : EPG画面を表示する前の画面に戻します。

TUE-T1の操作

ここでは地上デジタルテレビチューナーTUE-T1接続時の操作を説明しています。

- 地上デジタルテレビを操作するには、「外部入力」に表示名をつける」(319ページ参照)を「DTV」に設定してください。

🔊 アドバイス

- 初めて使用する時は、プリセットスキャンから始めてください。(「放送局を記憶する(プリセットスキャン)」329ページ参照)

地上デジタルテレビモードに切りかえる

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

- 2 **DTV** にタッチします。



最後に見ていたチャンネルのテレビ画面が表示されます。

🔊 アドバイス

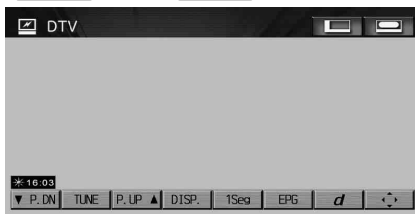
- 操作画面については、「地上デジタルテレビ操作画面について」(322～323ページ)を参照してください。ただし、TUE-T1で使用するタッチスイッチは**▼P.DN** **P.UP▲** **DISP.** の3つのみになります。
- 安全上の配慮から、停車しているときにだけ地上デジタルテレビをご覧になれます。走行中は映像は映らずに音声だけが聴こえます。

放送局を記憶する(プリセットスキャン)

現在受信できるチャンネルを、プリセット番号に自動的に登録します。

- 1 地上デジタルテレビの操作画面で

▼P.DN または **P.UP▲** を長押しします。



- プリセットスキャンを開始します。
- **▼P.DN** または **P.UP▲** が表示されていないときには、**TUNE** にタッチします。

- 2 スキャンしたチャンネルを記憶(プリセット)します。

🔊 アドバイス

- 最大12局まで登録されます。
- すでに登録されているチャンネルがある場合は、新しく登録した内容に書きかえられます。

登録したチャンネルを呼び出す

プリセットスキャンであらかじめ登録されているチャンネルを受信します。

1 地上デジタルテレビの操作画面で

▼P.DN または **▲P.UP** にタッチして、プリセット番号を探します。



▼P.DN : プリセット番号が一つずつダウンします。

▲P.UP : プリセット番号が一つずつアップします。

受信情報を見る

受信中のチャンネルについて、受信情報を表示します。

1 地上デジタルテレビの操作画面で **DISP.** にタッチします。

画面に受信情報が約5秒間表示されます。



1. 放送局名

2. プリセット番号

3. チャンネル番号

番組情報を見る

受信中の番組の、番組情報を見ることができます。

1 地上デジタルテレビの操作画面で **DISP.** にタッチします。

画面に受信情報が約5秒間表示されます。

2 受信情報表示中に、再度 **DISP.** にタッチします。

番組情報が表示されます。



1. 放送局名

2. プリセット番号

3. チャンネル番号

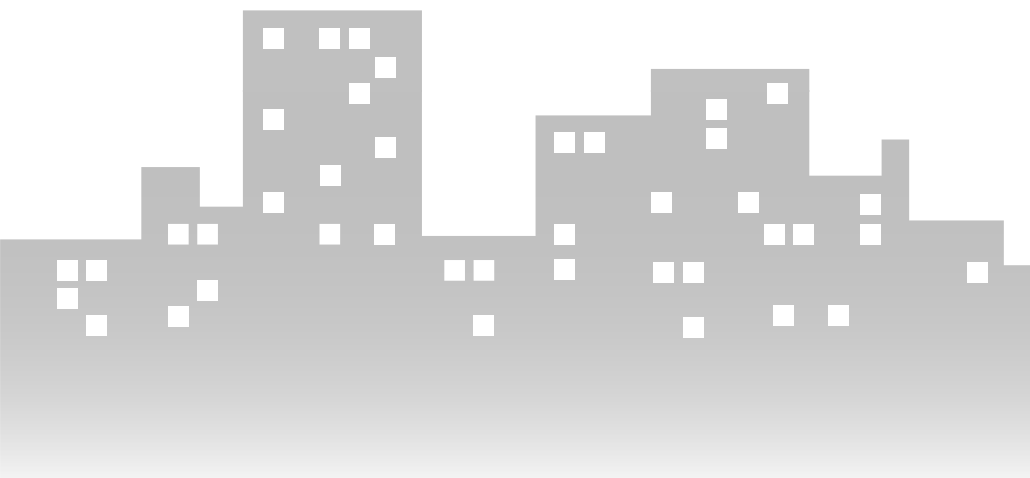
4. 番組情報

3 通常画面に戻るには、もう一度 **DISP.** にタッチします。

設定

サウンド・映像編

サウンド調整画面の操作	332
サウンド調整操作	332
サウンド調整	333
MXモードの設定	333
イコライザー特性(メーカー設定)を選ぶ	
BASS MAX EQ	334
イコライザーカーブの設定 P-EQ	334
バランス/フェダーの設定 BAL./FAD.	335
DEFEAT(ディフィート)のON/OFF	335
サブウーハー出力レベルの調整	335
操作音の設定	336
サラウンドの設定	336
タイムコレクションの設定	338
オーディオ設定	340
X-OVERの設定	340
EASY SETUPの設定	340
画像設定	342
画像を表示する	342
画像設定画面を表示する	342
画面OFF時の壁紙を設定する	343
HDD画像を消去する	343
プレビュー画面を操作する	343
スライドショー機能	344



サウンド調整画面の操作

サウンド調整は、音量調整画面またはi-Personalize設定画面から行います。

音量調整画面、またはi-Personalize設定画面から行う操作は、以下の共通した手順で行います。各項目については、該当ページを参照してください。

アドバイス

- いったん設定値を変更すると、電源を切っても設定は保存され、次に設定値を変更するまで有効です。

サウンド調整操作

音量調整画面

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押したあと、**音量調整** にタッチします。



音量調整画面が表示されます。

- 2 各項目にタッチして、設定を行います。



- 3 **MENU/PWR** スイッチを押してTOPメニュー画面に戻します。

- **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

アドバイス

- Media Xpander、Bass Max EQについては、i-Personalize設定画面からも設定できます。

i-Personalize設定画面

- 1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **i-Personalize** タブにタッチします。



i-Personalize設定画面が表示されます。

- 4 各項目にタッチして、設定を行います。



- 5 **MENU/PWR** スイッチを押してTOPメニュー画面に戻します。

- **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

サウンド調整

車室内では、再生するメディアやお聴きになる音楽の種類、車のボディタイプなどさまざまな要因で音本来の性質を大きく変えられてしまいます。本機は、それらを調整することで最適な音質を設定することができます。

MXモードの設定

MX(Media Xpander)は、FM/CD /MP3 などメディアごとにボーカルや各楽器の音を際立たせ、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます(初期設定値は、「OFF」)。

ここではCDの設定画面を例にして説明します。

1 i-Personalize画面または音量調整画面で

Media Xpander にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(332ページ)参照。



2 「ALL MX OFF/ON」の **ON** または **OFF** にタッチします。



「ON」に設定する場合は、手順3へ進みます。「OFF」に設定する場合は、操作を終了します。

3 レベルを変更する場合は、 **OFF**

○○-MX 1 **○○-MX 2**

○○-MX 3 のいずれかにタッチします。

- 現在再生しているモード(メディア)のレベルを設定できます。
- 設定できるレベルと初期設定値は、メディアごとに異なります。

メディア	LEVEL			
	OFF/ON	1	2	3
CD	OFF	CD MX1	CD MX2	CD MX3
COMPRESS MEDIA	OFF	CMPM MX1	CMPM MX2	CMPM MX3
FM	OFF	FM MX1	FM MX2	FM MX3
AM	OFF	—	—	—
DVD	OFF	MOVIE MX1	MOVIE MX2	DVD MUSIC
TV	OFF	—	—	—
AUX/VCR/ GAME/ EXT.DVD/ DTV	OFF	CMPM MX	MUSIC MX	MOVIE MX

- MP3、WMA、AAC、iPod、HDD AUDIOモード時は「COMPRESS MEDIA」に割り当てられます。
- DVDビデオ、DVDオーディオモード時は「DVD」に割り当てられます。
- 初期設定値はOFFになります。

FM

こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生します。

CD

豊富な情報量を活かしたメリハリのある音を再生します。

COMPRESS MEDIA

圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生します。

DVD

MOVIE:

映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生する。

MUSIC:

ミュージッククリップなどのディスクに対し、メリハリのある音を再生する。

🔊 アドバイス

- 手順2の操作で **OFF** にタッチすると、すべてのメディアで「OFF」となります。
- 手順3の操作で **OFF** にタッチすると、再生しているモードのみを解除します。
- MXレベルは1→2→3の順で効果が大きくなります。
- AMラジオやテレビは、Media Xpanderを「ON」にしても効果は得られません。
- ディフィートがONのときは、操作を受けつけません。

イコライザー特性(メーカー設定)を選ぶ BASS MAX EQ

あらかじめ設定されているイコライザー特性を選択し、好みの音質に設定できます(初期設定値は、「FLAT」)。

- 1 i-Personalize画面で **BASS MAX EQ** にタッチします。
または音量調整画面で **Bass Max EQ** にタッチします。
「サウンド調整画面の操作」(332ページ)参照。

- 2 設定したいジャンルにタッチします。



🔊 アドバイス

- ディフティートがONのときは、操作を受けつけません。

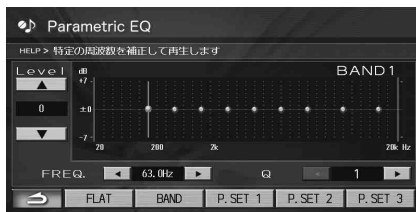
イコライザーカーブの設定 P-EQ

好みのイコライザーカーブを設定します(初期設定値は、「FLAT」)。

- 1 i-Personalize設定画面で **P-EQ** にタッチします。
「サウンド調整画面の操作」(332ページ)参照。
Parametric EQ設定画面が表示されます。
 - EASY SETUP, BASS MAX EQを設定しているときは、設定しているイコライザーカーブが表示されます。

- 2 **BAND** にタッチし、調整するバンドを選びます。

- タッチするごとにバンドが切りかわります。
(バンド1~バンド9)



- 3 「FREQ.」の ◀ または ▶ にタッチして周波数を調整します。

- 4 「Q」の ◀ または ▶ にタッチしてバンド幅を調整します。

- 5 「Level」の ▲ または ▼ にタッチしてレベルを調整します。

- 6 さらに別のバンドを設定するには、手順2~5を繰り返し、すべてのバンドを設定します。

- 7 調整した設定値を記憶するには、
P.SET 1 **P.SET 2** **P.SET 3** のいずれかにタッチし続けます。

- Preset-1~3に3種類の設定を記憶させることができます。

🔊 アドバイス

- **FLAT** にタッチすると、設定した内容をフラットの状態にすることができます。
- ディフティートがONのときは、操作を受けつけません。
- 隣り合うバンドの周波数を超過して設定することはできません。

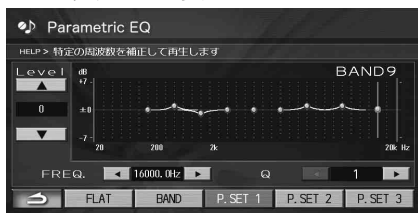
イコライザーカーブを呼び出す

記憶したイコライザーカーブを呼び出します。

1 i-Personalize設定画面で **P-EQ** にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(332ページ)参照。

2 **P.SET 1** **P.SET 2** **P.SET 3** のいずれかにタッチします。



バランス/フェダーの設定 BAL./FAD.

前後・左右のスピーカーの音量バランスを別々に調整することにより、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。(初期設定値は、FAD.:0、BAL.:0)。

1 音量調整画面のバランスポイントエリア内の好みのポイントにタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(332ページ)参照。



- 微調整するときは、**▲** **▼** **▶** **◀** にタッチしてください。
- BALANCE: L15~R15, FADER: R15~F15 の範囲内で調整することができます。
- 初期設定値「FADER 0、BALANCE 0」に戻すには、**センター** にタッチします。

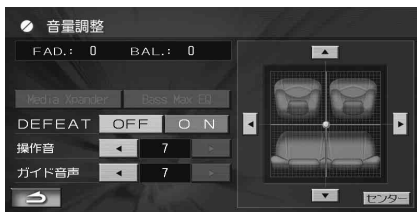
DEFEAT(ディフィート)のON/OFF

ONに設定すると、MXをOFF、EQを初期設定状態に戻します。OFFにすると、設定した値に戻ります(初期設定値は「OFF」)。

1 音量調整画面で、「DEFEAT」の

ON または **OFF** にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(332ページ)参照。



アドバイス

- DEFEATをONに設定すると **Media Xpander**、**BASS MAX EQ**、**P-EQ**、**EASY SETUP** はトーンダウンして操作できなくなります。

サブウーハー出力レベルの調整

「スピーカーを設定する」(337ページ)でサブウーハーをONに設定時に、設定することができます(初期設定値は「0」)。

1 音量調整画面で、「サブウーハー」の

◀ または **▶** にタッチしてサブウーハー出力レベルを調整します。

「サウンド調整画面の操作」(332ページ)参照。



操作音の設定

スイッチを押した時の操作音の音量を設定することができます(初期設定値は「4」)。

- 1 音量調整画面で、「操作音」の ◀ または ▶ にタッチして音量レベルを調整します。
「サウンド調整画面の操作」(332ページ)参照。



- OFFに設定すると、操作音が出力されなくなります。

アドバイス

- ガイド音声も同様に設定できます。「案内音量を調整する」(55ページ)を参照してください。

サラウンドの設定

DOLBY PRO LOGIC IIを使う

2チャンネルで録音された音楽信号にプロロジック処理を行い、DOLBY PRO LOGIC II サラウンドとして楽しむことができます(初期設定値は「OFF」)。

- 1 i-Personalize設定画面で **サウンド設定** にタッチします。
「サウンド調整画面の操作」(332ページ)参照。

- 2 **Dolby PL II 設定** にタッチします。

- 3 「Dolby PL II モード」のお好みのモードにタッチします。



MOVIE

映画再生に適しています。

MUSIC

音楽再生に適しています。

PANORAMA

フロントのステレオイメージをサラウンドスピーカーまで拡張して包み込みを大きくしています。

OFF

Dolby PL II 機能をOFFにします。

アドバイス

- DVDビデオモード時のみ有効です。DVD以外のソースをサラウンド再生したい場合は、EUPHONYで設定してください(「EUPHONYを設定する」337ページ参照)。

音像を調整する

臨場感ある音声を再現するには、センタースピーカーをリスニングポジションの真正面に置かなくてはなりません。この機能で仮想的に、センタースピーカーの音を両サイドに振り分けることにより、センタースピーカーが真正面にあるような音像を作り出すことができます。

- 1 i-Personalize設定画面で

サウンド設定 にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(332ページ)参照。

- 2 **Dolby PL II** にタッチします。

- 3 「BI-PHANTOM」の ◀ または ▶ にタッチしてレベルを調整します。



- レベルは-5～+5まで調整でき、レベルが大きくなると、音像はセンタースピーカーの位置から両サイドに移ります。
- **ON** がオレンジ色のときにタッチすると、「OFF」に設定されます。OFFに設定すると、BI-PHANTOM機能はOFFになります。

迫力のある大音量再生を楽しむ

ドルビーデジタルでは通常の音量で十分な迫力が楽しめるように「ダイナミックレンジ」が圧縮されています。この圧縮を解除することにより、更に迫力のある「映画館のようなエネルギー感」のある音を楽しむことができます(初期設定値は「STD」)。

- 1 i-Personalize設定画面で
サウンド設定 にタッチします。
- 2 **Dolby PL II** にタッチします。
- 3 「リスニングモード」の **STD** または **MAX** にタッチします。



STD

通常の音量で迫力のある音を楽しむときに設定します。

MAX

大音量で迫力のある音を楽しむときに設定します。

バーチャル5.1ch再生を設定する

DVD以外の2チャンネルのソースを、音質、定位をより明瞭で迫力ある音像で、仮想5.1ch再生します。(初期設定値は「しない」)。

- 1 i-Personalize設定画面で
サウンド設定 にタッチします。
「サウンド調整画面の操作」(332ページ)参照。
- 2 **バーチャル5.1ch設定** 設定にタッチします。
- 3 「バーチャル5.1ch再生」の **する** または **しない** にタッチします。



EUPHONYを設定する

バーチャル5.1ch再生が「する」設定時のみ、設定を行うことができ、お好みの音に設定することができます(初期設定値は「SYMPHONY」)。

- 1 i-Personalize設定画面で
サウンド設定 にタッチします。
「サウンド調整画面の操作」(332ページ)参照。
- 2 **バーチャル5.1ch設定** にタッチします。
- 3 「EUPHONY設定」の **SYMPHONY** **NATURAL** **AMBIENT** **MATRIX** のいずれかにタッチします。
SYMPHONY : マルチセッション感のある音で再生
NATURAL : バランスのとれたマルチチャンネル再生
AMBIENT : 包まれ感のあるマルチチャンネル再生
MATRIX : モノラルソースを広がり感のある音で再生

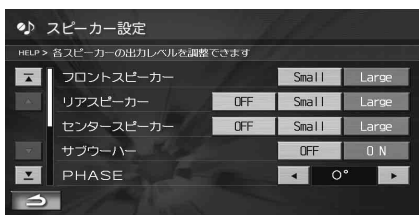


スピーカーを設定する

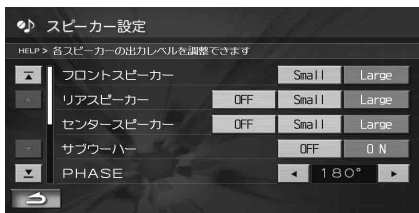
お使いになるスピーカーの再生周波数帯域に応じて本機を設定することができます。この操作を行う前に、各スピーカー(サブウーハー以外)の再生周波数帯域を調べて低音再生が可能かを確認してください(80Hz以下が目安です)。

- 1 i-Personalize設定画面で
サウンド設定 にタッチします。
「サウンド調整画面の操作」(332ページ)参照。
- 2 **スピーカー設定** にタッチします。

- 3 接続しているスピーカーの **OFF** **Small** **Large** のいずれかにタッチします。
サブウーハーは **ON** または **OFF** にタッチします。フロントスピーカーは **Small** または **Large** にタッチします。



- 4 サブウーハーをONに設定した場合は、「PHASE」の ◀ または ▶ にタッチして位相を切りかえます。
お好みの音が得られる方を選んでください。



- 5 続けて各スピーカーの音量が同じ大きさになるように調整します。▼ にタッチして画面を切り替え、**テストトーン** にタッチします。



テストトーンが各スピーカーから順に2秒ずつ出力されます。

- 6 各スピーカーからテストトーンが鳴っている時に、◀ または ▶ にタッチしてそれぞれの音量が同じになるように出力レベルを調整します。
- 各スピーカーは-6dB～+6dBの範囲で調整を行うことができます。
 - フロントスピーカーを基準に調整を行ってください。

🔊 アドバイス

- X-OVERの設定を行う場合は、フロント/リアスピーカーを「Large」に設定してください。「Small」に設定すると100Hz固定のHPFが設定されるため、X-OVERで設定したHPFと二重に適用され、一部の周波数の音が再生されなくなります。

タイムコレクションの設定

音が各スピーカーから耳に届くまでの時間を補正し、距離の違いによって生じる到達時間差を調整することができます。

🔊 アドバイス

- タイムコレクション設定を行うまえに、「タイムコレクション(時間補正)について」(339ページ)を参照してください。

音の到達時間の補正

お好みのリスニングポジションの到達時間差を設定します(初期設定値「0.0ms」)。

- 1 i-Personalize設定画面で **T.CORR** にタッチします。
「サウンド調整画面の操作」(332ページ)参照。

- 2 各スピーカーの ◀ または ▶ にタッチして、時間補正値を調整します。



- 初期設定値「0.0ms」に戻すには、**初期化** にタッチします。

- 3 調整した設定値を記憶するには、**P.SET 1** ~ **P.SET 3** のいずれかにタッチし続けます。

🔊 アドバイス

- ディスクに記録されている音声チャンネル数がマルチチャンネルの場合、20.0msまで調整することができます。ディスクに記録されている音声チャンネル数が2chの場合、9.9msまで(6ch合計20msまで)調整することができます。

時間補正値を呼び出す

記憶した時間補正値を呼び出します。

1 i-Personalize設定画面で、**T.CORR** にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(332ページ)参照。

2 **P.SET 1** **P.SET 2** **P.SET 3** のいずれかにタッチします。



タイムコレクション(時間補正)について

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。リスニングポジションでの時間差を取り除くときにこの機能を使います。ここでは、時間補正値の算出方法について説明します。

1 リスニングポジション(運転席など)に座り、頭の位置と各スピーカーの距離(m)を測定します。

2 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出します。

$L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$

3 スピーカーごとに算出した距離を音速(343m/s気温20℃)で割り、1000をかけます。

その値が各スピーカーの時間補正値となります。

●具体例

下記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正値を算出する。

(条件):

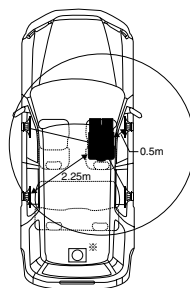
一番遠いスピーカー〜リスニングポジション:2.25m

フロント右側スピーカー〜リスニングポジション:0.5m

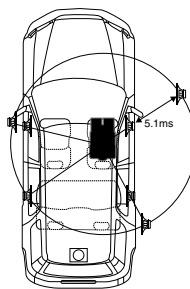
(算出): $L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$

補正時間 = $1.75 \div 343 \times 1000 = 5.1 \text{ (ms)}$

つまり、フロント右側スピーカーの時間補正値に5.1 (ms) 与えることで、見かけの距離を持たせて、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。右前スピーカーと左後スピーカーでは1.75mの差がある。



時間補正により到達時間差が解消される。

右前スピーカーに5.1 msの時間補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

オーディオ設定

X-OVERの設定

HPF(ハイパスフィルター)/LPF(ローパスフィルター)を設定することで好みの音響空間を再現することができます。

1 i-Personalize設定画面で **X-OVER** にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(332ページ)参照。
X-OVER設定画面が表示されます。

2 **BAND** にタッチし、調整するバンドを選びます。



• タッチすることによりバンドが切りかわります。
フロントHPF→リアHPF→サブウーハーLPF→フロントHPF

HPF: 設定した周波数より上の周波数帯域を出力する。

LPF: 設定した周波数より下の周波数帯域を出力する。

本機のサブウーハー出力をOFFに設定した場合、LPF機能は使用できません。

3 「FREQ.」の ◀ または ▶ にタッチして、カットオフ周波数(クロスオーバーポイント)を選びます。

4 「SLOPE」の ◀ または ▶ にタッチして、HPFまたはLPFのスロープを調整します。

5 「LEVEL」の ▲ または ▼ にタッチして、出力レベルを調整します。

6 さらに別のバンドを設定するには、手順2～5を繰り返し、すべてのバンドを設定します。

7 調整した設定値を記憶するには、**P.SET1** **P.SET2** **P.SET3** のいずれかにタッチし続けます。

アドバイス

- **FLAT** にタッチすると、設定した内容をフラットの状態にすることができます。
- スピーカーがOFFモードの時は、そのスピーカーのX-OVERは設定できません。「スピーカーを設定する」(337ページ)を参照してください。
- 調整は、接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。

X-OVERの調整値を呼び出す

記憶したX-OVERの調整値を呼び出します。

1 i-Personalize設定画面で **X-OVER** にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(332ページ)参照。

2 **P.SET1** **P.SET2** **P.SET3** のいずれかにタッチします。



EASY SETUPの設定

本機はEASY SETUPを設定することができます。使用車種を選ぶと自分の車に適した音響を再現することができます。さらに使用フロントスピーカーの口径やツイーターの有無、シート材質を設定することで車室内の細かな音響の調整ができ、お客様の使用環境に合わせた音響空間を再現することができます(初期設定値は、「OFF」)。

アドバイス

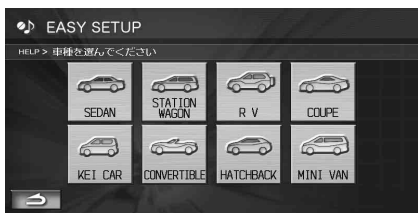
- スピーカーのサイズ、シートタイプは必ず選択してください。
- フロントスピーカーのサイズ、ツイーターの有無、シートタイプについてご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ディフィートがONのときは、操作を受けつけません。

1 i-Personalize設定画面で

EASY SETUP にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(332ページ)参照。

2 一覧からお客様の車種にタッチします。



3 お客様のドライバースートの位置にタッチします。



4 お客様のフロントスピーカーのサイズにタッチします。



5 ツィーターの有無にタッチします。



6 リアスピーカーの設置位置を選んでタッチします。



7 サブウーハーの有無を選んでタッチします。



8 センタースピーカーの有無を選んでタッチします。



9 モケット レザー ハーフレザーのいずれかにタッチします。



- お車のシートに皮製の生地が使われている場合は **レザー** に、クロス地の場合は **モケット** に、皮とクロスの両方を使用している場合は **ハーフレザー** にタッチしてください。

10 設定内容を確認し、完了にタッチします。



i-Personalize設定画面に戻ります。

画像設定

HDDオーディオ操作画面や壁紙に表示する画像を選ぶことができます。また、SDメモリーカードに記録したお好みの画像データを、HDDにコピーして表示させることができます。

画像を表示する

HDDオーディオ操作画面、電話画面に表示する画像を設定します。

1 各操作画面の **編集** にタッチします。



編集画面が表示されます。

2 **画像編集** にタッチします。

画像編集画面が表示されます。

3 表示したい画像にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

選択した画像が画面に表示されます。



- 画像がどのモードで使用されているか、アイコンで表示されます。

: HDDオーディオ操作画面

: 電話画面

: 画面OFF時

アドバイス

- 画面OFF時の画像の設定方法は、「画面OFF時の壁紙を設定する」(343ページ)を参照してください。
- 電話着信中、通話中に表示される画像の設定方法は、「画像を登録する」(162ページ)を参照してください。

画像設定画面を表示する

画像データに関する操作は、画像設定画面から行います。画像設定画面の表示方法は以下の通りです。

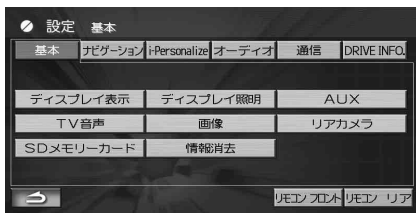
1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。



2 **設定を変える** にタッチします。



3 **基本** タブにタッチし、**画像** にタッチします。



画像設定画面が表示されます。

アドバイス

- SDメモリーカードの画像の操作については、「SDメモリーカードの画像をHDDに追加する」(272ページ)を参照してください。

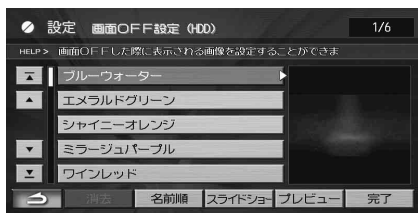


画面OFF時の壁紙を設定する

画面表示をOFFにしたとき表示される壁紙を設定することができます(「画面を消す」25ページ参照)。

- 1 画像設定画面で **画面OFF** にタッチします。
「画像設定画面を表示する」(342ページ参照)
画面OFF設定(HDD)画面が表示されます。

- 2 画面OFFにしたとき表示される壁紙の画像をタッチして選択します。

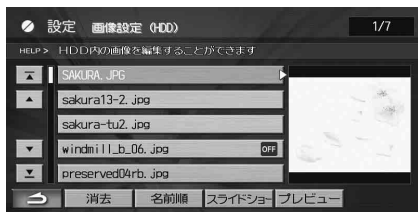


- 3 **完了** にタッチします。
 - **名前順** / **登録順** にタッチすると、画像リストが並べかえられます。
名前順: 画像の名称順
登録順: 新しく登録した順

HDD画像を消去する

- 1 画像設定画面で **HDD画像** にタッチします。
「画像設定画面を表示する」(342ページ参照)

- 2 消去したい画像をタッチして選択します。



- 3 **消去** にタッチします。
 - 全ての画像を消去するには、**消去** にタッチし続けます。
消去を確認するメッセージが表示されます。

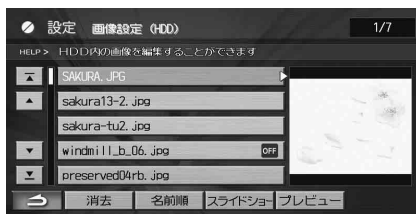
- 4 **はい** にタッチします。

画像が消去されます。

- **名前順** / **登録順** にタッチすると、画像リストが並べかえられます。
名前順: 画像の名称順
登録順: 新しく登録した順

プレビュー画面を操作する

- 1 **HDD画像**、**SD画像**、**ディスプレイOFF**の画像設定画面で、表示したい画像にタッチして選択します。



- 2 **プレビュー** にタッチします。
選択した画像が全画面表示されます。

- 3 前後の画像を表示するには、**◀◀** または **▶▶** にタッチします。



- 4 プレビューを終了するには、**⏮** にタッチします。

スライドショー機能

- 1 HDD画像、SD画像、ディスプレイOFFの画像設定画面で、スライドショーにタッチします。



スライドショーが始まり、全ての画面が自動的に5秒間ずつ表示されます。

全ての画面を次々と表示するスライドショーが始まります。各画面は5秒間ずつ表示されます。

- 2 スライドショーをやめるには  にタッチしてください。

④ アドバイス

- スライドショーは、「名前順」または「登録順」のどちらか現在設定されている順序で表示されます。

リモコン操作

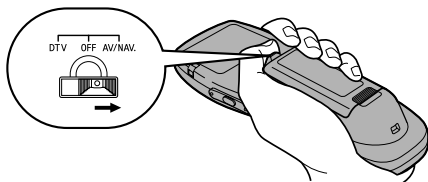
その他

リモコンを使いこなす	346
切りかえスイッチについて	346
ジョイスティックの倒し方	346
ジョイスティックの押し方	346
電池の出し入れ	347
リモコン操作	348
基本操作	348
ナビゲーション操作	350
ナビゲーションのリモコン操作例	351
電話操作	358
オーディオ操作	359
TV操作	361
DVD/ビデオCD操作	362
地上デジタルTV操作	363

リモコンを使いこなす

切りかえスイッチについて

- 本機を操作するには「AV/NAV.」側に切りかえてください。



- 地上デジタルチューナーを操作するには「DTV」側に切りかえてください。

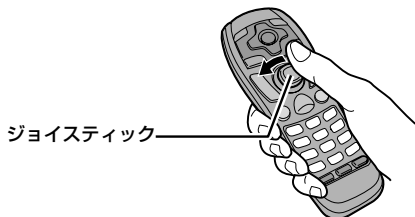
① アドバイス

- 「OFF」に切りかえるとリモコン操作はできなくなります。

ジョイスティックの倒し方

ジョイスティックは、スイッチを選んだり地図を動かしたりする重要な部分です。上下左右への動かし方を理解してください。

- 左に倒すときは、ジョイスティックの右側に親指を置き、左に倒します。



- 下に倒すときは、ジョイスティックの上側に親指を置き、手前に押し倒します。



ジョイスティックの押し方

- 1 「決定」と書かれた面(決定ボタン)に親指を置きます。



- 2 そのまま押し込みます。



② アドバイス

- 慣れるまでは、電池を抜いてこれら操作を繰り返し、リモコン操作を理解されることをお勧めします。

(例) メニューボタンの押しかた



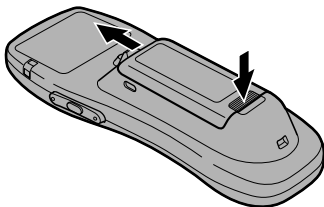
10キーの押しかた



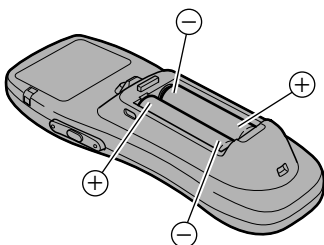


電池の出し入れ

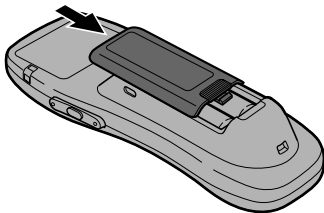
- 1** 下図のみぞの部分を押しながら前方へ押しフタをはずします。



- 2** 刻印されている電池の向きに合わせ、単4乾電池を2本入れます。



- 3** フタを置いてカチッと音がするところまで差し込みます。

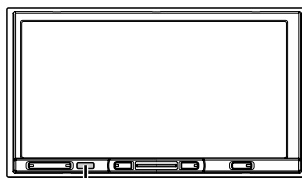


取り扱い上のご注意

- リモコンは直射日光の当たるところには置かないでください。長時間放置すると変形や変色したり、故障の原因になります。
- ナビゲーションを長い期間使用しないときは、リモコンの電池を取り出してください。取り出した電池は幼児の手の届かなくところに保管してください。
- 乾電池は充電しないでください。液漏れの原因になります。
- 電池の液漏れが起こったときは、付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れかえてください。
- リモコン操作の感度が下がってきたときは、新しい電池と交換してください。
- 電池の交換は全部新しいものと入れかえてください。使用した電池を混ぜて使ったり、種類の違う電池を混ぜて使わないでください。

アドバイス

- リモコンを操作するときは、リモコンの先端をリモコン信号受信部に向けて(2mかつ上下左右30度以内)お使いください。
- リモコン信号受信部またはリモコン受光ユニットに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。

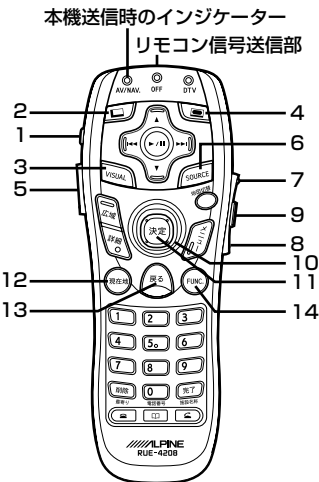


リモコン信号受信部

リモコン操作

本機添付のリモコンから、タッチ操作と同様に操作を行うことができます。
モード切りかえスイッチを「AV/NAV.」側に切りかえてください。（「切りかえスイッチについて」346ページ参照）

基本操作



1	①	本機の電源をON/OFFします。
2		全画面→マルチインフォメーション画面に切りかえます。マルチインフォメーション画面表示時は、押す毎に映像ソースのみを切りかえます。
3	VISUAL	マルチインフォメーション画面→全画面に切りかえます。全画面表示時は、押す毎に映像ソースのみを切りかえます。
4		マルチゲート画面に切りかえます。
5	LIGHT	リモコンボタンの照光部分が点灯します。
6	SOURCE	音声ソースを切りかえます。
7	VOLUME ^	音量が大きくなります。
8	VOLUME V	音量が小さくなります。
9	MUTE	瞬時に音量が下がります。再度押すと元の音量に戻ります。
10	ジョイスティック	画面に表示される項目を選びます。
11	決定	選択した項目を決定します。
12	現在地	現在地画面を表示します。
13	戻る	1つ前の画面に戻ります。
14	FUNC.	カーソルが移動するフォーカスエリアを切りかえます。押し続けるとフォーカスエリアを解除します。

フォーカスエリアについて

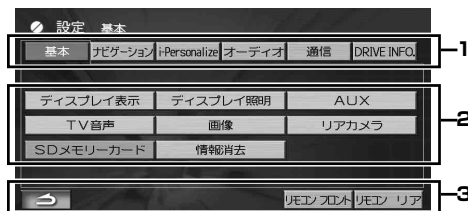
カーソルはフォーカスエリアの中だけを移動します。その為、画面によってはフォーカスエリアのON/OFFや切り替えが必要です。

1 FUNC. を押します。

黄色で選択されたタッチスイッチが現れ、リモコンで操作可能な状態になります。これを、“フォーカスエリアが現れる”と表現しています。

2 FUNC. を繰り返し押します。

下記の順序で、フォーカスエリアが切りかわります。
1→2→3→1



フォーカスエリア解除状態(地図画面操作)→1→2→1



- 現在のフォーカスエリアの中の項目のみ、選択・決定を行うことができます。

3 フォーカスエリアを解除するには、FUNC. を2秒以上押します。

- 地図画面を操作する場合は、フォーカスエリアを解除してください。

サウンド・映像ソースを切りかえる

1 SOURCE を押します。

押すごとに、音声ソースのみが切りかわります。



※1 SDメモリーカード挿入時のみ。

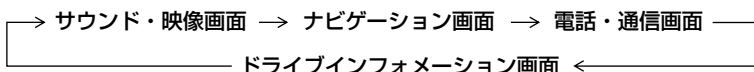
※2 「外部接続」あり設定時のみ(319ページ参照)。

※3 iPod接続時のみ

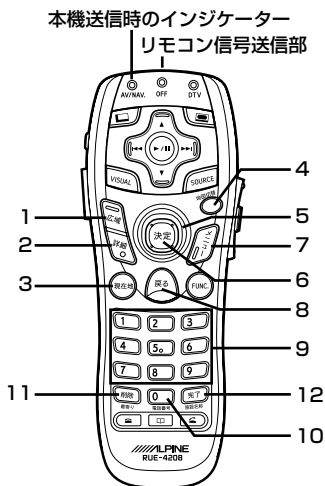
音声はそのまま映像ソースのみを切りかえる

1 全画面表示時(VISUAL)を繰り返し押します。または、インフォメーション画面表示時に[]を繰り返し押します。

押すごとに映像ソースのみが切りかわります。



ナビゲーション操作



1	広域	広い範囲の地図を表示します。
2	詳細	狭い範囲の地図を表示します。
3	現在地	現在地画面を表示します。
4	地図切替	地図表示を切りかえます。
5	ジョイスティック	メニューの選択や、地図の移動を行います。 押し込むことで最速でスクロールします。
6	決定	メニューの決定や、地点の指定を行います。
7	メニュー	TOP MENU画面を表示します。
8	戻る	1つ前の画面に戻ります。
9	1～9	数字の1～9を入力します。
10	0/電話番号	数字の0を入力します。/「電話番号から探す」画面を呼び出します。
11	削除/最寄り	入力した文字を1つ削除します。/「現在地周辺から探す」または「ルート周辺から探す」(ルート走行中)画面を呼び出します。
12	完了/施設名称	数字入力を完了します。/「施設を50音で探す」画面を呼び出します。



ナビゲーションのリモコン操作例

ここではリモコンによるナビゲーション操作を、自宅登録などを例にして説明します。



：一つ前の画面に戻る



：操作をキャンセルする

自宅を登録する

- 1 **メニュー**を押します。
TOP MENU画面が表示されます。



- 2 **FUNC.**を押します。
フォーカスエリアが現れます。



- 3 ジョイスティックで「ナビメニュー」を選び、
決定を押します。
ナビゲーション画面が表示されます。



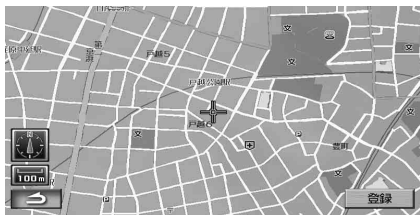
- 4** **FUNC.**を押してフォーカスエリアを切りかえます。
フォーカスエリアを2に切りかえます。



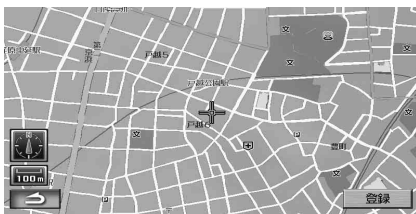
- 5** ジョイスティックで「自宅」を選び、**決定**を押します。



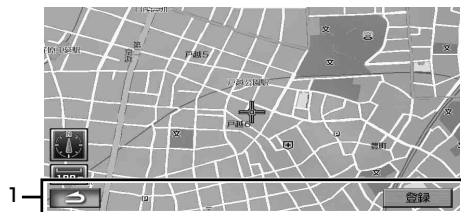
- 6** **FUNC.**を2秒以上押します。
フォーカスエリアが解除されます。



- 7** ジョイスティックを倒して地図をスクロールし、自宅にカーソルを合わせ **決定**を押します。

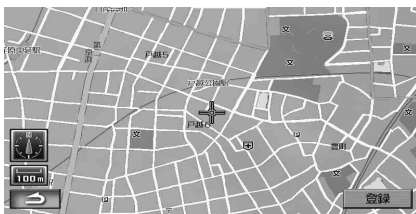


- 8** **FUNC.**を押します。
フォーカスエリアが1のエリアに現れます。



- フォーカスエリアを解除して再度地図をスクロールさせるには、**FUNC.**を2秒以上押します。

- 9** ジョイスティックで「登録」を選び、**決定**を押します。
自宅が登録されます。



- 10 **現在地**を押して、自車位置画面に戻します。

ルートを引く

ここでは電話番号で地点を検索する手順を例に、リモコンでルートを引く操作を説明します。

- 1 下記のどちらかの方法で、電話番号から地点を検索します。

- ① **メニュー**を押します。
TOP MENU画面が表示されます。



・手順2に進みます。

- ② **0/電話番号**を押します。
ダイレクト呼び出しボタンにより、電話番号入力画面が表示されます。



・手順7に進みます。

- 2 **FUNC.**を押します。
フォーカスエリアが現れます。



- 3 ジョイスティックで「ナビメニュー」を選び、**決定**を押します。
ナビゲーション画面が表示されます。



- 4 ジョイスティックで「行き先を決める」を選び、**決定**を押します。
行き先画面が表示されます。



- 5 ジョイスティックで「番号で探す」を選びます。



- 6 **FUNC.**を押してフォーカスエリアを切りかえます。
フォーカスエリアが1→2に切りかわります。



- 7 ジョイスティックで「電話番号」を選び、**決定**を押します。



- 8 10キーで電話番号を入力します。



- ジョイスティックで数字を選んで**決定**を押し、入力することもできます。
- **削除**を押すと、入力した数字を1つ削除します。

- 9 **完了**を押します。



- 個人宅の電話番号を入力した場合は、名字入力画面が表示されます。手順10に進んでください。
- 施設の電話番号を入力した場合は、検索地点の地図が表示されます。手順11に進んでください。
- ジョイスティックで「完了」を選んで**決定**を押す場合は、**FUNC.**を押してフォーカスエリアを切りかえる必要があります。

- 10 ジョイスティックで個人名を入力し、**完了**を押します。



- **削除**を押すと、入力した文字を1つ削除します。
- 「削除」「小文字入力」「完了」を選択するには**FUNC.**を押してフォーカスエリアを切りかえます。

11 ジョイスティックで「目的地」を選び、 決定を押します。



- ・「登録」を選んで「決定」を押すと、検索した地点を登録します(94ページ参照)。
- ・「経由地」を選んで「決定」を押すと、経由地として登録されます(76ページ参照)。
- ・「もより」を選んで「決定」を押すと、周辺施設の検索を行います(53ページ参照)。

12 探索終了後、「全ルート」が表示されます。 ジョイスティックでルートを選び、「決定」を押します。 ルートは「推奨」「一般」「距離」「道幅」「別ルート」の計 5ルートを同時に表示します。



13 FUNC.を押してフォーカスエリアを切り かえます。 フォーカスエリアが2のエリアに切りかわります。



14 ジョイスティックで「案内開始」を選び、 決定を押します。



15 走行すると自車位置画面を表示し、ルート案 内を開始します。



設定を変更する

- 1 **メニュー**を押します。
TOP MENU画面が表示されます。



- 2 **FUNC.**を押します。
フォーカスエリアが現れます。



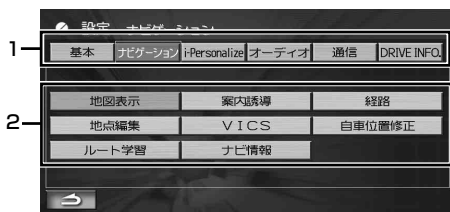
- 3 ジョイスティックで「ナビメニュー」を選び、**決定**を押します。
ナビゲーション画面が表示されます。



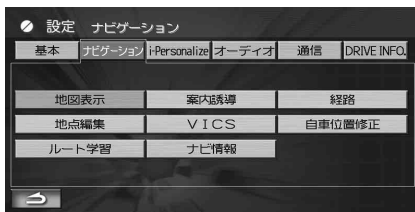
- 4 ジョイスティックで「設定を変える」を選び、**決定**を押します。



- 5 **FUNC.**を押してフォーカスエリアを切りかえます。
フォーカスエリアを2に切りかえます。



- 6 ジョイスティックで項目を選び、**決定**を押します。
選んだ項目の設定画面を表示します。



- 7 ジョイスティック↑↓で項目を選び、ジョイスティック←→で設定を変更し、**決定**を押します。

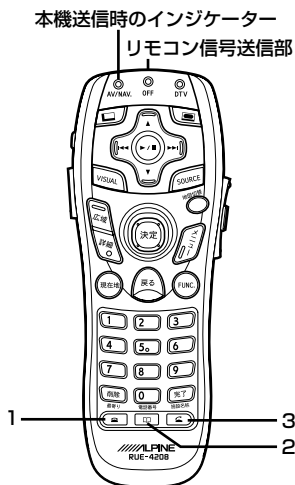


- **詳細**を押すと次のページに送ることができます。**広域**を押すと前のページに送ることができます。

- 8 **現在地**を押して、自転車位置画面に戻します。



電話操作

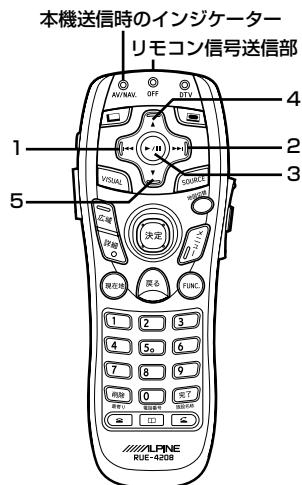


1		電話を切ります。
2		「電話帳」画面を表示します。
3		かかってきた電話を受けます。



オーディオ操作

ラジオ操作



1	◀◀	チャンネルが1つずつダウンします。押し続けると連続して変化します(マニュアルモード)。自動的にチャンネルを探し出し、受信します(ディスタンスモードまたはローカルモード)。
2	▶▶	チャンネルが1つずつアップします。押し続けると連続して変化します(マニュアルモード)。自動的にチャンネルを探し出し、受信します(ディスタンスモードまたはローカルモード)。
3	▶/II	押すごとにチューニングモードを切りかえます。 → DX SEEK → SEEK → (消灯) — ◀◀, ▶▶ ◀◀, ▶▶ ◀◀, ▶▶ ディスタンスモード ローカルモード マニュアルモード 長押しするとオートメモリーを行います。

CD/MP3/WMA/AAC操作

1	◀◀	曲の頭出しを行います。押し続けると早戻しを行います。
2	▶▶	曲の頭出しを行います。押し続けると早送りを行います。
3	▶/II	一時停止/再生を行います。
4	▲	次のフォルダーを選びます(MP3/WMA/AAC)。
5	▼	前のフォルダーを選びます(MP3/WMA/AAC)。

リモコン操作

HDDオーディオ操作

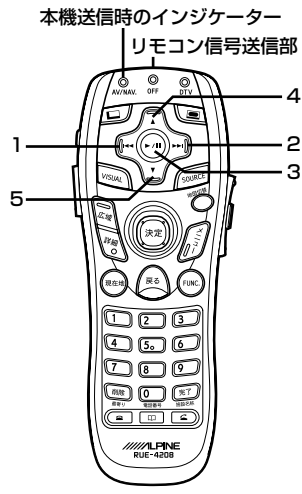
1	⏮	曲の頭出しを行います。押し続けると早戻しを行います。
2	⏭	曲の頭出しを行います。押し続けると早送りを行います。
3	⏸/⏮	一時停止/再生を行います。
4	▲	プレイリスト/アーティスト/アルバム/ジャンル(最後にサーチで絞り込んだモード)を切りかえます。
5	▼	プレイリスト/アーティスト/アルバム/ジャンル(最後にサーチで絞り込んだモード)を切りかえます。

iPod操作

1	⏮	曲の頭出しを行います。押し続けると早戻しを行います。
2	⏭	曲の頭出しを行います。押し続けると早送りを行います。
3	⏸/⏮	一時停止/再生を行います。
4	▲	プレイリスト/アーティスト/アルバム/ジャンル(最後にサーチで絞り込んだモード)を切りかえます。
5	▼	プレイリスト/アーティスト/アルバム/ジャンル(最後にサーチで絞り込んだモード)を切りかえます。

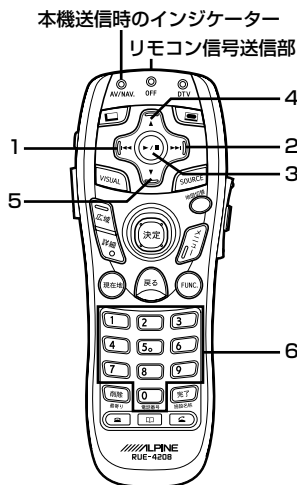


TV操作



1	◀◀	チャンネルが1つずつダウンします。押し続けると連続して変化します(マニュアルモード)。自動的にチャンネルを探し出し、受信します(SEEKモード)。
2	▶▶	チャンネルが1つずつアップします。押し続けると連続して変化します(マニュアルモード)。自動的にチャンネルを探し出し、受信します(SEEKモード)。
3	▶/II	押すごとにチューニングモードを切りかえます。 → SEEK → (消灯) ◀◀, ▶▶ ◀◀, ▶▶ SEEKモード マニュアルモード 長押しするとオートメモリーを行います。
4	▲	プリセットが1つずつアップします。
5	▼	プリセットが1つずつダウンします。

DVD/ビデオCD操作



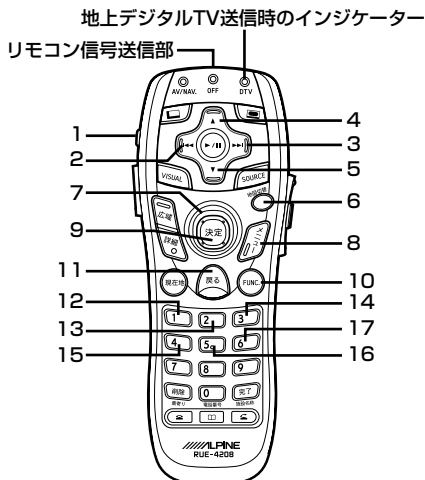
1	◀◀	映像の頭出しを行います。 押し続けると早戻しを行います。 - DVDオーディオ (VCAPモード)/DVDビデオ/DVD-VR/ビデオCD: 再生中に押し続けると、2倍速で早戻しをします。さらにその状態で5秒以上押し続けると8倍速で早戻しをができます。10秒以上押し続けると32倍速で早戻しができます。 - DVDオーディオ (VOFFモード): 再生中または一時停止中に押し続けると21倍速で早戻しができます。
2	▶▶	映像の頭出しを行います。 押し続けると早送りをを行います。 - DVDオーディオ (VCAPモード)/DVDビデオ/DVD-VR/ビデオCD: 再生中に押し続けると、2倍速で早送りをします。さらにその状態で5秒以上押し続けると8倍速で早送りをができます。10秒以上押し続けると32倍速で早送りができます。 - DVDオーディオ (VOFFモード): 再生中または一時停止中に押し続けると21倍速で早送りができます。
3	▶/II	一時停止/再生を行います。
4	▲	DVDオーディオ (VCAPモード): 次の静止画を表示します。押し続けると Home Pageを表示します。 DVD-VR: 次のプログラム/プレイリストを選びます。
5	▼	DVDオーディオ (VCAPモード): 前の静止画を表示します。押し続けると Home Pageを表示します。 DVD-VR: 前のプログラム/プレイリストを選びます。
6	10キー	10キー入力画面を表示します。10キー入力画面では、数字を入力します。



地上デジタルTV操作

アドバイス

- モード切りかえスイッチを「DTV」側に切りかえてください(「切りかえスイッチについて」346ページ参照)。



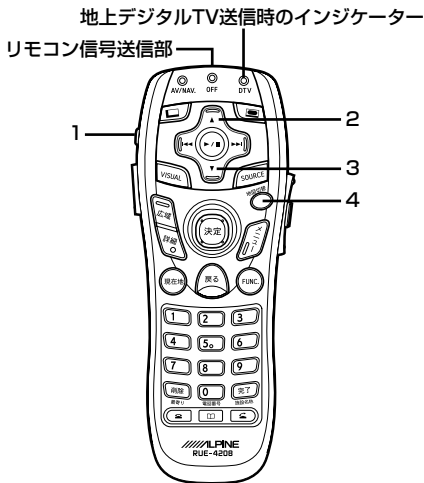
1	①	地上デジタルテレビチューナーの電源をON/OFFします。
2	◀◀	チャンネルが1つずつダウンします。押し続けると自動的にチャンネルを探し出し、受信します。
3	▶▶	チャンネルが1つずつアップします。押し続けると自動的にチャンネルを探し出し、受信します。
4	▲	プリセットが1つずつアップします。
5	▼	プリセットが1つずつダウンします。
6	地図切替	受信状態を表示します。
7	ジョイスティック	メニューの項目を選択します。
8	メニュー	設定画面を呼び出します。
9	決定	メニューの項目を決定します。
10	FUNC.	番組情報画面(EPG)を呼び出します。
11	戻る	前の画面に戻ります。
12	1※	データ放送を呼び出します。
13	2※	青
14	3※	赤
15	4※	ワンセグ/12セグを切りかえます。
16	5※	緑
17	6※	黄

※TUE-T300接続時はご利用いただけません。

TUE-T1の操作

① アドバイス

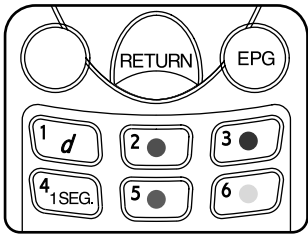
- モード切りかえスイッチを「DTV」側に切りかえてください(「切りかえスイッチについて」346ページ参照)。



1	①	地上デジタルテレビチューナーの電源をON/OFFします。
2	▲	プリセットが1つずつアップします。押し続けると自動的にチャンネルを探しプリセットします(プリセットスキャン)。
3	▼	プリセットが1つずつダウンします。押し続けると自動的にチャンネルを探しプリセットします(プリセットスキャン)。
4	地画切替	受信状態を表示します。続けて押すと番組情報を表示します。

① アドバイス

- 地上デジタルTV操作リモコンシールを貼り付ける
添付の操作シールを貼ってお使いいただくと便利です。ただし、TUE-T1およびTUE-T300接続時は一部の操作のみご使用いただけます。



その他

その他

言語コード一覧	366
最寄り施設ジャンル一覧	368
施設ジャンル一覧	371
用語説明	379
Q&A	380
故障かな？と思ったら	389
保証について／規格	395
VICS情報有料放送サービス契約約款	398
地図データについて	400
マイクロソフトからの使用許諾契約書	401
お問い合わせ窓口	402
MENU項目一覧	403
設定項目一覧	404
目的別索引	407
共通	407
ナビゲーション関係	407
サウンド・映像関係	410
索引(ナビゲーション編)	413
五十音順	413
アルファベット／数字	416
索引(サウンド・映像編)	418
五十音順	418
アルファベット／数字	420
電波に関する注意事項	422
アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への 移行について	423

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、以下のコード番号から数字を入力して選択することができます。

記号	コード	言語
AA	6565	アフガル語
AB	6566	アブバジア語
AF	6570	アフリカンス語
AM	6577	アムハラ語
AR	6582	アラビア語
AS	6583	アッサム語
AY	6589	アイマラ語
AZ	6590	アゼルバイジャン語
BA	6665	バシキール語
BE	6669	ベラルーシ語
BG	6671	ブルガリア語
BH	6672	ビハーリー語
BI	6673	ビスラマ語
BN	6678	ベンガル語、バングラ語
BO	6679	チベット語
BR	6682	ブルトン語
CA	6765	カタロニア語
CO	6779	コルシカ語
CS	6783	チェコ語
CY	6789	ウェールズ語
DA	6865	デンマーク語
DE	6869	ドイツ語
DZ	6890	ブータン語
EL	6976	ギリシャ語
EN	6978	英語
EO	6979	エスペラント語
ES	6983	スペイン語
ET	6984	エストニア語
EU	6985	バスク語
FA	7065	ペルシャ語
FI	7073	フィンランド語
FJ	7074	フィジー語
FO	7079	フェロー語
FR	7082	フランス語
FY	7089	フリジア語
GA	7165	アイルランド語
GD	7168	スコットランドゲール語
GL	7176	ガルシア語
GN	7178	グアラニ語
GU	7185	グジャラート語

記号	コード	言語
HA	7265	ハウサ語
HI	7273	ヒンディー語
HR	7282	クロアチア語
HU	7285	ハンガリー語
HY	7289	アルメニア語
IA	7365	国際語
IE	7369	国際語
IK	7375	Inupiak語
IN	7378	インドネシア語
IS	7383	アイスランド語
IT	7384	イタリア語
IW	7387	ヘブライ語
JA	7465	日本語
Jl	7473	イディッシュ語
JW	7487	ジャワ語
KA	7565	グルジア語
KK	7575	カザフ語
KL	7576	グリーンランド語
KM	7577	カンボジア語
KN	7578	カンナダ語
KO	7579	韓国語
KS	7583	カシミール語
KU	7585	クルド語
KY	7589	キルギス語
LA	7665	ラテン語
LN	7678	リンガラ語
LO	7679	ラオス語
LT	7684	リトアニア語
LV	7686	ラトビア語、レット語
MG	7771	マダガスカル語
MI	7773	マオリ語
MK	7775	マケドニア語
ML	7776	マラヤーラム語
MN	7778	モンゴル語
MO	7779	モルダビア語
MR	7782	マラータ語
MS	7783	マレー語
MT	7784	マルタ語
MY	7789	ミャンマー語
NA	7865	ナウル語

記号	コード	言語
NE	7869	ネパール語
NL	7876	オランダ語
NO	7879	ノルウェー語
OC	7967	プロバンス語
OM	7977	(アフアン)オロモ語
OR	7982	オリヤー語
PA	8065	パンジャブ語
PL	8076	ポーランド語
PS	8083	パシュトー語
PT	8084	ポルトガル語
QU	8185	ケチュア語
RM	8277	ラエティ=ロマン語
RN	8278	キルンディ語
RO	8279	ルーマニア語
RU	8285	ロシア語
RW	8287	キニヤルワンダ語
SA	8365	サンスクリット語
SD	8368	シンド語
SG	8371	サンゴ語
SH	8372	セルビアクロアチア語
SI	8373	シンハラ語
SK	8375	スロバキア語
SL	8376	スロベニア語
SM	8377	サモア語
SN	8378	ショナ語
SO	8379	ソマリ語
SQ	8381	アルバニア語
SR	8382	セルビア語
SS	8383	シスワティ語
ST	8384	セストゥ語
SU	8385	スンダ語
SV	8386	スウェーデン語
SW	8387	スワヒリ語
TA	8465	タミール語
TE	8469	テルグ語
TG	8471	タジク語
TH	8472	タイ語
TI	8473	ティグリニャ語
TK	8475	トゥルクメン語
TL	8476	タガログ語



記号	コード	言語
TN	8478	セツワナ語
TO	8479	トンガ語
TR	8482	トルコ語
TS	8483	ツォンガ語
TT	8484	タタール語
TW	8487	トウィ語
UK	8575	ウクライナ語
UR	8582	ウルドゥー語
UZ	8590	ウズベク語
VI	8673	ベトナム語
VO	8679	ボラビュク語
WO	8779	ウォロフ語
XH	8872	コーサ語
YO	8979	ヨルバ語
ZH	9072	中国語
ZU	9085	ズール語

最寄り施設ジャンル一覧

ジャンル検索または周辺施設検索のときに使用できる施設ジャンルの一覧表です。実際に表示されるメニューの順序とは異なります。

ジャンル名	ブランド名	ジャンル名	ブランド名
コンビニ	am/pm	ファミリーレストラン	シーじゃック
	ココストアCOCO!		ジョイフル
	コミュニティ・ストア		ジョナサン
	サークルK		ジョリーパスタ
	サンクス		すかいらーく
	スパー		スシロー
	スリーエフ		すたみな太郎
	セイコーマート		ステーキ宮
	セーブオン		ちゃんご江戸沢
	セブンイレブン		鶴橋風月
	ファミリーマート		デニーズ
	ホットスパー		道とん堀
	ポプラ		トマトアンドオニオン
	ミニストップ		とんかつ浜勝
	ヤマザキショップ		とんでん
	ヤマザキデイリーストアー		バーミヤン
	ローソン		馬車道
ファミリーレストラン	藍屋		8番らーめん
	あさくま		華屋与兵衛
	味の民芸		ピエトロ
	アトムボーイ		ビッグボーイ
	安楽亭		びっくりドンキー
	ヴィクトリアステーション		ビルディ
	ウェスト		フォルクス
	大戸屋		フラカッソ
	カーサ		ミルキーウェイ
	海鮮三崎港		焼肉屋さかい
	ガスト		夢庵
	かっぱ寿司		リンガーハット
	かに道楽		レッドロブスター
	カブリチョーザ		ロイヤルホスト
	木曽路	ファーストフード	ウェンディーズ
	北前そば高田屋		エクセルシオールカフェ
	杵屋		カフェドクリエ
	牛角		銀だこ
	餃子の王将		ケンタッキーフライドチキン
	くら寿司		COCO壱番屋
	グラッチェガーデンズ		コメダ珈琲
	くるまやラーメン		サーティーワン
	元気寿司		サブウェイ
	幸楽苑		サンマルクカフェ
	COCO'S		スガキヤ
	サイゼリア		すき家
	サガミ		スターバックスコーヒー
	さと		タリーズ
	ザめしや		ちりめん亭
	サンデーサン		てんや
	サンマルクカフェ		ドトールコーヒー



ジャンル名	ブランド名
ファースト フード	なか卯
	ハーゲンダッツ
	はなまるうどん
	一口茶屋
	ファーストキッチン
	フレッシュネスバーガー
	ペッパーランチ
	マクドナルド
	松屋
	ミスタードーナツ
	めしや丼
	モスバーガー
	吉野家
ガソリンスタ ンド	ロッテリア
	出光石油
	エッソ石油
	エネオス
	キグナス
	九州石油
	コスモ石油
	JA
	ジャパンエナジー
	昭和シェル石油
	ゼネラル石油
	太陽石油
	ホクレン
	三井石油
	モービル石油
駐車場	
郵便局	
都市銀行	埼玉りそな銀行
	みずほ銀行
	三井住友銀行
	三菱東京UFJ銀行
	りそな銀行
地方銀行	愛知銀行
	青森銀行
	秋田銀行
	足利銀行
	阿波銀行
	池田銀行
	茨城銀行
	伊予銀行
	岩手銀行
	愛媛銀行
	大分銀行
	大垣共立銀行
	沖縄海邦銀行
	沖縄銀行
	香川銀行

ジャンル名	ブランド名
地方銀行	鹿児島銀行
	神奈川銀行
	関西アーバン銀行
	関東つくば銀行
	北日本銀行
	岐阜銀行
	紀陽銀行
	京都銀行
	近畿大阪銀行
	熊本ファミリー銀行
	群馬銀行
	京葉銀行
	高知銀行
	西京銀行
	佐賀共栄銀行
	佐賀銀行
	札幌銀行
	山陰合同銀行
	滋賀銀行
	四国銀行
	静岡銀行
	静岡中央銀行
	七十七銀行
	島根銀行
	清水銀行
	十八銀行
	十六銀行
	荘内銀行
	常陽銀行
	殖産銀行
	親和銀行
	スルガ銀行
	泉州銀行
	仙台銀行
	大光銀行
	第三銀行
	第四銀行
	大正銀行
	大東銀行
	但馬銀行
	筑邦銀行
	千葉銀行
	千葉興業銀行
	中京銀行
	中国銀行
	東京スター銀行
	東京都民銀行
	東邦銀行
	東北銀行
	東和銀行

その他

ジャンル名	ブランド名
地方銀行	徳島銀行
	栃木銀行
	鳥取銀行
	トマト銀行
	富山銀行
	富山第一銀行
	長崎銀行
	長野銀行
	名古屋銀行
	南都銀行
	西日本シティ銀行
	八十二銀行
	東日本銀行
	肥後銀行
	百五銀行
	百十四銀行
	広島銀行
	びわこ銀行
	福井銀行
	福岡銀行
	福岡中央銀行
	福島銀行
	福邦銀行
	豊和銀行
	北越銀行
	北都銀行
	北洋銀行
	北陸銀行
	北海道銀行
	北國銀行
	三重銀行
	みちのく銀行
	みなと銀行
	南日本銀行
	宮崎銀行
	宮崎太陽銀行
	武蔵野銀行
	もみじ銀行
	八千代銀行
	山形銀行
	山形しあわせ銀行
	山口銀行
	山梨中央銀行
	横浜銀行
	琉球銀行
	和歌山銀行
カー用品	イエローハット
	オートアールズ
	オートウェイ
	オートウェーブ

ジャンル名	ブランド名
カー用品	オートテック
	オートボックス
	オートハローズ
	AUTOLAND
	カレスト
	グランドスラム
	クワハラ
	コクビット
	サンジョウ
	ジェームス
	タイヤガーデン
	タイヤ館
	タイヤセレクト
	タイヤランド
	ドライバースタンド
その他施設	ファミリーユザ
	ミスタータイヤマン
	モンテカルロ
	山本無線
その他施設	行き先 施設リストと同等。

施設ジャンル一覧



ジャンル検索または周辺施設検索のときに使用できる施設ジャンルの一覧表です。実際に表示されるメニューの順序とは異なります。

タグ表示	ジャンル名	ブランド名	タグ表示	ジャンル名	ブランド名
食事	ファーストフード	ウェンディーズ	食事	ファミリー レストラン	かに道楽
		エクセルシオール カフェ			カブリチョーザ
		カフェドクリエ			木曽路
		銀だこ			北前そば高田屋
		ケンタッキー			杵屋
		フライドチキン			牛角
		COCO壱番屋			餃子の王将
		コメダ珈琲			くら寿司
		サーティーワン			グラッチェ
		サブウェイ			ガーデンズ
		サンマルクカフェ			くるまやラーメン
		スガキヤ			元気寿司
		すき家			幸楽苑
		スターバックス			COCO'S
		コーヒー			サイゼリア
		タリーズ			サガミ
		ちりめん亭			さと
		てんや			げめしや
		ドトールコーヒー			サンデーサン
		なか卯			サンマルクカフェ
		ハーゲンダッツ			しーじゃっく
		はなまるうどん			ジョイフル
		一口茶屋			ジョナサン
		ファーストキッチン			ジョリーパスタ
		フレッシュネス			すかいらーく
		バーガー			スシロー
		ペッパーランチ			すたみな太郎
		マクドナルド			ステーキ宮
		松屋			ちゃんご江戸沢
		ミスタードーナツ			鶴橋風月
		めしや丼			デニース
		モスバーガー			道とん堀
		吉野家			トマトアンドオニオン
		ロッテリア			とんかつ浜勝
	ファミリー レストラン	藍屋			とんでん
		あさくま			バーミヤン
		味の民芸			馬車道
		アトムボーイ			8番らーめん
		安楽亭			華屋与兵衛
		ヴィクトリアステーション			ビエトロ
		ウエスト			ビッグボーイ
		大戸屋			びっくりドンキー
		カーサ			ビルディ
		海鮮三崎港			フォルクス
		ガスト			フラカッソ
		かつぱ寿司			ミルキーウェイ
					焼肉屋さかい

その他

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
食事	ファミリーレストラン	夢庵
		リンガーハット
		レッドロブスター
		ロイヤルホスト
	ステーキ・ハンバーグ	あさくま
		ヴィクトリアステーション
		ステーキ宮
		トマトアンドオニオン
		ビッグボーイ
		びっくりドンキー
		フォルクス
		ミルキーウェイ
	焼肉・ホルモン	安楽亭
		牛角
		すたみな太郎
		焼肉屋さかい
	すきやき	
	しゃぶしゃぶ	木曽路
	ジンギスカン	
	とんかつ	とんかつ浜勝
	牛丼	すき家
		なか卯
		松屋
		吉野家
	牛たん	
	鳥料理	
	かに料理	かに道楽
		レッドロブスター
	かき料理	
	ふぐ料理	
	うなぎ	
	魚料理	
	ちゃんこ	ちゃんこ江戸沢
	もつ鍋	
	和食ファミレス	藍屋
		大戸屋
		さと
		ザめしや
		とんでん
		華屋与兵衛
		夢庵
	京料理	
	小料理	
	日本料理	
	懷石料理	
	割ぼう・料亭	
	てんぷら	
	おでん	

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
食事	串揚げ・串かつ	
		郷土料理
		沖縄料理
	沖縄そば	
	仕出し料理	
		お茶漬・おにぎり
		屋形船
	寿司屋	
	回転寿司	アトムボーイ
		海鮮三崎港
		かっぱ寿司
		くら寿司
		元気寿司
		しーじゃっく
		スシロー
	持ち帰り寿司	小僧寿し・sushi花館
	うどん・そば屋	味の民芸
		北前そば高田屋
		杵屋
		サガミ
		はなまるうどん
	立食うどん・そば	
	お好み焼	鶴橋風月
		道とん掘
	たこ焼	銀だこ
		一口茶屋
	もんじゃ焼	
	洋食ファミレス	カーサ
		ガスト
		カプリチョーザ
		グラッチェ
		ガーデنز
		COCO'S
		サイゼリア
		サンデーサン
		ジョイフル
		ジョナサン
		ジョリーパスタ
		すかいらく
		デニース
		馬車道
		ピエトロ
		ビルディ
		フラカッソ
		ロイヤルホスト
	フランス料理	
	イタリア料理	
	スパゲティ専門店	
	ピザ	
	カレー	COCO吉番屋



タグ表示	ジャンル名	ブランド名
食事	中華ファミレス	餃子の王将 バーミヤン
	中華料理	
	餃子・しゅうまい	
	広東料理	
	四川料理	
	上海料理	
	ラーメン	くるまやラーメン
		幸楽苑
		スガキヤ
		ちりめん亭
		8番らーめん
		リンガーハット
	韓国料理	
	朝鮮料理	
	台湾料理	
	多国籍料理	
	持ち帰り弁当	
	持ち帰りうなぎ料理	
	折詰弁当	
	仕出し弁当	
	コーヒーショップ	エクセルシオール カフェ
		カフェドクリエ
		コメダ珈琲
		サンマルクカフェ
		スターバックス
		コーヒー
		タリーズ
		ドトールコーヒー
	コーヒー専門店	
	喫茶店	
	甘味処	
	インターネット カフェ	
	マンガ喫茶	
	カラオケ喫茶	
	居酒屋・バー・ スナック	
	その他飲食店	
買物	コンビニ	am/pm
		ココストアCOCO!
		コミュニティ・ストア
		サークルK
		サンクス
		スパー
		スリーエフ
		セイコーマート
		セーブオン
		セブンイレブン

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
買物	コンビニ	ファミリーマート
		ホットスパー
		ポプラ
		ミニストップ
		ヤマザキショップ
		ヤマザキデイリー ストアー
		ローソン
	デパート	
	ショッピング センター・モール	
	地下街	
	スーパーマーケット	アップルランド
		アビタ
		イズミ
		イズミヤ
		イトーヨーカドー
		いなげや
		エコス
		オークワ
		オリンピック
		カスミ
		関西スーパー
		コモディイイダ
		サティ
		サニー
		サミット
		サンエー
		ジャスコ
		西友
		そうてつローゼン
		ダイエー
		大丸ピーコック
		タイヨー
		つるかめ
		東急ストア
		東部ストア
		トーホー
		とりせん
		長崎屋
		パロー
		フジ
		ベイシア
		平和堂
		マックスバリュ
		マミーマート
		マルエツ
		マルキョウ
		マルショク
		マルナカ

その他

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
買物	スーパーマーケット	マルヤ
		丸和
		ヤオコー
		ヤマザワ
		ヤマナカ
		ユーストア
		ユニー
		ヨークベニマル
		ヨークマート
		ライフ
	ドラッグストア	アインズドラッグストア
		イズカ薬品
		いいのドラッグ
		ウィンダーランド
		ウエルシア
		ウエルパーク
		ウォンツ
		カワチ薬品
		キリン堂
		クスリのアオキ
		くすりの福太郎
		クリエイト
		コクミン
		コスモス薬品
		サッポロドラッグストア
		サンドラッグ
		ジップドラッグ
		シメノドラッグ
		スギ薬局
		セイジョー
		ツルハドラッグ
		トモズ
		ドラッグイレブン
		ドラッグスギヤマ
		ドラッグストア
		バイゴー
		ドラッグストアモリ
		ドラッグセイムス
		ドラッグセガミ
		ドラッグてらしま
		ドラッグフジイ
		ドラッグユタカ
		ハックドラッグ
		ひまわり
		マツモトキヨシ
		マルエドラッグ
		ミドリ薬品
		ヤックスドラッグ

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
買物	ドラッグストア	龍生堂薬局
	ディスカウントストア	ジェーソン
		ジャパン
		ダイレックス
		ドン・キホーテ
		ビッグ・エー
		ミスターマックス
	100円ショップ	
	日用雑貨	東急ハンズ
		無印良品
	ホームセンター	アヤハディオ
		いない
		エンチャー
		OKホーム
		オージョイフル
		カーマ
		カインズホーム
		カンセキ
		グッディ
		くろがねや
		ケーヨーデイツー
		コーナン
		コメリ
		サンコー
		サンデー
		サンワドー
		島忠
		ジュンテンドー
		ジョイ
		ジョイフル本田
		ジョイフル山新
		セキチュー
		ダイキ
		ダイシン
		ダイユーエイト
		ツルヤ
		ディック
		ドイト
		ナカイ
		ナフコ
		ビバホーム
		ひらせいホーム
		センター
		ファミリーセンター
		タカヨシ
		ホームック
		ホームセンター
		ムサシ
		ホームビック
		マルニ



タグ表示	ジャンル名	ブランド名
買物	ホームセンター	ミスタージョン
		本久デイトー
		ユーホー
		ロイヤル
		綿半
	スポーツ用品	アルペン
		ヴィクトリア
		ゴルフ5
		上州屋
		スポーツ
		オーソリティ
		ゼビオ
		つるやゴルフ
		ニ木ゴルフ
		ポイント&ベグ
		本間ゴルフ
		ムラサキスポーツ
	衣料品	アオキ
		青山
		アベイル
		アメリカ屋
		エフワン
		GAP
		ゴールウェイ
		コナカ
		ジーンズメイト
		しまむら
		タカキュー
		ハニーズ
		はるやま
		フタタ
		マックハウス
		ユニクロ
		ライトオン
		ワークマン
	家電	エイデン
		ケースデンキ
		コジマ
		コスモスベリーズ
		さくらや
		サトームセン
		上新電機
		真電
		デオデオ
		デンキの
		ダイナマイト
		Denkodo
		ノジマ
		ビックカメラ
		100満ポルト

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
買物	家電	ベスト電器
		マツヤデンキ
		ミドリ電化
		ヤマダ電機
		ヨドバシカメラ
		ラオックス
	携帯電話ショップ	ドコモショップ
		auショップ
		ボーダフォン
	CD・ビデオレンタル	TUTAYA
		ゲオ
	CD・ビデオ	
	書店	
	おもちゃ	トイザらス
		ハローマック
	文房具	
	家具・インテリア	
	ベビー用品	西松屋
	薬局・薬店	
	化粧品	
	めがね・コンタクト	
	くつ	
	かばん	
	時計	
	宝石・貴重品	
	パン	
	ケーキ・菓子	
	酒	
	食料品	肉
		青果
		魚
		米
		その他食料品
	特産物	
	朝市	
	地酒	
	伝統工芸品	
	民芸品	
	みやげ品	
	贈答用品	
	園芸品	
	花屋	
	手芸品	
	リサイクルショップ	
	パソコンショップ	
	釣り具・釣り餌	
	自転車	
	オートバイ	
	楽器店	
	レンタルショップ	

その他

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
買物	市場	
	チケット販売	
	その他買物	
車	ガソリンスタンド	出光石油
		エッソ石油
		エネオス
		キグナス
		九州石油
		コスモ石油
		JA
		ジャパンエナジー
		昭和シェル石油
		ゼネラル石油
		太陽石油
		ホクレン
		三井石油
		モービル石油
	駐車場	
	カー用品店	イエローハット
		オートアールズ
		オートウェイ
		オートウェーブ
		オートテック
		オートボックス
		オートハローズ
		AUTOLAND
		カレスト
		グランドスラム
		クワハラ
		コクビット
		サンジョウ
		ジェームス
		タイヤガーデン
		タイヤ館
		タイヤセレクト
		タイヤランド
		ドライバースタンド
		ファミリーユサ
		ミスタータイヤマン
		モンテカルロ
		山本無線
	カーディーラー	トヨタ
		トヨタカローラ
		トヨペット
		ネットトヨタ
		レクサス
		日産ブルーステージ
		日産レッド&ブルー ステージ
		日産レッドステージ

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
車	カーディーラー	ホンダ
		マツダ
		三菱
		スバル
		スズキ
		ダイハツ
		ヤナセ
		アルファロメオ
		アウディ
		BMW
		クライスラー
		フィアット
		フォード
		GM
		現代
		ジャガー
		ランドローバー
		メルセデスベンツ
		MINI
		オベル
		ブジョー
		ボルシェ
		ルノー
		シュテルン
		フォルクスワーゲン
		VOLVO
	中古車販売・買取	
	自動車整備工場	
	JAF	
	ロードサービス	
	交通情報センター	
	運転免許センター	
	運転代行サービス	
	洗車業	
	レンタカー	オリックス レンタカー
		ジャバレン
		トヨタレンタリース
		日産レンタカー
		ニッポンレンタカー マツダレンタカー
	その他車	
交通	JR駅	
	私鉄駅	
	地下鉄駅	
	空港	
	港	
	フェリータミナル	
	道の駅	
	IC	



タグ表示	ジャンル名	ブランド名
交通	SA・PA	
観光 宿泊	ホテル	
	ビジネスホテル	
	旅館	
	民宿	
	ペンション	
	公共の宿	
	ブティックホテル	
	祭事	
	名所・旧跡	
	城・城跡	
	生物観察スポット	
	花の名所	
	音の名所	
	ビュースポット	展望ポイント
		タワー・展望施設
		夜景の名所・
		ライトアップ
		夕日・夕焼けの
		ビューポイント
		初日の出
		ビューポイント
		名山・山岳の
		ビューポイント
		星の観察
		天文台
	観光スポット	
	百選	名水百選
		名木百選
		都市公園百選
		渚百選
		白砂青松百選
		名滝百選
		桜の名所百選
		かおり風景百選
		森林浴の森百選
	観光船	
	遊覧飛行船	
	リフト・ロープウェイ	
	果実狩り	
	牧場・農場・農園	
	工場見学	
	巡礼めぐり	
	観光案内	
趣味 娯楽	遊園地	
	水族館	
	動物園	
	サファリパーク	
	植物園	
	温泉	

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
趣味 娯楽	サウナ・健康センター	
	キャンプ場	
	海水浴場・海岸	
	海洋・海洋公園	
	レジャー公園	
	公園・緑地	
	ボウリング	
	映画館	
	ゲームセンター	
	カラオケ	
	釣り	磯釣り
		海釣り公園
		防波堤釣り
		船釣り・渡釣り
		渓流釣り
		築場
		釣り堀・管理釣り場
		湖沼釣り・穴釣り
	パチンコ・スロット	
	競馬場・WINS	
	競艇・競輪・オート	
		レース場
	その他レジャー	
文化	美術館	
	博物館	
	資料館	
	図書館	
	ホール・劇場	
	プラネタリウム	
	神社	
	寺	
	協会	
	その他文化施設	
スポーツ	スキー場	
	スケート場	
	ゴルフ場	
	ゴルフ練習場	
	プール	
	テニスコート	
	陸上競技場	
	野球場	
	体育館	
	武道館・道場	
	サーキット場	
	オフロード場	
	マウンテンバイク	
	コース	
	サイクリングコース	
	スノーモービル	
	フィールドアーチェリー	

その他

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
スポーツ	マリンスポーツ	
	マリナー・	
	ヨットハーバー	
	スポーツクラブ	
	スポーツ教室	
	その他スポーツ	
公共	役所	
	裁判所	
	法務局	
	税務署	
	保健所	
	社会保険事務所	
	大使館・領事館	
	警察署	
	交番・駐在所	
	トイレ	
	マスコミ	
	郵便局	
	その他公共施設	
その他	美容院	
	理容店	
	ペット	
	クリーニング	
	写真・カメラ	
	結婚式場	
	葬祭	
	霊園・墓地	
	住宅展示場	
	エステティック	
	不動産	
	高齢者福祉施設	

MP3

MP3は「MPEG Audio Layer」の略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聴きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1/10サイズにすることができます。

WMA

WMAは「Windows Media™ Audio」の略で、音声データを圧縮する方式です。WMAは音声データを約半分に圧縮することができます。

AAC

AACは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮の基本フォーマットです。本機ではiTunes®AACファイル(著作権保護されていない)のみ対応しています。

ビットレート

エンコードするときに指定する「音」の圧縮率です。ビットレートが高いほど高音質になりますが、ファイルサイズも大きくなります。

サンプリングレート

データを1秒間に何回サンプリング(記録)するかを示す値のことです。たとえば、音楽CDは44.1kHzで、1秒間にデータを4万4100回サンプリング(記録)していることになります。高ければ高いほど音質は向上しますが、それだけデータ量も増えます。

エンコード

音楽CDやWAVEファイルなどの音声ファイルを、特定の音声圧縮フォーマットに変換することです。

ルートフォルダ

ファイルシステムの最上階層のフォルダ。全てのフォルダ/ファイルはルートフォルダに含まれています。

SDメモリーカード

フラッシュメモリーを記録媒体に使用する小型のメモリーカードで、著作権保護に対応しています。携帯電話や携帯音楽プレイヤー、デジタルカメラなどで利用されます。

SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)

デジタル録音は、音質の劣化がとてもしないという特徴があります。著作権保護の観点から、デジタル信号でコピーした音源をさらにデジタル信号で録音(コピー)することはデジタル録音機器によって規制されています。これをSCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)といいます。

Gracenote音楽認識サービス

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

視聴規制(パレンタルロック)

国ごとに規制した視聴年齢制限をするためのDVDの機能です。DVDにより制限のしかたは異なり、まったく再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生します。

ビーコン情報については、別売のビーコンユニットを接続した場合の説明になります。

Q 自車位置ってなに？

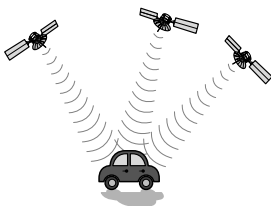
A 現在、自分の車がいる場所のことです。どの画面からでも自車位置(自車位置画面)を表示できます。

Q どうして自車位置(現在地)がわかるの？

A 自車位置は「GPS信号とジャイロ/車速センサー」を組み合わせたシステムで割り出します。

● GPS(グローバル・ポジショニング・システム)とは

高度21000kmの宇宙空間に浮かぶ3個以上のGPS衛星の電波を受信して、自車位置を割り出すシステムです。4個以上の衛星を受信すると、3次元側位(高度/経度/緯度)となり、3個の場合は2次元(経度/緯度)となっております。この情報は、米国国防総省によって管理されており、意図的に精度をかえる場合があります。

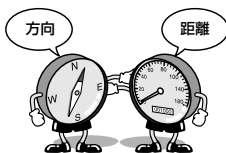


● 高い精度で使い続けるために、次のような利用をお勧めします。

- ①インジケーターバーでGPS信号が受信できていることを確認してから走行する
- ②良好な信号が受信できるようにアンテナをきれいにする
- ③アンテナ、車速信号の接続に異常が無いが定期的に確認する
- ④やさしくていねいに扱う

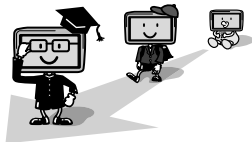
● ジャイロ/車速センサーとは

ジャイロセンサーとは、航空機や船舶などの移動体の方向変化を計測するためのもので、カーナビゲーション用に使用する場合は車速センサーと共に用います。ジャイロセンサーで方向を、車速センサーで走行距離を検出して自車位置を算出します。



●使い始めの自転車位置精度について

ジャイロ/車速センサーは、その車の走行情報を蓄積しなければ本来の性能を発揮できません。今までの情報が無いシステムの取り付け直後、今までの情報が生かせないタイヤ交換直後などは、自転車位置が正しく表示されないことがあります。そのまま走行を続けると、センサーの情報から算出した位置とGPSの位置の誤差量を学習して次第に精度が上がっていきます。

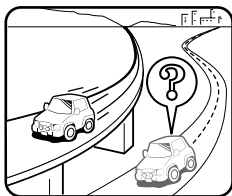


このシステムの場合、GPS信号を受信できない場合でも測位が続けられますし、ジャイロセンサーだけの走行で表われる「ずれの積み上げ」も発生しないメリットがあります。

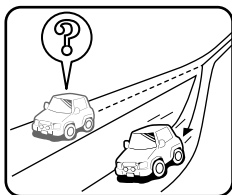
Q どうして自転車位置がずれるの？

A 記憶されている車速信号情報は、車やタイヤの種類で違います。別の車に付けかえる/タイヤを履きかえる/タイヤローテーションを行うと、車速信号情報と実際の位置情報にずれが生じてしまうのです。

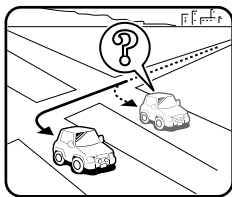
- GPS衛星はアメリカの国防総省により管理されており、衛星自体が故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自転車位置マークがずれることがあります。多少の「ずれ」は、本機性能の限界も考えられます。また、GPSが受信できない場合や、次のようなときにも自転車位置がずれることがあります。



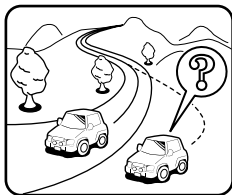
- 高速道路を走行している場合、その側道に自転車位置マークがのるときがあります。またその逆もあります。



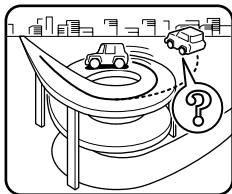
- 角度の小さなY字路や平行路を走行しているとき他方の道路に自転車位置マークがのる場合があります。



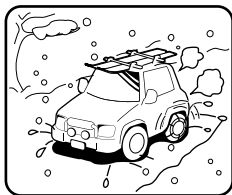
- 基盤目状の道路を走行している場合、隣の道路に自車位置マークがのるときがあります。



- 勾配の急な山岳等を走行している場合、自車位置マークがずれるときがあります。



- 螺旋状の道路やヘアピンの道路などを走行している場合、自車位置マークがずれるときがあります。



- 雪道や舗装していない道路などの滑り易い道路を走行しているとき、自車位置マークがずれることがあります。
- また、タイヤチェーン等を装着して走行している場合でも、自車位置マークがずれることがあります。
- 直線または、緩やかなカーブを長い距離走行した直後。
- 立体駐車場などで切り返しや旋回をした場合。
- 混雑や渋滞で低速発進や停止を繰り返した場合。

これらは故障ではないので、そのまましばらく走行を続ければ自動的に修正します。

ただし、高速道路と一般道路が重なっているときなどでは、自動的に修正できない場合があります。このようなときは、自車位置を修正してください(「自車位置を修正する」136ページ参照)。

Q 止まっているのに、どうして自車位置が勝手に動き回るの？

A 車速の接続が正しいか確認してください。

Q 正しい案内がされなくなった

A ・タイヤを交換していませんか？

タイヤ交換後、記憶されている車速信号情報と実際の位置情報にずれが生じてしまう場合がありますが、走行すると自動で補正されます。

・スピードセンサーコード(車速信号線)は、外れていませんか？

お買い上げの販売店へご相談ください。

・GPSアンテナを確認する。

お買い上げの販売店へご相談ください。

Q 音声案内が遅れるのは？

A 自車位置と現在地に誤差が生じるためです。

本機は距離係数などを学習し、自動補正を行いますので走行することにより自車位置精度が向上していきます。

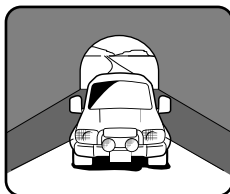
Q VICSレベル3情報の一部がいつのまにか表示されなくなった

A 道路交通情報をナビゲーションなどに的確に表示できるよう、VICSリンク(主要交差点毎に道路を区切った単位)というデータ方式を採用しています。このため、道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況に変化をきたす場合は、VICSリンクの追加や変更を行っています。この結果、新しいVICSリンクにより情報の提供が行われると、ごく一部の地域ですが、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。

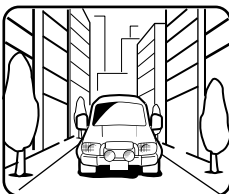
ただし情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクにも変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。そのため、地図ソフトの発売時期から3年間程度経過すると、地図画面上で渋滞情報(赤・オレンジ・水色の矢印等)などを表示できない場所が、徐々に出てきます。この現象は地図表示型(レベル3)でのみ発生します。VICSリンクは随時更新されますので、出来るだけ新しい地図のご利用をお勧めします(本製品の道路単位は2005年11月版です)。

Q どうしてGPSが受信できないの？

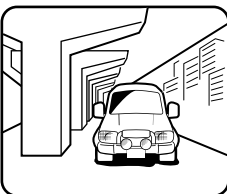
A GPSアンテナ近くで携帯電話などを使用したり、次のような場所では受信できないことがあります。



トンネルの中



高層ビル等の間



高架道路の下



樹木の間

- ・ルーフキャリアなど使用時には、GPS衛星の電波がさえぎられて自車位置を測位できなくなることがあります。このようなときは、アンテナとルーフキャリアを離して設置してください。
- ・ナビ本体のアースの接続は確実でしょうか？
お買い上げの販売店へご相談ください。

次ページに続く→

その他

Q ナビゲーションを高い精度で使うには？

A 使いはじめなどは、受信感度の良い状態で100km以上走行することをお勧めします。

Q VICSサービスの提供区域なのに受信されない

A VICSサービスの提供区域は、全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲です。ただし、そのサービスの提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

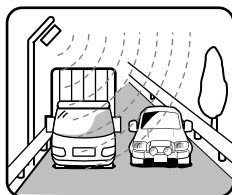
Q どうしてFM多重放送、VICS放送が受信できないの？

A FM多重放送は、FM波のすきまに文字情報(見えるラジオ)やVICS情報(広域ゾーン型)を盛り込みます。利用する場合は、情報を提供している放送局に周波数を合わせなければなりません。また、情報を取り込んでから表示しますので、受信状態になって直ちに表示されるわけではありません。受信しにくいときは、受信エリアの確認をしてください。

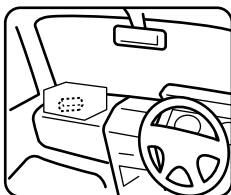
さらにVICSには、間欠極小ゾーンを対象とした「光ビーコン、電波ビーコン」があります。

この情報は、次のようなとき受信できないことがあります。

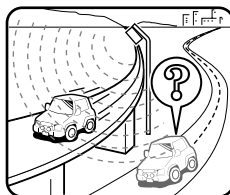
■ 電波/光ビーコンの受信について



大型車と並走



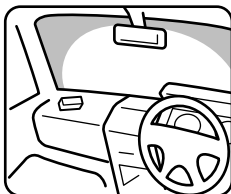
アンテナの上に物を置く



高速高架道路の下



雪などの悪天候



アンテナ受光部の汚れ
フロントガラスの汚れ

※ 電波/光ビーコンから信号が発信されていてもデータがない場合があります、このときはデータがない状態で上書きするため前情報がなくなる場合があります。

Q VICSの渋滞情報ってなに？

A VICSの渋滞情報(レベル3)は、地図上に渋滞地点や渋滞区間を「矢印」で提供します。方向は矢印で、混み具合は色(渋滞は赤)で表します(「渋滞・混雑/空き道表示」116ページ参照)。

Q 今まで表示されていたVICS情報が、ビーコンを受信したら消えてしまった

A 試験運用中等で、ビーコンによっては情報のない信号を出している場合があります。このような信号を受信すると、VICS情報がない状態になり表示が消えますが不具合ではありません。次に情報のあるビーコンを受信することで、正常に表示されます。

Q ルートを外れたらどうするの？

A ルートの外れには「測位誤差」によるもの「運転ミス」によるものの二つがあります。ルートを走行中に自車位置が近接する道路に移動してしまうのが「測位誤差」によるものです。

この場合、そのまま走行を続ければ自車位置は「本来の道路」に戻ってきます。

案内している交差点で曲がれなかったときなどの間違いによるルートの外れは、リルート機能によって「新たなルート」を自動的に探し出してくれます（「ルートから外れた場合」77ページ参照）。

Q ルートを消すにはどうするの？

A ルートは目的地周辺で案内を終了しますが、目的地情報は残ります。また、目的地への接近が少ないといつまでも目的地への案内を続けます。

これらを消す場合は、ルートの消去を行ってください（「ルートを消去する」85ページ参照）。

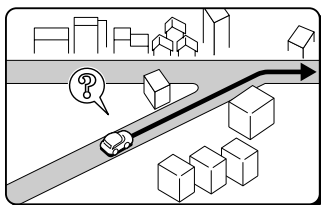
Q ルートは記憶できないの？

A ルートを記憶させることはできません。

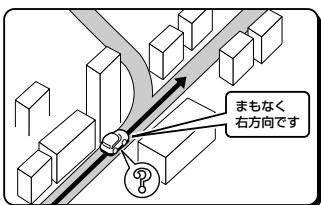
Q こんなルートは故障なの？

A ルート探索やルート案内において、次のような場合がありますが故障ではありません。

- ・ 冬期の閉鎖・歩行者天国・時間規制などで通行できない場合があります。
- ・ 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- ・ 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- ・ 再探索してもルートがかわらない場合があります。
- ・ ルートが渋滞している場合があります。
- ・ 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- ・ 高速優先であっても、高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- ・ Uターンするルートを表示する場合があります。



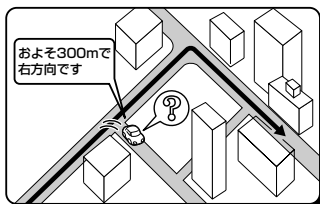
- ・ 交差点で、案内されない場合があります。また、交差点名称が案内されない場合もあります。



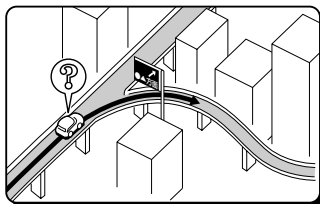
- ・ 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をする場合があります。

その他

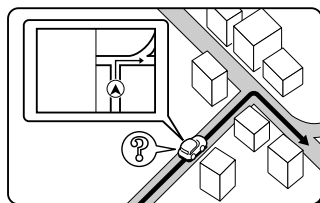
次ページに続く→



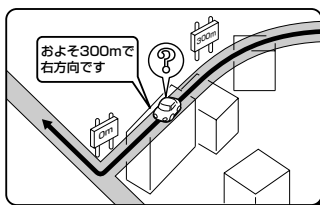
- 手前の交差点等で曲がったときなど音声案内される場合があります(案内ルートを外れた場合)。



- 高速/有料道路で方面案内が表示/案内されない場合があります。



- 交差点拡大図が実際の道路形状と異なる場合があります。



- 案内距離が実際の道路状況と異なる場合があります。



Q ルート探索のコツってなに？

A いろいろ使い方がありますが、周遊コース設定のコツをお教えします。

2泊3日の旅行で出発地に戻ってくる場合は、以下の操作を行います。

1) 出発地(自車位置)を目的地に設定します(当然、コースは表われません)。

2) 立ち寄る地点を76ページ「経由地を設定する」ですべて設定します。

3) 自車位置から2泊3日のコースを確認します。

各経由地を宿泊地にしておけば、それぞれの日毎の走行距離を知ることができます。

Q 時計(現在の時刻)が、ずれたら？

A 本機の時計表示はGPS情報から時間を算出しておりますので、時計表示がずれることはありません。ただし、長い期間GPSが受信されない状態が続いた場合は時計がずれることがあります。GPSが受信されると正常な時間表示に戻ります。GPSを受信しているに関わらず、ずれている場合は、本機を点検に出して下さい。

Q バッテリーを外してもメモリーは消えないの？

A 地点情報はプログラム、設定(サウンド調整は除く)、ルート学習・渋滞学習などは消えません。

Q 画面上に表示された「十字カーソル」を消すには？

A 地図をスクロールしたときの「十字カーソル」を消すには、**POS.**スイッチを押して現在地画面に戻してください。

Q どうして夜画面がちらつくの？

A 電圧が低いとき、画面がちらつくことがあります。

Q ルート探索対象道路は？

A ルート探索対象道路は道幅が5.5mより広い道路となります。

Q 駐車場マークを消すにはどうするの？

A 駐車場マークには、ランドマークとVICS情報マークがあります。地域によっては駐車場マークが画面いっぱいに表示され、地図が見づらくなる場合があります。この場合は、以下の操作で駐車場マークを消してください。

- ランドマークを消す

「ランドマーク表示を設定する」(52ページ)を「しない」にするか、ジャンル選択で駐車場を「しない」に設定してください。

- VICS情報マークを消す

「駐車場マークを表示する」(127ページ)、「路上駐車場マークを表示する」(127ページ)を「しない」に設定してください。

Q 思い通りのルートを引きには？

A ナビが自動で設定したルート以外の道を通して目的地まで行きたい場合は、利用するインターチェンジ(IC)を変更したり、通りたいルート上に経由地を追加すると、その地点を通るルートに変更することができます。経由地は最大で5ヶ所まで指定できます(「インターチェンジ(IC)を指定する」75ページ、「経由地を設定する」76ページ参照)。

(手順)

目的地を設定してルート进行く



5種類(5ルート)のルートを確認する(74ページ)



思い通りのルートがない

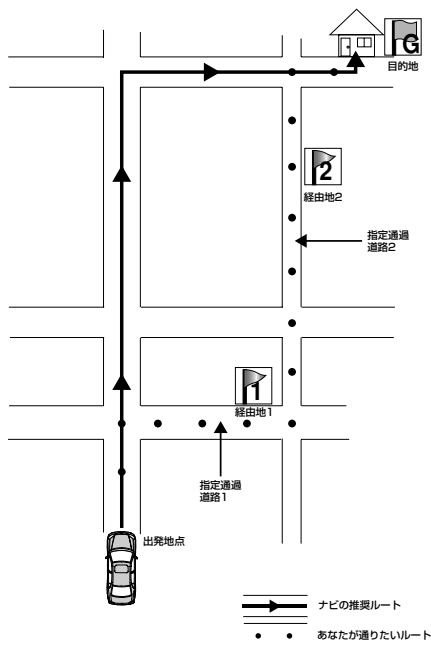


通りたい道路に経由地を追加する(76ページ)

または、インターチェンジを指定する(75ページ)



ルートが変更される



故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？



下の表をご確認ください。



お買い上げ店またはお近くのお問い合わせ窓口（402 ページ）までご相談ください。

操作中に停止したままになったり、画面が暗くなるなど正常に動作しなくなった場合は、一度イグニッションキーをOFF/ONしてください。

それでも正常動作しない場合は以下の表を参照して処置を行ってください。

■ ナビゲーション関係

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	ヒューズが切れている	所定容量のヒューズと交換する	
	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にする	
	結露している	しばらく(1時間程度)放置し、乾いてから使う	
	正しく接続されていない	取付説明書を参照して正しく接続されているか確認する また、コードなどが極端に折れ曲がっていないか確認する	
画面がふらつく	電圧が低い	別売の電源リレーキット(KWR-403G)を使用しバッテリーから直にナビ本体の電源ラインに接続する	
走行しても地図が動かない	現在地画面以外になっている	現在地画面を表示させる	45ページ
正しく自車位置を測定できない	ACCが「OFF」になってから自車位置がかわった •フェリーボートによる移動 •駐車場のターンテーブルによる回転 •レッカー車による移動等	GPS信号受信状態(測位状態)でしばらく走行する	
自車位置マークが表示されない	現在地画面以外になっている	現在地画面を表示させる	45ページ
GPS信号が受信できない	車載のテレビで5・6チャンネル(UHF)を受信しているとき	チャンネルを変更するか、またはGPSアンテナとTVアンテナの距離を20cm以上離す	
	GPS情報を利用できない状態である	周囲に障害物がない所へ移動する	
	GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている	電話の使用をやめる	
	GPSを利用したレーダー探知機を使っている	本機のGPSアンテナと離してご使用ください	
自車位置の誤差が大きい	衛星の配置が悪い	GPS衛星の電波を受信しやすい場所へ移動する	
	2次元測位をしている		
	車速(スピードセンサーコード)が正しく接続されていない	取付説明書を参照して接続を確認してください	
データが保存できない	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にしてから保存する	

その他

症状	原因	対処	参照ページ
タッチスイッチがグレーになり操作できない	パーキングブレーキコードが接続されていない	取付説明書を参照して正しく接続する	
	操作できないタッチスイッチにタッチした	車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作する。また、状況・設定などにより、操作できないスイッチがある場合があります	
案内音声が出力されない	案内の音量が小さく(音声OFF)になっている	音量を大きくする	55ページ
イグニッションキーをONの位置にしたあと、しばらく画面にムラがある	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがある	バックライトが温まれば、数分後には解消される	
画面が見にくい	画面のコントラスト、明るさ調整が不適正である	コントラスト、明るさを調整する	38ページ
VICCSレベル1、2(文字表示型/図形表示型)が表示できない	VICCSの情報として送出されていない	地区等により送出される情報は異なる	
	VICCSの放送エリア外である	VICCSの放送エリアに移動する	
	放送局の周波数が合っていない	受信可能な放送局に周波数を合わせる	120ページ
	データの取り込みが完全ではない	更新データを受信するまで待つ	
VICCSレベル3(渋滞、規制、駐車場)の表示ができない	「VICCS設定」でこれらの表示条件が表示しない設定になっている	「する」に設定する	126ページ 127ページ
	VICCSの放送エリア外である	VICCSの放送エリアに移動する	
VICCS渋滞が考慮探索されない	「アクティブルートサーチ」が「しない」の設定になっている	「する」に設定する	140ページ
VICCS情報の表示が乱れる	電波や光の情報がうまく受信されない	情報を受信次第表示が更新されます	
VICCSの時間が時刻と違う	時計ではなく、表示中のVICCS情報の提供時刻を示しています VICCS情報を長時間受信していない場合、古い時間が表示されます	情報を受信次第更新されます	

一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げの販売店に問い合わせてください。

■ サウンド・映像関係

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	ヒューズが切れている	所定容量のヒューズと交換する	
	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にする	
	結露している	しばらく(1時間程度)放置し、乾いてから使う	
映像が不鮮明になったり、雑音が入ったりする	電波が弱い	他の場所に車を移動して再確認する	
	バッテリー電圧が低下している	バッテリー電圧/バッテリー液量/バッテリー液比重および配線を確認する(負荷状態で11ボルトを下回ると誤動作の原因となります)	
映像が出ない	モード切りかえがご覧になりたいモードになっていない	ご覧になりたいモードにタッチして切りかえる	199ページ
	パーキングブレーキコードを接続していない	パーキングブレーキコードを接続しパーキングブレーキをかける	
	パーキングブレーキをかけていない		
映像が出ないまたは動きが悪い	車室内の温度が低い	車室内の温度を常温にする	
映像に斑点やしま模様が出る	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、自動車などからの影響	妨害電波を受けない場所に車を移動する	
モニター画面中に小さな斑点や輝点がある	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください	
映像が二重三重になる。またはゆれる	近くの山やビルで電波が反射している	他の場所に車を移動する	
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるもの	故障ではありません。しばらくそのままお待ちください。	
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるもの	故障ではありません。しばらくすると安定します。	
音が出ない	音量の調整不良	音量スイッチを押して確認する	202ページ
片側のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードが外れている	スピーカーコードの接続を確認する	
	音量の調整不良	左右音量調整をして確認する	335ページ
音質調整をしても音質が変化しない	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない	放送、ディスクを変更して確認する	
CD/DVDが入らない	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている	すでに入っているCD/DVDを取り出してから、お好みのCD/DVDを入れる	22ページ
CD/DVDの再生ができない	結露している	しばらく放置してから使用する	
	CD/DVDに大きなキズやソリがある	他のCD/DVDを入れる	
	CD/DVDがひどく汚れている	クリーニングする	

症状	原因	対処	参照ページ
再生が始まらない/ 音がとぶ/音が歪む/ 早送り/早戻しができない	車内温度が50℃以上である	車内温度を常温まで下げてから、演奏させる	
	ディスクに傷が付いている	他のディスクを再生してみる	
	ディスクがひどく汚れている		
	録音状態が良くない		
	本機対応のディスクでない		
映像も音も出ない	結露している	しばらく放置してから使用する	
	サウンド・映像モードがOFFになっている	AV OFFモードを解除する	198ページ
	接続コードの接続が不完全	各接続コードの接続を確認する	
CD-R/CD-RWが再生できない	クローズセッション(ファイナライズ)処理を行っていない	クローズセッション(ファイナライズ処理)を行い、再度、試してみる	
MP3/WMA/AACが再生されない	書き込みに失敗している/対応フォーマット以外で書き込まれている	書き込みに失敗していないか確認する。または、「MP3/WMA/AACについて」を参照し、本機対応のフォーマットで書き込みを行う。	222ページ
HDDの再生が始まらない/ 音が飛ぶ/音が歪む/ 早送り・早戻しができない	HDDに録音されていない	音楽を録音する	229ページ
	録音状態が良くない	他の音楽データを再生してみる	
	本機対応の音楽データではない		
SDメモリーカードが入らない	すでに別のSDメモリーカードが入っている	SDメモリーカードを取り出してから入れ直す	23ページ
	SDメモリーカードの入れ方が間違っている	本書を参照し、正しく入れ直す	23ページ
SDメモリーカードの再生が始まらない/ 音が飛ぶ/音が歪む/ 早送り・早戻しができない	SDメモリーカードに傷がついている	他のSDメモリーカードを再生してみる	
	SDメモリーカードの端子部がひどく汚れている		
	録音状態が良くない		
	本機対応の音楽データではない		
放送局が受信できない/ 雑音が入る	アンテナが接続されていない(ラジオ)	アンテナが確実に接続されているか確認する(ラジオ)	
	放送局の周波数(チャンネル)が合っていない	周波数(チャンネル)を正しく合わせる	206ページ
	周りに障害物などがあり、受信状態が良くない	見通しが良いところに移動する	
自動的に放送局が選べない	電波の弱い地域にいる	手動で受信する	206ページ
iPodが再生しない/ iPodの音が出ない	iPodが認識されていない	iPodをリセットする。 iPodのリセットについては、iPod側のユーザズガイドを参照してください	



■ 表示メッセージ(共通)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
走行中は安全のため操作できません	走行中にメニュー操作を行った。	車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作する。	
液晶パネルの熱保護のためディスプレイの電源をOFFします 車内の温度が下がれば画面は自動的に復帰します	車内温度が高すぎる。	車内温度を常温まで下げる。	

■ 表示メッセージ(ナビゲーション関係)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
ルートを計算できませんでした 目的地を幹線道路付近にセットしてください	目的地を指示したとき、周辺に道路がなくルート探索ができない	付近の主要道路にカーソルを合わせ、再度目的地を指示する。	
この緯度経度は検索できません	入力した緯度経度に対応する場所が見つからない。	緯度経度以外の方法で地図を検索する。	
この番号は検索できません	入力した電話番号に対応する場所が見つからない。	電話番号以外の方法で地図を検索する。	
該当するデータはありません	入力したマップコードに対応する場所が見つからない。	マップコード以外の方法で地図を検索する。	
該当する施設がありません	入力した施設に対応する場所が見つからない。	施設以外の方法で地図を検索する。	
該当する電話番号はありません	入力した電話番号に対応する場所が見つからない。	電話番号以外の方法で地図を検索する。	
該当する郵便番号はありません	入力した郵便番号に対応する場所が見つからない。	郵便番号以外の方法で地図を検索する。	
自宅を登録してください	自宅が登録されていない状態で、自宅から地図を検索しようとした。	自宅を登録してから検索する。	
登録地点がありません	地点を登録していない状態、または登録地点を消去した後に登録地点から地図を検索しようとした。またはSDメモリーカードに地点をコピーしようとした。	地点を登録してから検索、またはSDメモリーカードに地点をコピーする。	
空き容量不足などのため登録地点の保存ができません	SDメモリーカードの容量が一杯になった。	不要なデータを消去する。	

■ 表示メッセージ(サウンド・映像関係)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
走行中は安全のため表示できません	走行中にテレビ/DVDなどの映像ソースを見ようとした。	車を安全な場所に停車させてからお楽しみください。	
DISCが読めません 車内温度が下がるまでお待ちください	車内温度が高すぎる。	車内温度を常温まで下げる。	
DISCを確認してください	CD/DVDディスクが汚れている、または裏返しになっている。	ディスクが汚れているときはクリーニングする。裏返しのときは正しく挿入する。	
このDISCは使用できません DISCを確認してください	本機対応のディスクではない。	他のディスクを再生してみる。	
HDDが読めません システムを再起動します	なんらかの原因でHDDにアクセスエラーが発生した。	自動的に再起動がかかります。	
HDDが読めません 詳細はサービスセンターへお問い合わせください	なんらかの原因でHDDにアクセスできなくなった。	お問い合わせ窓口にご相談ください。	402ページ
HDDの温度異常が発生しました 一部使用できない機能があります	ハードディスク内の温度が異常に高い、または低いため。	常温になるまで、しばらく待つ。	
エラーが発生しました	メカニズムエラー。	一度電源を切り、再度入れ直してください。	
DVDメカにアクセスできません 詳細はサービスセンターへお問い合わせください	なんらかの原因でDVDメカにアクセスできなくなった。	お問い合わせ窓口にご相談ください。	402ページ
DVDメカにアクセスできません システムをリセットします	なんらかの原因でDVDメカにアクセスエラーが発生した。	自動的に再起動がかかります。	

操作中、画面にはいろいろなメッセージが表示されます。メッセージには、現在の状態を知らせたり、次の操作をガイドしたりするもののほか、上記のようなエラーメッセージを表示する場合があります。上記のエラーメッセージが表示された場合は、「処置」の内容をよくお読みになり、その指示に従ってください。

保証について/規格



■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ店でお受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げの日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

■ アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いときは、保証書記載(裏面)に従い修理させていただきますので、お買い上げ店、または「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品は、製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げのお店または「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 修理によって登録内容が消去される場合があります。修理を依頼する前には、必ず登録している内容の控えを取ってください。

■ 規格/付属品

ナビゲーション部	受信周波数	1575.42±1 MHz
	受信感度	-130dBm
リモコン部	使用電源	単4型電池(2本)
	外形寸法	52mm(幅)×37mm(高さ)×142.5mm(奥行)
	重量	72g
GPSアンテナ部	本体部外形寸法	30.4mm(幅)×11.7mm(高さ)×35.5mm(奥行)
	重量	25g
モニター部	画面サイズ	7型
	表示方式	透過型TN液晶
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス
	画素数	1,152,000画素
	有効画素数	99.99%以上
	使用光源	冷陰極蛍光管
ラジオ・チューナー部	受信周波数	AM:522~1629kHz
		FM:76.0~90.0MHz
	実用感度	AM:22.5μV
		FM:0.8μV(75Ω):9.3dBf(新IHF)
	ステレオセパレーション	FM:45dB以上
	SN比	FM:80dB以上
	イメージ妨害比	FM:80dB以上
	IF妨害比	FM:80dB以上

DVD/CD部	方式	光学式(コンパクトディスク方式)
	量子化ビット数	1ビット
	チャンネル数	DVD5.1チャンネル/CD2チャンネル(ステレオ)
	ダイナミックレンジ	95dB(1kHz)以上
	高周波歪率	0.008%(1kHz)以下
	チャンネルセパレーション	90dB(1kHz)以上
	ワウフラッター	測定限界以下
	信号システム	NTSC
	水平解像度	500本以上
	画像出力レベル	1Vp-p(75Ω)
	画像SN比	DVD:70dB
	音声SN比	100dB
	周波数特性	5~20kHz
TV・FM・VICS チューナー部	受信方式	NTSCカラー方式
	回路方式	PLL周波数シンセサイザー
	受信チャンネル	VHF1~12ch、UHF13~62ch
	画像SN比	50dB
	音声SN比	60dB
	実用感度	38dBμV
HDD部	出力レベル	1000mV/10kΩ
	再生信号圧縮方式	WMA
	チャンネルセパレーション	90dB(1kHz)以上
	S/N比	100dB
SDメモリーカード 部	出力レベル	1000mV/10kΩ
	再生信号圧縮方式	MP3、WMA、AAC
	チャンネルセパレーション	90dB(1kHz)以上
	S/N比	100dB
総合	電源電圧	DC14.4V(動作範囲:11~16V)マイナスアース
	音声出力レベル	ブリアウト:2V/10kΩ(最大)
	動作温度範囲	-20°C~+60°C
	外形寸法	178mm(幅)×100mm(高さ)×151.5mm(奥行)
	重量	約3kg
	付属品	取扱説明書、取付説明書、クイックガイド、保証書類一式、 取付部品一式(取付説明書参照)
TUE-T1	受信周波数	473.143~767.143MHz
	受信チャンネル	UHF13~62チャンネル
	受信感度	-75dBm(ANT1)
	ビデオ出力	ピンジャック、同期負、1Vp-p
	オーディオ出力	2チャンネル、ピンジャック 出力:250mVrms チャンネルセパレーション:90dB
	外形寸法	94.5mm(幅)×23.0mm(高さ)×116.0mm(奥行)
	重量	180g



- ※ 本機は、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許諾が必要であり、マクロビジョンが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。
- ※ ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- ※ "DTS" and "DTS Digital Surround" are registered trademarks of Digital Theater Systems, Inc.
- ※ EUPHONY™およびEUPHONY Automobile™は株式会社ダイナミックの商標です。
- ※ The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by alpine Electronics, Inc. is under license. Other trademark and trade names are those of their respective owners.
- ※ Windows Media™およびWindows®ロゴは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。
- ※ MPEG Layer-3オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonから実施許諾されています。
- ※ 本製品の供給は、収益を発生する放送システム、ストリーミングアプリケーション、その他のコンテンツ配信システム、または物理的媒体で、本製品で創作されたコンテンツを配信する権利を暗示するものでもありません。当該使用には、独立したライセンスが必要です。詳細に関しては、<http://mp3licensing.com>にアクセスしてください。
- ※ iPodおよびiTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。
- ※ SDメモリーカード™は松下電器産業株式会社、米SanDisk社、株式会社東芝の商標です。
- ※ エコ運転支援機能は、Pivot社(www.pivotjp.com)製のe-drive機能の判断方式を使用しています。
- ※ QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。
- ※ マップコードは株式会社デンソーの登録商標です。
- ※ FOMAはNTTドコモの登録商標です。
- ※ キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- ※ Uni-Type™は、株式会社リムコーポレーションと千葉大学工学部との共同研究によって開発されたユニバーサルデザインの書体です。
- ※ Uni-Type™は、株式会社リムコーポレーションの登録商標です。
- ※ [its-moDrive for mobilemedia station X07]は、株式会社ゼンリンデータコムが07年初旬にサービスイン予定のドライバー向けWEBサイト[its-moDrive]のアルパイン向け先行リリース版となります。
- ※ その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

アドバイス

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 液晶パネルは、非常に精度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があり得ますので、あらかじめご了承ください。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。))は、放送法(昭和25年法律第132号)第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。))を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICSサービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICSサービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICSデスクランブラー

FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。



第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表Ⅲに定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

■ 別表

視聴料金	315円(うち消費税15円)
ただし、車載機購入価格に含まれております。	

地図データについて

収録データについて

■ 収録データの補足説明

- ※1 「全国約3,000万件個人宅電話番号・名称データ」による「電話番号」検索は公開「電話番号」及び公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域により格差がありますがデータ収録内で全国平均91%の精度でのピンポイント検索が可能です。なお、検索された物件の一部では家形図周辺の検索表示になる場合があります。また、電話番号非公開訪問先宅（データ収録外物件）については入力電話番号「局番」周辺の位置検出となります。
- ※2 「全国約3,300万件住所検索データ」による「住所」検索は住所の整備状況により一部検索出来ない住所があります。また、検索された住所の一部では家形図周辺の検索表示になる場合があります。尚、約3,300万件の住所データは事業所および施設の住所データも含みます。
- ※3 「全国約1,300万件50音データ」及び「全国約1,300万件タウンページ電話番号データ」によるピンポイント検索は、全国平均97%の精度でのピンポイント検索が可能です。また、国土地理院発行地図の番号未掲載や電話番号登録時の状況により周辺地域による位置検出となる場合があります。なお、収録されているデータは2005年11月時のタウンページデータです。
- ※4 市街地カバー面積は、収録地域によって全域をカバーしていない場合があります。

地図・情報について

このナビゲーションシステムの「地図」は「全国デジタルデータベース」（財団法人日本デジタル道路地図協会作成）と「交通規制データベース」（財団法人日本交通管理技術協会作成）をもとに、株式会社ゼンリンが独自に収集した情報（高速道路・有料道路は2005年12月までに、国道・都道府県は2005年11月現在までに）を網羅し、作成したものです。

本品に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては、実際の道路状況および交通規制に従ってください。

地図の内容は、予告なく新しい地図データに更新されることがあります。

抜け道データは、昭文社「GIGA マップル渋滞ぬけみち」関東版（2005年4月）、中部・名古屋版（2005年7月）、京阪神版（2005年7月）に基づき作成しています。

■ 地図版権について

- この地図作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しています。（測量法第30条に基づく成果使用承認 平17給使、第598-51号）
- 本品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき、全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制原図を用いて、（財）日本交通管理技術協会（TMT）が作成したものを使用しています。（承認番号 06-11）
- 本品に使用している交通規制データは2005年4月現在のものです。本データが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等に従ってください。
- 本品に使用している交通規制データの著作権は、（財）日本交通管理技術協会が有し、株式会社ゼンリンは二次的著作物作成の使用実施権を取得しています。
- 本品に使用している交通規制データを、無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 「VICS」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 本品に使用している祭事の画像情報の一部は「金森盈写真文庫」から提供を受けています。

©2006 MBA, Inc.

©2006 ZENRIN CO.,LTD.

©2005 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

©2005 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

©2005 .TMT

©ジオ技術研究所

©2006 ALPINE ELECTRONICS, INC.

個人宅電話番号・名称データについて

個人宅電話番号・名称データは、（株）ダイケイのテレデータ（おおむね2005年2月までに収集されたデータ）を使用しております。

※ 個人情報保護に関する基本方針、およびナビゲーション地図に搭載されております個人データのお取り扱いにつきましては下記アドレスのホームページを御覧ください。

<http://www.alpine.co.jp/>

マイクロソフトからの使用許諾契約書

下記の使用許諾書をよくお読みのうえ、本ナビゲーションを正しくお使いください。

■使用許諾契約書

本ナビゲーションには、Microsoft 社製Windows Automotive がOSとして使用されています。Windows Automotive並びに、それに関連した媒体、印刷物、「オンライン」、電子文書（以下「MSソフトウェア」という）は、無体財産権に関する法律、条約により国際的に保護されています。MSソフトウェアは許諾されるものであり、販売されるものではありません。お客様が本契約書の条項に同意されない場合、MSソフトウェアを使用複製することはできません。MSソフトウェアを使用複製した場合、お客様は本契約書の条項に拘束されることを承諾されたものとします。

本契約は、お客様に以下のことを許諾致します。

- お客様は、本ナビゲーションにおいてのみMSソフトウェアを使用することができます。
- MSソフトウェアの使用方法是、十分にテストの上、決定されたものであり、MSは一切責任を負いません。
- MSソフトウェアは提供時の現状のままで、そこに含まれるあらゆる瑕疵とともに提供されるものであり、品質、性能、正確性その他不適切な取扱いに伴う危険について何ら保証致しません。お客様がMSソフトウェアを使用する際支障をきたすことや、また、MSソフトウェアが第三者の知的財産権を侵害していないことについても何ら保証致しません。お客様が、MSソフトウェアにつき、MS以外の者から保証を受けたとしても、かかる保証はMSを一切拘束しないものとします。
- 法律の許す限りにおいて、MSは、MSソフトウェアの使用から生ずるいかなる損害（間接損害、特別損害、結果損害、偶発損害）についても、一切責任を負わないものとします。
- お客様が、MSソフトウェアにつき、リバースエンジニアリング、逆コンパイルその他解析作業を行なうことは禁じられます。但し、法律が明示的に許諾する範囲においてはこの限りではありません。
- 別途契約書が提示されない限り、MSソフトウェアのバージョンアップ品または付属品についても本契約が適用されるものとします。
- お客様に、復元または再インストールのためのソフトウェアが別媒体によって提供された場合、お客様は、提供されたソフトウェアを、復元または再インストールのためにのみ使用できるものとします。
- **アップグレード:** ソフトウェアは、デバイス（媒体デバイス、ウェブダウンロードを通じてのデバイスや、他の手段によるデバイス）以外のALPINEによって提供される場合のソフトウェアや、「アップグレードの目的に限定」とラベルが貼られている場合は、そのソフトウェアの一部複製を既存のソフトウェアのかわりとして本ナビゲーションにインストールできます。アップグレードソフトウェアに添付の使用許諾契約書追加条項も含め、使用許諾契約書と一致する限りそのソフトウェアは使用できます。
- **契約書の終結:** お客様がこの使用許諾契約書の条項と条件を遵守されない場合は、ALPINEとMSは他のいかなる権利も失うことなく、この使用許諾契約書の契約を終わらせることができます。契約が終結した場合、お客様はソフトウェアの全ての複製と部品を壊さなければなりません。
- **知的財産権:** ソフトウェアにおける/対する全ての称号や知的財産権（無制限の映像、写真、動画、ビデオ、オーディオ、音楽、テキスト、ソフトウェアに組み込まれている「アプレット」も含めて）、添付の印刷物、ソフトウェアの複製は、MSマイクロソフト社とMS支社や業者による所有物です。ソフトウェアは許諾されるものであり、販売されるものではありません。お客様はソフトウェアに添付されている印刷物を複製してはならない。ソフトウェアの使用を通じてアクセスできるコンテンツにおける/対する全ての称号と知的財産権は、各コンテンツのオーナーの財産であり、著作権あるいは知的財産法と条約によって保護されています。この使用許諾契約書は、お客様にこのようなコンテンツを使用する権利を認めていません。特にこの使用許諾契約書のもとで認可されていない全ての権利は、MS、マイクロソフト社と支社及び業者によって留保されます。ソフトウェアを通じてアクセスできるオンラインサービスの使用は、そのようなサービスに関連して使用のための各条項で管理されています。このソフトウェアが電子形式のみで提供されるドキュメンテーションが含まれている場合は、そのような電子ドキュメンテーションを一部のみ複製印刷できません。
- **登録商標:** 使用許諾契約書は、ALPINE、MS、マイクロソフト社と支社、業者の登録商標やサービス商標の使用権利を許可しません。
- **製品のサポート:** ソフトウェアに対するサポートは、マイクロソフト社と支社、業者によっては対応されません。製品のサポートに関しては、本ナビゲーションのドキュメントに記載されているALPINEサポートナンバーを参照してください。お客様がこの使用許諾契約書に関連して疑問点があれば、もしくはその他の理由でALPINEにコンタクトすることを希望の場合は、本ナビゲーションのドキュメントに記載されている住所へお問い合わせください。
- お客様は、本ナビゲーション製品の一部として、本契約に基づくMSソフトウェアの使用の権利を移転できるものとします。本契約に基づくMSソフトウェアの使用権を本ナビゲーションと分離して移転することはできません。
- MSソフトウェアはアメリカ合衆国が原産国です。お客様は、アメリカ合衆国の輸出管理規制およびアメリカ合衆国その他の政府が発する輸出地に関する規制等、MSソフトウェアに適用される輸出に関する国際的、国内的規制を遵守することに同意するものとします。

お問い合わせ窓口

(AV/NAVI/MD/3D)

(平成 18 年 11 月 1 日現在)

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL:0570-006636
※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
＜携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用＞
TEL:048-662-6636



市内通話料でOK
ナビダイヤル®

- 電話受付時間 9:30～17:30
(土日、祝日、弊社休業日を除く)
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX:048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

営業所・販社名	電話番号	住所	担当 都道府県
北日本エリア			
仙台オフィス	022-239-5331	〒983-0031 宮城県仙台市宮城野区小鶴字羽黒 104-1	宮城県 / 山形県 / 秋田県 / 青森県 / 岩手県
札幌オフィス	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北 1 条西 22 丁目 2 番 1 号 上野ビル	北海道 全域
郡山オフィス	024-925-3811	〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池 11 番 5 号	福島県
北関東エリア			
北関東オフィス	048-664-7701	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2 丁目 7 番 2 号	東京都都心・西部 / 埼玉県 / 群馬県 / 栃木県
松本オフィス	0263-26-0783	〒390-0487 長野県松本市笹部 1 丁目 3 番 7 号オフィス GB205 号	長野県 / 山梨県
新潟オフィス	025-257-8680	〒950-0852 新潟県新潟市石山 1 丁目 3-6 エクセレント石山	新潟県
東関東エリア			
東関東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町 2-406-1	東京都東部 / 千葉県 / 茨城県
南関東エリア			
南関東オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町 1767 番地 アルプス電気横浜事業所内 5F	東京都都心・南部 / 神奈川県 / 静岡県(大井川以東)
中部圏エリア			
中部オフィス	052-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石 3 丁目 108	愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 静岡県(大井川以西) / 石川県 / 富山県 / 福井県
近畿圏エリア			
大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町 3 丁目 18 番 14 号	大阪府 / 奈良県 / 和歌山県
中四国エリア			
岡山オフィス	086-243-8257	〒700-0975 岡山県岡山市今 4 丁目 5 番 2 号	岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 徳島県 / 香川県
広島オフィス	082-846-1175	〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園 2 丁目 11 番 16 号	広島県 / 山口県
九州エリア			
福岡オフィス	092-452-8870	〒816-0093 福岡県福岡市博多区那珂 3 丁目 23 番 2 号ヒロタビル 7 号	福岡県 / 大分県 / 佐賀県 / 熊本県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県
長崎オフィス	095-727-1581	〒854-0074 長崎県諫早市山川町 3 の 13	長崎県
アルパイン京都販売(株)	075-671-9400	〒601-8101 京都府京都市南区上烏羽高島町 88-2	京都府 / 滋賀県
アルパイン兵庫販売(株)	0794-54-6123	〒675-0067 兵庫県加古川市加古川町河原 133 の 1	兵庫県
マークエンタープライズ(株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町 3 丁目 10 番 8 号	高知県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス (株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズサービス (株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町 3 丁目 18 番 14 号	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県

MENU項目一覧

メニュー	項目	詳細項目	参照先
サウンド・映像	DVD/CD		「DVD/ビデオCD操作」273ページ
	HDD AUDIO		「HDD AUDIO操作」225ページ
	SD		「SDメモリーカード操作」267ページ
	TV		「TV操作」257ページ
	FM/AM		「ラジオ操作」203ページ
	AUX※1		「AUX操作」318ページ「地上デジタルTV操作(オプション)」321ページ
	iPod※2		「iPod操作」305ページ
	設定を変える		「設定項目一覧」404ページ
ドライブインフォメーション	交通情報		「交通情報を受信する」209ページ
	DRIVE INFO.表示		「ドライブインフォメーション画面の見かた」107ページ
ナビメニュー	設定を変える		「ドライブインフォメーション設定」110ページ
	行き先を決める		「行き先を探す」59ページ
	情報を見る	FM多重	「FM多重放送を見る」120ページ
		VICS情報	「VICS情報を見る」121ページ
		VICS割込み情報	「割込み情報を見る」122ページ
		VICS駐車場情報	「駐車場情報を見る」123ページ
		ETC	「ETCについて」176ページ
	設定を変える		「設定項目一覧」404ページ
	地点1		「よく行く地点を設定する」73ページ
	地点2		「よく行く地点を設定する」73ページ
	地点3		「よく行く地点を設定する」73ページ
	自宅		「自宅へ帰る」73ページ
電話・通信	着信履歴		「発信履歴/着信履歴から電話をかける」159ページ
	発信履歴		「発信履歴/着信履歴から電話をかける」159ページ
	番号入力		「番号を入力して電話をかける」157ページ
	電話帳		「電話帳から電話をかける」158ページ
	設定を変える		「電話・通信設定」169ページ
	短縮1		「短縮ダイヤルから電話をかける」159ページ
	短縮2		「短縮ダイヤルから電話をかける」159ページ
	短縮3		「短縮ダイヤルから電話をかける」159ページ
AV OFF	リダイヤル		「直前にかけた電話番号に電話をかける」157ページ
	音量調整		「サウンド調整画面の操作」332ページ
	画質調整		「画質の調整」38ページ
	画面 OFF		「画面を消す」25ページ
AV OFF			「サウンド・映像モードのON/OFF」198ページ

※1 「外部機器を接続する」が「あり」設定時(319ページ参照)。

※2 iPod接続時

設定項目一覧

タブ	項目	詳細項目	参照先
基本	ディスプレイ表示	自動タイトルスクロール	35ページ
		リアモニター映像出力	35ページ
		時計表示	36ページ
		自動壁紙変更	36ページ
		パルスタッチ	36ページ
		タッチパネル補正	36ページ
		モニター自動CLOSE	36ページ
		スベアナ表示	37ページ
	ディスプレイ照明	ディマー設定	37ページ
		夜用明るさ調整	37ページ
		夜用LED明るさ調整	37ページ
	AUX	外部接続	319ページ
		名称選択	319ページ
		音声レベル	319ページ
	TV音声	TV音声	264ページ
	画像	HDD画像	343ページ
		SD画像	272ページ
		画面OFF	343ページ
	リアカメラ	接続	182ページ
		ガイド線表示	182ページ
	SDメモリーカード	再生モード	269ページ
		SDメモリーカード編集	270ページ
		SDメモリーカード初期化	270ページ
	情報消去	全設定項目初期化	146ページ
		全情報初期化	146ページ
ナビゲーション	地図表示	地図色切換	132ページ
		地図色昼/夜切換	132ページ
		行政界色分け	132ページ
		現在地情報表示	133ページ
		誘導方向表示	134ページ
		方面看板表示	133ページ
		ビル立体表示	134ページ
		3Dランドマーク表示	134ページ
		登録地点アイコン表示	133ページ
		冬期規制アイコン表示	133ページ
		高速ガイド表示	135ページ
		細街路オートスケール	135ページ
		走行連動地図切換	134ページ
		一般道路モード地図	135ページ
		高速・有料モード地図	135ページ
		地図表示言語設定	133ページ
		施設文字	133ページ
		自車マーク	135ページ
	案内誘導	ルート行程情報表示	137ページ
		県境案内	137ページ



タブ	項目	詳細項目		参照先
ナビゲーション	案内誘導	一般道合流案内		137ページ
		SA・PA合流案内		137ページ
		IC合流案内		137ページ
		JCT合流案内		137ページ
		踏み切り案内		137ページ
		事故多発警告		138ページ
		ナビ案内画面割込み		138ページ
		車両情報	車両種別	138ページ
		駐車場条件	長さ	138ページ
			幅	138ページ
			高さ	138ページ
		一般道車速設定		138ページ
		有料道車速設定		138ページ
		高速道車速設定		138ページ
		到着予想時刻音声案内		138ページ
		ETC案内		138ページ
		リアルジャンクションガイド		138ページ
		詳細案内図表示		139ページ
		レーンガイド表示		139ページ
		経路	アクティブルートサーチ	
	短縮時間設定		140ページ	
	抜け道探索		140ページ	
	フェリー使用		141ページ	
	時間曜日規制考慮		141ページ	
	回避エリア考慮		141ページ	
	冬期閉鎖区間考慮		141ページ	
	迂回距離 一般道		141ページ	
	迂回距離 有料・高速		141ページ	
	地点編集	登録地点		95ページ
		特別地点		95ページ
		迂回地点		102ページ
	VICS	情報保持時間		125ページ
		情報割込み		125ページ
		割込み時間		125ページ
	自転車位置修正			136ページ
	ルート学習	ルート学習		142ページ
		ルート学習結果を消去		142ページ
		渋滞学習		142ページ
		渋滞学習結果を消去		143ページ
	ナビ情報	GPS情報		144ページ
		接続情報		144ページ
		バージョン情報		144ページ
		店頭デモ	店頭デモ自動起動	145ページ
			店頭デモ	145ページ
		地図差分更新		145ページ

タブ	項目	詳細項目	参照先
i-Personalize	Media Xpander		333ページ
	BASS MAX EQ		334ページ
	P-EQ		334ページ
	サラウンド設定		336ページ
	T.CORR		338ページ
	X-OVER		340ページ
	EASY SETUP		340ページ
オーディオ	HDD AUDIO	自動録音	255ページ
		ビットレート	255ページ
		ハードディスク情報	255ページ
	DVD初期設定	メニュー言語	299ページ
		音声言語	298ページ
		字幕言語	299ページ
		カントリーコード	300ページ
		パレンタル	301ページ
		VCD PBC再生	301ページ
		ダウンミックス	302ページ
		スクリーン設定	302ページ
		DVD-A再生モード	302ページ
		ボーナスコード設定	303ページ
通信	接続電話	自動接続	169ページ
		ケーブル接続	169ページ
		Bluetooth接続	169ページ
	データ通信	ケーブル接続	170ページ
		B.T1	170ページ
		B.T2	170ページ
		B.T3	170ページ
		B.T4	170ページ
	Bluetooth	Bluetooth機器設定	173ページ
		Bluetooth自デバイス情報編集	173ページ
	通話画面	着信全画面割込み	174ページ
		着信・通話画面情報表示	174ページ
	通話音量	自動着信	174ページ
		着信音量	174ページ
		受話音量	174ページ
		送話音量	174ページ
DRIVE INFO.	車種設定		110ページ
	INFO.表示設定	ECOガイドトーン	110ページ
		ECO情報	110ページ
		標高最大値	110ページ



共通

共通

	目的	項目	参照ページ
ディスプレイについて	ディスプレイの角度を調整したい	ディスプレイの角度を調整する	22ページ
	ディスクやSDメモリーカードを出し入れしたい	DVD、CD、SDメモリーカードの出し入れ	22ページ
	ディスプレイの明るさを設定したい	ディスプレイ照明設定	37ページ
画面について	マルチゲート画面について知りたい	マルチゲート画面	26ページ
	マルチインフォメーション画面について知りたい	マルチインフォメーション画面	29ページ
	ドライブインフォメーション画面の見かたを知りたい	ドライブインフォメーション画面の見かた	107ページ
	ナビゲーション画面を表示したい	ナビゲーション画面を表示する	24ページ
	サウンド・映像モードを表示したい	サウンド・映像モードに切りかえる	24ページ
	操作音の音量を調整したい	操作音の設定	336ページ
	画面を消したい	画面を消す	25ページ
	画質を調整したい	画質の調整	38ページ
	画面サイズを変えたい	画面モードを切りかえる	40ページ

ナビゲーション関係

地図に関して

	目的	項目	参照ページ
地図の表示について	地図画面の見方を知りたい	画面の見かた	42ページ
	地図記号について知りたい	地図マーカー一覧	186ページ
	現在地を知りたい	現在地を表示する	45ページ
	現在地付近の地図を見たい	地図をスクロールする	45ページ
	地図の縮尺を切りかえたい	縮尺を切りかえる	46ページ
	市街地図の表示に切りかえたい	縮尺を切りかえる	46ページ
	地図の向きをかえたい	方位を切りかえる	47ページ
	画面を2分割して表示させたい	地図表示を切りかえる	48ページ
	ナビ画面とサウンド・映像画面を同時に表示させたい	マルチゲート画面、マルチインフォメーション画面について	26ページ、29ページ
	インジケータバーの表示について知りたい	インジケータバーを表示する	51ページ
	地図を立体的に表示させたい	方位を切りかえる	47ページ
	立体的な施設マークを表示させたい	3Dランドマークを表示する	134ページ
	施設(コンビニ・ガソリンスタンドなど)を表示させたい	ランドマーク表示を設定する	52ページ
	目的地に到着する時間を表示させたい	到着情報の表示	88ページ
	明るさやコントラストをかえたい	画質の調整	38ページ
	地図の色をかえたい	地図色を切りかえる	132ページ

目的		項目	参照ページ
地図の呼び出しについて	施設の名称を入力して呼び出したい	施設を50音で探す	64ページ
	施設を検索して呼び出したい	施設を探す	61ページ
	電話番号を入力して呼び出したい	電話番号から探す	66ページ
	郵便番号を入力して呼び出したい	郵便番号から探す	67ページ
	住所を入力して呼び出したい	住所を50音で探す	65ページ
	住所を検索して呼び出したい	住所リストから探す	60ページ
	インターチェンジや駅を検索して呼び出したい	路線別で探す	62ページ
	登録した地点から呼び出したい	登録地点から探す	63ページ
	以前の目的地から呼び出したい	目的地履歴から探す	64ページ
	マップコードを入力して呼び出したい	マップコードから探す	68ページ
	緯度経度を入力して呼び出したい	緯度経度から探す	68ページ
	現在地の近くにある施設を呼び出したい	現在地周辺/目的地周辺から探す	69ページ
	案内ルートの近くにある施設を呼び出したい	ルート周辺から探す	69ページ
	目的地の近くにある施設を呼び出したい	現在地周辺/目的地周辺から探す	69ページ
	現在地の近くにある建物を呼び出したい	周辺の建物から探す	70ページ

目的地案内に関して

目的		項目	参照ページ
目的地案内を開始する前に	目的地を決めたい	目的地を設定する	73ページ
	案内を開始させたい	目的地案内を開始する	77ページ
	ルートを選びたい	ルートの探索結果画面	74ページ
目的地案内を開始する前、または目的地案内中に	目的地までのルートを知りたい	案内中のルートを確認する	79ページ
	目的地に到着する時間を知りたい	到着情報の表示	88ページ
	経由地を設定したい	経由地を設定する	76ページ
	通るインターチェンジ(IC)を指定したい	インターチェンジ(IC)を指定する	75ページ
	区間ごとのルートをかえたい	利用道路を変更する(条件変更)	82ページ
	表示されているルートをかえたい	別のルートを選択する	82ページ
	音声案内の音量をかえたい	案内音量を調整する	55ページ
	料金所の手前で金額を知りたい	料金案内	88ページ
	音声案内を確認したい	音声案内	88ページ
	高速道路の分岐を立体的に表示したい	交差点・高速分岐案内	86ページ
	曲がる交差点を立体的に表示したい	交差点・高速分岐案内	86ページ
	進む車線を知りたい	レーン(車線)ガイド表示	87ページ
	目的地を消去して案内を中止したい	ルートを消去する	85ページ
	ルート全体を表示させたい	全ルートを表示する	80ページ
	常に最短のルートに変更したい	より最適なルートが見つかった場合(アクティブルートサーチ)	77ページ
	抜け道を使いたい	抜け道ルートが見つかった場合	78ページ

VICS

	目的	項目	参照ページ
VICSについて	VICS情報を地図に表示させたい	VICS設定	125 ページ
	FM多重放送を表示させたい	FM多重放送を見る	120 ページ
	VICS情報を表示させたい	VICS情報を見る	121 ページ
	割り込み情報を表示させたい	割り込み情報を見る	122 ページ
	駐車場情報を見たい	駐車場情報を見る	123 ページ
	VICS記号について知りたい	VICS道路交通情報マーク一覧	193 ページ

その他

	目的	項目	参照ページ
便利な機能	自宅を登録したい	特別地点(自宅/よく行く地点)を登録する	92 ページ
	リスト画面を操作したい	リスト画面を切りかえる	32 ページ
	覚えておきたい地点を登録したい	地点を登録する	94 ページ
	迂回する地点を登録したい	迂回地点を登録する	101 ページ
	走行状態を知りたい	ドライブインフォメーション画面の見かた	107 ページ
	電話をかけたい	電話をかける	157 ページ
	ハンズフリー電話の音量を調整したい	通話音量を調整する	168 ページ
	ナビに記録した情報を消去したい	情報を消去する	146 ページ
	ETCについて知りたい	ETCについて	176 ページ
わからなくて お困りのとき	リアカメラを操作したい	リアカメラの操作	178 ページ
	画面のメッセージがわからない	表示メッセージ(ナビゲーション関係)	393 ページ
	故障かどうかわからない	故障かな?と思ったら	389 ページ
	ナビゲーションについてもっとよく知りたい	Q&A	380 ページ

サウンド・映像関係

オーディオについて

	目的	項目	参照ページ
ラジオの使い方について	ラジオを聴きたい	ラジオを聴く	205ページ
	放送局を探したい	聴きたい放送局を選ぶ	206ページ
	放送局を記憶させたい	放送局を記憶する	207ページ
	交通情報を聴きたい	交通情報を受信する	209ページ
CDの使い方について	CDを聴きたい	CD/MP3/WMA/AACを聴く	215ページ
	聴きたい曲を探したい	聴きたい曲(ファイル)を選ぶ	216ページ
	聴きたい曲が何番目に入っているかわからない	曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)	219ページ
	今聴いている曲やCDを繰り返し再生したい	繰り返し聴く REPEAT(リピート)	221ページ
	いつもと違う順番で聴きたい	曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)	220ページ
MP3/WMA/AACについて	MP3/WMA/AACを聴きたい	CD/MP3/WMA/AACを聴く	215ページ
	聴きたいフォルダや音楽ファイルを選びたい	聴きたい曲(ファイル)を選ぶ	216ページ
	聴きたい音楽ファイルを探したい	曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)	219ページ
	今聴いている音楽ファイルを繰り返し再生したい	繰り返し聴く REPEAT(リピート)	221ページ
	いつもと違う順番で聴きたい	曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)	220ページ
	MP3/WMA/AACについて知りたい	MP3/WMA/AACについて	222ページ
HDD AUDIOの使い方について	HDD AUDIOを聴きたい	HDDの曲を聴く	232ページ
	聴きたい曲やアルバムを選びたい	聴きたい曲を選ぶ	233ページ
		聴きたい曲を探す	235ページ
	聴きたい曲を探したい	曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)	241ページ
	今聴いている曲を繰り返し再生したい	繰り返し聴く REPEAT(リピート)	243ページ
	いつもと違う順番で聴きたい	曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)	242ページ
	HDD AUDIOに曲やアルバムを録音したい	HDDへ録音する	229ページ
	よく聴く曲を登録したい	プレイリストの編集	244ページ
	曲名やアルバム名を変更したい	HDDの編集	249ページ
	曲の順番を並べかえたい	曲を並べかえる	252ページ
	曲やアルバムを消去したい	消去する	252ページ
	タイトル情報を取得したい	タイトル情報を取得する	254ページ
	HDD AUDIOについて知りたい	HDDをご使用になる前に	226ページ

テレビについて

	目的	項目	参照ページ
テレビについて	テレビを見たい	テレビを見る	260 ページ
	放送局を探したい	放送局を選ぶ	261 ページ
	放送局を記憶させたい	放送局を記憶する	262 ページ
	テレビの操作画面を表示したい	画面の見かた	258 ページ
	今、聞いている音声を切りかえたい	音声多重機能を使う (二重音声放送)	264 ページ

SDメモリーカードについて

	目的	項目	参照ページ
SDメモリーカードの使い方について	音楽データを再生したい	音楽データを再生する	269 ページ
	登録地点をコピーしたい	登録地点をコピーする	270 ページ
	画像を本機にコピーしたい	SDメモリーカードの画像をHDDに追加する	272 ページ

DVD/ビデオCDについて

	目的	項目	参照ページ
DVD/ビデオCDについて	DVDを見たい	DVD/ビデオCDを再生する	283 ページ
	見たい場面を探したい	見たい映像を探す	292 ページ
	他のアングルにかえたい	アングルの切りかえ	296 ページ
	他の言語にかえたい	音声言語の切りかえ	296 ページ
		サブタイトル(字幕言語)切りかえ	297 ページ
	今見ている場면을繰り返し再生したい	繰り返し見る REPEAT(リピート)	295 ページ
	DVDメニューを表示したい	メニューを表示する	284 ページ
	言語をかえたい	優先する音声を切りかえる	298 ページ
		字幕の言語を切りかえる	299 ページ
		メニューの言語を切りかえる	299 ページ
	視聴制限を設定したい	視聴制限を設定する	301 ページ
	画面のサイズを切りかえたい	映像出力を切りかえる	302 ページ

iPodについて

	目的	項目	参照ページ
iPodについて	iPodを聴きたい	iPodの曲を聴く	308 ページ
	聴きたい曲を選びたい	聴きたい曲を選ぶ	309 ページ
	聴きたい曲やアルバムを探したい	聴きたい曲を探す	312 ページ
	いつもと違う順番で聴きたい	曲順を変えて聴く シャッフル(M.I.X. ミックス)	315 ページ
	今聴いている曲を繰り返し再生したい	繰り返し聴く REPEAT(リピート)	316 ページ

外部機器について

目的		項目	参照ページ
外部機器について	外部機器(VTRなど)の映像を見たい	AUX操作	318ページ

地上デジタルテレビについて

目的		項目	参照ページ
地上デジタルテレビについて	地上デジタルテレビを見たい	地上デジタルテレビを見る	325ページ
	放送局を探したい	放送局を選ぶ	326ページ
	番組情報を見たい(EPG)	番組情報を見る(EPG)	328ページ

リモコン操作について

目的		項目	参照ページ
リモコン操作について	リモコンを使う準備をする	リモコンを使いこなす	346ページ
	リモコンで操作する	リモコン操作	348ページ

音の調整に関して

目的		項目	参照ページ
音の調整について	メディアに合った音質にしたい	MXモードの設定	333ページ
	自分の車に合った音質にしたい	EASY SETUPの設定	340ページ
	イコライザーを調整したい	イコライザー特性(メーカー設定)を選ぶ BASS MAX EQ	334ページ
		イコライザーカーブの設定 P-EQ	334ページ
	音のバランスを調整したい	バランス/フェダーの設定 BAL./FAD.	335ページ
	音の到達時間差を調整したい	タイムコレクションの設定	338ページ
	スベアナを表示したい	スベアナ表示を設定する	37ページ
	サウンド・映像モードの音量を調整したい	音量の調整	202ページ

その他

目的		項目	参照ページ
画面について	サウンド・映像モードをOFFにしたい	サウンド・映像モードのON/OFF	198ページ
	モードを切りかえたい	モードを切りかえる	199ページ
わからなくてお困りのとき	画面のメッセージがわからない	表示メッセージ(サウンド・映像関係)	394ページ
	故障かどうかわからない	故障かな?と思ったら	389ページ

索引(ナビゲーション編)



五十音順

あ行

空き道表示	126
アクションインジケータ	19
アクティブルートサーチ	77
アクティブルートサーチを設定する	140
案内音量	55
案内開始	74
案内中のルートを確認する	79
案内ポイント	44
案内誘導設定	137
行き先を検索して設定	72
行き先を探す	59
一般	74
一般道合流案内	137
一般道車速設定	138
一般道路モード地図	135
緯度経度から探す	68
イルミ連動	132
インジケータバー	51
インジケータバー表示ON/OFFスイッチ	42
インジケータ表示	28
インターチェンジ(IC)を指定する	75
迂回エリア範囲設定	103
迂回距離	141
迂回する	84
迂回地点情報を確認・変更する	102
迂回地点を登録する	101
映像画質を調整する	39
映像コントラストを調整する	39
映像の明るさを調整する	39
映像の色あいを調整する	39
映像の色の濃さを調整する	39
エコガイド	108
エコガイドインジケータ	108
エコガイドバー	108
選んで探す	60
応答保留	154
お問い合わせ窓口	402
オプション機能	175
音声案内	88
音声切換	155

か行

カーソルマーク	43
ガイド音声	55
ガイド線を調整する	181
回避エリア考慮	141
各部の名称	19
画質設定	38

画質調整値の記憶/呼び出し	39
画質の調整	38
画像を登録する	162
壁紙をOFFにする	25
画面の見かた	42
画面表示切りかえスイッチ	42
画面モード	40
画面を消す	25
規制考慮	75
規制マーク表示	117、127
軌跡	52
旧ルート	77
行政界色分け	132
距離	74
距離メーター	86
切りかえスイッチについて	346
緊急・注意警戒表示	114
緊急情報	122
警告アイコン	44
携帯電話を接続する	149
経由地を設定する	76
経由地を変更する	83
経路設定	140
ケーブル接続	169
県境案内	137
言語設定	298
現在地画面	42
現在地周辺/目的地周辺	69
現在地情報表示	133
現在地を表示する	45
現ルート	78
交差点・高速分岐案内	86
交差点名称表示	86
高速/有料道路モード地図	135
高速入口案内図	86
高速ガイド表示	87、135
高速道車速設定	138
高速分岐案内	86
交通FM図形情報	119
交通FM文字情報	119
交通事故多発区間警告	138
行程ガイド	48
項目のスクロール	32
合流案内	137
故障かな?と思ったら	389
個人宅電話番号・名称データについて	400
ことわり情報	122

さ行

細街路オートスケール	135
最適ルート	77

その他

次ページに続く→

サウンド・映像画面への案内割込み	138
サウンド・映像ソース情報表示	28
索引	413
差分更新	145
市街地図	46
市街地図収録都市リスト	187~192
時間曜日規制考慮	141
自車位置修正	136
自車位置マーク	42
自車マーク表示を設定する	135
施設ジャンル一覧	371
施設情報画面から電話をかける	160
施設マーク	50
施設文字	133
施設を50音で探す	64
施設を探す	61
自宅	92
自宅へ帰る	73
自動再探索	77
自動接続	169
自動着信	174
自動で壁紙を変更する	36
車種設定	110
車速バー表示	108
車両種別	138
ジャンル	61
住所リストから探す	60
住所を50音で探す	65
渋滞・混雑/空き道表示	116
渋滞・混雑表示	126
渋滞回避ルート探索	74
渋滞学習の設定	142
渋滞予測表示(空き道)	127
渋滞予測表示(渋滞・混雑)	126
周辺迂回	84
周辺施設を検索する	53
周辺の建物から探す	70
周遊	84
収録データについて	400
縮尺	46
受話音量	168
瞬間車速表示	108
準備	19
ジョイスティック	346
条件変更	82
詳細案内図表示	139
情報消去	146
情報保持時間	125
情報割込み	125
新ルート	77
推奨	74

数字を入力する	34
スキン変更	28
スクロール	45
スクロール後の画面	43
図形情報	119
スケールバー	46
スペアナ表示を設定する	37
スライダーバー	27, 80
接近音を変更する	98
接続ケーブルで接続する	149
接続先	170
接続情報	144
接続電話	169
接続電話設定	169
接続電話の設定	169
設定項目一覧	404
全情報初期化	146
全設定項目初期化	146
全ルート	80
走行距離を見る	109
送話音量	168

た行

タイトルスクロール	35
タイムスタンプ	114
タッチスイッチ	20
タッチパネル操作振動のON/OFF	36
タッチパネルの調整	36
建物情報	54
タブ	32
短縮時間	140
短縮ダイヤル	159
近くで探す	69
地図・情報について	400
地図色切換	132
地図から設定	72
地図差分更新	145
地図データについて	400
地図データを更新する	145
地図表示言語を英語にする	133
地図表示設定	132
地図表示のしかた	46
地図表示を設定する	51
地図マーク一覧	186
地点情報	96
地点情報を確認・変更する	95
地点の位置を変更する	99
地点の登録	91
地点の読みを変更する	97
地点名称を変更する	97
地点を消去する	100



地点を登録する	94
地名/路線名	133
着信アイコン	166
着信音量	174
着信全画面割込み	174
着信通話画面情報表示	174
着信履歴機能	166
注意警戒情報	122
駐車場情報	123
駐車場情報の表示	116
通信方式	172
通話音量	168
通話音量を設定する	174
通話中の表示	152
ディスプレイ照明設定	37
ディスプレイ設定	35
ディスプレイの明るさを設定する	37
ディスプレイの角度を調整する	22
ディスプレイ表示設定	35
ディマー	37
ディマー連動	132
データ通信	170
データ通信設定	170
デバイス名	150、173
デモ走行	81
デモンストレーション機能	145
電源のON/OFF	21
電池の出し入れ	347
店頭デモ	145
店頭デモ自動起動	145
電波レベル	152
電話・通信設定	169
電話帳	158
電話帳を編集する	161
電話番号から探す	66
電話番号を変更する	97
電話を受ける	151
電話をかける	157
電話を切る	156
冬期規制アイコン	133
冬期閉鎖区間	75
冬期閉鎖区間考慮	141
到着情報	88
到着情報表示	44
到着情報表示	79
到着予想時刻音声案内	138
登録地点アイコン	133
登録地点から探す	63
登録地点から設定	72
トーン発信機能	154
特長	16、17、18

特別地点	92
特別地点/登録地点情報画面から電話をかける	160
時計表示の設定	36
時計を表示させる	25
ドライブインフォメーション	106

な行

ナビゲーション案内	57
ナビゲーション画面を表示する	24
ナビ情報	144
ナビ情報設定	144
認証キー	145
抜け道	78
抜け道ルート	78
抜け道を探索する	140
ノースアップ	47

は行

バージョン情報	144
パスキー	150
パスワード	172
発信アイコン	164
発信履歴機能	164
発話用マイク	155
バルスタッチ	36
番号で探す	66
番号入力	157
ハンズフリー電話	147
ビーコン	113
ビーコン図形/文字情報	115
ビーコン図形情報	122
標高最大値を設定する	110
標高表示	109
昼画面	132
ビル立体表示	134
フェリー航路	88
フェリー使用	141
フォーカスエリア	349
踏み切り案内	137
ブランド名	52、61
平均車速を設定する	138
別ルート	74
ヘディングアップ	47
方位	47
方面看板	87
方面看板表示	133
保証について/規格	395
本書の見かた	10
本体スイッチ	19

ま行

マークを変更する	98
----------	----

マイクロソフトからの使用許諾契約書	401
マップコードから探す	68
マルチインフォメーション画面	29
マルチゲート画面	26
右画面表示設定	51
道幅	74
名称で探す	64
メニュー画面、リスト画面	31
メモを入力する	98
目次	12、13、14、15
目的地案内	77
目的地案内表示	86
目的地履歴	64
目的地を設定する	73
目的別索引	407
文字サイズ	133
文字情報	119
文字を入力する	33
モニター自動CLOSE	36
モニターを自動で閉じる	36
もより	53
最寄り施設ジャンル一覧	368

や行

夜間の照光スイッチ明るさを設定する	37
夜間のディスプレイ明るさを設定する	37
ユーザーID	172
誘導方向	134
郵便番号から探す	67
有料道車速設定	138
用語説明	379
横加速度表示	108
夜画面	132

ら行

ランドマーク情報	53
ランドマーク表示	52
ランドマーク表示ジャンル	52
リアカメラ	178
リアカメラの映像	178
リアモニター	183
リアモニター映像出力の設定	35
リアルジャンクションガイド	138
リアルジャンクションガイド表示	87
リスト画面を切りかえる	32
リダイヤル	157
リモコン受光部を切りかえる	35
リモコンセンサー/調光センサー	19
リモコン操作	348
リモコンフロント	35
リモコンリア	35

料金案内	88
リルート	77
ルート案内画面	44
ルート学習	142
ルート学習設定	142
ルート行程情報表示	137
ルート周辺	69
ルート情報(案内道路情報)	81
ルート探索	72
ルートの探索結果画面	74
ルート表示	44
ルートブラウザ	79
ルートを消去する	85
ルートをスクロールする	79
ルートを変更する	82
レーン(車線)ガイド表示	87
レーン(車線)表示	86
レーンガイド	139
レベル1	113
レベル2	113
レベル3	113
路上駐車場マークを表示する	127
路線別で探す	62

わ行

割込み情報	122
割り込み通話機能	154

アルファベット/数字

1/左画面表示設定	51
1画面表示	48
2画面表示	48
3Dイラスト拡大図(詳細案内図)	86
3Dの角度を変更する	50
3Dマップ	47
3Dランドマーク表示	134
3Dリアル交差点拡大図	86
5ルート	74、82
Bluetooth	149
Bluetooth機器設定	173
Bluetooth接続	169
Bluetooth接続を設定する	149
Bluetooth設定	173
BRIGHT	39
COLOR	39
COMMUNICATION画面から電話をかける ...	160
CONTRAST	39
DNSサーバー	172
DRIVE INFO.表示	106
DVD/CD挿入口	19



DVD/CDを入れる	22
DVD/CDを取り出す	23
ECOガイドトーン	110
ECO情報	110
ETC	176
ETC案内	138
ETCユーザー情報	177
ETC料金表示	176
ETC料金履歴	176
ETCレーン表示	87、176
FM多重放送	113、120
FM文字多重放送	113
GPS情報	144
GPS表示を見る	109
IC合流案内	137
IC変更	74、75
INFO.表示設定	110
JCT合流案内	137
MENU/PWRスイッチ	19
MENU項目一覧	403
OPEN/TILTスイッチ	19
POS.スイッチ	19
PULSE TOUCH	20
Q&A	380
SA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア)情報 ..	124
SA・PA合流案内	137
SDメモリーカード挿入口	19
SDメモリーカードを入れる	23
SDメモリーカードを取り出す	23
SHARPNESS	39
TINT	39
VICS	112
VICS情報	121
VICS情報画面	118
VICS情報提供道路の設定	127
VICS情報有料放送サービス契約約款	398
VICS図形情報	113
VICS設定	125
VICS代表局一覧	128
VICSタイムスタンプ	114
VICS地図表示	126
VICS駐車場情報	123
VICS駐車場マーク表示	127
VICS道路交通情報マーク一覧	193
VICSに関するお問い合わせ	128
VICS割込み情報	122
VISUAL EQ	39
WIDE	40

索引(サウンド・映像編)

五十音順

あ行

アーティストから探す	312
アーティストで探す	236
アーティストを選ぶ	314
アクションインジケーター	19
アナログテレビ放送	260
アルバムで探す	237、313
アルバムを選ぶ	314
アングルの切りかえ	296
暗証番号変更	301
イコライザーカーブの設定	334
イコライザー特性	334
一時停止する	311
インジケーター表示	28
映像画質を調整する	39
映像コントラストを調整する	39
映像出力を切りかえる	302
映像の明るさを調整する	39
映像の色あいを調整する	39
映像の色の濃さを調整する	39
エリアコール	263
エリアで選局して設定する	263
エリアで選局して設定する(エリアコール)	207
オートメモリー	207、262
お問い合わせ窓口	402
音の到達時間の補正	338
音楽データを再生する	269
音声言語	298
音声言語の切りかえ	296
音声多重機能	264
音声レベル	319
画像を調整する	336
音量調整	332
音量調整画面	332
音量の調整	202

か行

外部DVDプレイヤー	318
外部機器を接続する	319
外部接続	319
外部入力	318
各部の名称	19
画質調整	38
画質調整値の記憶/呼び出し	39
画質の調整	38
画像設定	342
画像追加	272
画像編集	251
画像を表示する	342

壁紙をOFFにする	25
壁紙を設定する	343
画面モード	40
画面を消す	25
カントリーコード	300
聴きたい曲を選ぶ	233、309
聴きたい曲を探す	235、312
曲順を変えて聴く	220、242、315
曲で探す	314
曲のイントロだけを聴く	219、241
曲を探す	240
切りかえスイッチについて	346
繰り返し聴く	221、243、316
繰り返し見る	295
グループ番号から探す	293
言語コード一覧	366
交通情報	209
項目のスクロール	32
故障かな?と思ったら	389
コマ送り再生	290

さ行

最近10枚	239
最近再生したアルバムから探す	239
再取得	254
再生中止(PRE STOP)	286
再生停止	287
再生モード	269
サウンド・映像ソース情報表示	28
サウンド・映像モードのON/OFF	198
サウンド調整	332
索引	418
サブウーハー	335
サブウーハー出力レベル	335
サブタイトル(字幕)表示機能について	274
サブタイトル(字幕言語)の切りかえ	297
サラウンド設定	336
サンプリング周波数	222
時間補正值	339
視聴制限	301、304
視聴制限について	274
自動選局	206
自動で壁紙を変更する	36
自動で記憶する(オートメモリー)	207、262
自動で録音する	229
自動録音	255
字幕言語	299
シャッフル(M.I.X. ミックス)	315
ジャンルで探す	235
主+副	264
主音声	264



受信情報	327
手動で記憶する	207、262
手動で放送局を選ぶ	326
手動で録音する	229
準備	19
ジョイスティック	346
初期化	270
初期値	303
数字を入力する	34
スキン変更	28
スクリーン設定	302
スピーカー設定	337
スペインナ表示を設定する	37
スライダーバー	27、314
スライドショー	272
スライドショー機能	344
スローモーション再生	291
静止(一時停止)	289
設定項目一覧	404
操作音の設定	336
ソングサーチ	216

た行

対応規格	222
タイトル	208、265
タイトル情報を取得する	254
タイトルスクロール	35
タイトル番号から探す	293
タイムコレクション(時間補正)について	339
タイムコレクションの設定	338
ダイレクトサーチ機能	314
ダウンミックス	302
ダウンロード	254
多重音声	297
タッチスイッチ	20
タッチパネル操作振動のON/OFF	36
タッチパネルの調整	36
タブ	32
地上デジタルテレビを見る	325
地点追加	271
地点保存	270
チャプターの頭出しをする	292
チャプター番号から探す	292
チューニングモード	206、261
ディスクの種類のマーク	282
ディスタンスモード	206
ディスプレイOFF	344
ディスプレイ照明設定	37
ディスプレイ設定	35
ディスプレイの明るさを設定する	37
ディスプレイの角度を調整する	22

ディスプレイ表示設定	35
ディフュート	335
ディマー	37
データベースについて	226
テレビ操作画面	258
テレビを見る	260
電源のON/OFF	21
電池の出し入れ	347
登録地点をコピーする	270
登録地点を保存する	270
特長	16、17、18
時計表示の設定	36
時計を表示させる	25
トラックの頭出しをする	292
トラック番号から探す	292

な行

ナビゲーション画面を表示する	24
二重音声放送	264

は行

バーチャル5.1ch再生	337
ハードディスク	226
ハードディスク情報	255
早送り・早戻し	218、234、288、310
バランス/フェダーの設定	335
パルスタッチ	36
パレンタル	301
番組情報	330
番組情報を見る	328
ビットレート	222、227、255
ビデオCD	282
ビデオCD再生モード	301
ファイルサーチ	216
ファイル名について	223
フォーカスエリア	349
フォーマットについて	223
フォルダサーチ	216
フォルダを選ぶ	217
副音声	264
プリセットスイッチ	206、261
プリセットスキャン	329
プレイバックコントロール	301
プレイリストから探す	312
プレイリストサーチ	294
プレイリストで探す	238
プレイリストの編集	244
プレイリスト編集	244
プレイリストを選ぶ	293、314
プレイリスト番号から探す	293
プレビュー	272

プレビュー画面を操作する	343
プログラムサーチ	294
プログラムを選ぶ	293
プログラム番号から探す	293
ページ送り/戻し	294
放送局を選ぶ	206、261
放送局を記憶する	207、262
ボーナスグループを再生する	303
ボーナスコード設定	303
保証について/規格	395
保存した地点をコピーする	271
本機対応のiPodについて	308
本書の見かた	10
本体スイッチ	19

ま行

マイクロソフトからの使用許諾契約書	401
マニュアルモード	206、261
マルチアングル機能について	274
マルチインフォメーション画面	29
マルチウィンドウ	261
マルチ音声機能について	274
マルチゲート画面	26
マルチストーリー機能について	274
マルチセッションについて	223
見たい映像を探す	292
名称選択	319
メディアについて	222
メニュー	284
メニュー画面、リスト画面	31
メニュー画面を操作する	284
メニュー言語	299
モードを切りかえる	199
目次	12、13、14、15
目的別索引	407
文字を入力する	33
モニター自動CLOSE	36
モニターを自動で閉じる	36

や行

夜間の照光スイッチ明るさを設定する	37
夜間のディスプレイ明るさを設定する	37
用語説明	379
よく聴く10枚	239
よく聴くアルバムから探す	239

ら行

ラジオ操作	203
ラジオを聴く	205
リアモニター映像出力の設定	35
リージョンコードについて	275

リスト画面を切りかえる	32
リモコン受光部を切りかえる	35
リモコンセンサー/調光センサー	19
リモコン操作	348
リモコンフロント	35
リモコンリア	35
ローカルモード	206
録音曲編集	249
録音形式	227
録音について	228
録音についての注意	227
録音ビットレートの設定	255
録音モードの設定について	227

アルファベット/数字

4:3LB(レターボックス)	302
4:3PS(バンスキャン)	302
A.MEMO	207、262
AACとは?	222
AACを聴く	215
AMBIENT	337
ANGLE	296
AREA	207、263
AUDIO	296
AUX操作	318
BAL./FAD.	335
BAND	205
BASS MAX EQ	334
BI-PHANTOM	336
BRIGHT	39
CD/MP3/WMA/AAC	211
CDを聴く	215
COLOR	39
CONTRAST	39
DEFEAT	335
DISP	327
Dolby PL II 設定	336
DOLBY PRO LOGIC II	336
DTVインジケータ	259
DVD/CD	283
DVD/CD挿入口	19
DVD/CDを入れる	22
DVD/CDを取り出す	23
DVD/ビデオCDを再生する	283
DVD-A再生モード	302
DVD-VRモード	282
DVDオーディオ	282
DVDオーディオ再生モード	302
DVD初期設定	298
DVDビデオ	282



DX SEEK	206
EASY SETUPの設定	340
EPG	328
EUPHONY設定	337
EXT.DVD	318
FLDR	217
FM/AM	205
Gracenote音楽認識サービス	226
HDD AUDIO	232
HDD AUDIO設定	255
HDD画像	344
HDDについて	226
HDDの曲を聴く	232
HDDの編集	249
HDDへ録音する	229
HPF	340
ID3タグ/WMAタグ	222
i-Personalize設定画面	332
iPodの曲を聴く	308
iPodを接続する	308
iPodを外す	308
LPF	340
M.I.X.(ミックス)	220、242、315
MATRIX	337
MAX	337
Media Xpander	333
MENU	284
MENU CONT.	284、285
MENU/PWRスイッチ	19
MENU項目一覧	403
MOVIE	336
MP3/WMA/AACについて	222
MP3とは?	222
MP3を聴く	215
MULTI	261
MULTI HIT	216
MUSIC	336
MXモードの設定	333
NATURAL	337
OPEN/TILTスイッチ	19
PAGE	294
PANORAMA	336
PBC	301
P-EQ	334
PHASE	338
POS.スイッチ	19
PRE STOP	286
PULSE TOUCH	20
Q&A	380
REC	229
REPEAT(リピート) ...	221、243、295、316

SCAN(スキャン)	219、241
SD画像	272、344
SDメモリーカード	267
SDメモリーカード挿入口	19
SDメモリーカードの画像をHDDに追加する ...	272
SDメモリーカードを入れる	23
SDメモリーカードを取り出す	23
SDメモリーカードを初期化する	270
SEARCH	216、235、312
SEEK	206
SEEKモード	261
SHARPNESS	39
STD	337
STEREO	302
STOP	287
SUBT.	297
SURROUND	302
SYMPHONY	337
T.CORR	338
TINT	39
TOP MENU	284
TUE-T1	329
TUNE	206、261、326
TV音声	264
VCAP	302
VCD PBC再生	301
VIDEO	302
VISUAL EQ	39
VOFF	302
WIDE	40
WMAとは?	222
WMAを聴く	215
X-OVERの設定	340

電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか向上の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談して下さい。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。

連絡先：アルパイン株式会社 インフォメーションセンター



一般電話から 0570-006636

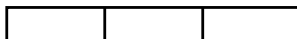
- ※ 全国どこからでも市内料金でお問合わせ頂けます。
- ※ 一般電話からご利用頂けます。携帯電話等からは、誠に恐れ入りますが下記番号までお掛けください。

携帯電話、PHSから 048-662-6636 FAXでのお問合わせ 048-662-6676

- ※ 営業時間は、上記番号いずれも9:30～17:30となります(土日、祝日、弊社休業日は除く)
- ※ お電話でのお問合わせは混雑が予想されますので、FAXでのお問合わせをお勧め致します。

ホームページアドレス <http://www.alpine.co.jp>

2.4 FH 1



2.4 FH 1
① ② ③

- ① 「2.4」GHz帯を使用する無線設備を表します
- ② 「FH」変調方式を表します
- ③ 「1」想定される与干渉距離(約10m)を表します

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

<アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について>

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されます。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了し地上デジタルテレビ放送に完全に移行することが、国の法令によって定められています。本機で地上デジタルテレビ放送をご覧頂くには、本機に地上デジタルテレビチューナー、アンテナを接続することにより、ご覧頂くことができます。